



小中一貫教育等についての実態調査の結果

(追補版)



小中一貫教育等についての実態調査の概要

1. 調査の目的

小中一貫教育等の実態を調査し、今後の小中一貫教育の制度化及びその推進方策並びに小中連携の一層の高度化方策の検討に資する基礎資料を得る。

本調査における小中連携教育・小中一貫教育の定義

小中連携教育: 小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育: 小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

2. 調査時点

平成26年5月1日

3. 調査の対象

全都道府県、全市区町村、小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校

4. 主な調査事項

【都道府県】

- 小中一貫教育の推進状況
- 小中一貫教育の推進のための取組内容

【市区町村】

- 小中一貫教育の推進状況
- 小中一貫教育推進のねらい、方針
- 小中一貫教育の推進に係る教育課程の編成
- 教科担任制・乗り入れ授業の実施
- 小中一貫教育の推進体制
- 小中一貫教育の成果、課題

【小中一貫教育を行う学校】

- 小中一貫教育の実施状況(施設、年数など)
- 小中一貫教育推進のねらい、方針
- 小中一貫教育の推進に係る教育課程の編成
- 学年段階の区切り
- 教科担任制・乗り入れ授業の実施
- 小中一貫教育の推進体制
- 小中一貫教育の成果、課題

本実態調査の調査実施協力者

※五十音順

【調査票の設計】

(小中一貫教育等の実態及び成果・課題の分析に関する協力者会議)

千葉大学教育学部教授 天笠 茂
鳥取市教育委員会教育長 木下 法広
京都産業大学教授 西川 信廣
呉市立呉中央中学校教頭 二宮 肇美
筑波大学教育学域教授 樋口 直宏
国立教育政策研究所 初等中等教育研究部総括研究官 藤原 文雄
国立教育政策研究所 生徒指導研究センター総括研究官 藤平 敦

【集計・分析】

国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部主任研究官 宮崎 悟
国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部総括研究官 屋敷 和佳

目次

都道府県調査

- ・都道府県による小中一貫教育の推進状況【11】
- ・小中一貫教育を推進するための方針等の策定状況【11】
- ・小中一貫教育の推進のための担当指導主事の配置【12】
- ・小中一貫教育のための教職員加配の措置状況【12】
- ・小・中学校の校長の兼務に伴う校長の定数削減分を小中一貫推進加配として活用【13】
- ・小中一貫教育を推進するための人事上の工夫【13】
- ・小学校教員に占める中学校免許併有教員の割合【14】
- ・中学校教員に占める小学校免許併有教員の割合【14】
- ・その他小中一貫教育を推進するための取組【15】
- ・小中一貫教育を推進する上で国に期待する取組【15】

市区町村調査

- I 小中一貫教育の推進状況・推進方針
 - ・小中一貫教育、小中連携教育の実施状況【19】
 - ・小中一貫教育を行っていない市区町村における検討状況【20】
 - ・小中一貫教育推進の主なねらい【20】
 - ・小中一貫教育実施市区町村の人口規模【21】
 - ・小中一貫教育を推進するための方針・計画等策定状況【21】
 - ・小中一貫教育を推進するための方針・計画等の記載事項【22】
 - ・市区町村域内での小中一貫教育の実施割合【22】
- II 取組形態
 - ・小中一貫教育の取組に含まれる学校の構成【23】
 - ・複数校で小中一貫教育に取り組む場合の課題とその解消策【24】
 - ・小中一貫教育校と学校選択制との関係【24】
- III 教育課程・指導方法
 - ・教育課程の特例を認める制度を活用した小中一貫教育の推進状況【25】
 - ・小中一貫教育推進のため教科担任制を実施した小学校【26】
 - ・小・中学校教員の乗り入れ授業を年間にわたり計画的かつ継続的に実施【26】
- IV 組織・マネジメント
 - ・小中一貫教育の推進目的での教職員の兼務発令【27】
 - ・小中一貫教育を推進するための教職員の異動年限の工夫【28】
 - ・小中一貫教育を行うためのコーディネーターの加配状況【28】
- V その他の推進方策
 - ・小中一貫教育に関する研究指定事業【29】
 - ・外部の有識者(大学教授、先進地域の関係者等)からの指導助言【30】
 - ・その他、小中一貫推進のために取り組んでいる事項【30】
- VI 成果・課題など
 - ・小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)【32】
 - ・小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(課題)【32】
 - ・小中一貫教育の成果【33】
 - ・小中一貫教育の課題【34】
 - ・国に期待している取組【35】

学校調査

I 施設・取組形態など

- ・小中一貫教育の主なねらい【39】
- ・小中一貫教育開始からの経過年数【40】
- ・校舎設置状況【40】
【参考】小中一貫教育における校舎の設置状況の分類
- ・施設形態別学級数分布【41】
- ・小中一貫教育を行う上での施設やスペースの整備状況【42】
- ・小中一貫教育を行う上での校舎の整備状況【42】
- ・小中一貫教育に取り組む学校の組み合わせ【43】
- ・小学校間の取組の差(複数の小学校が小中一貫教育の取組に含まれる場合)【43】

II 教育課程・指導方法

- ・9年間の教育課程・指導方法の系統性・連続性の確保のための取組【44】
- ・学年段階の区切りの状況【45】
- ・学年段階の区切りの設定に係る具体的取組(学年区切りが6-3以外の場合)【45】
- ・授業時間の設定状況【46】
- ・教育課程の特例を認める制度の活用状況【46】
- ・卒業式入学式以外の学年段階区切りを意識させる行事の実施【47】
- ・小学校の卒業式や入学式の実施状況【47】
- ・小学校における教科担任制の実施状況【47】
- ・小学校における教科担任制の実施教科・導入開始学年【48】
- ・小・中教員の乗り入れ授業の実施【48】
- ・小・中教員の乗り入れ授業の実施教科【49】
- ・児童生徒の人間関係や相互評価が固定化しないような工夫【49】
- ・転出入学する児童生徒に対する配慮【50】

III 組織・マネジメント

- ・校長の体制【51】
- ・学年段階の区切り毎の担当の副校長・教頭・主幹教諭の配置状況【51】
(学年段階の区切りが6-3以外の場合)
- ・校務分掌上、学年段階の区切り毎の主任等の配置状況【51】
(学年段階の区切りが6-3以外の場合)
- ・教職員の兼務発令の状況【52】
- ・小中一貫教育のコーディネーター役を担う教職員の加配状況【52】
- ・小・中合同の校務分掌【53】
- ・小・中合同の校務分掌(施設形態別)【53】
- ・小・中合同の校務分掌(校長体制別)【54】
- ・小・中学校での学校事務の共同実施【54】
- ・小・中学校での学校事務の共同実施(施設形態別)【55】
- ・小・中学校での学校事務の共同実施(校長体制別)【55】
- ・校長の体制 × 校務分掌の合同担当の実施【56】
- ・校長の体制 × 学校事務の共同実施【56】
- ・計画的・継続的な小・中合同会議【56】
- ・計画的・継続的な小・中合同会議(施設形態別)【57】
- ・計画的・継続的な小・中合同会議(校長体制別)【57】
- ・小・中の合同会議を継続的に実施している場合の開催頻度(施設形態別)【58】
- ・小中合同会議を継続的に実施している場合の開催頻度(校長体制別)【58】
- ・小・中の合同職員会議【59】

- ・小・中の合同職員会議(施設形態別) 【59】
- ・小・中の合同職員会議(校長体制別) 【60】
- ・小・中全体の年間行事予定表等の作成 【60】
- ・小・中全体の年間行事予定表等の作成(施設形態別) 【61】
- ・小・中全体の年間行事予定表等の作成(校長体制別) 【61】
- ・小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施 【62】
- ・小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施(施設形態別) 【62】
- ・小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施(校長体制別) 【63】
- ・小・中の合同研修を行っている場合の実施頻度(施設形態別) 【63】
- ・小・中の合同研修を行っている場合の実施頻度(校長体制別) 【64】
- ・小・中教員による相互授業参観の計画的・継続的实施 【64】
- ・小・中教員の相互授業参観の計画的・継続的实施(施設形態別) 【65】
- ・小・中教員の相互授業参観の計画的・継続的实施(校長体制別) 【65】
- ・小・中教員の相互授業参観を行っている場合の実施頻度(施設形態別) 【66】
- ・小・中教員の相互授業参観を行っている場合の実施頻度(校長体制別) 【66】

IV その他の取組

- ・小・中学校の正式名称とは別の呼称の使用状況(「〇〇学園」等) 【67】
- ・小・中合同の校歌や校旗(シンボルマーク含む)の作成状況 【67】
- ・余裕時間の確保や負担軽減の取組 【68】
- ・地域や保護者との協働関係を強めることを目的に取り組んでいる事項 【68】
- ・幼稚園、保育所との連携・接続状況 【69】
- ・中高一貫教育との連動 【69】
- ・外部有識者からの指導助言 【70】

V 成果・課題など

- ・小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果) 【72】
- ・小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(課題) 【72】
- ・小中一貫教育の成果 【73】
- ・小中一貫教育の課題 【74】
- ・国に期待する取組 【75】

クロス分析

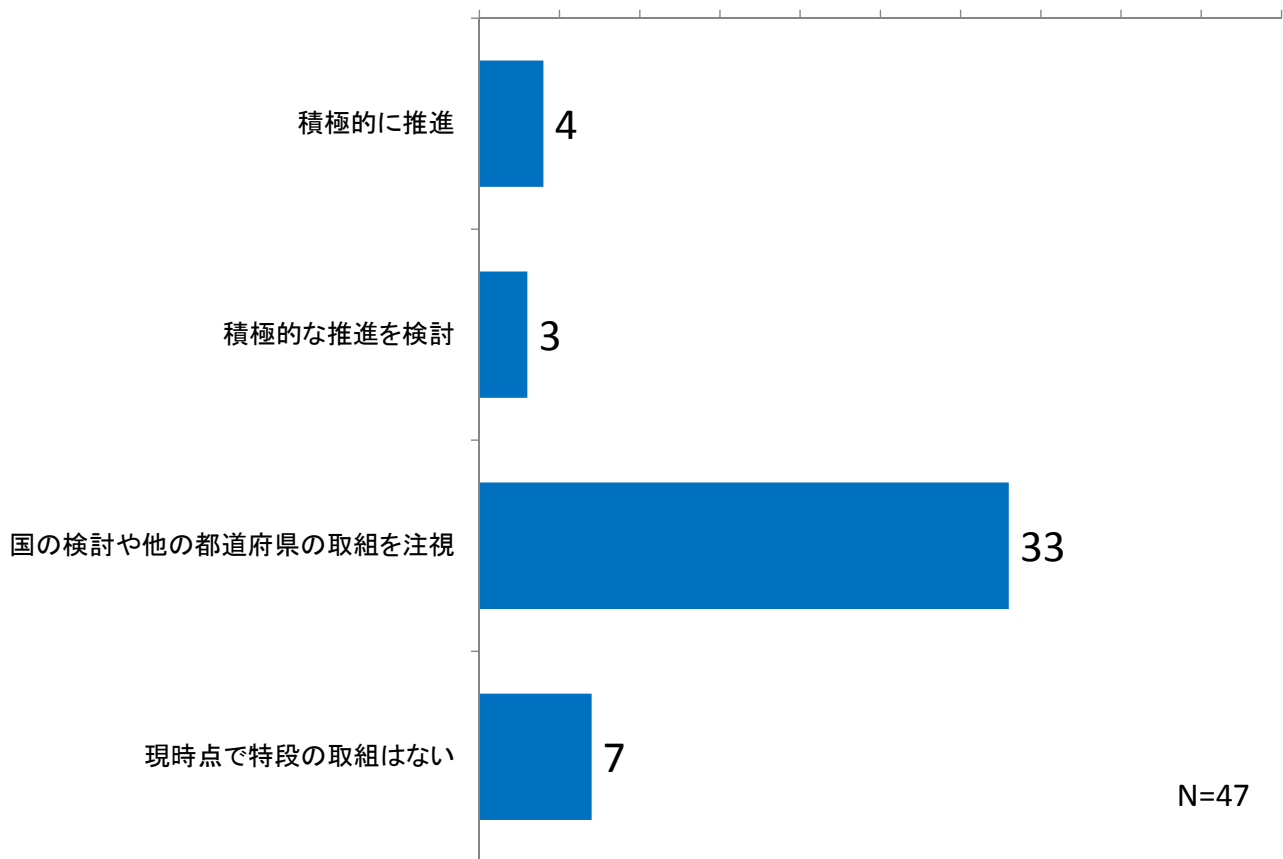
- ・小中一貫教育の取組内容と小中一貫教育の成果のクロス分析【78】
 - I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の成果 【79】
 - II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の成果 【87】
 - III 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の成果 【95】
 - IV 校長の体制 × 小中一貫教育の成果 【104】
 - V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の成果 【112】
 - VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム × 小中一貫教育の成果 【120】
 - VII 施設形態 × 小中一貫教育の成果 【128】
- ・小中一貫教育の取組内容と小中一貫教育の課題のクロス分析【137】
 - I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の課題 【138】
 - II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の課題 【142】
 - III 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の課題【144】
 - IV 校長の体制 × 小中一貫教育の課題 【148】
 - V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の課題 【153】
 - VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム × 小中一貫教育の課題 【158】
 - VII 施設形態 × 小中一貫教育の課題 【162】



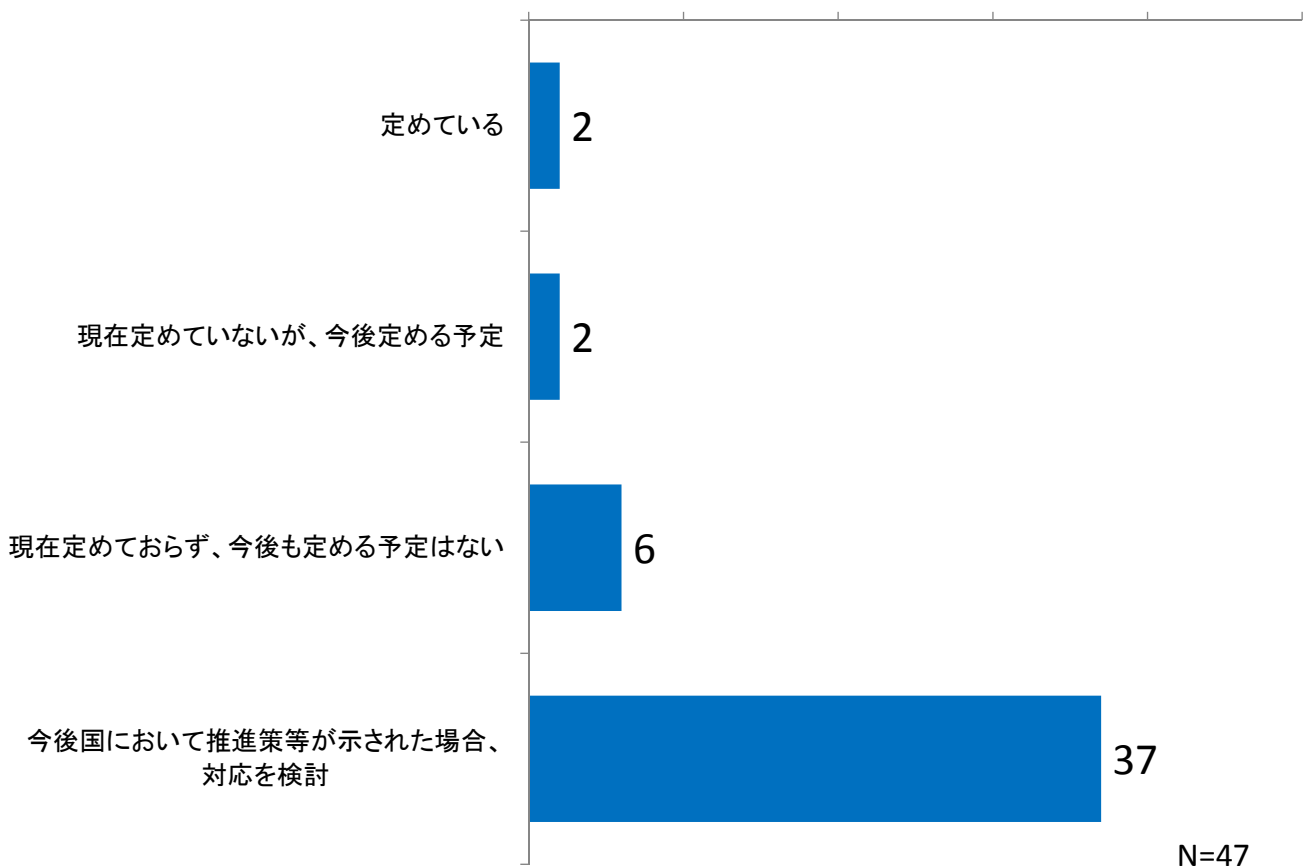
都道府県調査



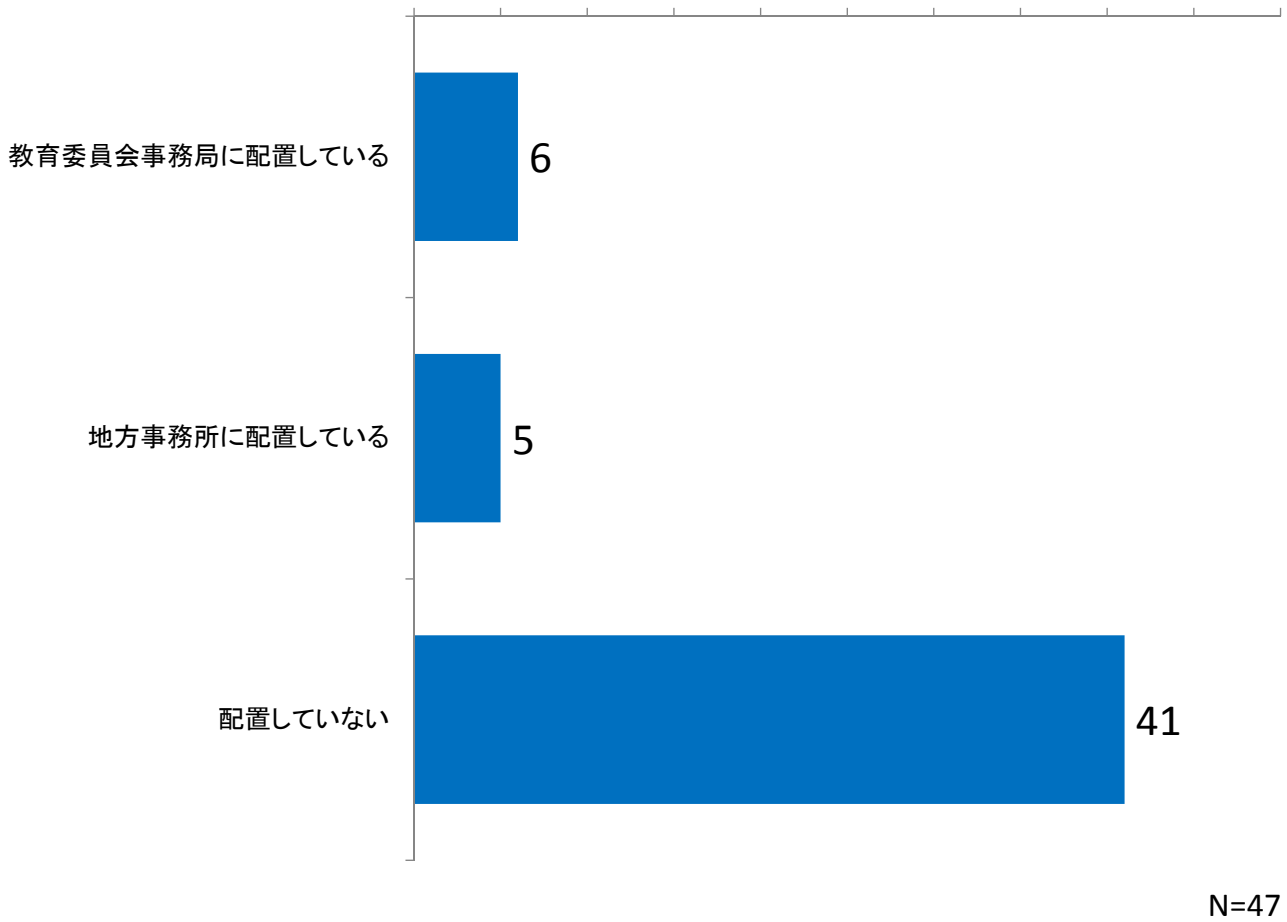
都道府県による小中一貫教育の推進状況



小中一貫教育を推進するための方針等の策定状況

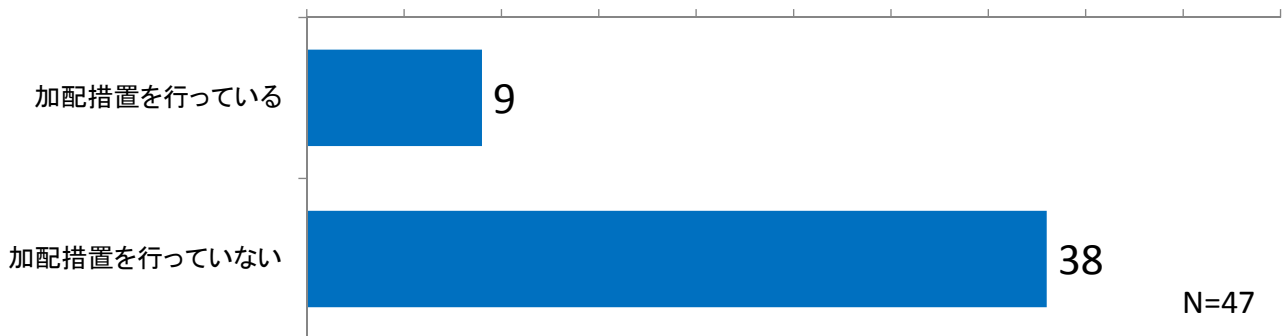


小中一貫教育の推進のための担当指導主事の配置

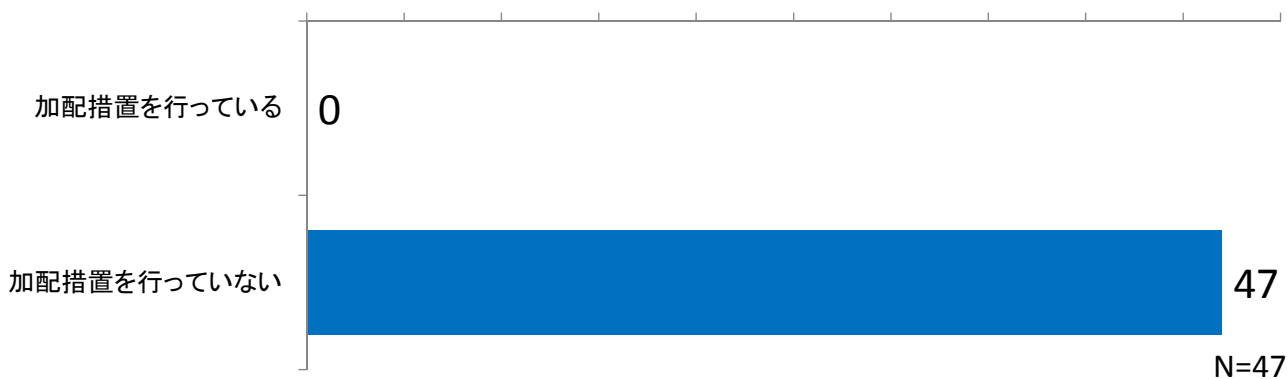


小中一貫教育のための教職員加配の措置状況

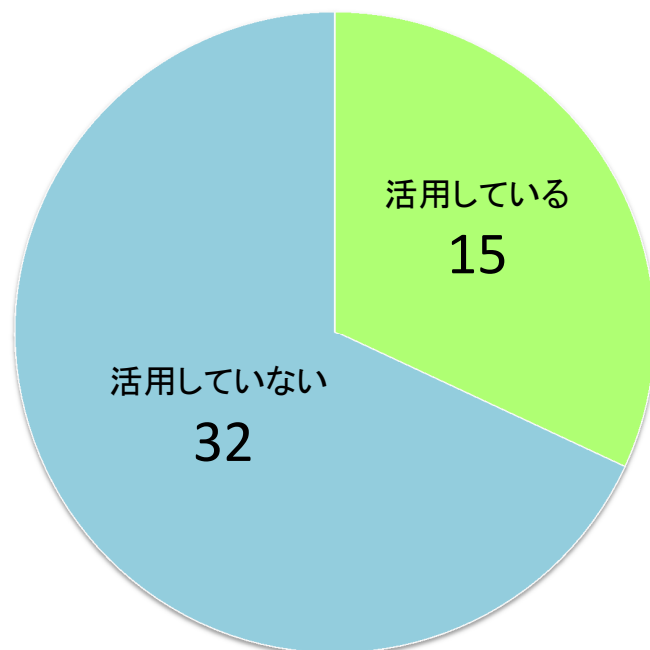
国の制度を活用



都道府県独自予算を活用

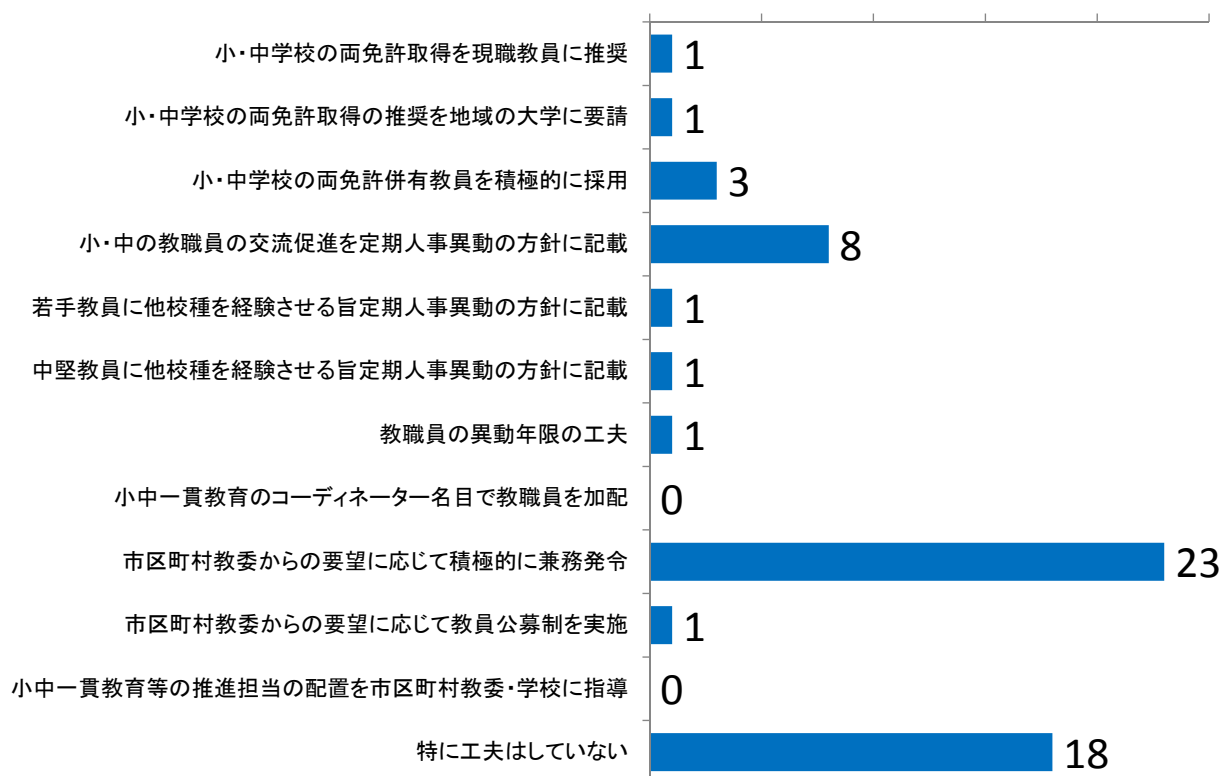


小・中学校の校長の兼務に伴う校長の定数削減分を 小中一貫推進加配として活用

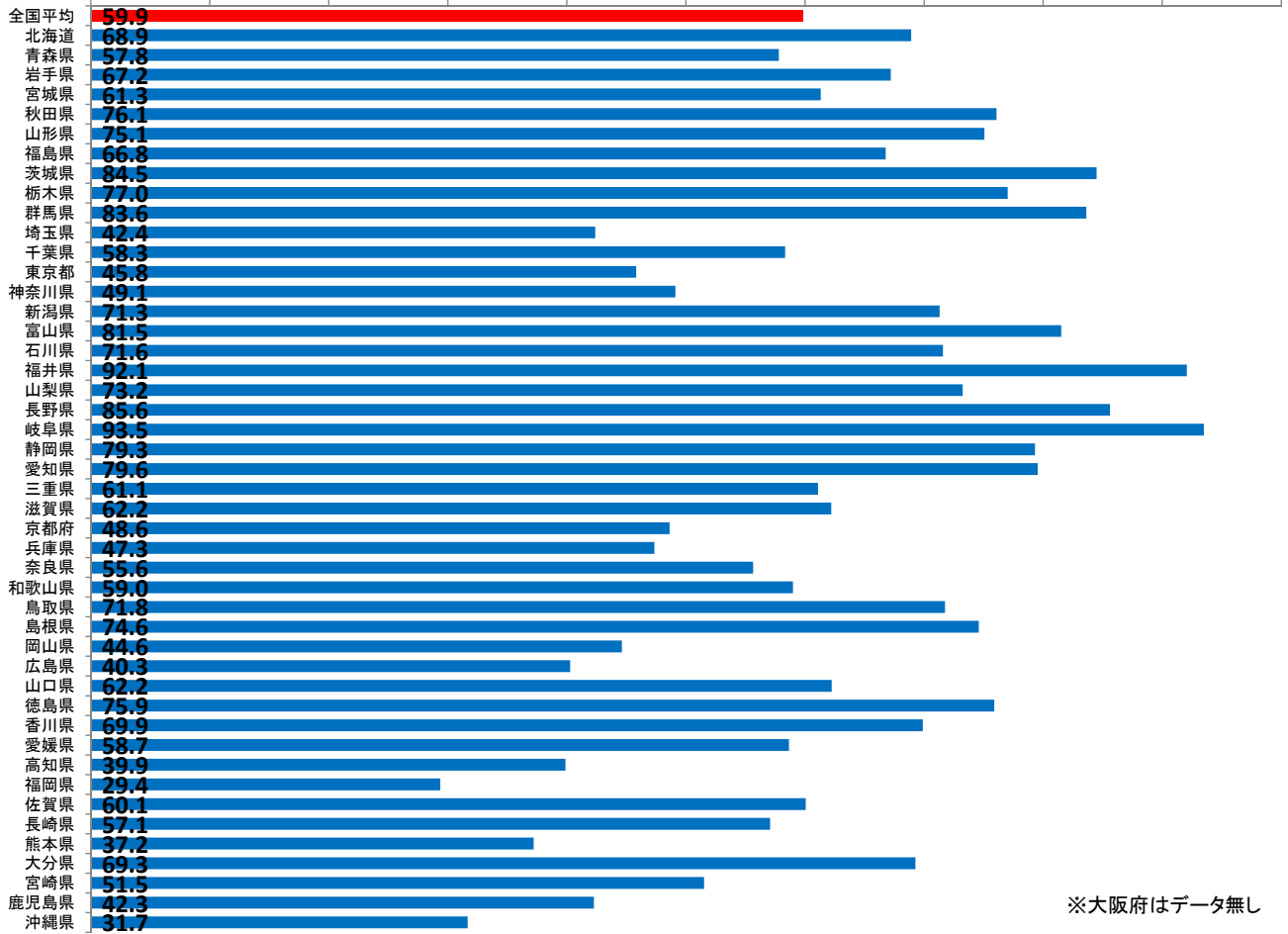


N=47

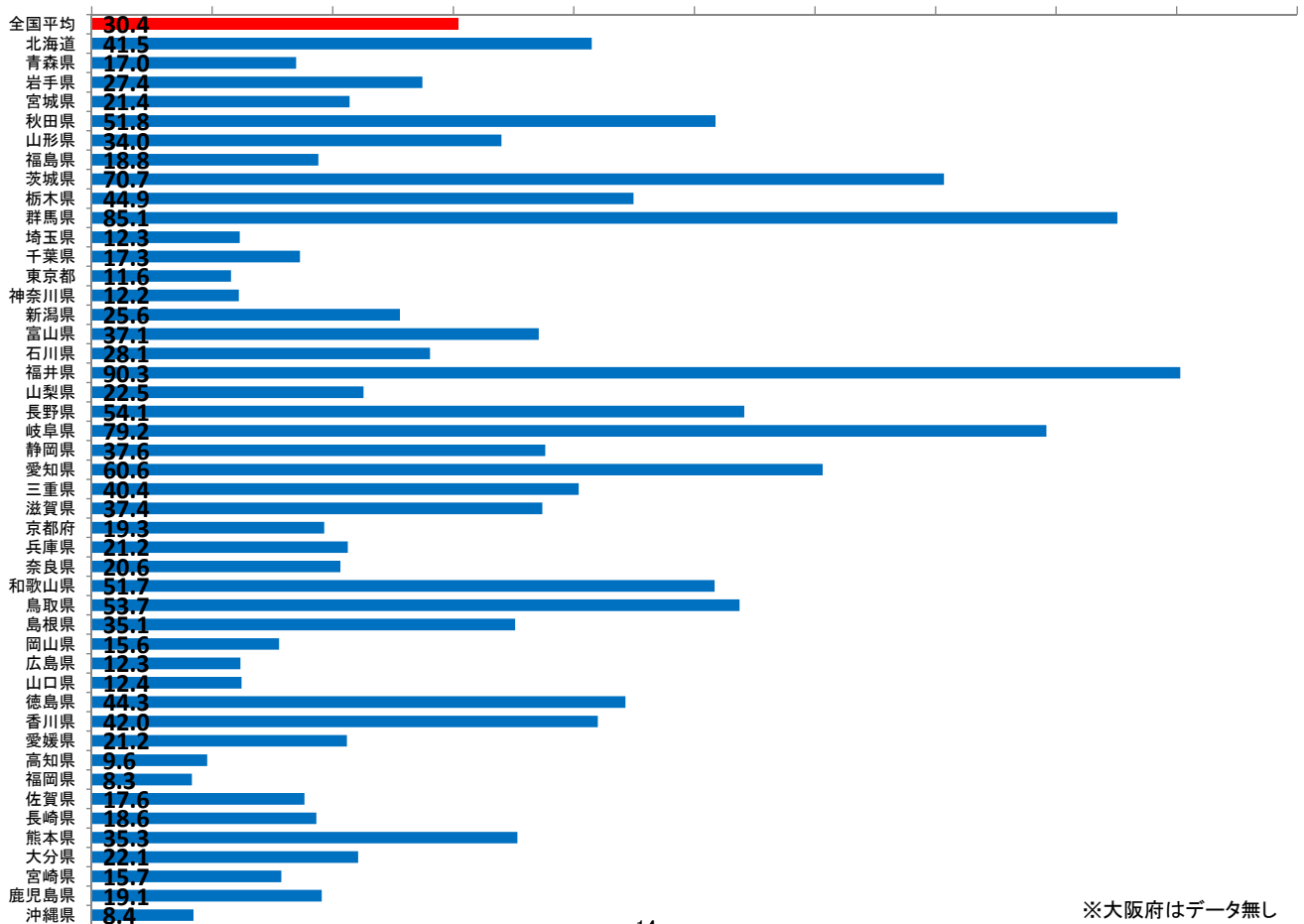
小中一貫教育を推進するための人事上の工夫



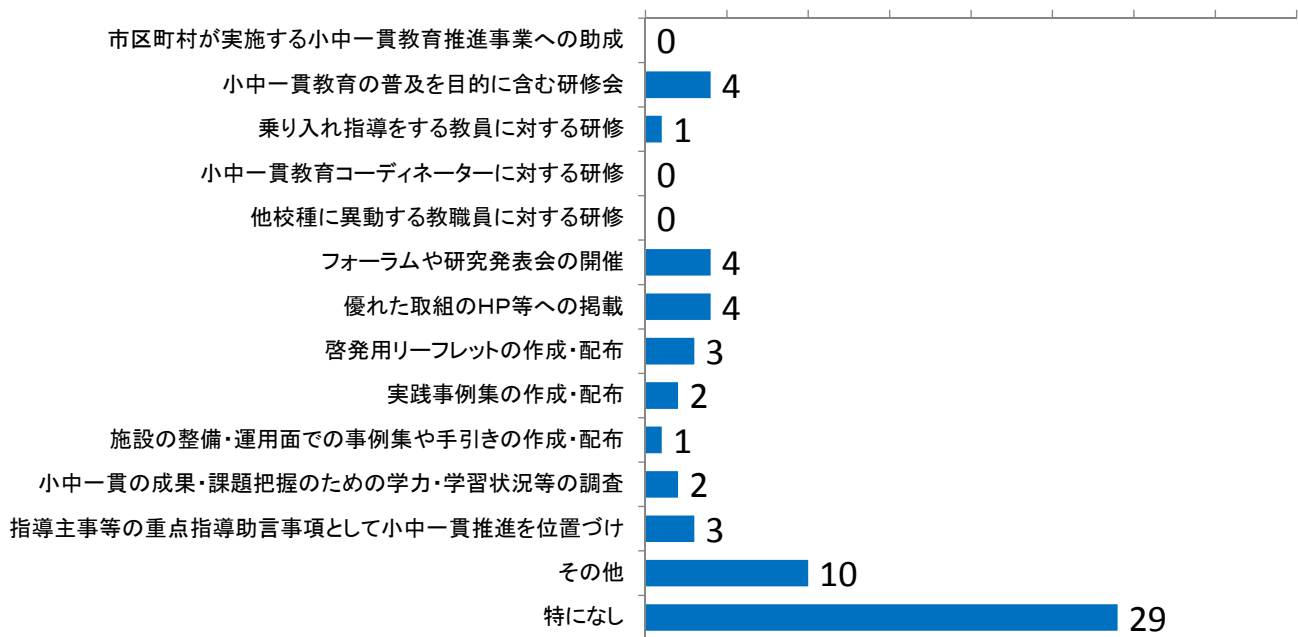
小学校教員に占める中学校免許併有教員の割合



中学校教員に占める小学校免許併有教員の割合



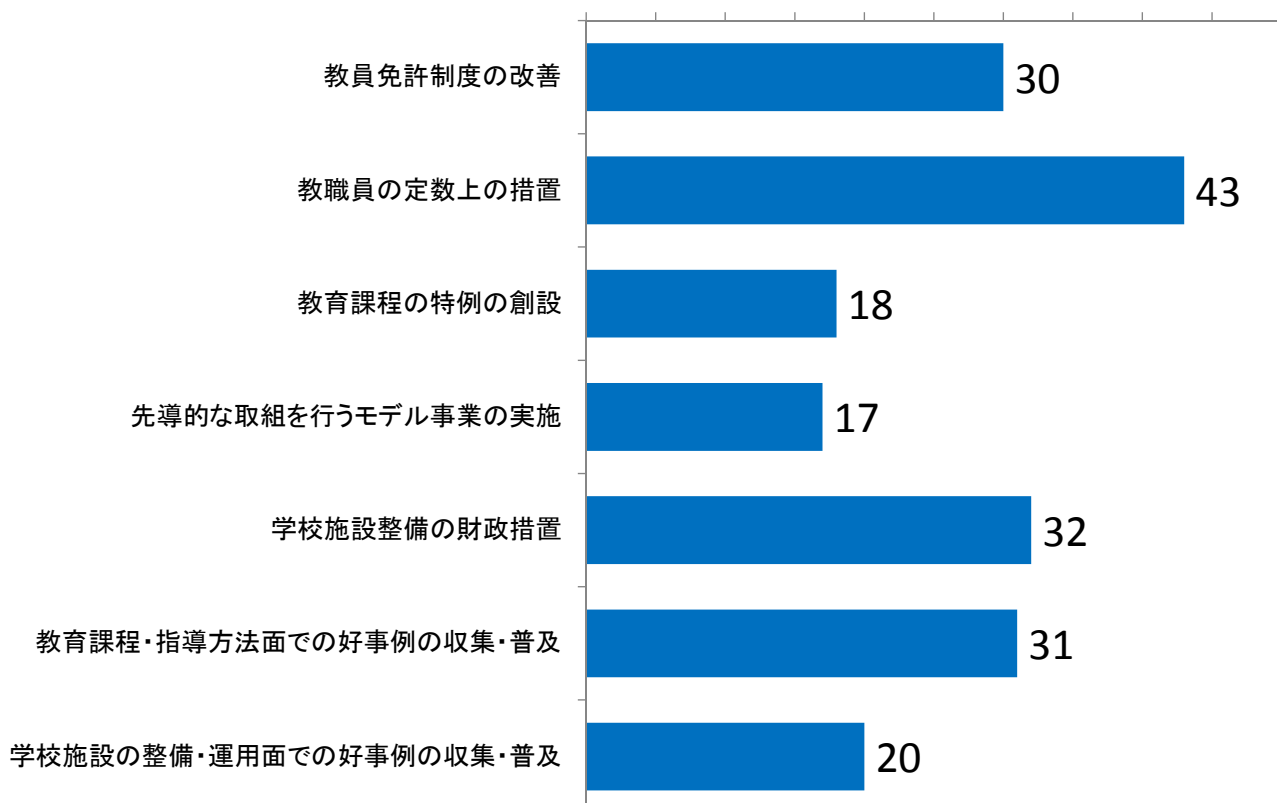
その他小中一貫教育を推進するための取組



【その他自由記述で挙げられた主な取組】

- 小・中学校が連携した取組を進める上で求められる事項を整理した「小中連携チェックリスト」を作成し、全ての学校に配付
- 隣接型小中一貫教育校に係る教頭複数配置実践モデル校を指定
- 小中一貫教育の導入を検討している市町村、学校を支援するために担当指導主事等を派遣して指導・助言
- 校長研修会等で、小中一貫校の取組について事例発表をしてもらう
- 他県の小中一貫校への教員派遣

小中一貫教育を推進する上で国に期待する取組





市区町村調査

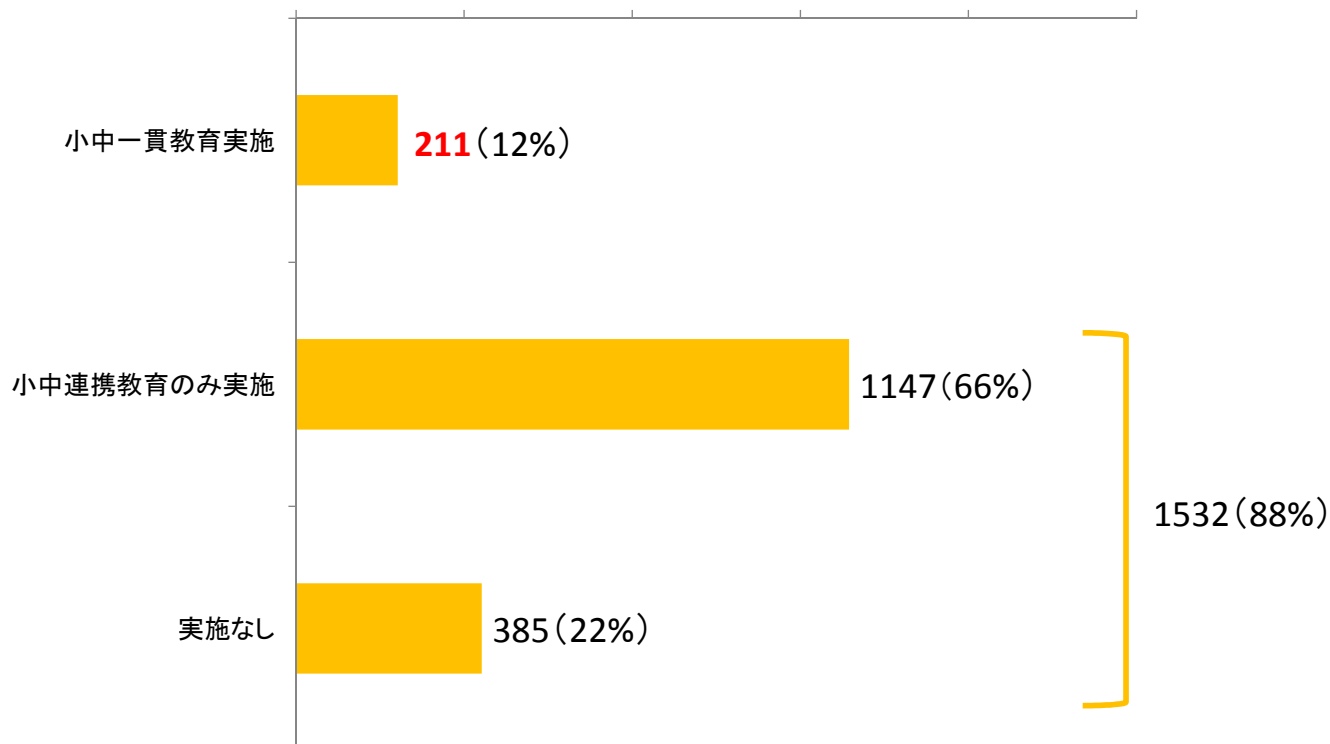


(市区町村数：1743)

- I 小中一貫教育の推進状況・推進方針 【19】
- II 取組形態 【23】
- III 教育課程・指導方法 【25】
- IV 組織・マネジメント 【27】
- V その他の推進方策 【29】
- VI 成果・課題など 【31】

I 小中一貫教育の推進状況・推進方針（～P22）

小中一貫教育、小中連携教育の実施状況



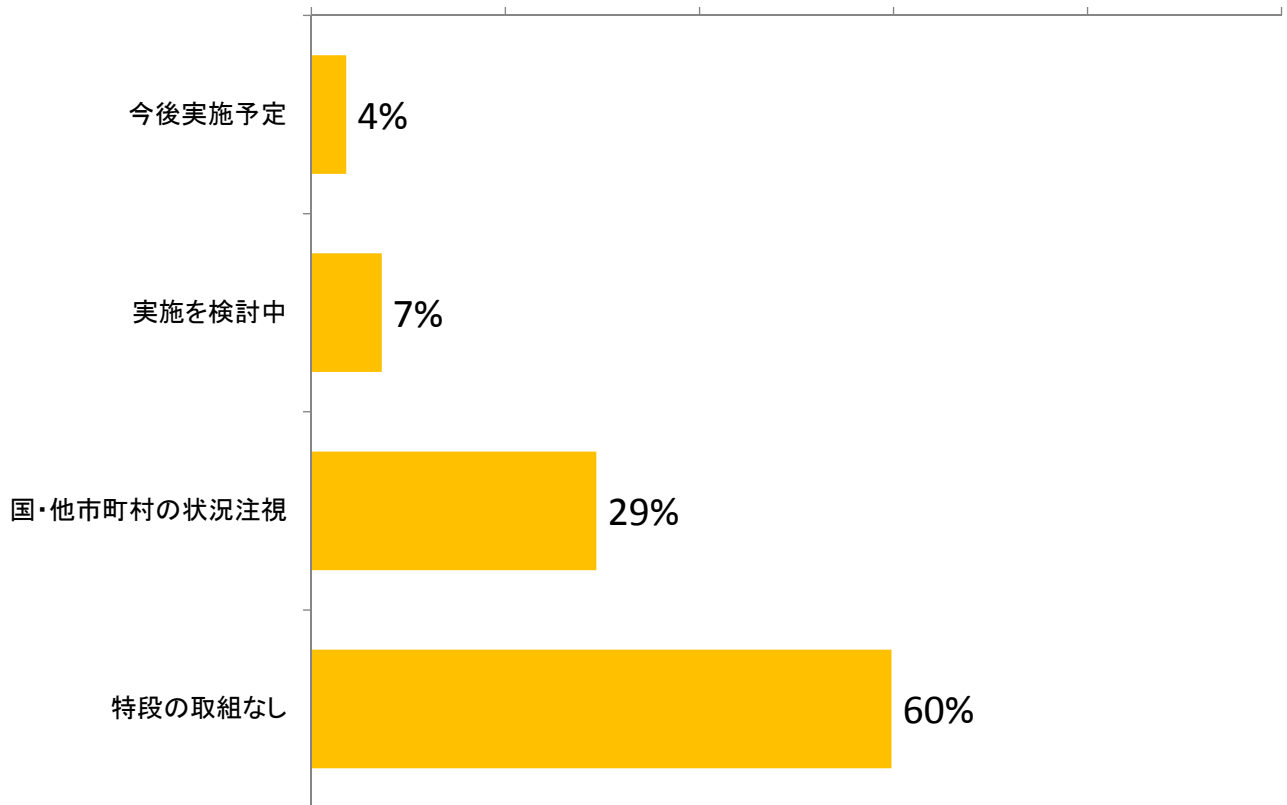
N=1743 (全市区町村)

本調査における小中連携教育・小中一貫教育の定義

小中連携教育: 小・中学校が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

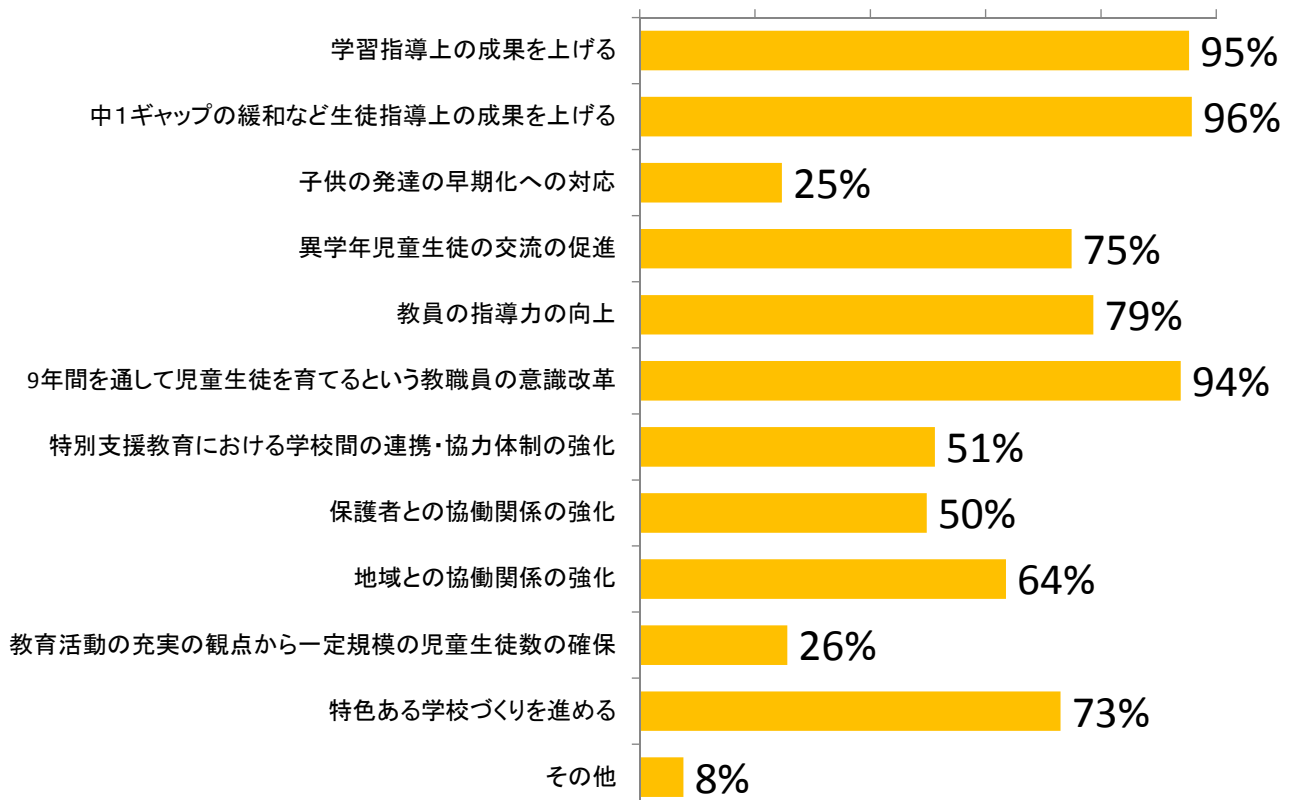
小中一貫教育: 小中連携教育のうち、小・中学校が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す教育

小中一貫教育を行っていない市区町村における検討状況



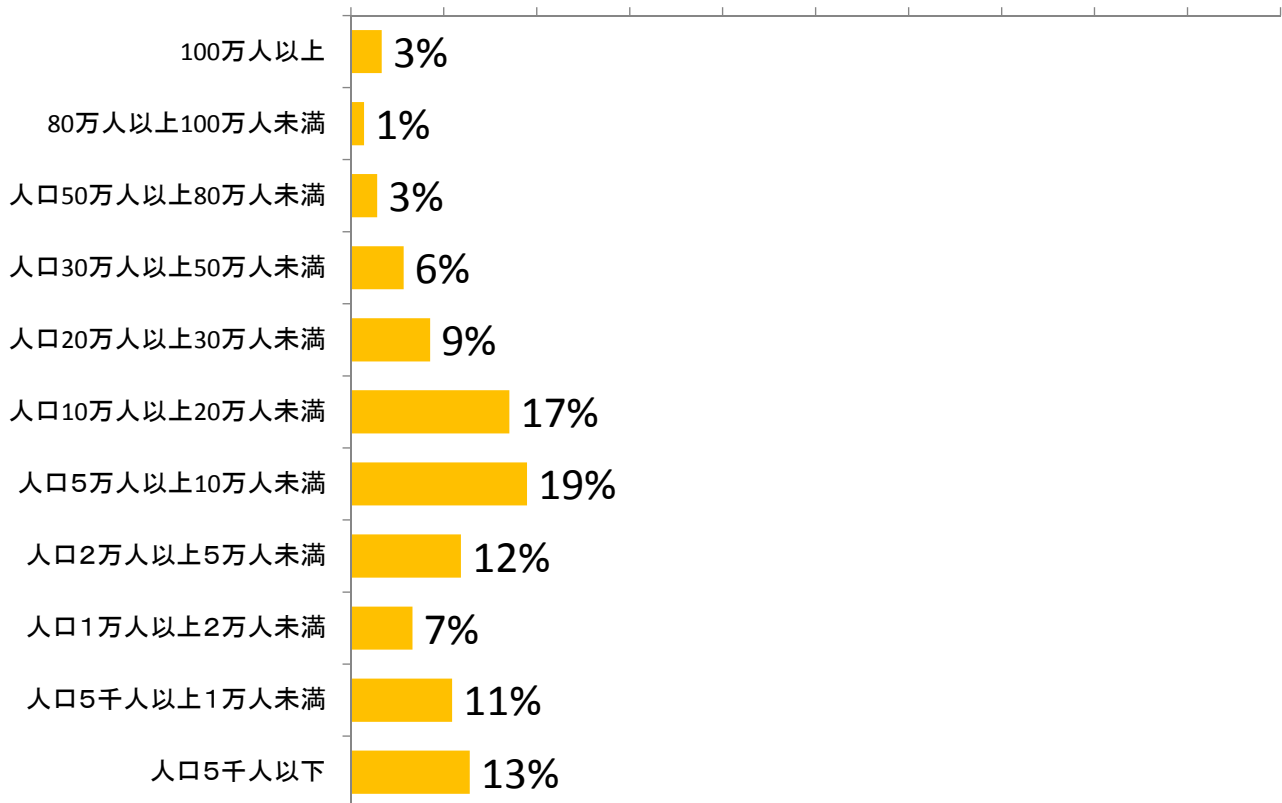
N=1532(小中一貫教育を行っていない市区町村)

小中一貫教育推進の主なねらい



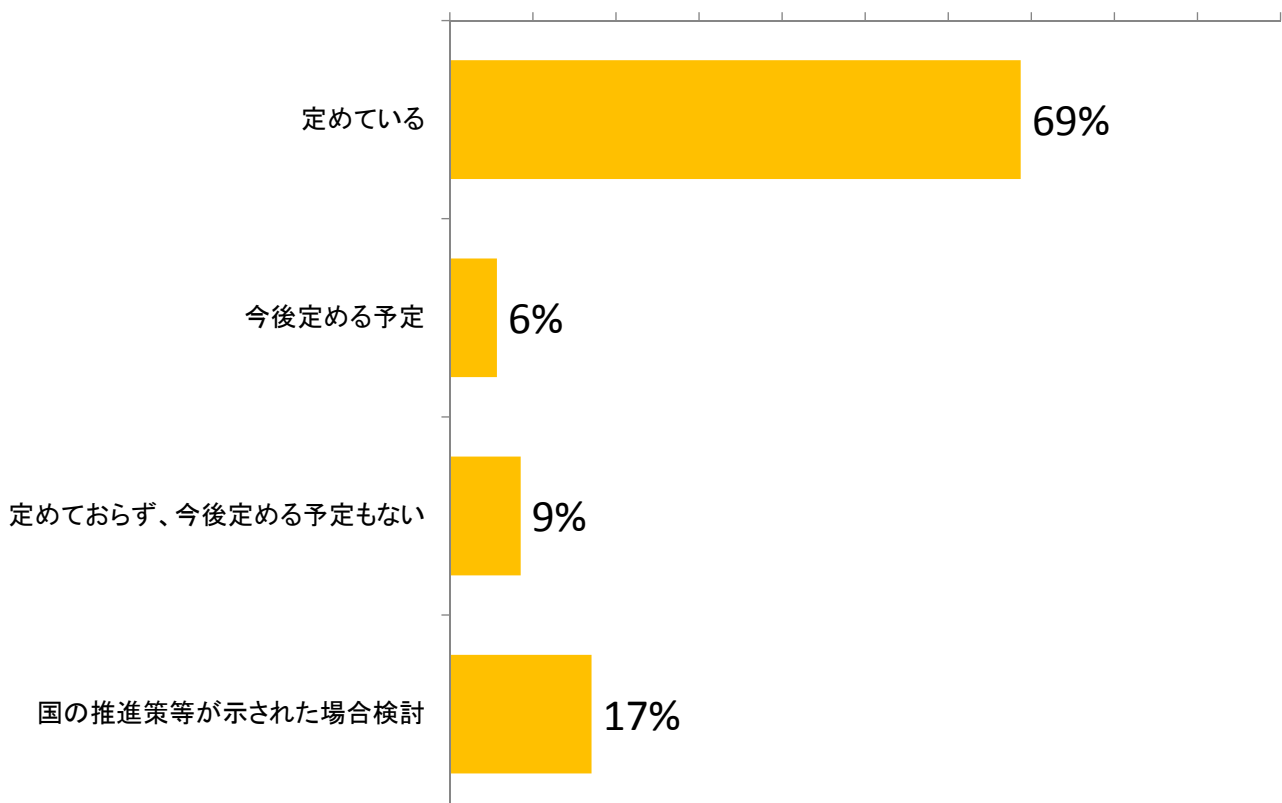
N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育実施市区町村の人口規模



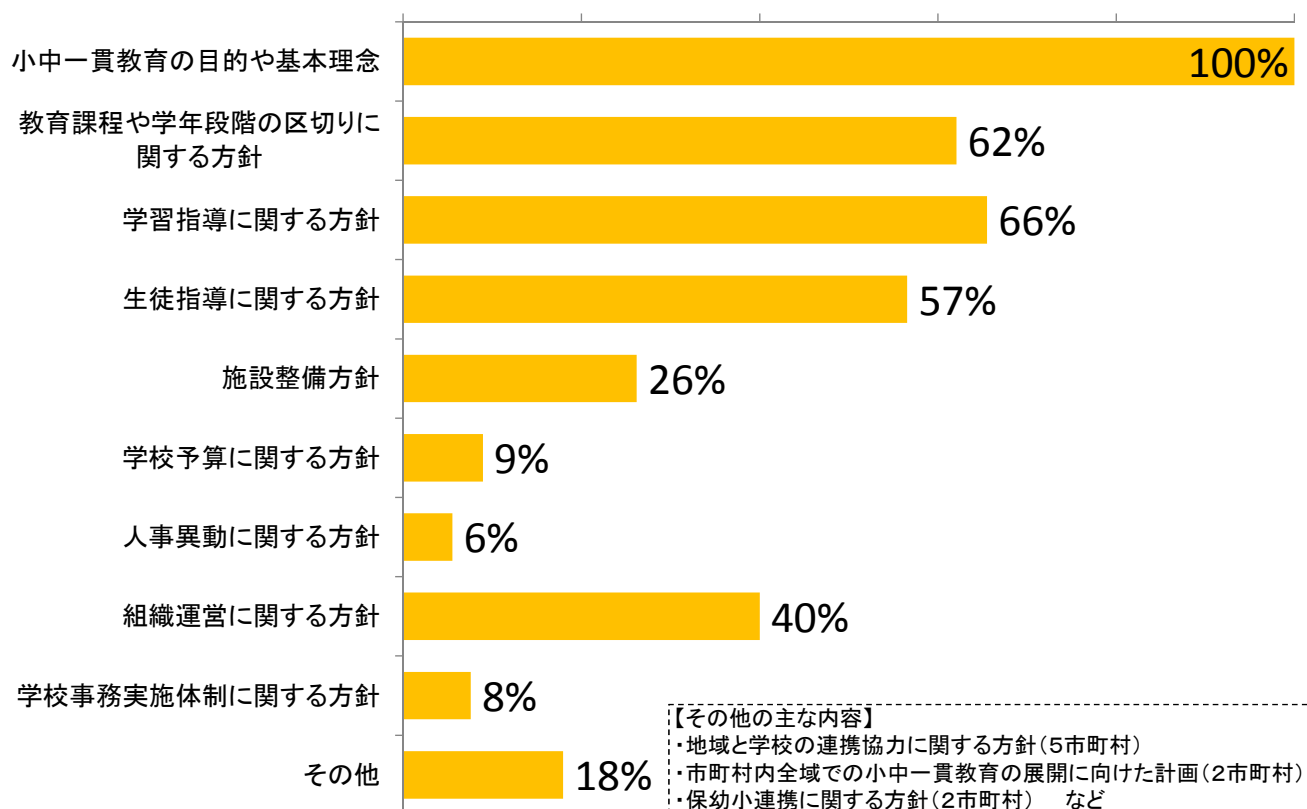
N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育を推進するための方針・計画等策定状況



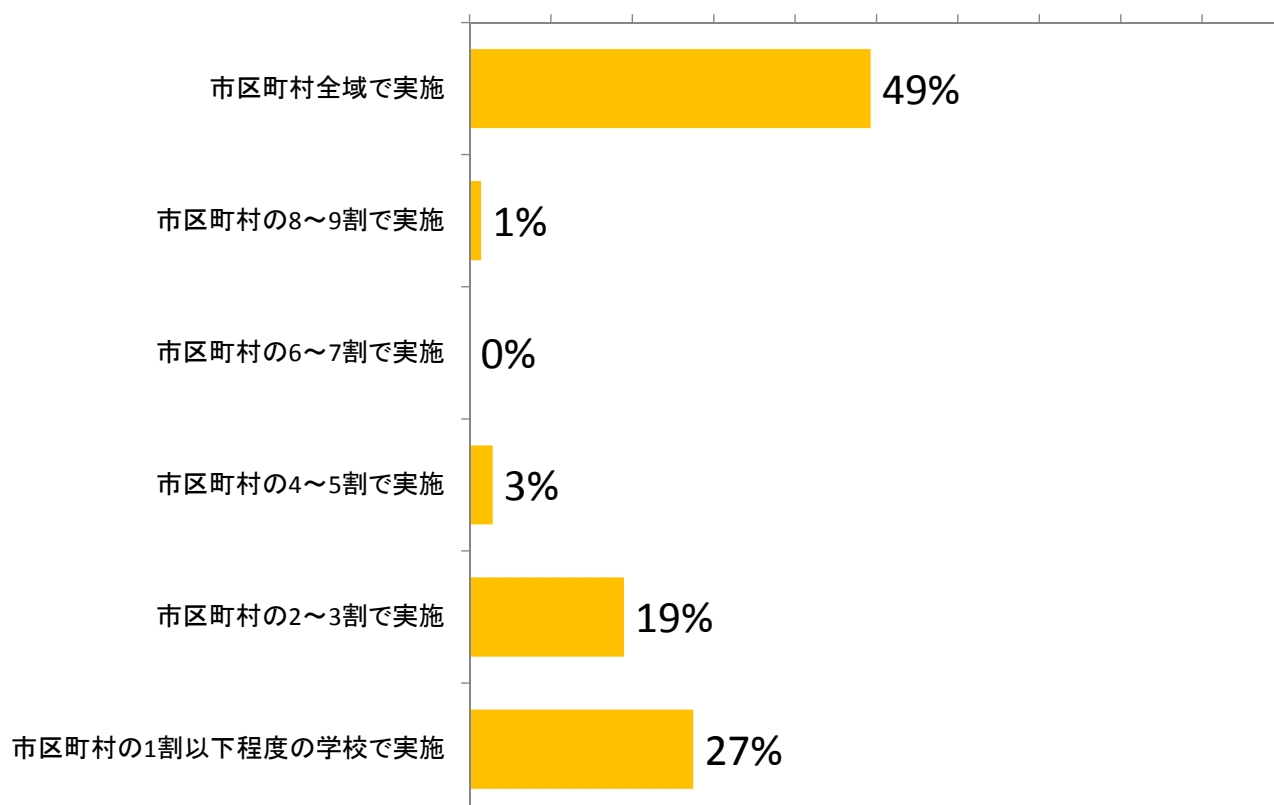
N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育を推進するための方針・計画等の記載事項



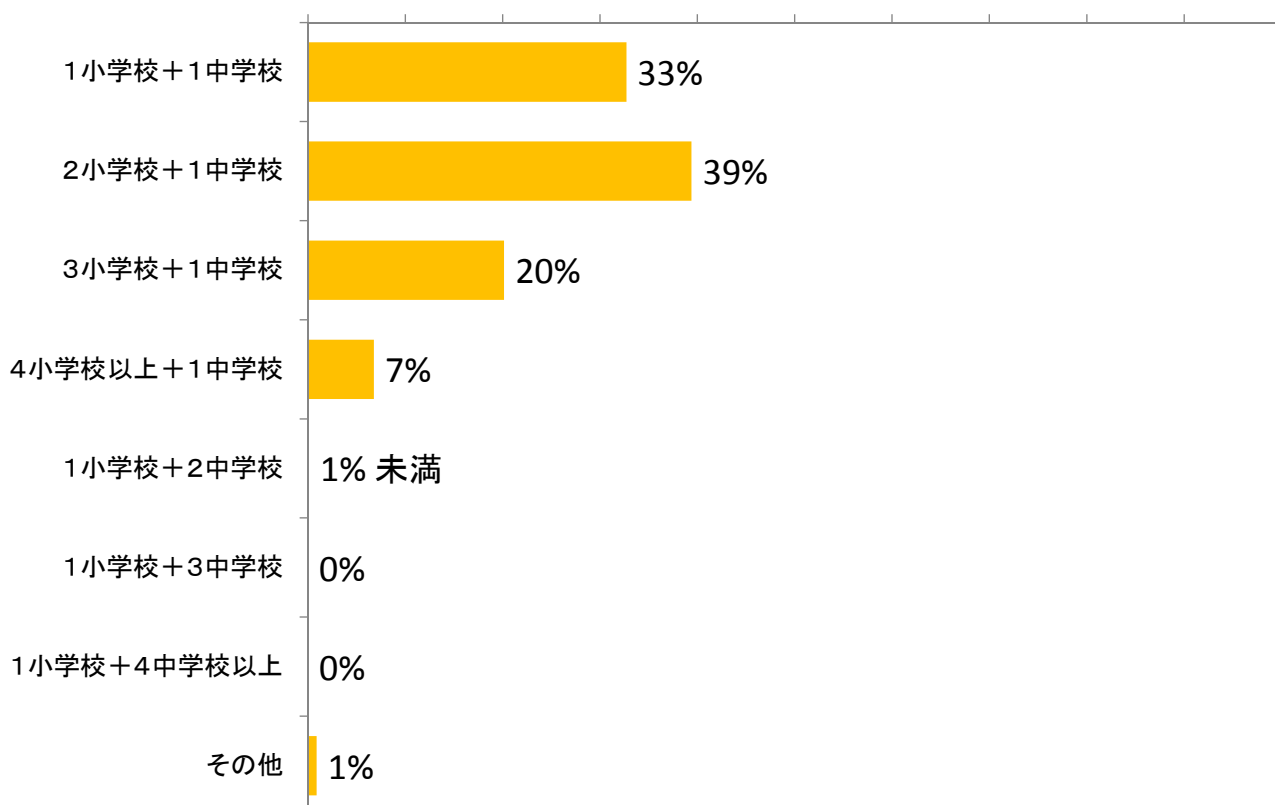
N=145(小中一貫教育を推進するための方針・計画等を策定している市区町村)

市区町村域内での小中一貫教育の実施割合



II 取組形態（～P24）

小中一貫教育の取組に含まれる学校の構成



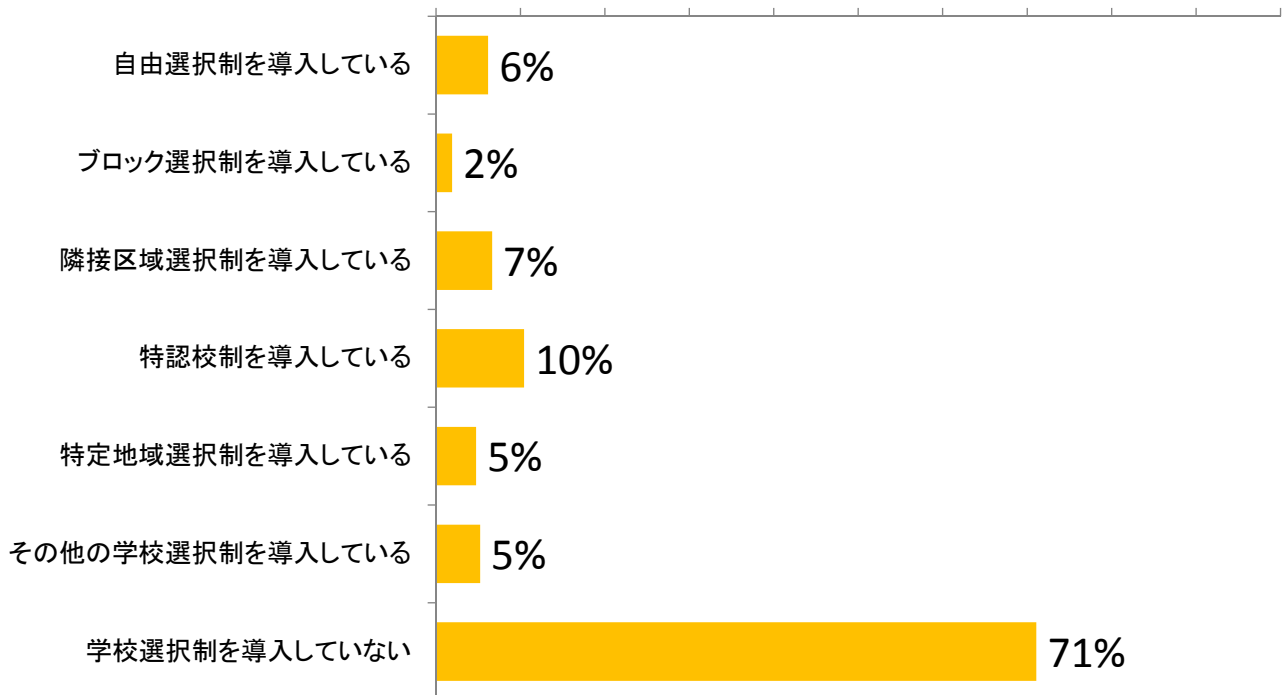
N=1122(小中一貫教育実施件数)

複数校で小中一貫教育に取り組む場合の課題とその解消策

課題	課題解消のための工夫(主なもの)
分割校(※)に伴う課題 (進学先の複数の中学校のどちらと連携をとるかなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・分割校の小中一貫教育担当が2つの中学校区の一貫教育推進協議会に参加 ・コーディネーターの配置 ・2中学校を同一の小中一貫教育に位置付け ・可能な限り両方の中学校区を取組を実施 ・校区再編の検討
複数の小学校間の取組の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の共通の目標等を明示したグランドデザインの作成 ・学校評議員の合同組織を立ち上げて教育内容の共通化の検討を行う ・合同の会議、情報交換会、研修会の実施 ・コーディネーターの配置
学校間が遠距離となることに伴う、交流のための移動手段・時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの活用 ・バス代等について予算措置 ・テレビ会議システムの活用 ・コーディネーターを中心として調整を行う ・中学校区でカレンダーを作り、年間計画にあらかじめ交流の日を位置付けて計画的に実施

※分割校:一つの小学校から複数の中学校に分かれて進学することとなる小学校

小中一貫教育校と学校選択制との関係



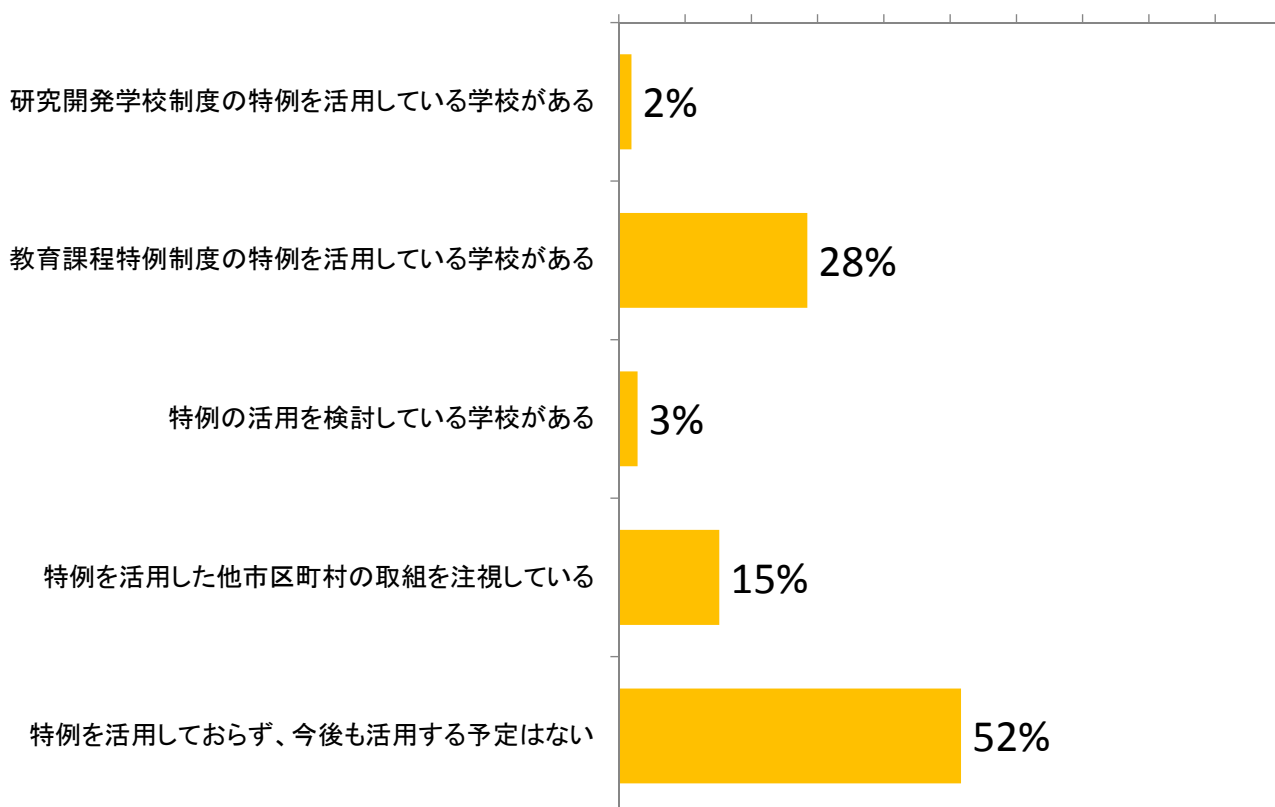
N=211(小中一貫教育実施市区町村)

【参考:学校選択制の種類】

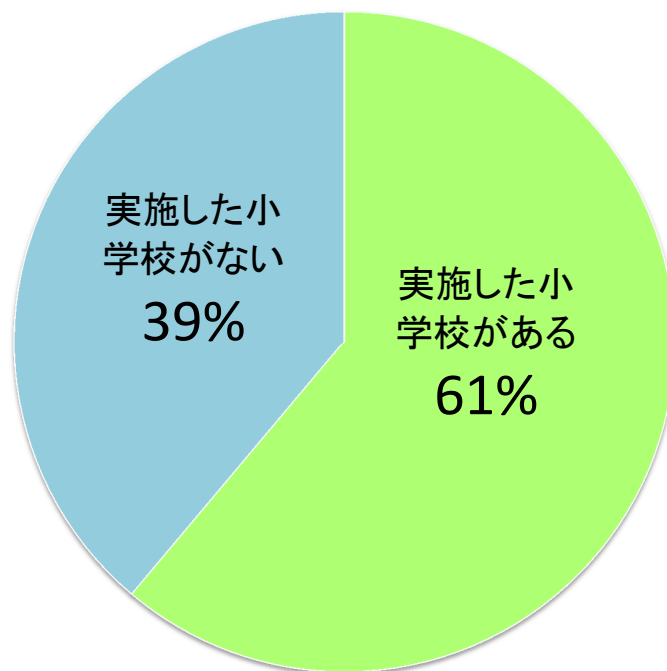
- 自由選択制 当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの
- ブロック選択制 当該市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの
- 隣接区域選択制 従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの
- 特認校制 従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの
- 特定地域選択制 従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めるもの

III 教育課程・指導方法（～P26）

教育課程の特例を認める制度を活用した小中一貫教育の推進状況



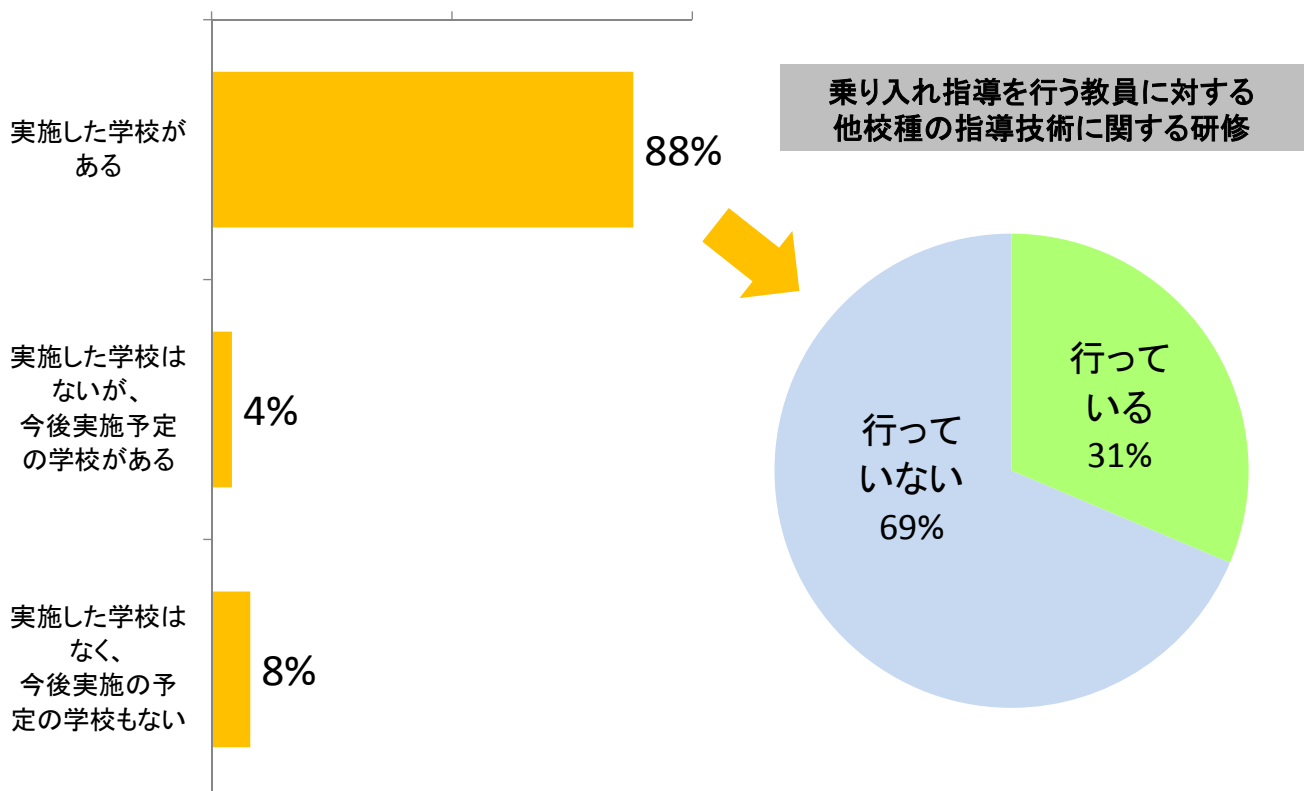
小中一貫教育推進のため教科担任制を実施した小学校



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

※平成25年度時点

小・中学校教員の乗り入れ授業を年間にわたり計画的かつ継続的に実施

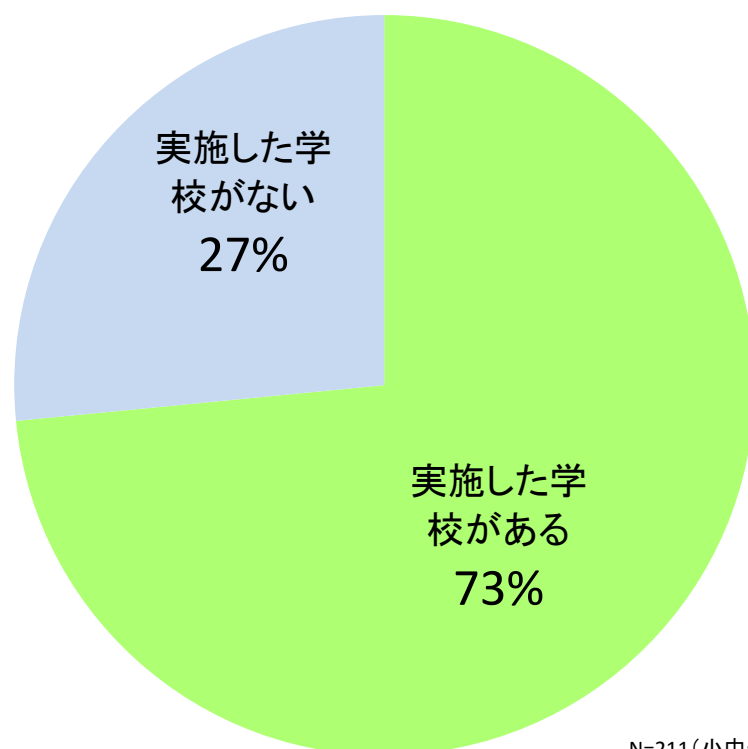


N=211(小中一貫教育実施市区町村)

N=185 / 211

IV 組織・マネジメント（～P28）

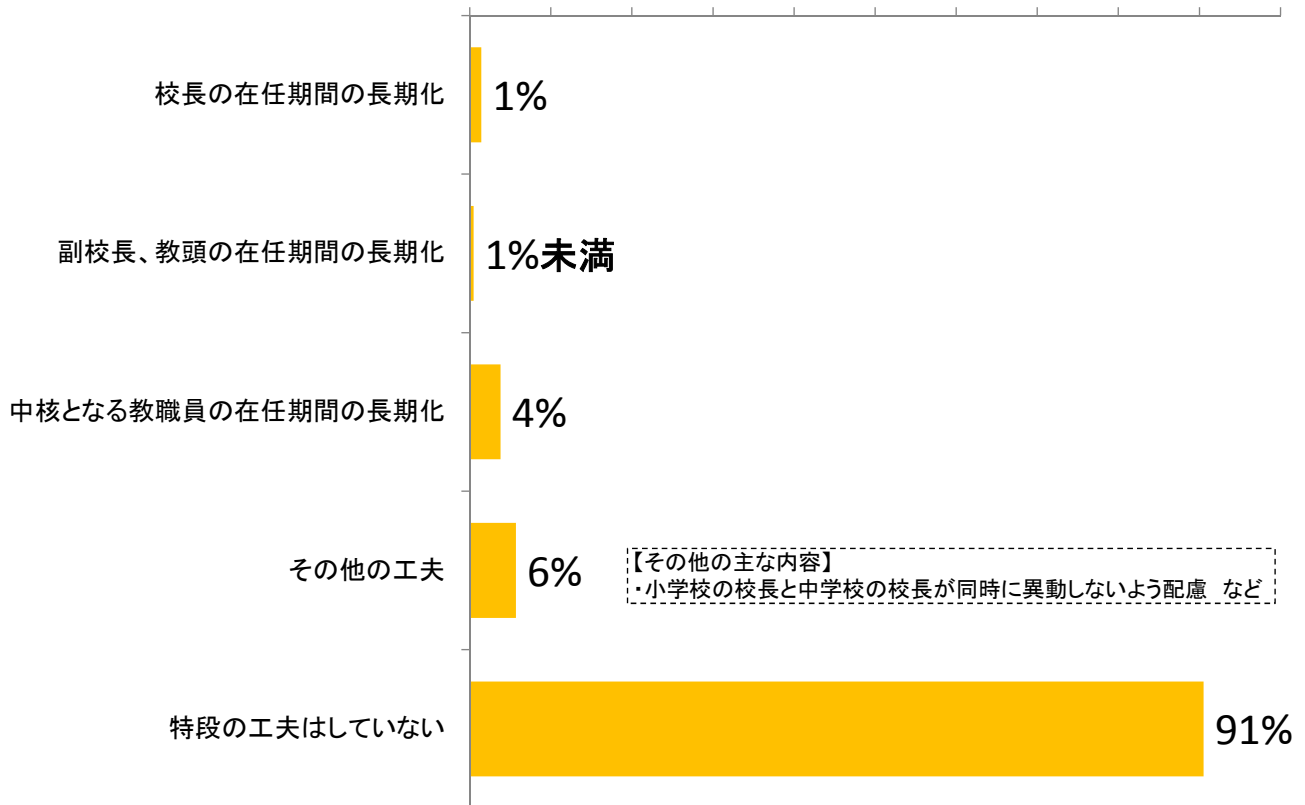
小中一貫教育の推進目的での教職員の兼務発令



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

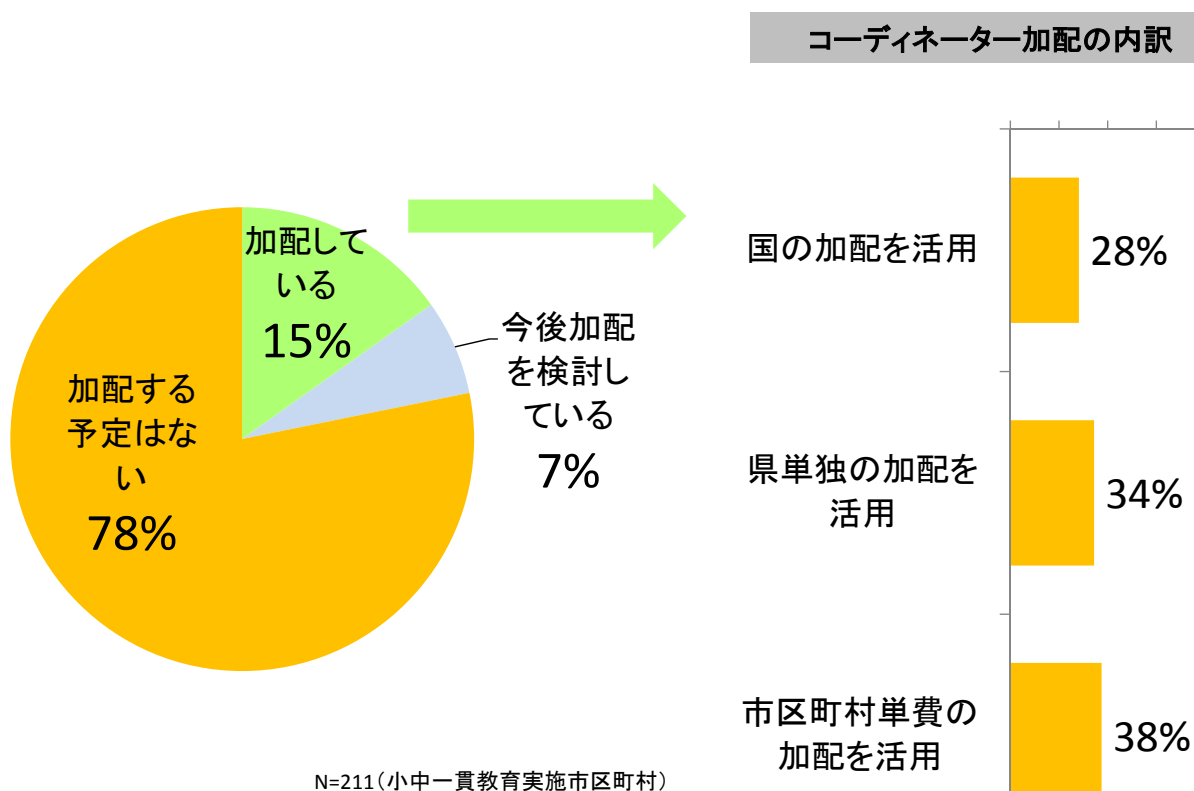
※平成25年度時点

小中一貫教育を推進するための教職員の異動年限の工夫



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育を行うためのコーディネーターの加配状況

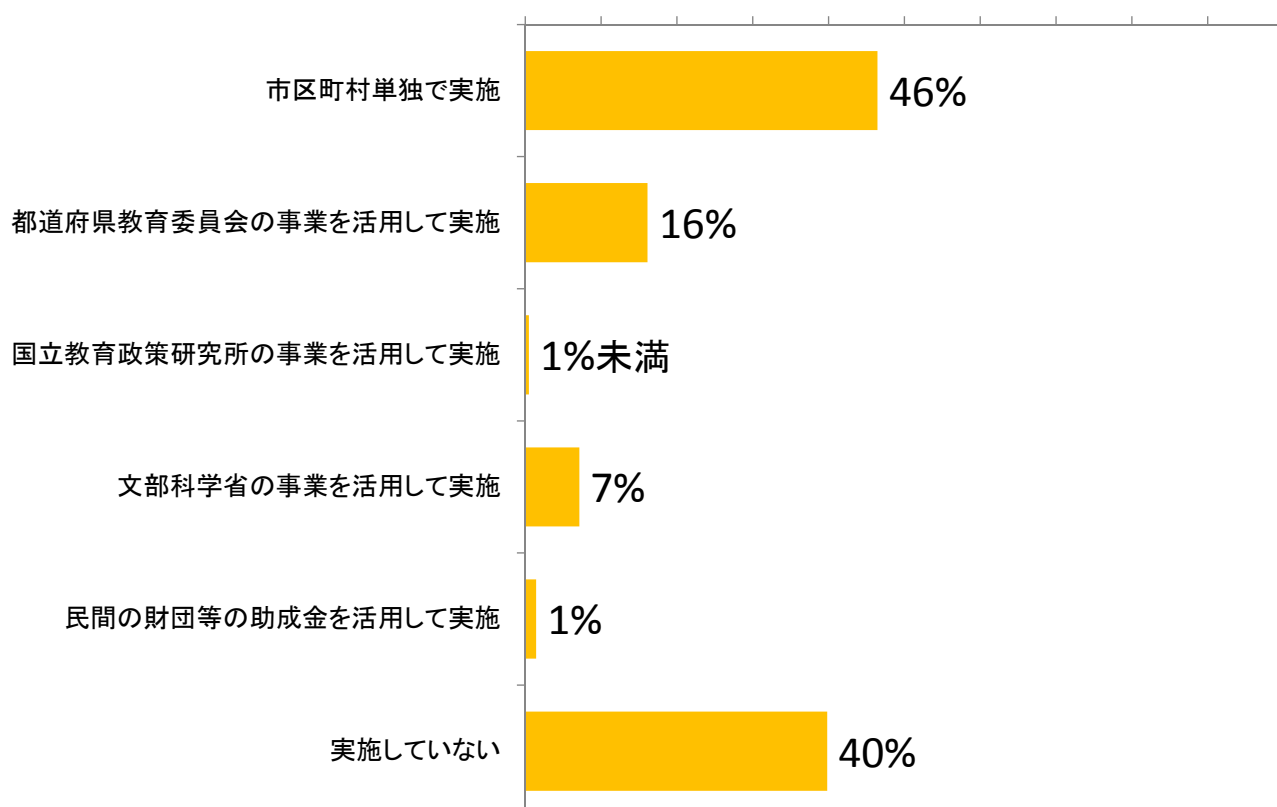


N=211(小中一貫教育実施市区町村)

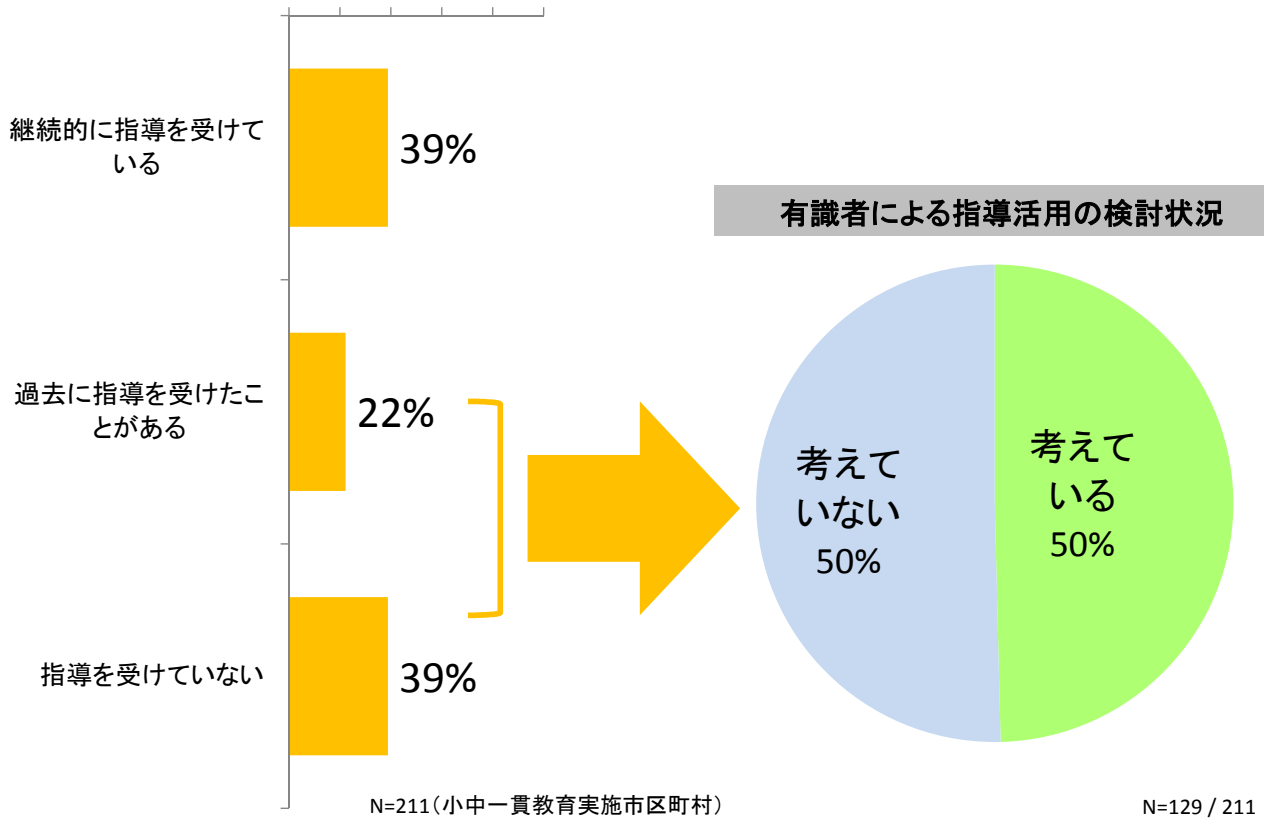
N=32 / 211

V その他の推進方策（～P30）

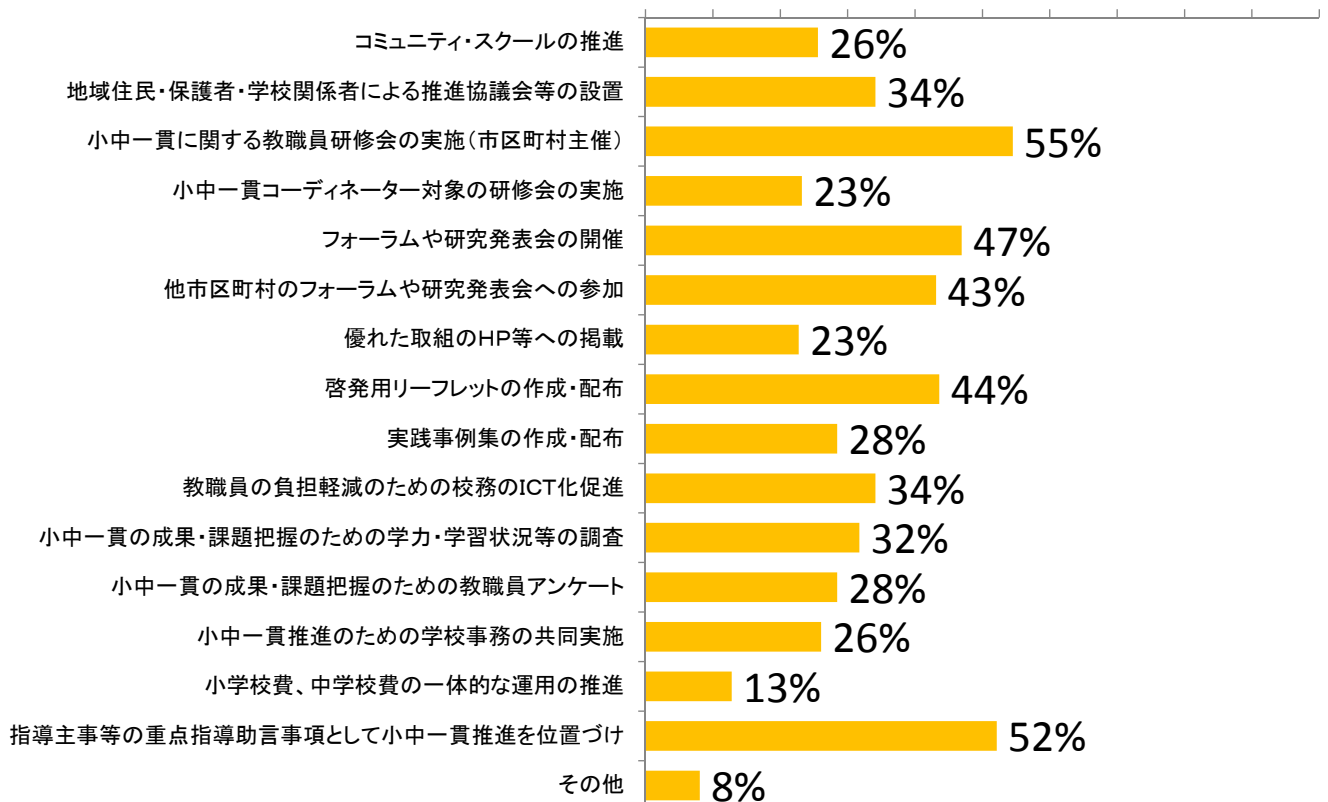
小中一貫教育に関する研究指定事業



外部の有識者(大学教授、先進地域の関係者等)からの指導助言



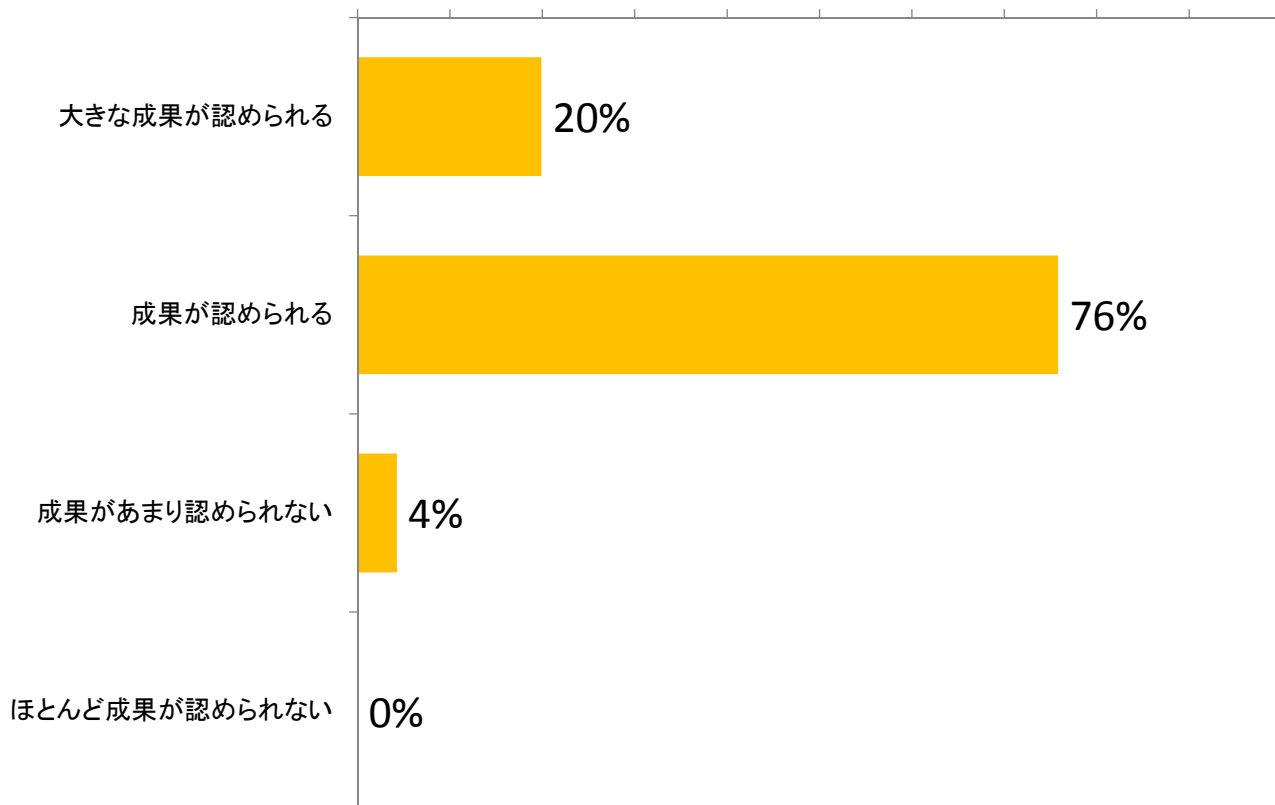
その他、小中一貫推進のために取り組んでいる事項





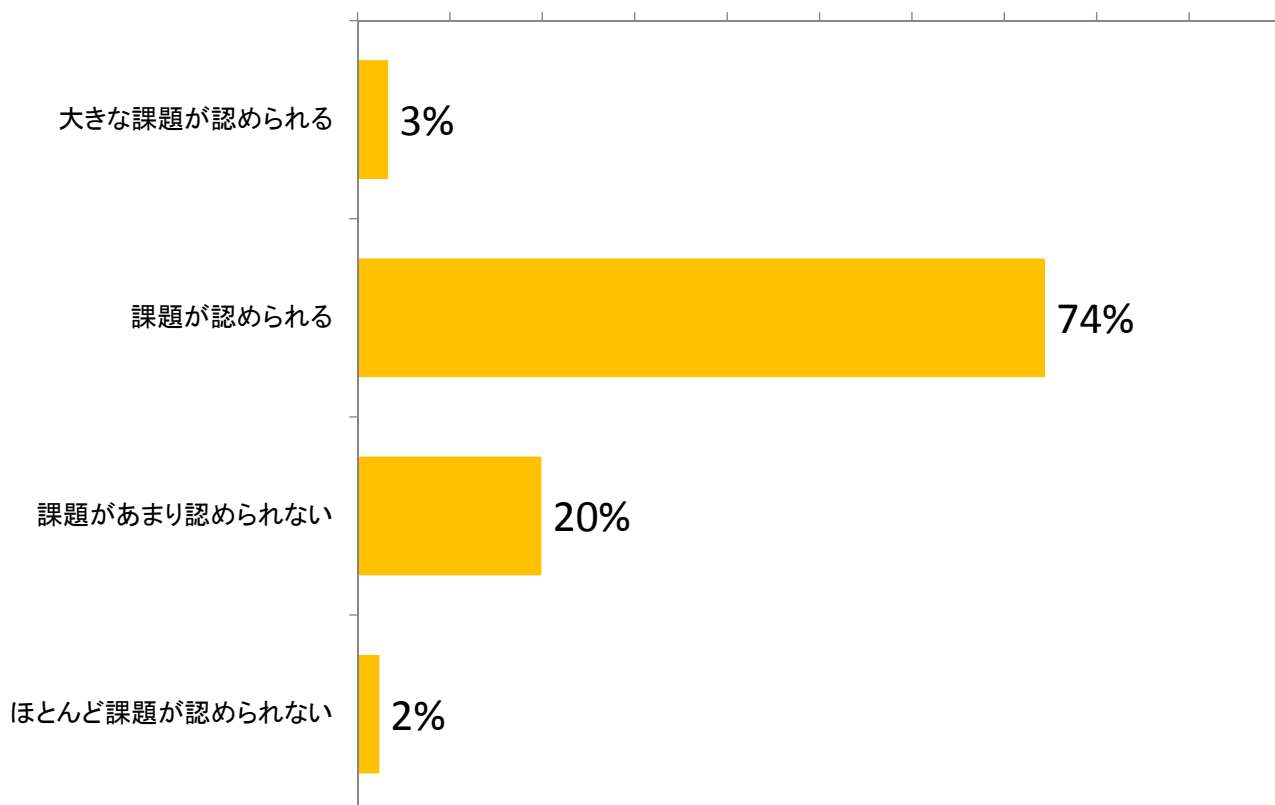
VI 成果・課題など（～P35）

小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)

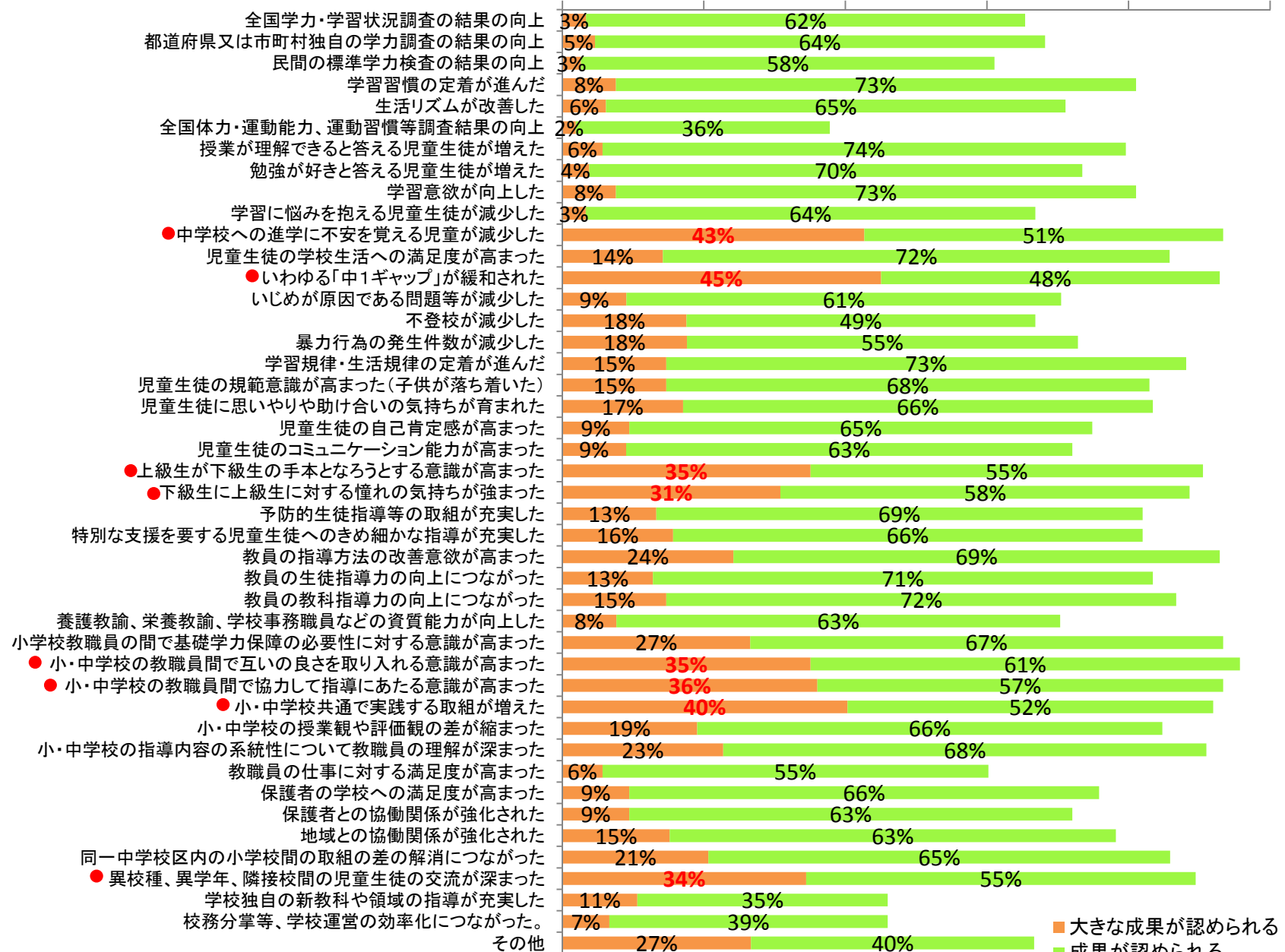


N=211(小中一貫教育実施市区町村)

小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(課題)



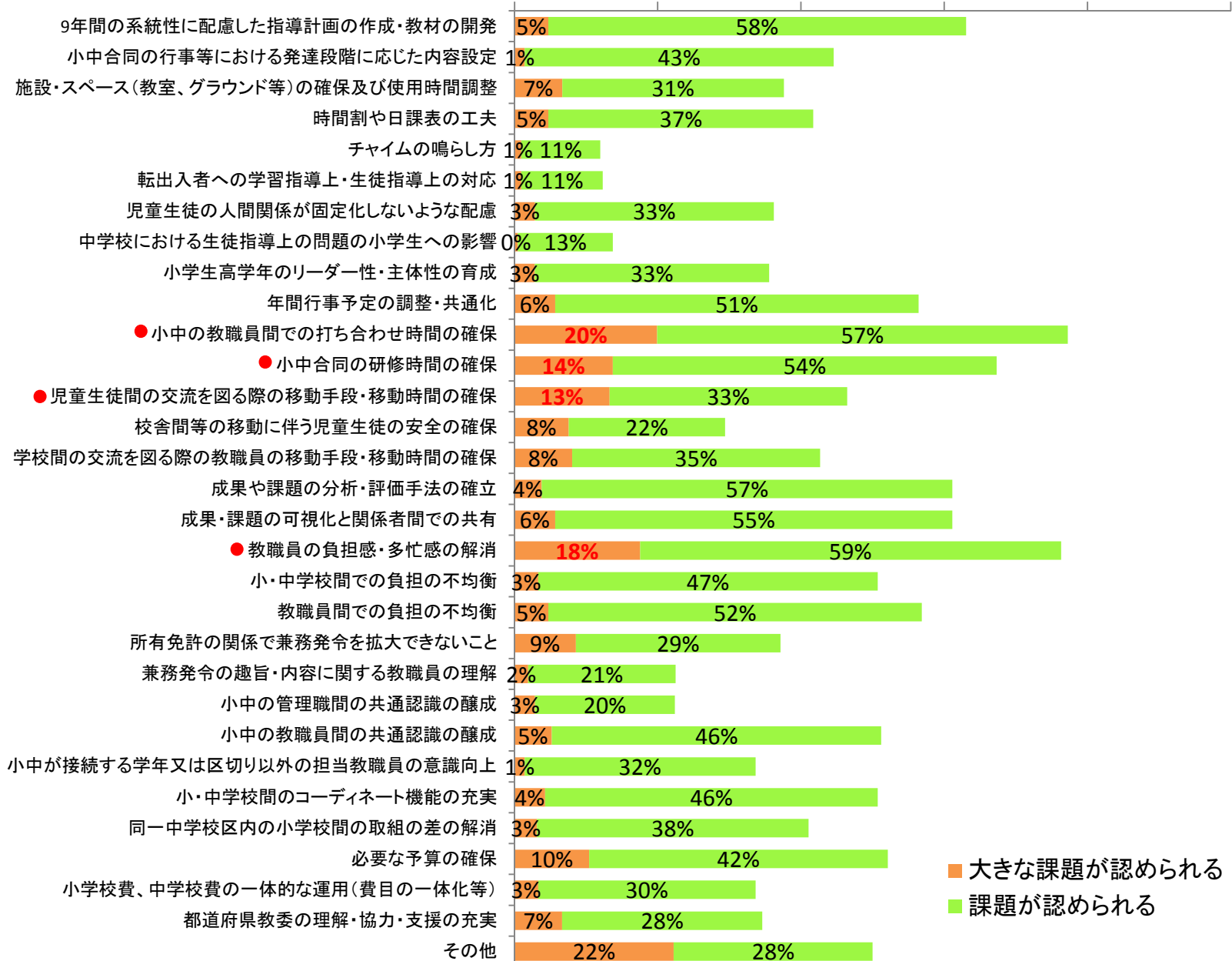
小中一貫教育の成果



N=211(小中一貫教育実施市区町村)

※「大きな成果が認められる」の回答が特に多い項目については●で示している。

小中一貫教育の課題

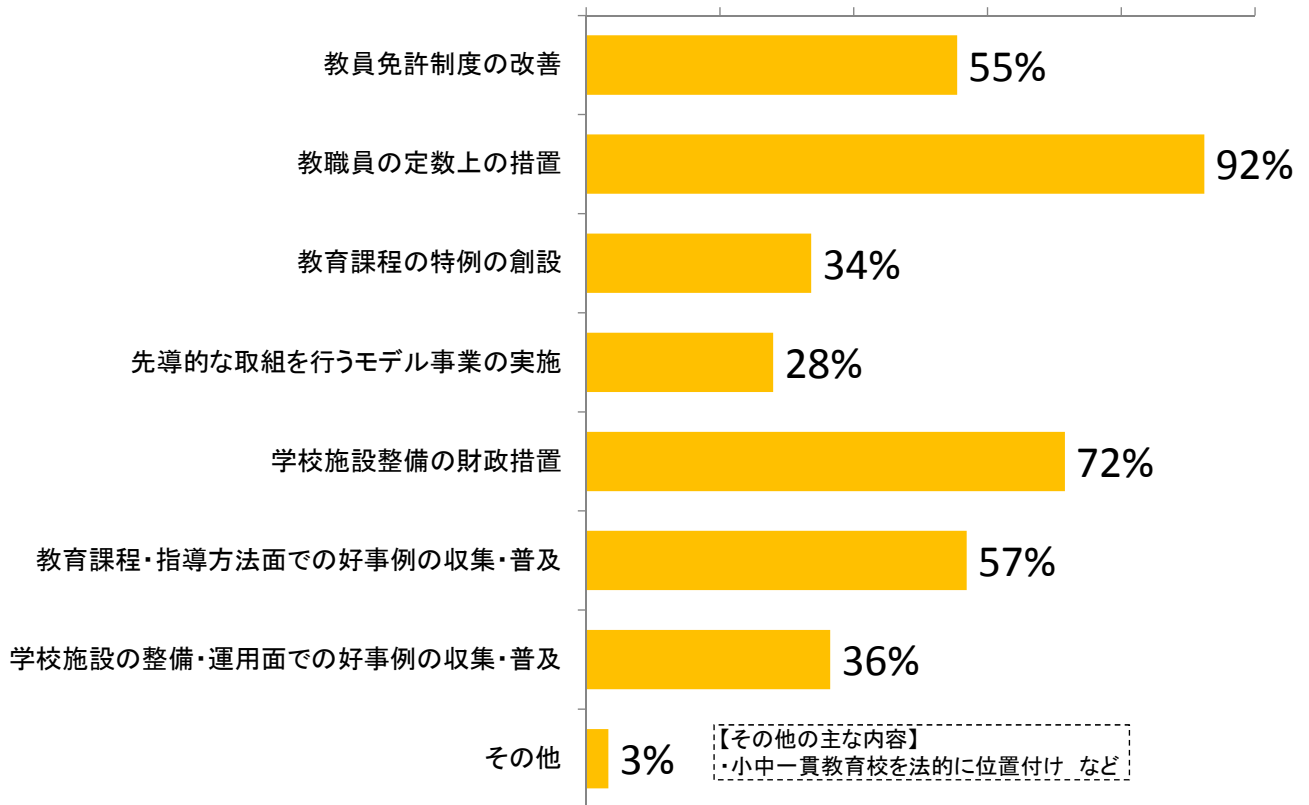


■ 大きな課題が認められる
■ 課題が認められる

N=211(小中一貫教育実施市区町村)

※「大きな課題が認められる」の回答が特に多い項目については●で示している。

国に期待している取組



N=211



小中一貫教育を行う学校への調査

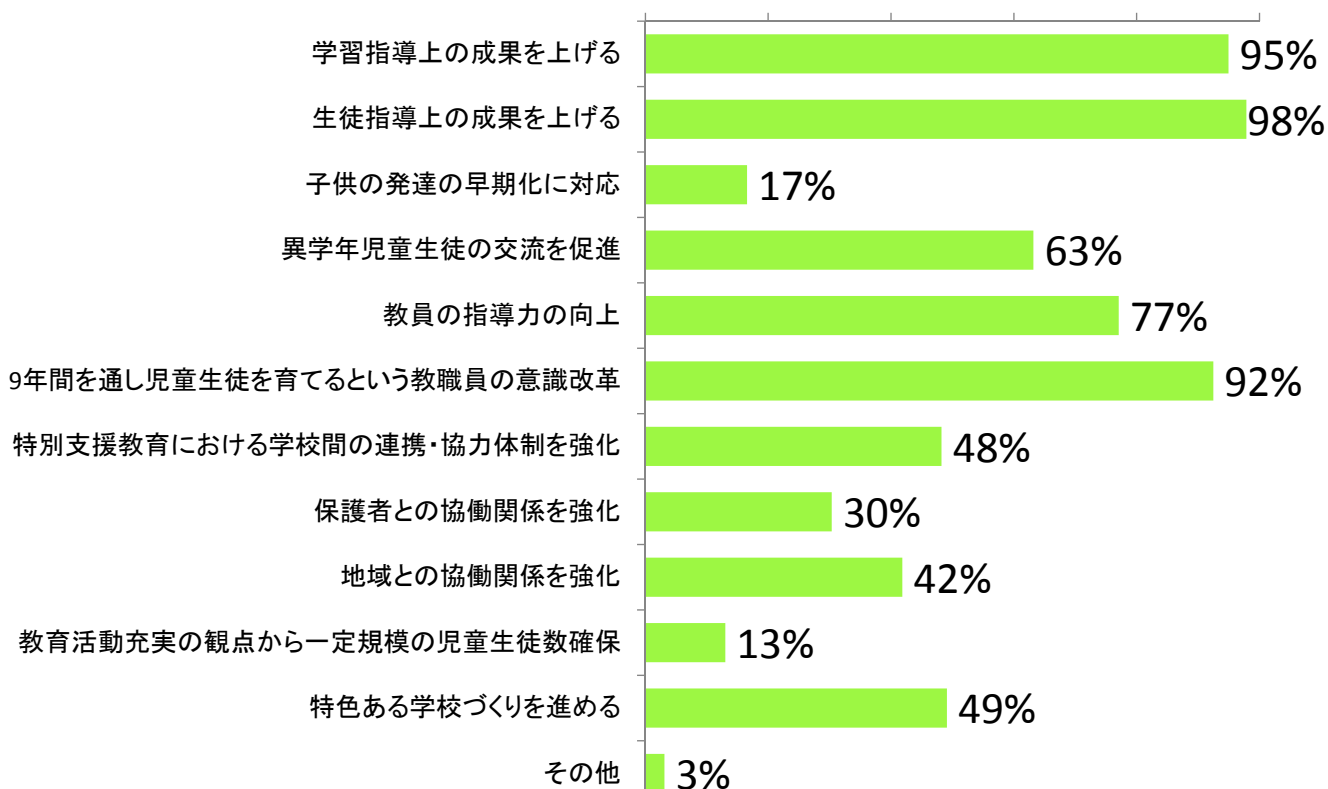


(小中一貫教育の実施件数：1130件)

- I 施設・取組形態など 【39】
- II 教育課程・指導方法 【44】
- III 組織・マネジメント 【50】
- IV その他の取組 【67】
- V 成果・課題など 【71】

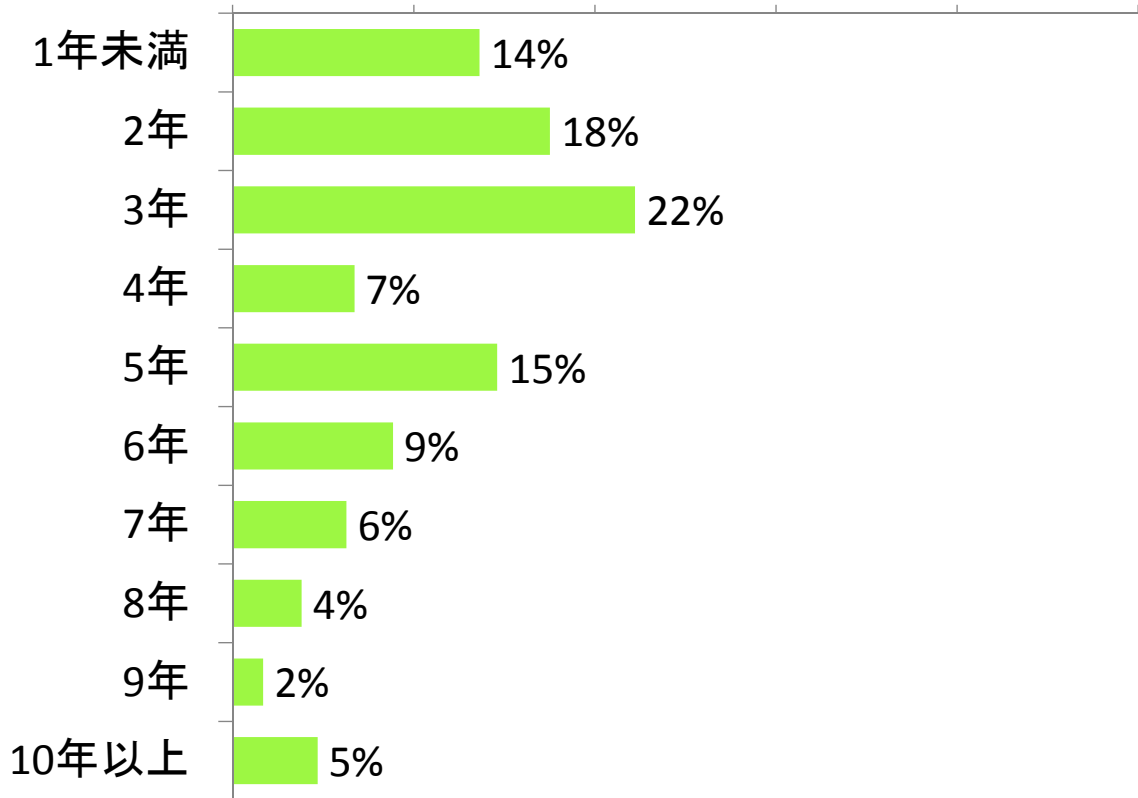
I 施設・取組形態など（～P43）

小中一貫教育の主なねらい



N=1130(小中一貫教育実施件数)

小中一貫教育開始からの経過年数

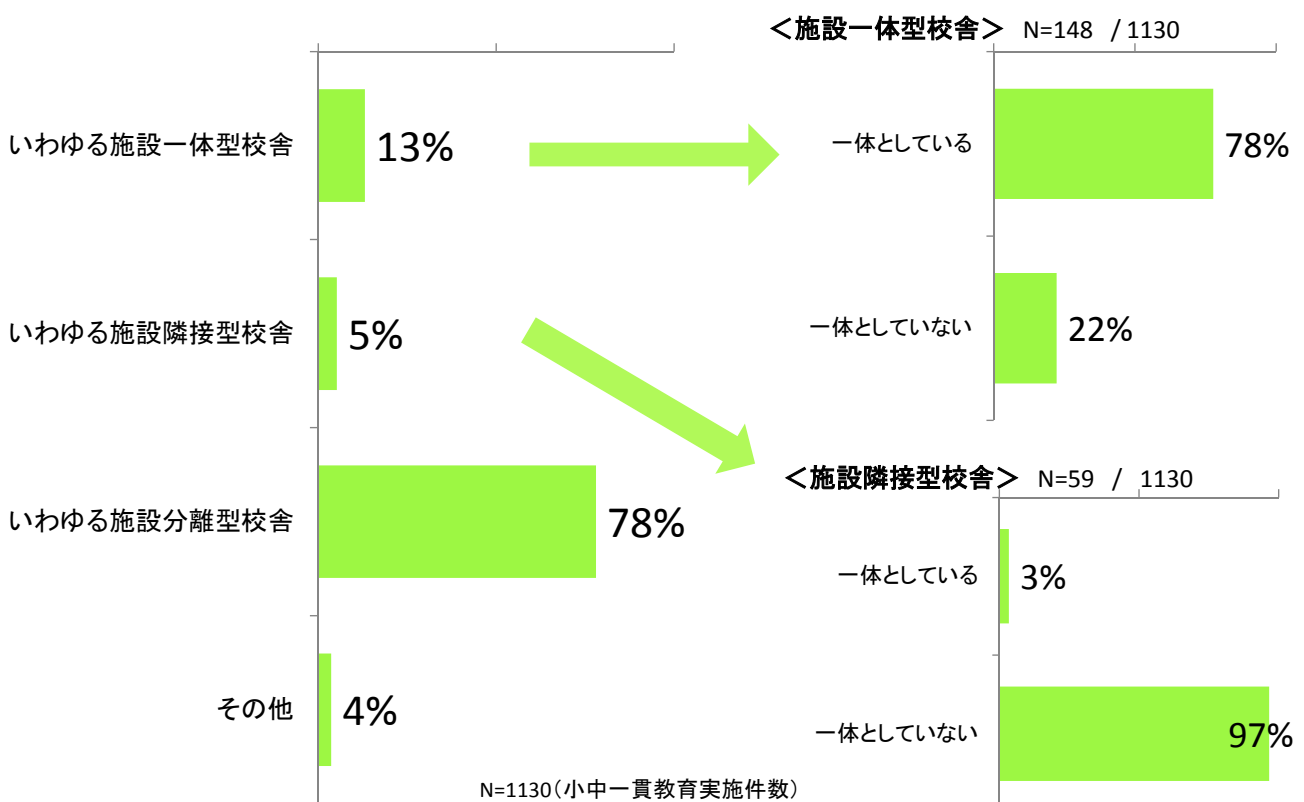


N=1130(小中一貫教育実施件数)

校舎設置状況

校舎設置状況

職員室を一体化しているか



N=1130(小中一貫教育実施件数)

【参考】 小中一貫教育における校舎の設置状況の分類

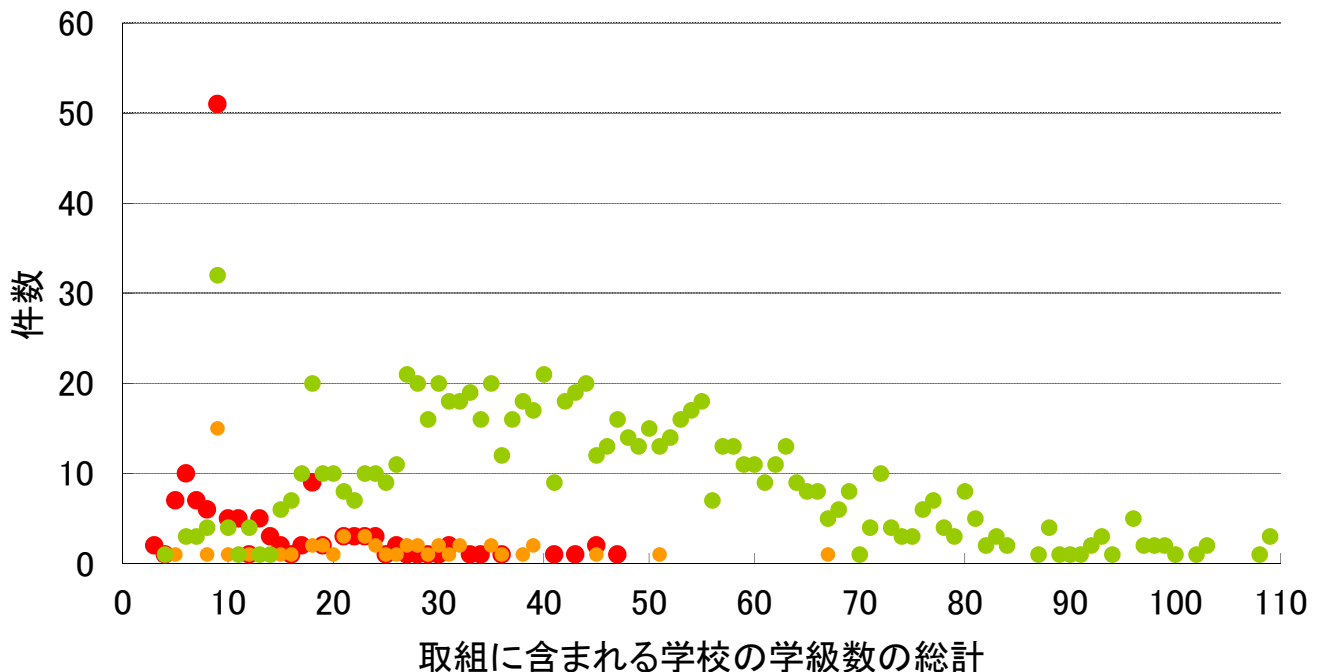
区分	校舎の設置状況
<p>① 【いわゆる施設一体型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている (小学校と中学校の校舎が渡り廊下等でつながっているものを含む)</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>② 【いわゆる施設隣接型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>③ 【いわゆる施設分離型校舎】</p> <p>小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている</p>	<p>(イメージ)</p>
<p>④ その他</p> <p>施設一体型校舎と施設分離型校舎が併存している場合など</p>	<p>(イメージ)</p>

注) □ は校舎を、■ は敷地を示す。

5

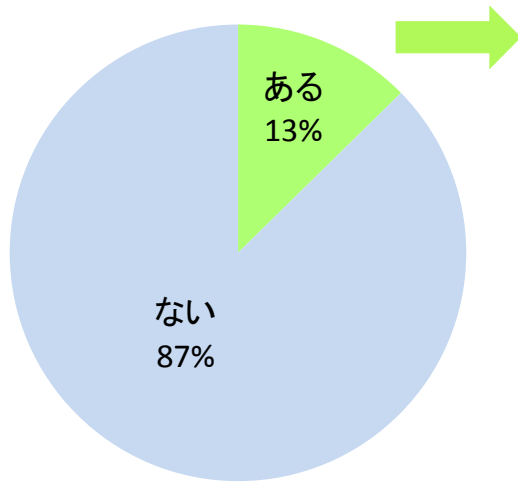
施設形態別 学級数分布

● 施設一体型 ● 施設隣接型 ● 施設分離型



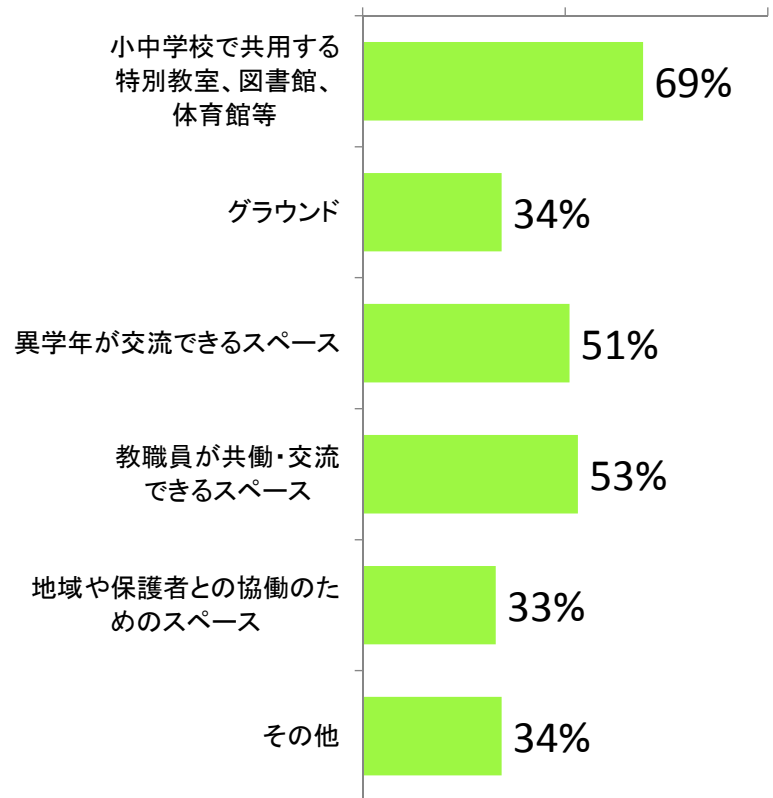
小中一貫教育を行う上での施設やスペースの整備状況

新たに整備した施設やスペースの有無



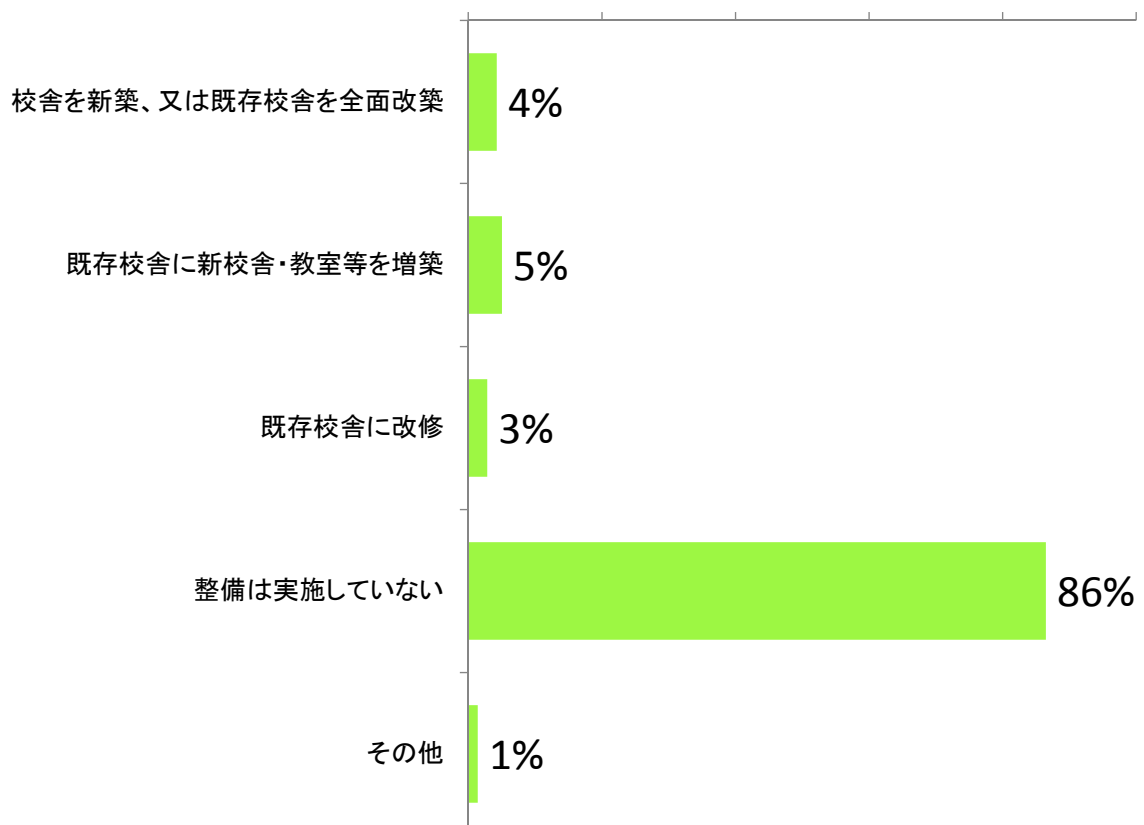
N=1130(小中一貫教育実施件数)

整備箇所



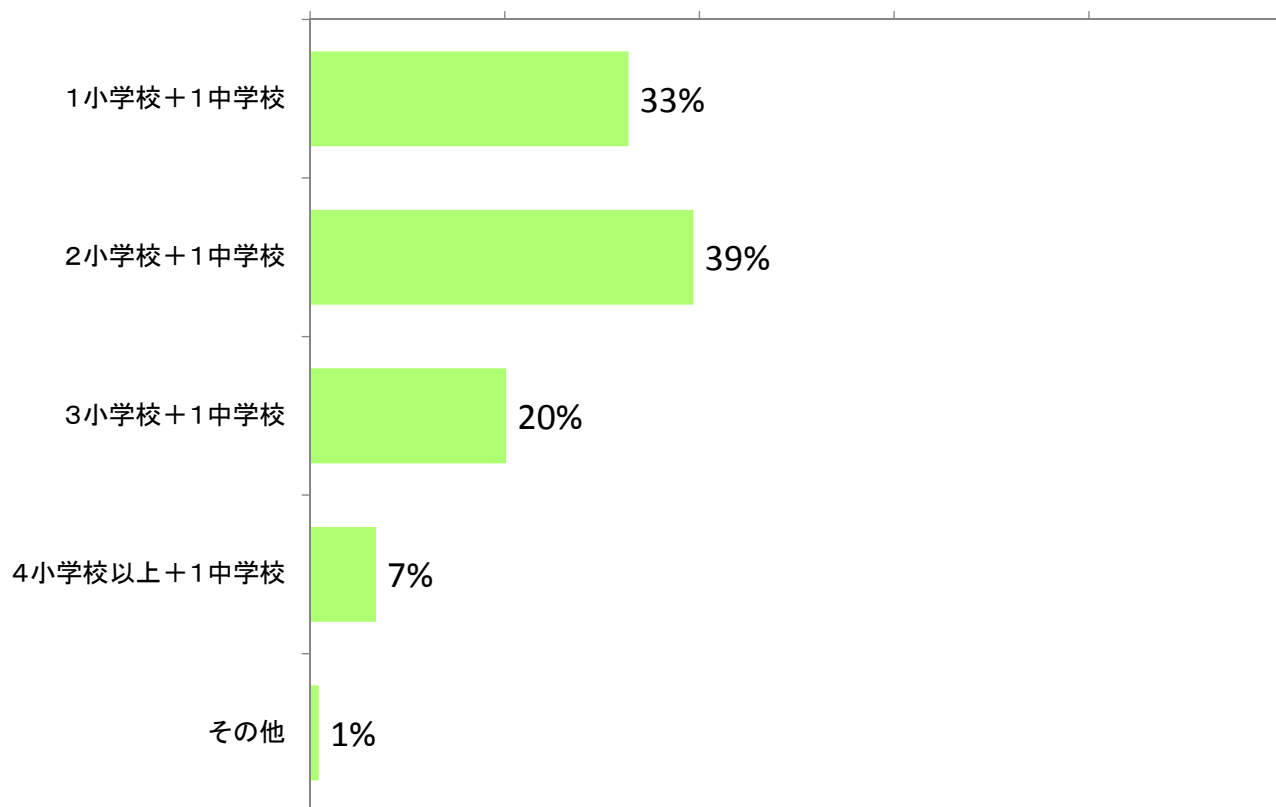
N=143 / 1130

小中一貫教育を行う上での校舎の整備状況



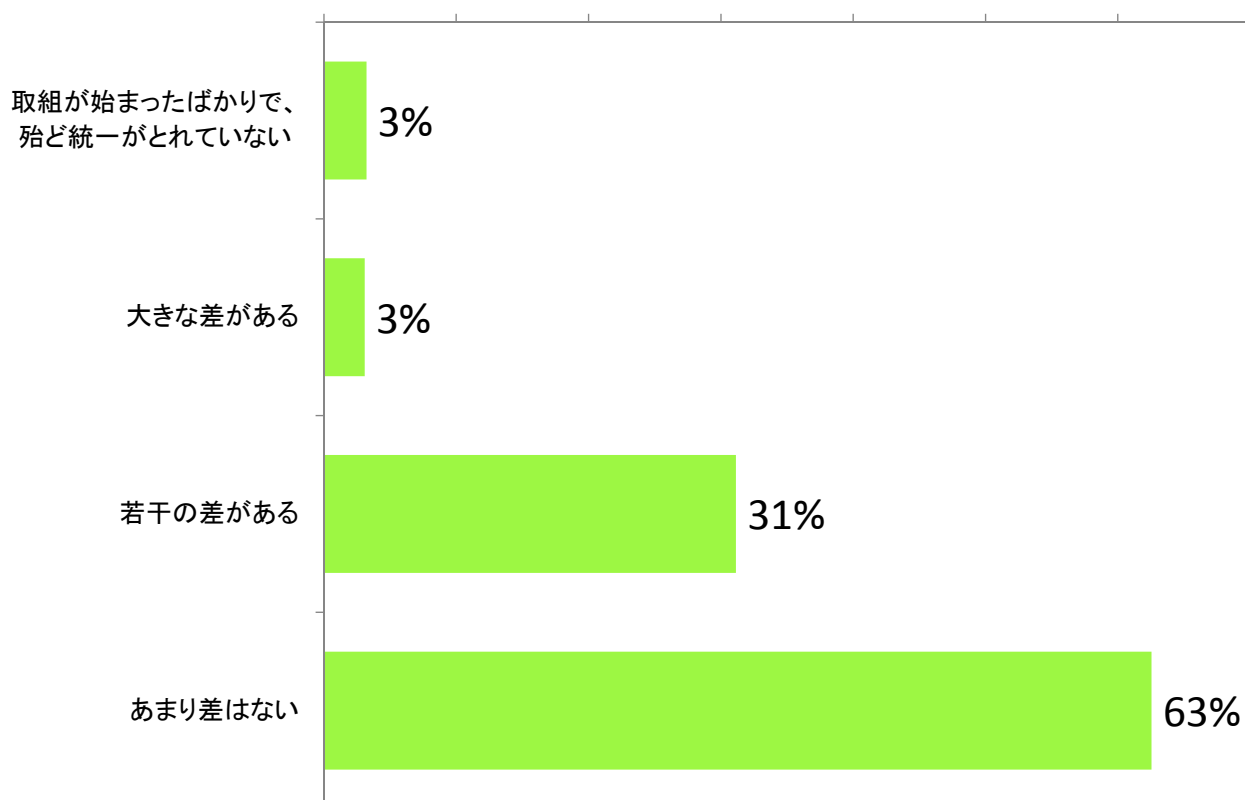
N=1130(小中一貫教育実施件数)

小中一貫教育に取り組む学校の組み合わせ



N=1130(小中一貫教育実施件数)

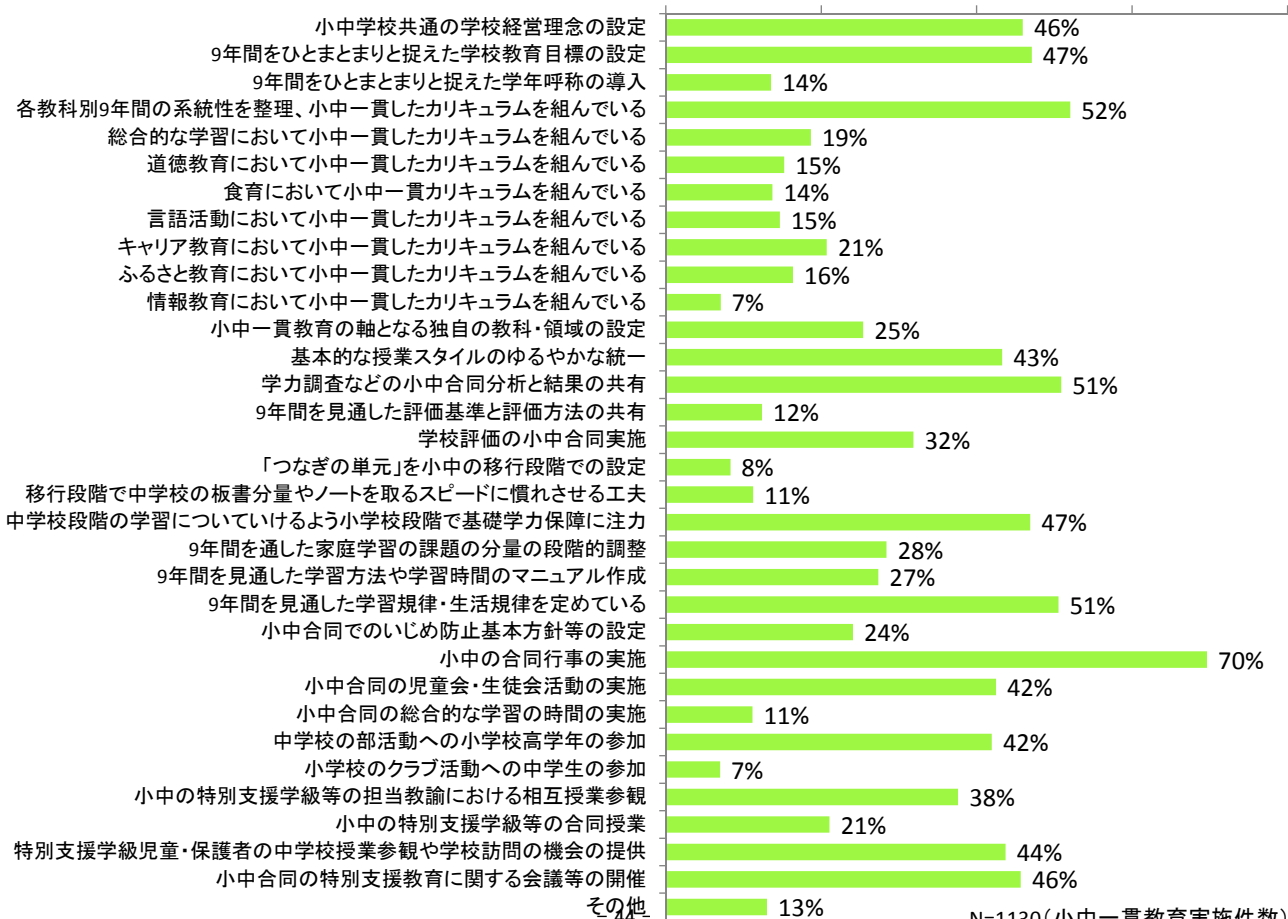
小学校間の取組の差(複数の小学校が小中一貫教育の取組に含まれる場合)



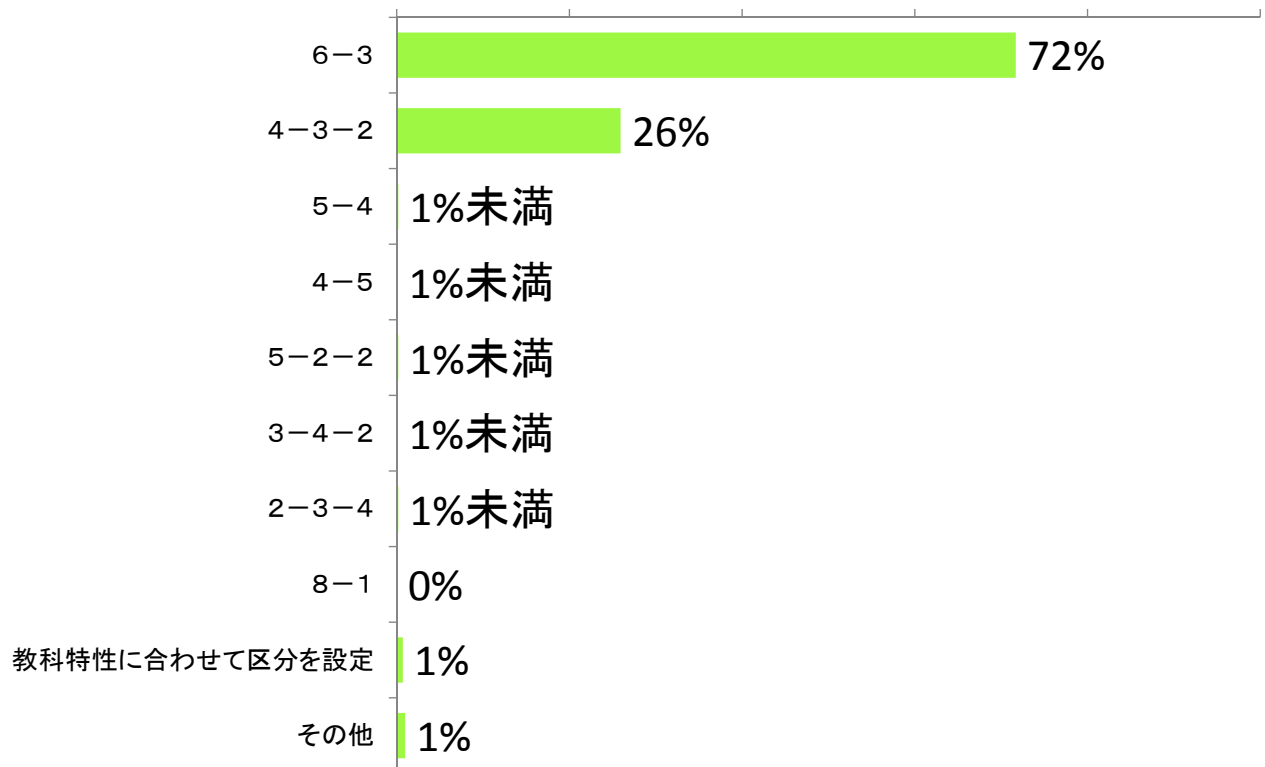
N=745(複数の小学校が含まれる小中一貫教育の実施件数)

II 教育課程・指導方法（～P50）

9年間の教育課程・指導方法の系統性・連続性の確保のための取組

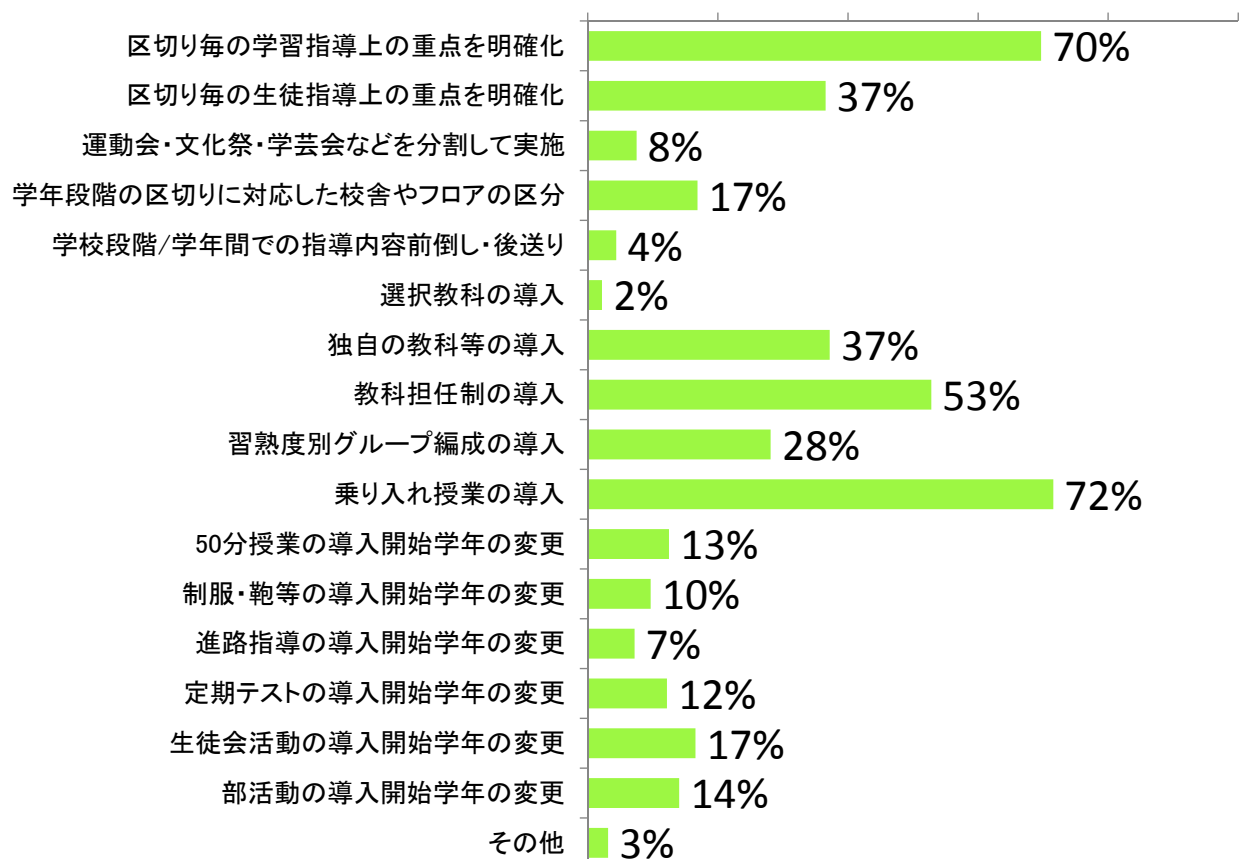


学年段階の区切りの状況

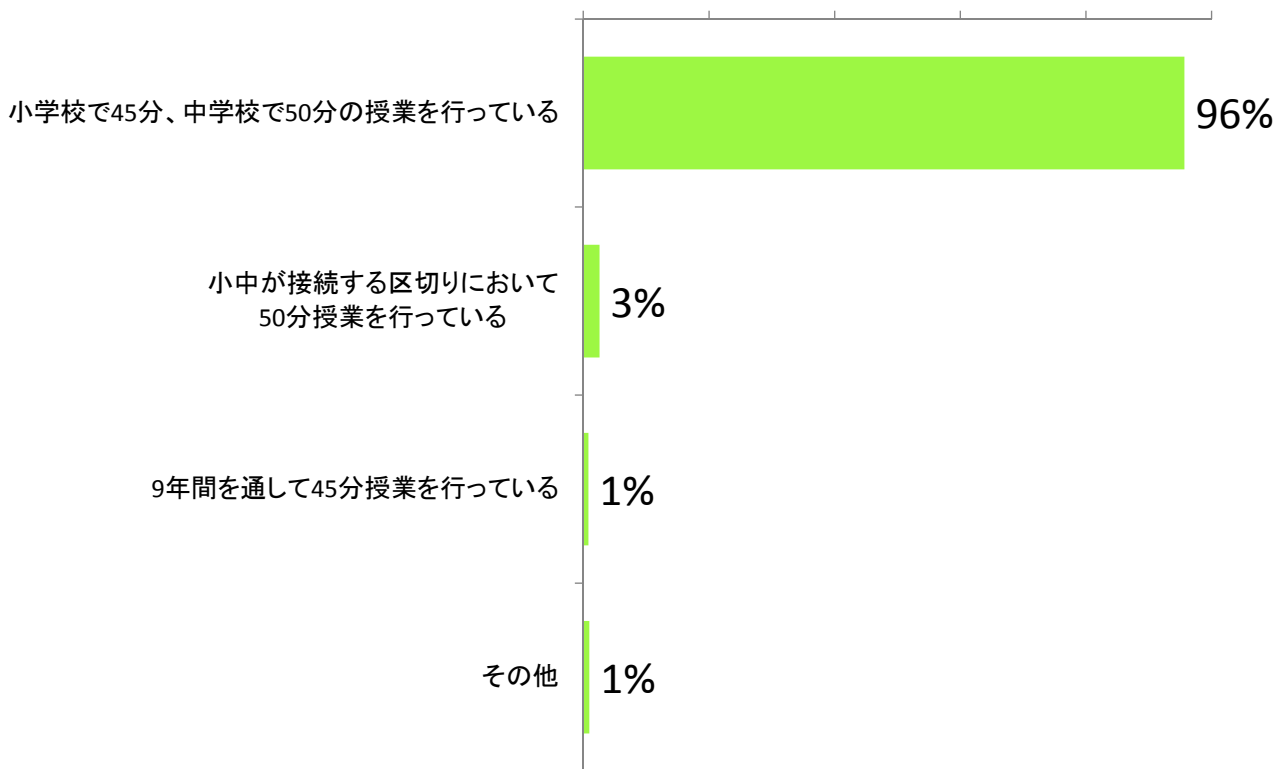


N=1130(小中一貫教育実施件数)

学年段階の区切りの設定に係る具体的取組(学年区切りが6-3以外の場合)



授業時間の設定状況

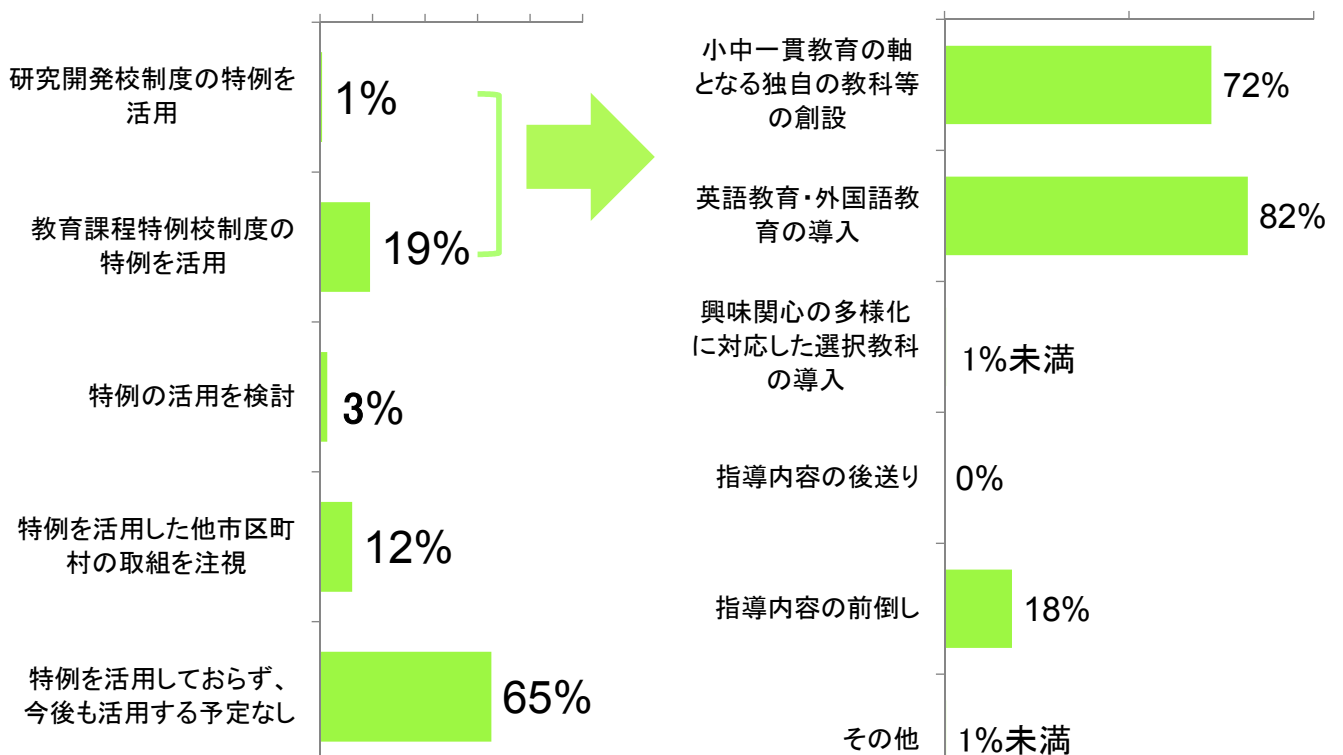


N=1130(小中一貫教育実施件数)

教育課程の特例を認める制度の活用状況

特例の活用

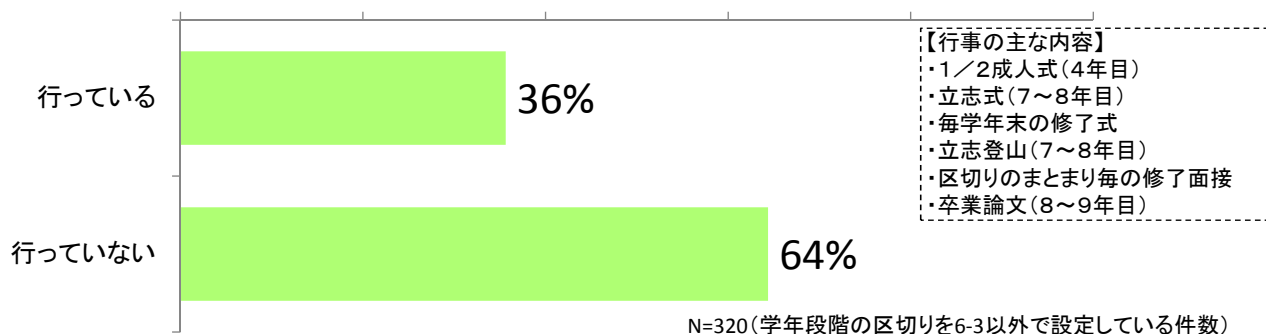
具体的取組状況



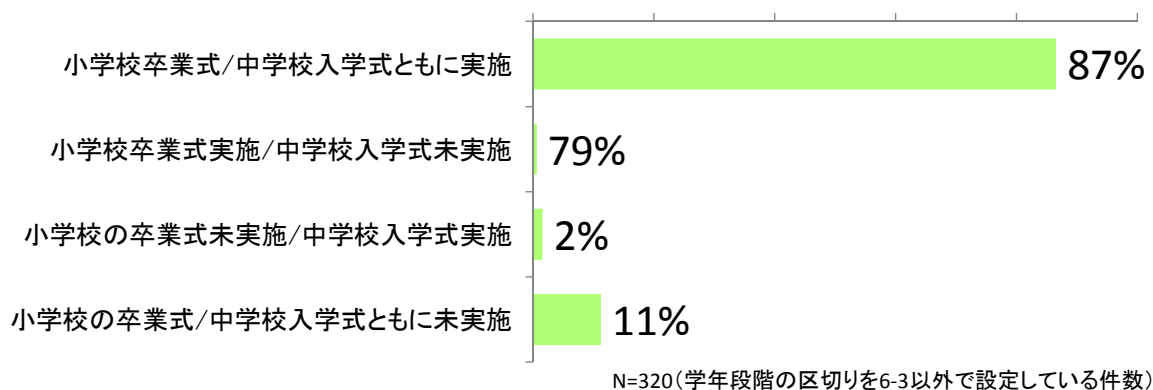
N=1130(小中一貫教育実施件数)

N=224 / 1130

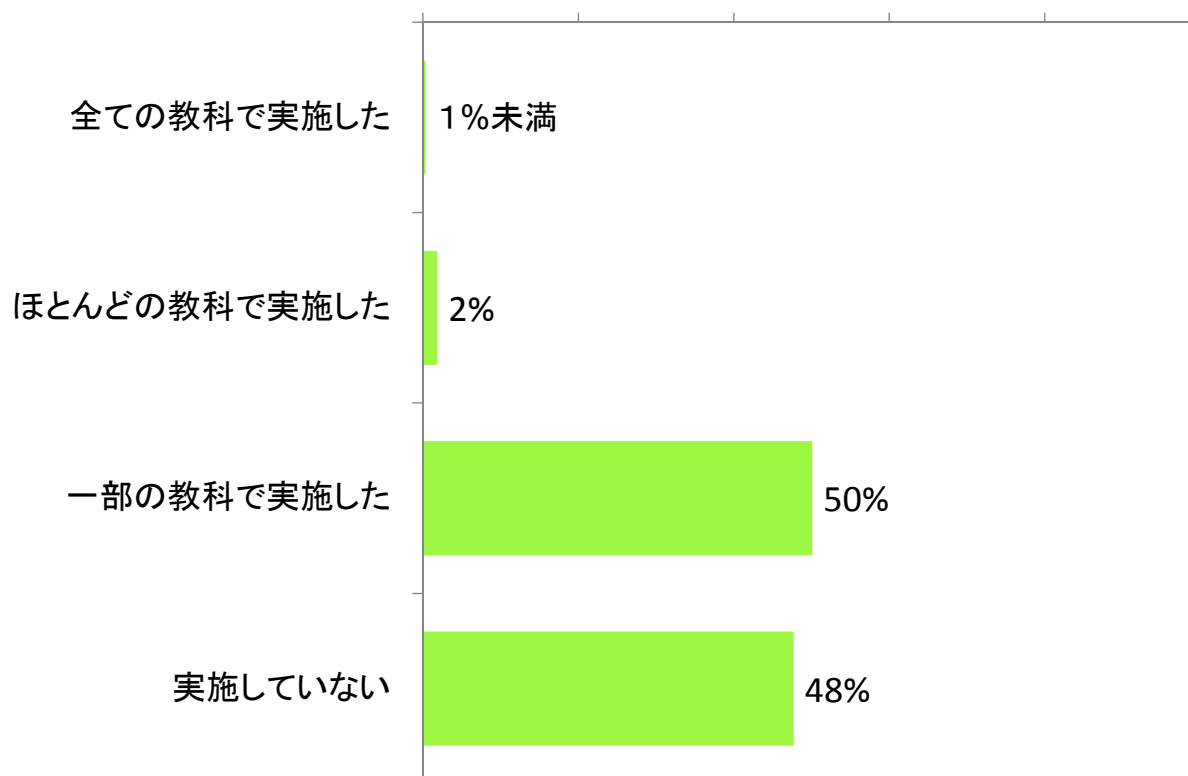
卒業式入学式以外の学年段階区切りを意識させる行事の実施 (学年段階の区切りが6-3以外の場合)



小学校の卒業式や入学式の実施状況 (学年段階の区切りが6-3以外の場合)



小学校における教科担任制の実施状況

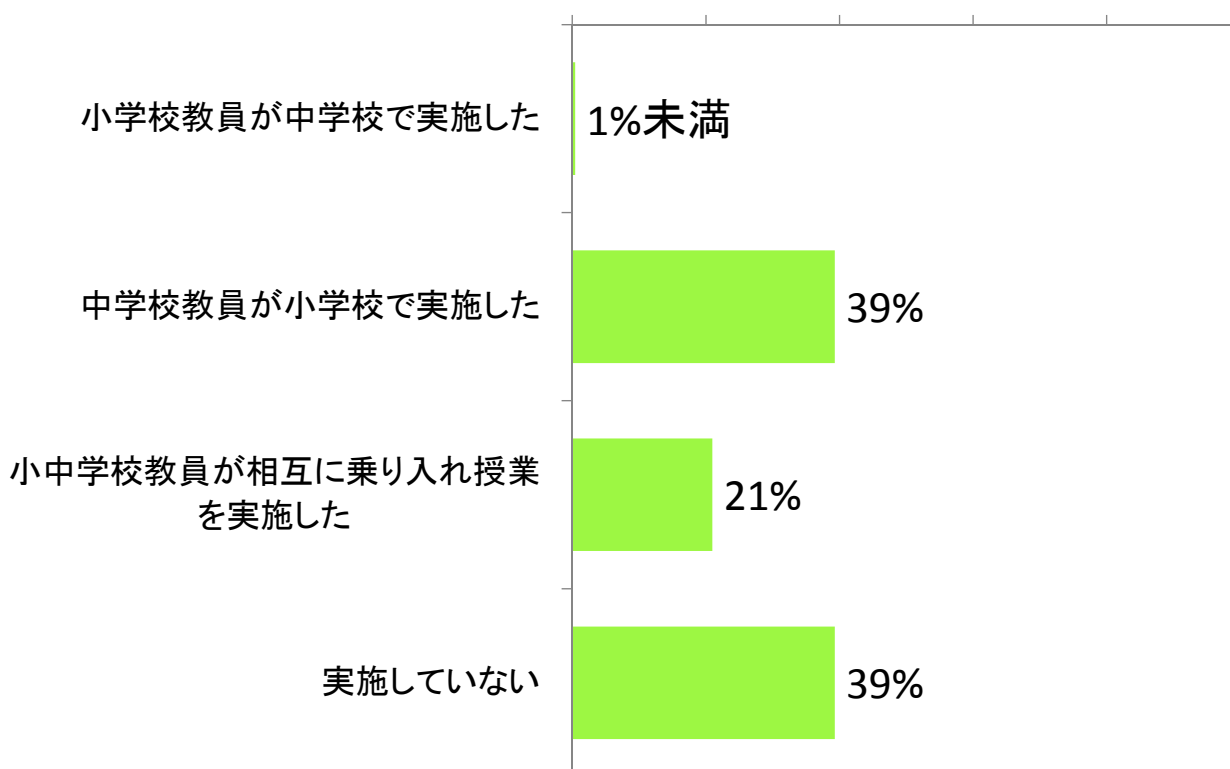


小学校における教科担任制の実施教科・導入開始学年

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	総合
実施	17%	36%	23%	66%	1%	77%	38%	47%	33%	28%	2%
うち第3学年で導入開始	19%	14%	14%	17%	20%	47%	37%	0%	22%	10%	17%
うち第4学年で導入開始	12%	13%	16%	17%	0%	17%	15%	0%	11%	2%	8%
うち第5学年で導入開始	38%	47%	42%	43%	60%	23%	32%	81%	41%	59%	67%
うち第6学年で導入開始	30%	27%	28%	24%	20%	13%	15%	18%	26%	29%	8%

N=591 (教科担任制を実施している件数)

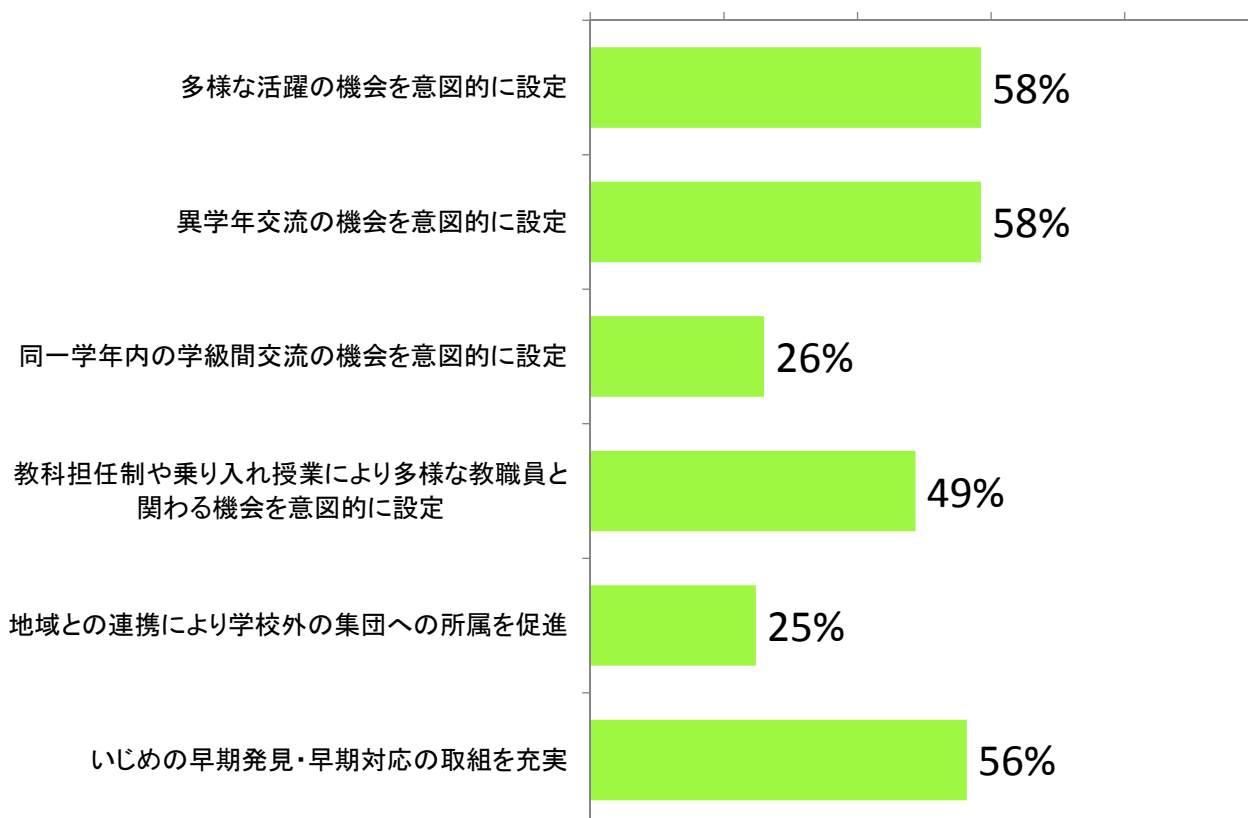
小・中教員の乗り入れ授業の実施



小・中教員の乗り入れ授業の実施教科

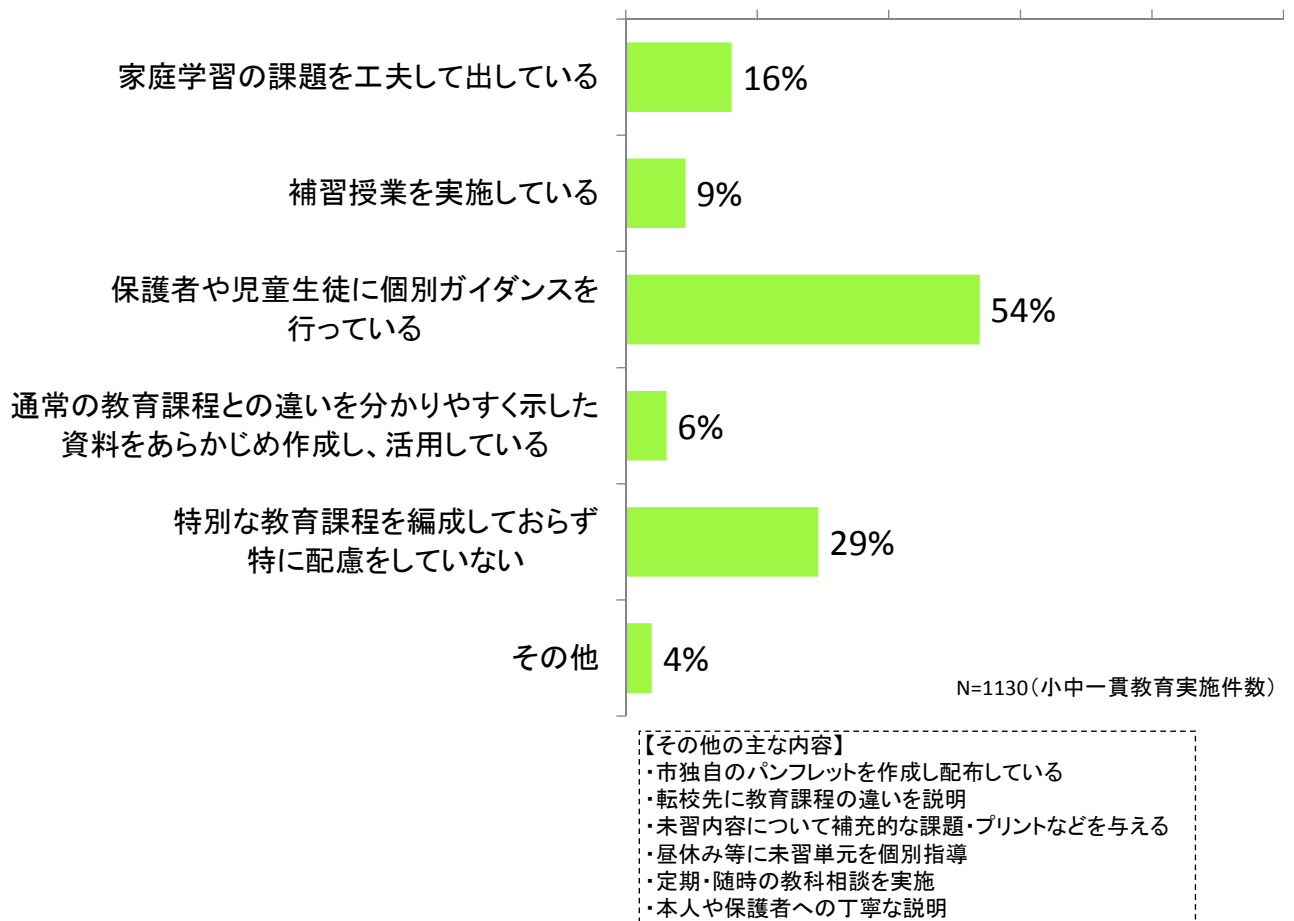
小学校教員が中学校で乗り入れ授業を実施 (N=242)								
対象教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	
	20%	18%	55%	24%	19%	13%	21%	
	技術・家庭	外国語	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	独自の 新設教科等		
	17%	25%	8%	8%	5%	7%		
中学校教員が小学校で乗り入れ授業を実施 (N=681)								
対象教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	体育	生活
	21%	20%	39%	30%	38%	21%	39%	1%
	家庭	道徳	外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	独自の 新設教科等		
	10%	1%	58%	5%	4%	5%		

児童生徒の人間関係や相互評価が固定化しないような工夫



N=1130(小中一貫教育実施件数)

転出入学する児童生徒に対する配慮



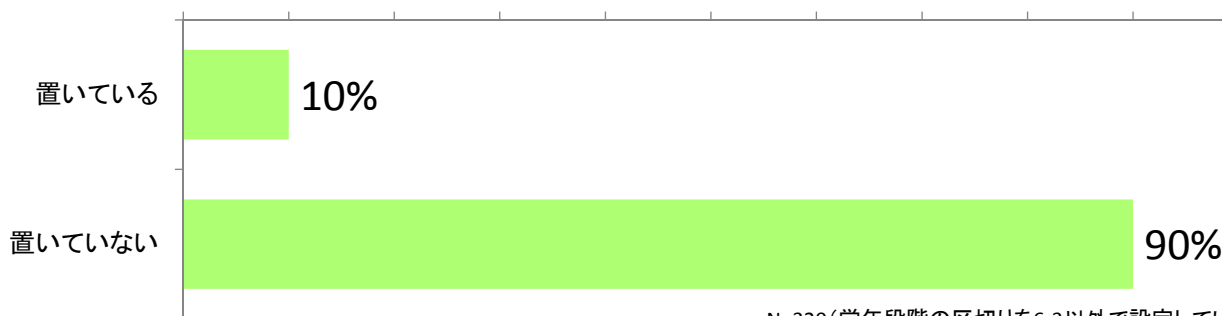
III 組織・マネジメント（～P66）

校長の体制

	一人の校長が小・中学校を兼務している	学校毎に校長がいるが、責任者としての役割を果たす校長が決まっている	学校毎に校長がおり、適宜連携を図っている	全体
施設一体型	112 (76%)	9 (6%)	27 (18%)	148 (100%)
施設隣接型	7 (12%)	8 (14%)	44 (75%)	59 (100%)
施設分離型	4 (0%)	91 (10%)	787 (89%)	882 (100%)
その他	8 (20%)	7 (17%)	26 (63%)	41 (100%)
全体	131 (12%)	115 (10%)	884 (78%)	1130 (100%)

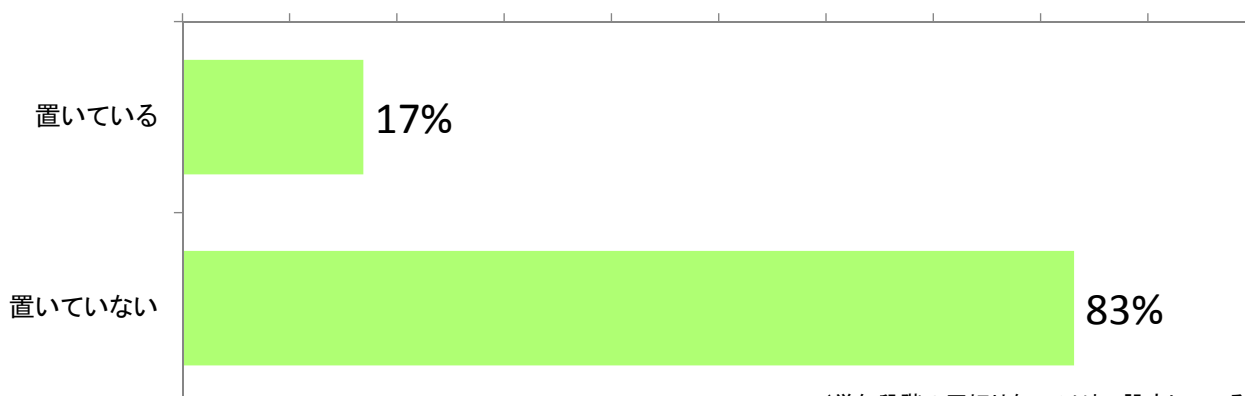
N=1130(小中一貫教育実施件数)

学年段階の区切り毎の担当の副校長・教頭・主幹教諭の配置状況 (学年段階の区切りが6-3以外の場合)

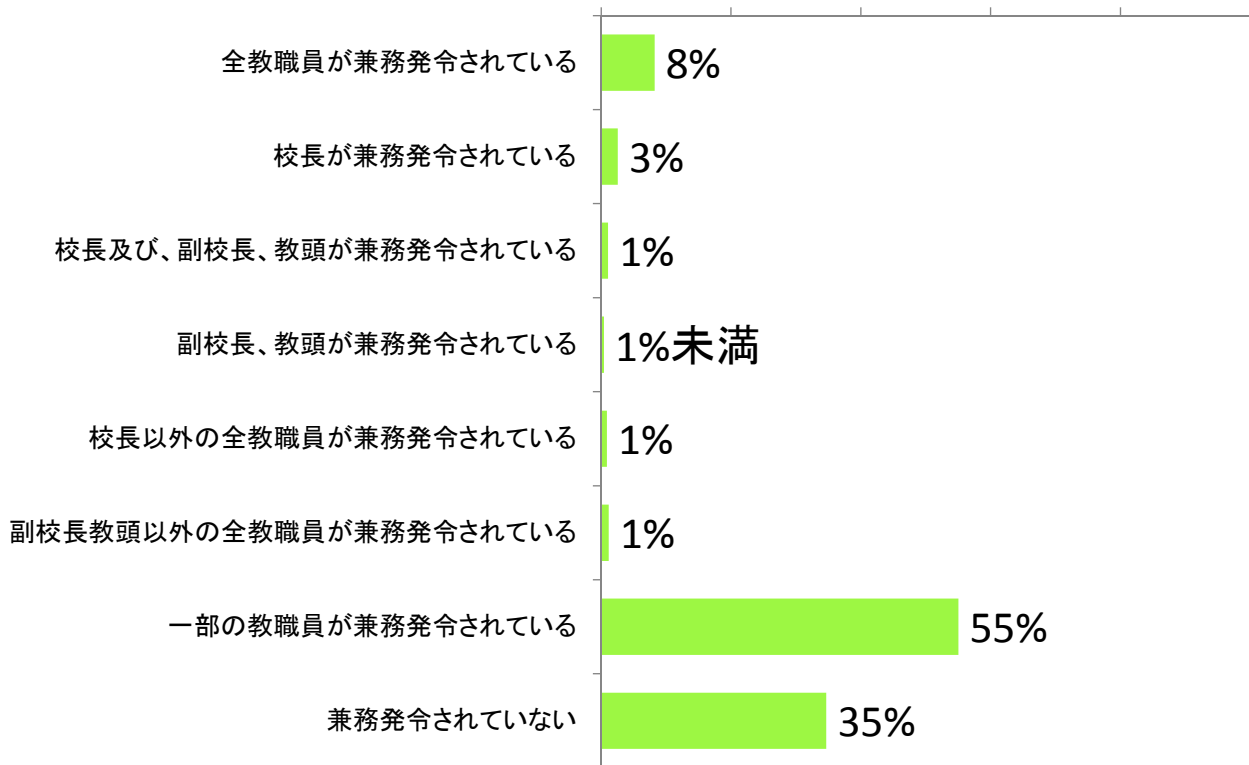


N=320(学年段階の区切りを6-3以外で設定している件数)

校務分掌上、学年段階の区切り毎の主任等の配置状況 (学年段階の区切りが6-3以外の場合)

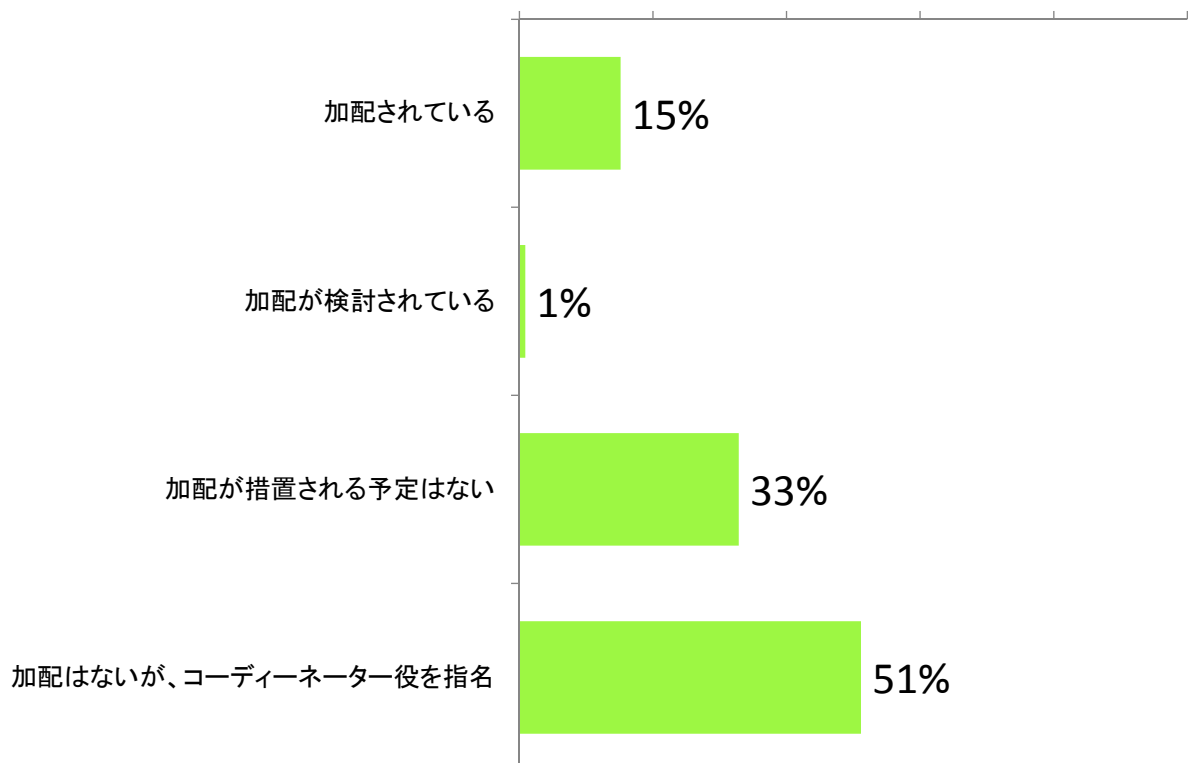


教職員の兼務発令の状況

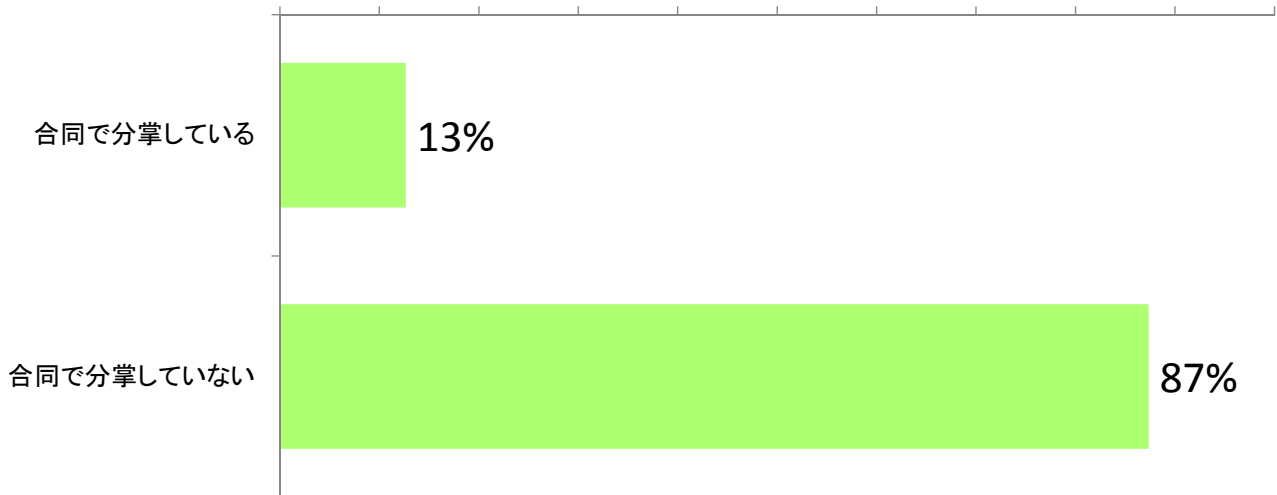


N=1130(小中一貫教育実施件数)

小中一貫教育のコーディネーター役を担う教職員の加配状況

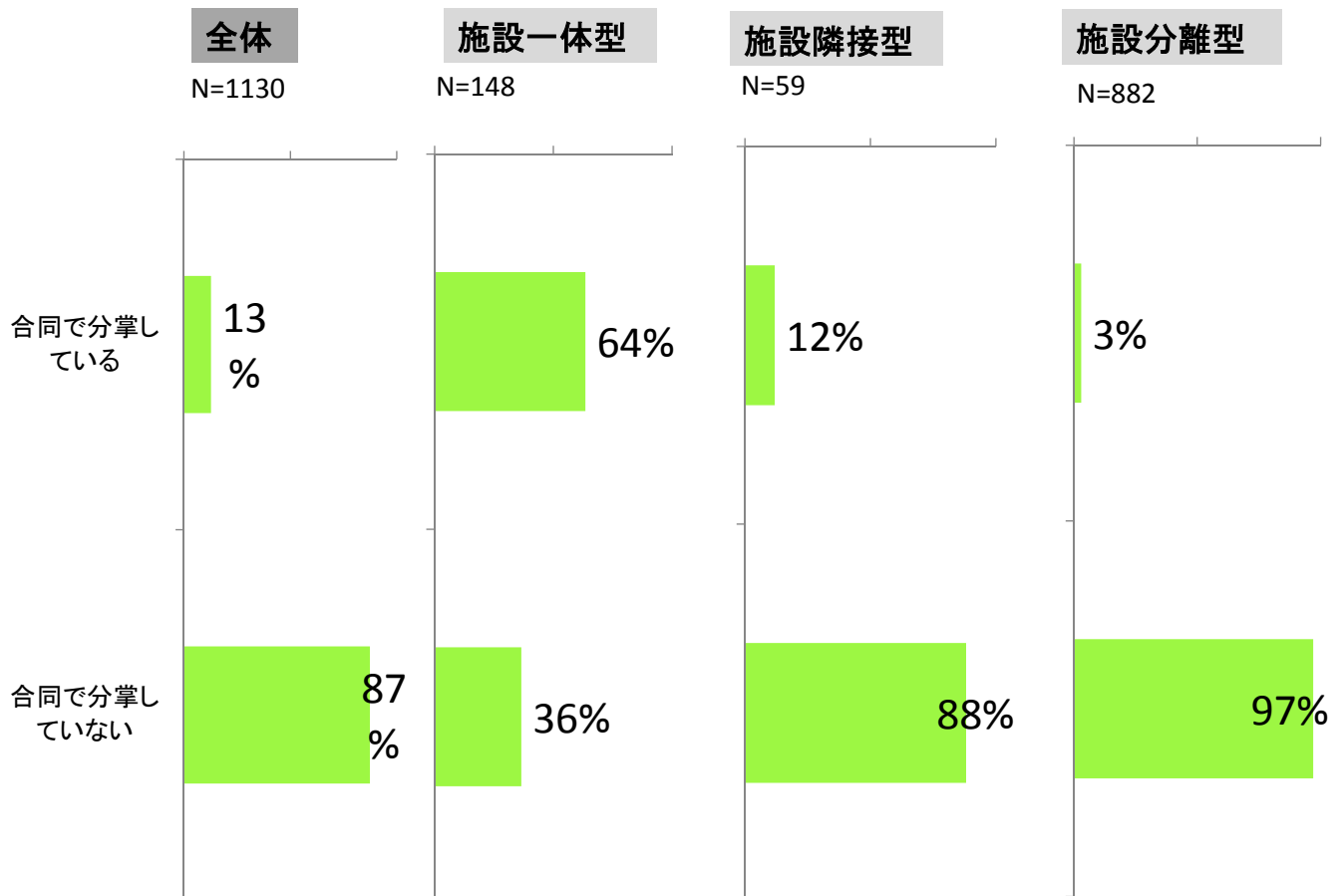


小・中合同の校務分掌

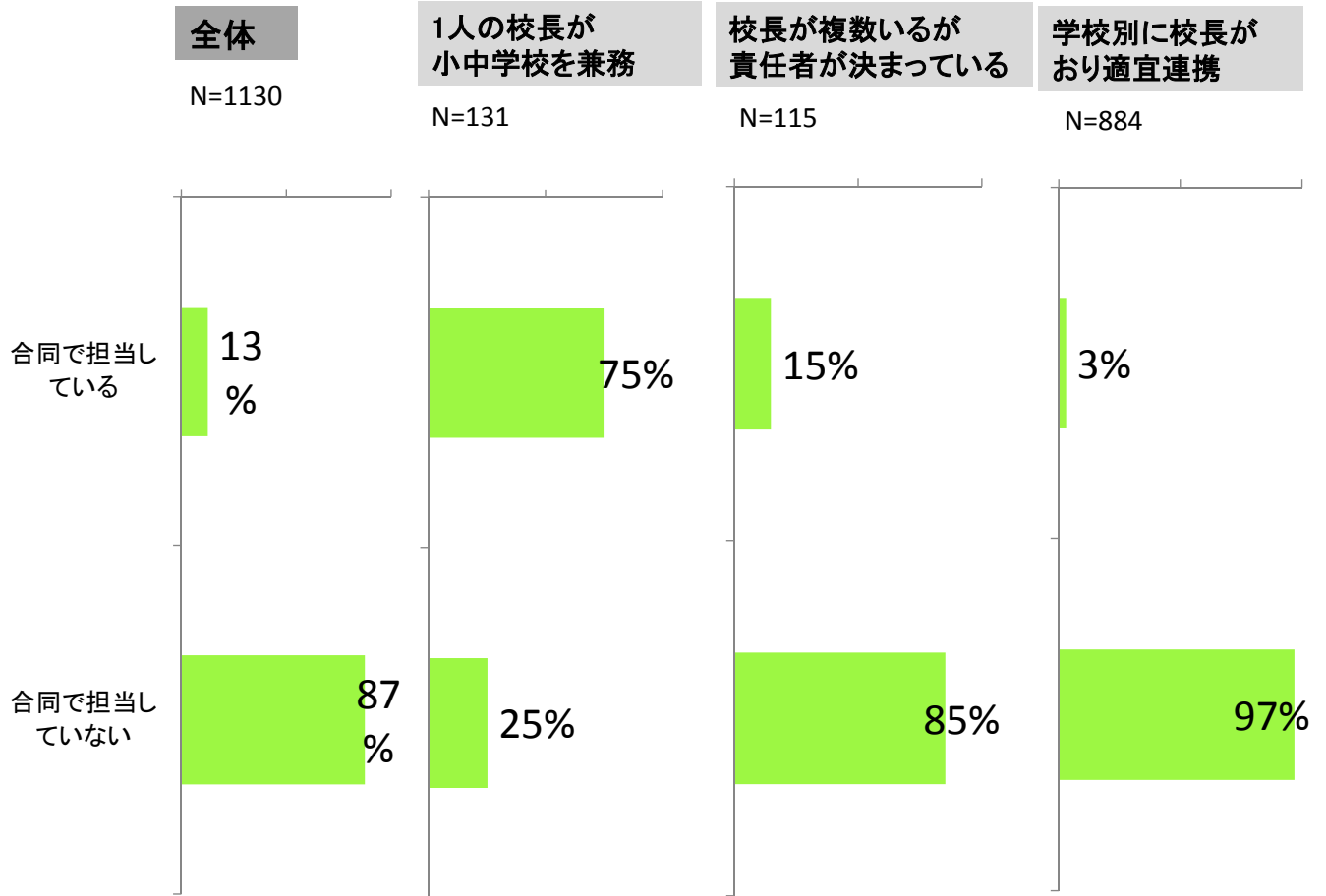


N=1130(小中一貫教育実施件数)

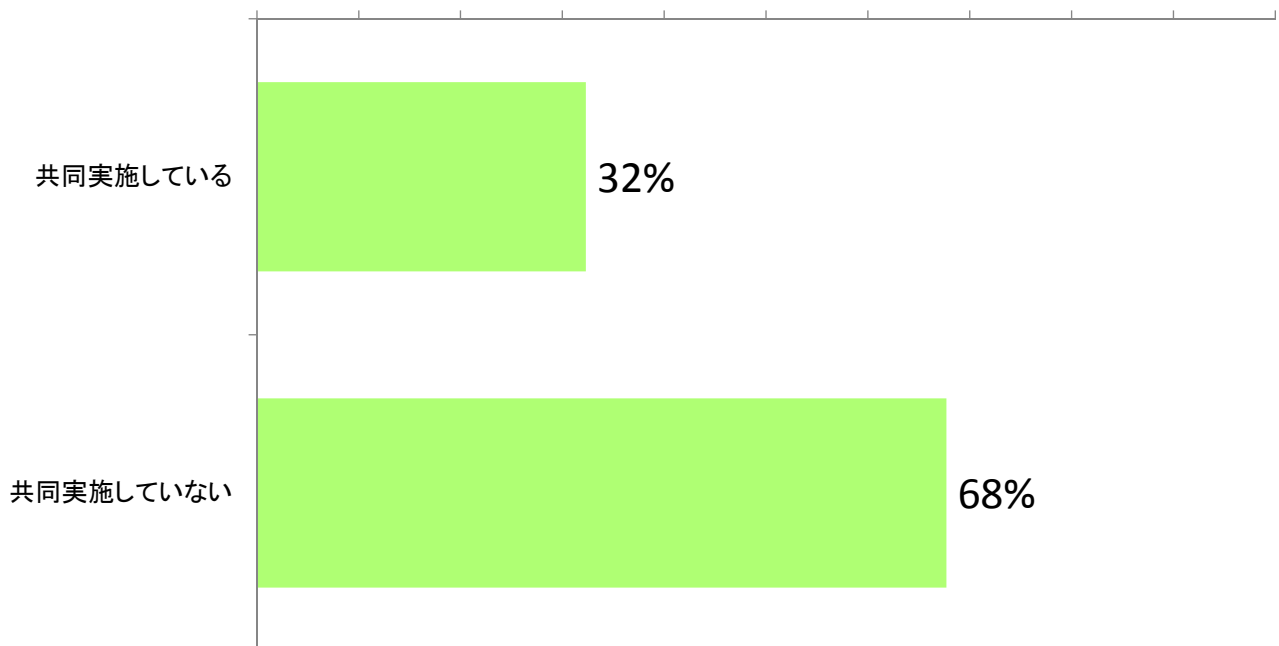
小・中合同の校務分掌(施設形態別)



小・中合同の校務分掌(校長体制別)

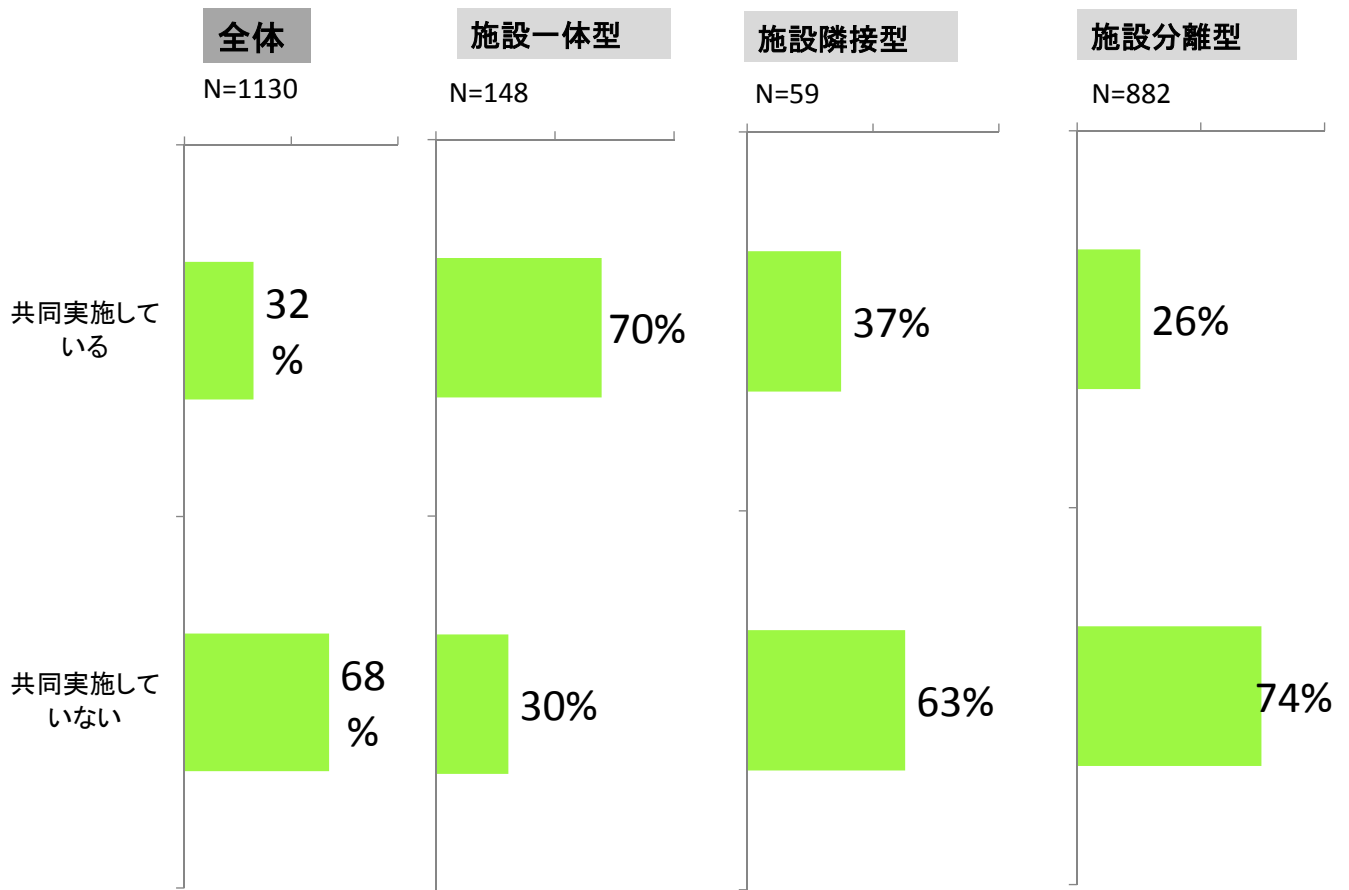


小・中学校での学校事務の共同実施

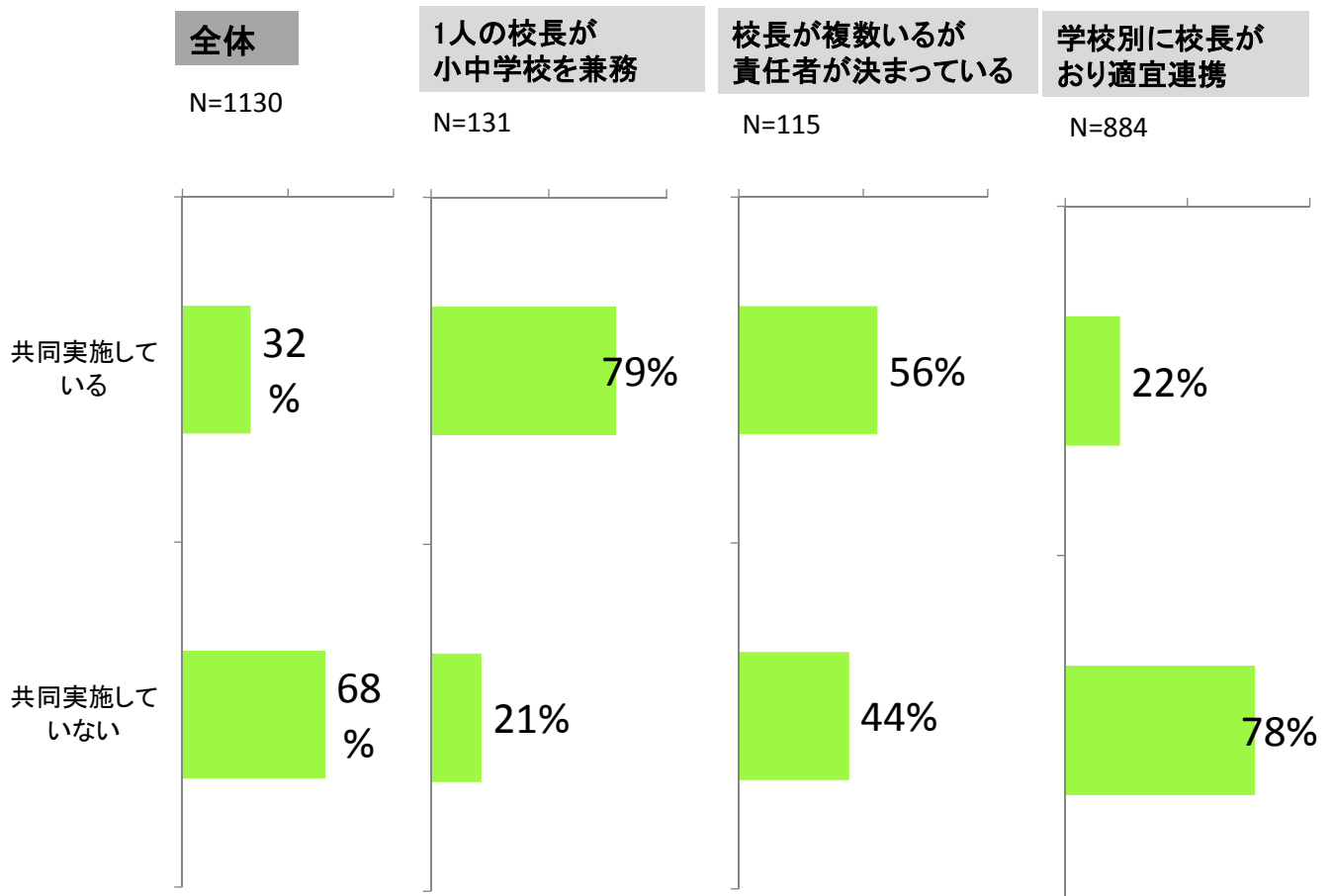


N=1130(小中一貫教育実施件数)

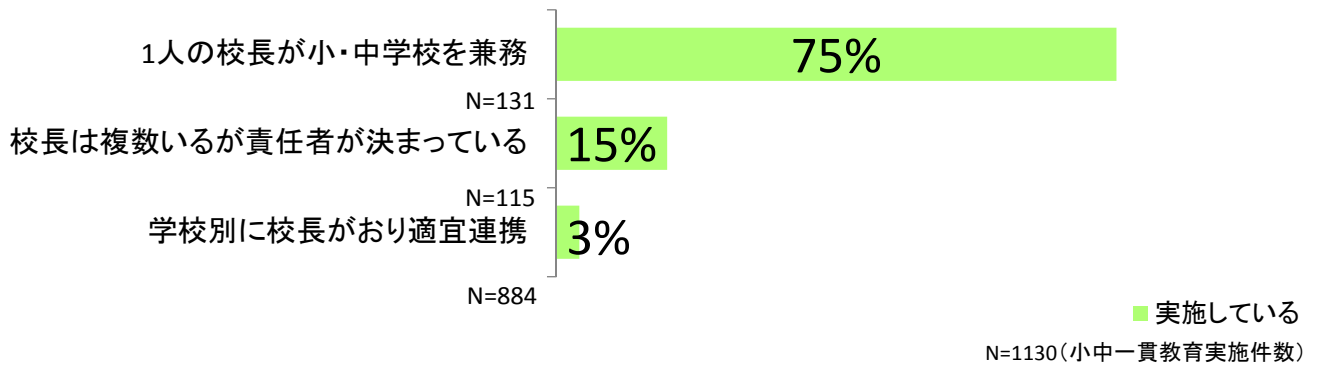
小・中学校での学校事務の共同実施(施設形態別)



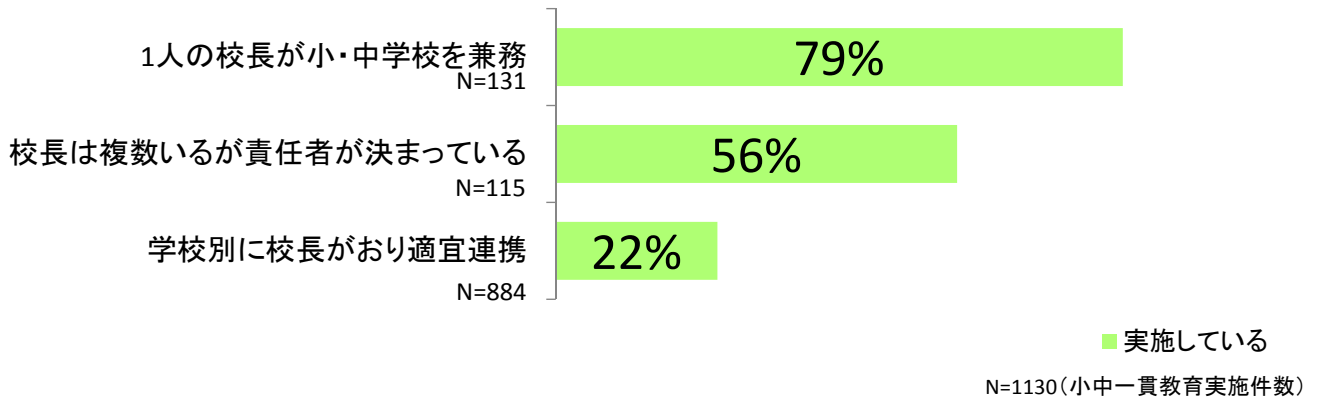
小・中学校での学校事務の共同実施(校長体制別)



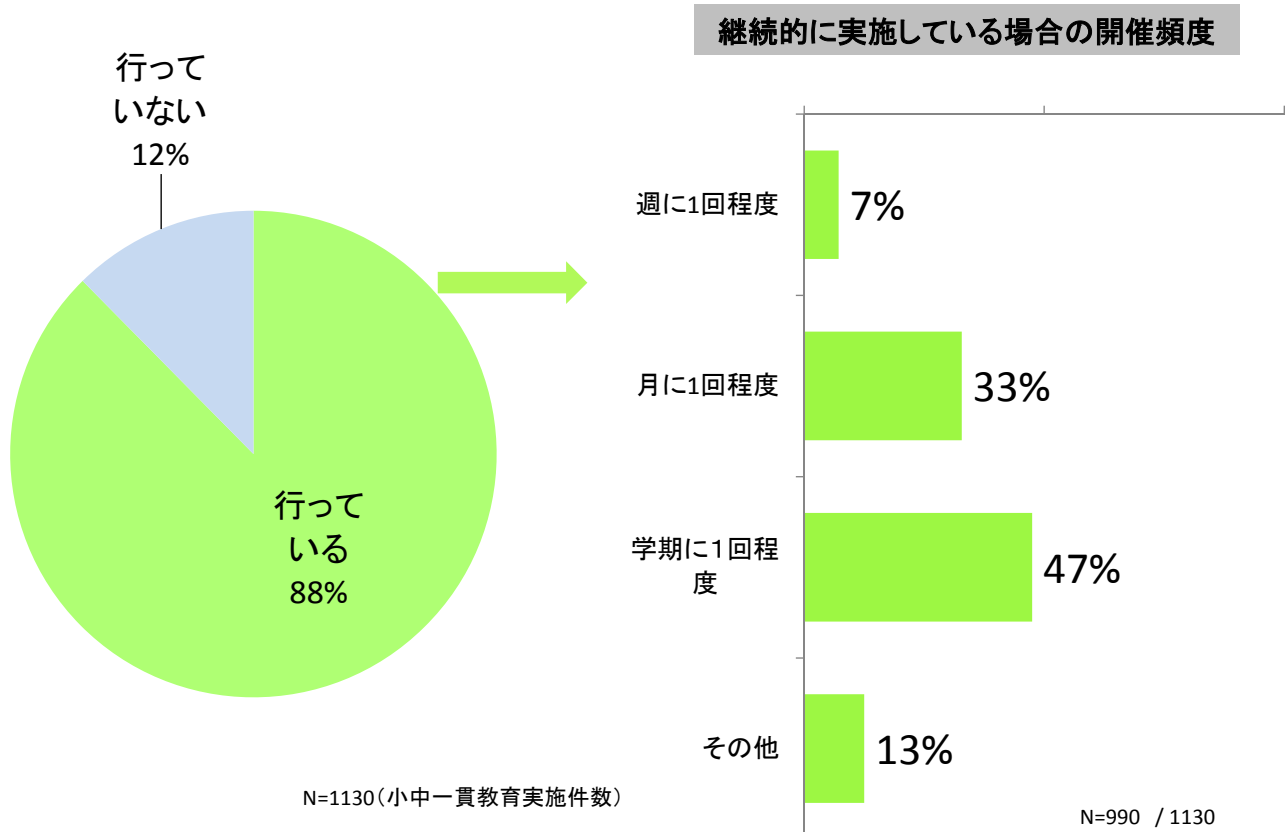
校長の体制 × 校務分掌の合同担当の実施



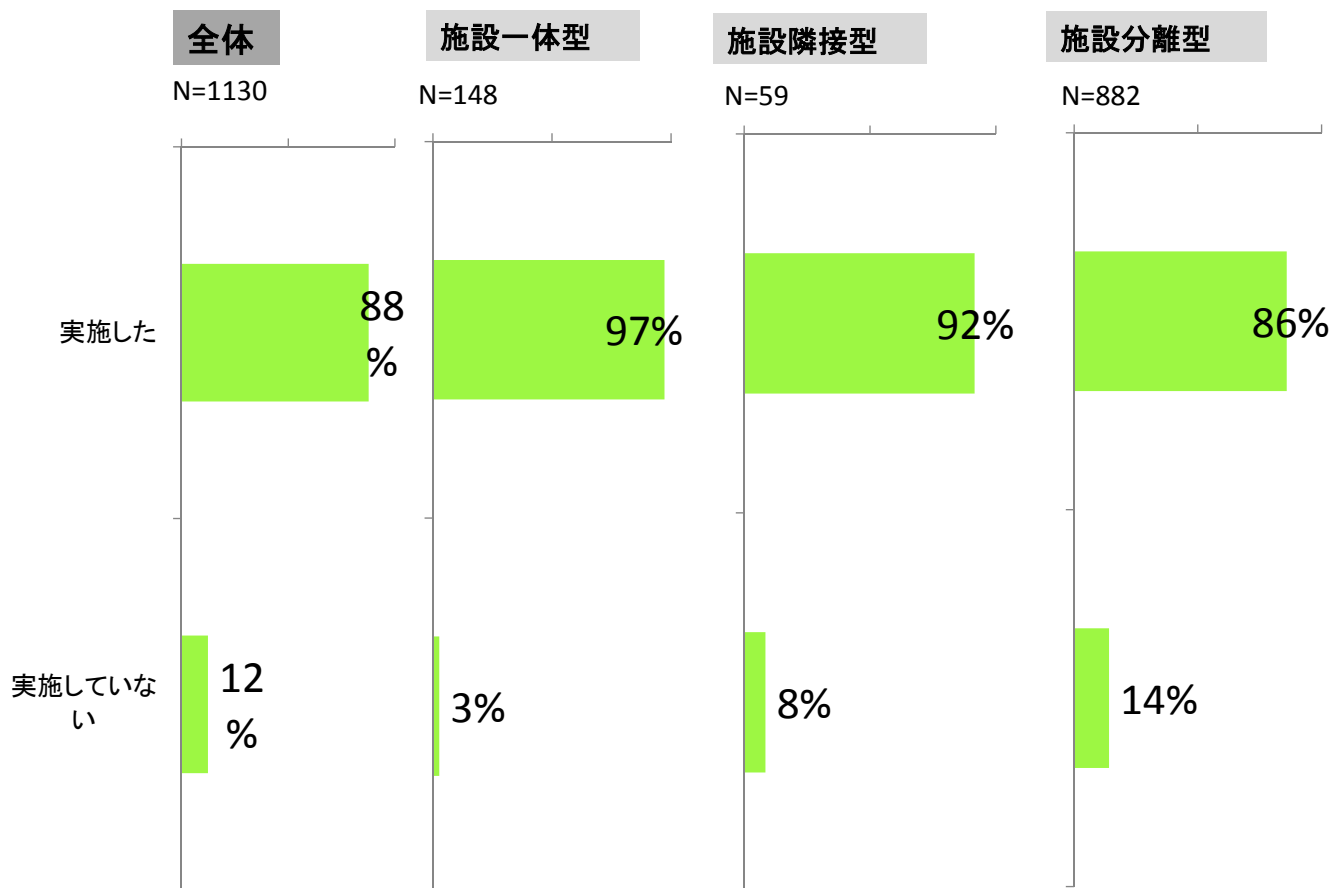
校長の体制 × 学校事務の共同実施



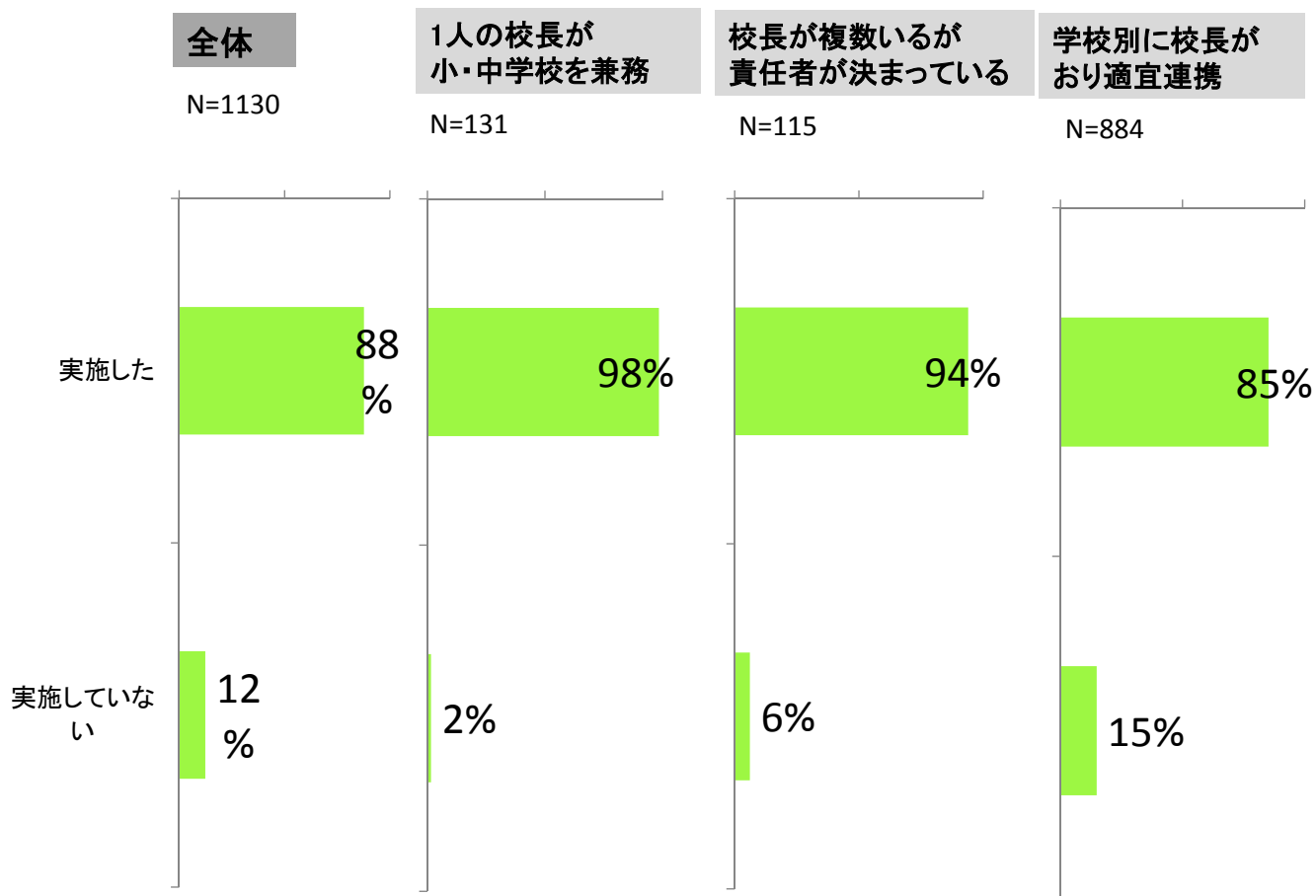
計画的・継続的な小・中合同会議



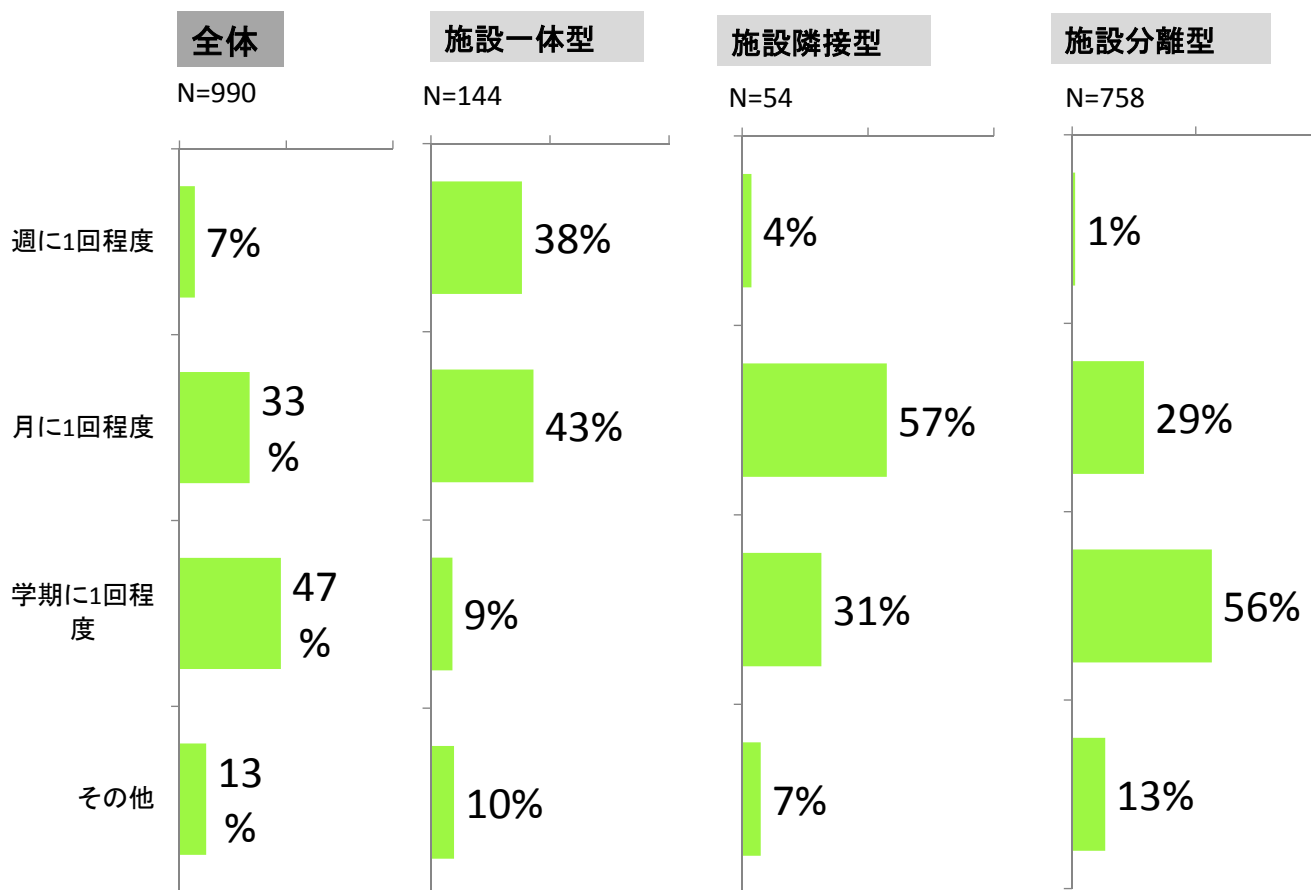
計画的・継続的な小・中合同会議(施設形態別)



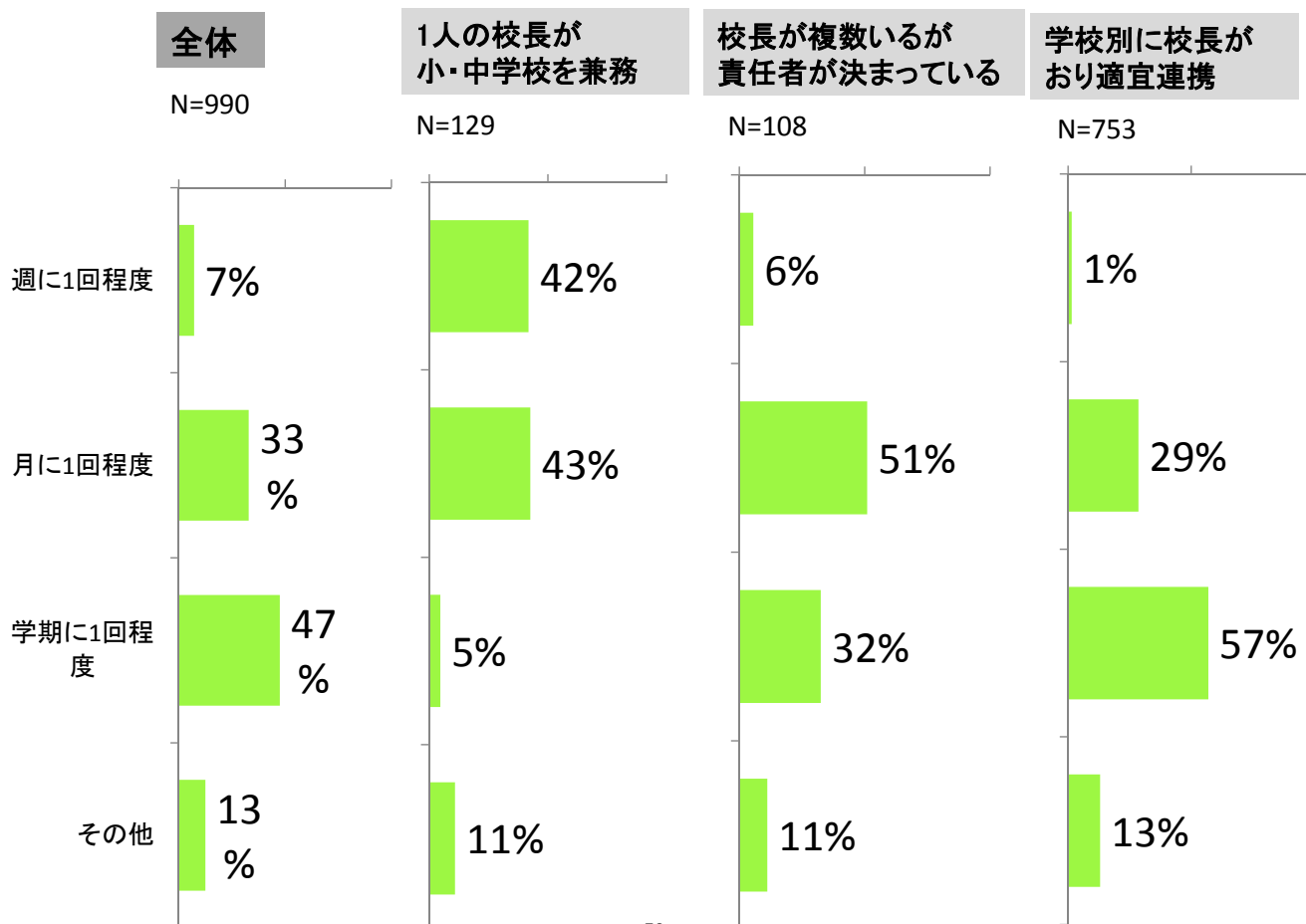
計画的・継続的な小・中合同会議(校長体制別)



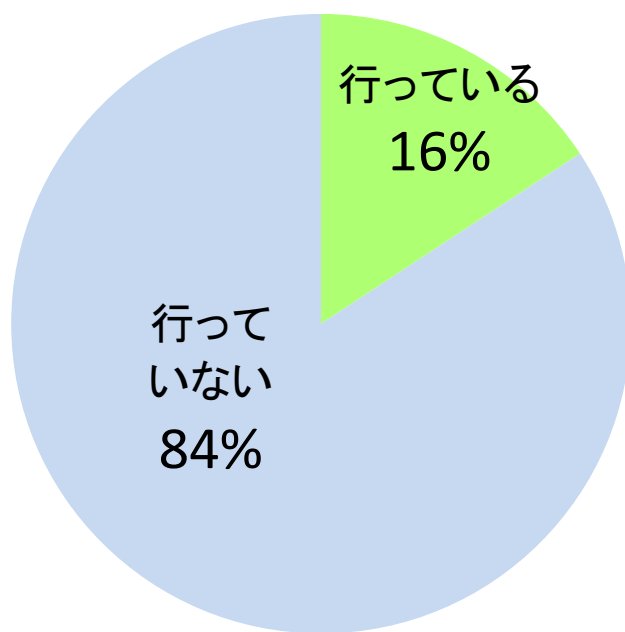
小・中の合同会議を継続的に実施している場合の開催頻度(施設形態別)



小・中の合同会議を継続的に実施している場合の開催頻度(校長体制別)

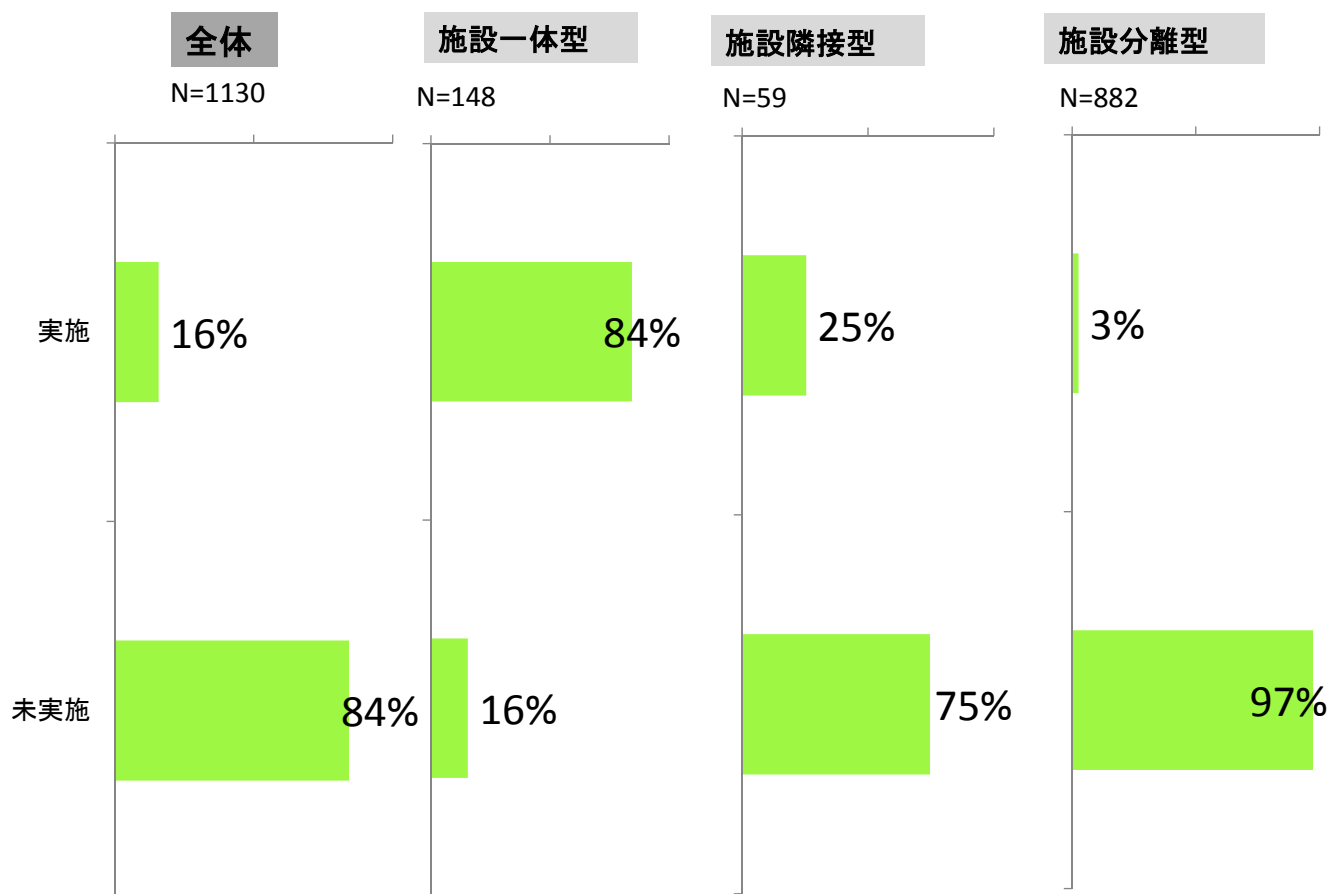


小・中の合同職員会議

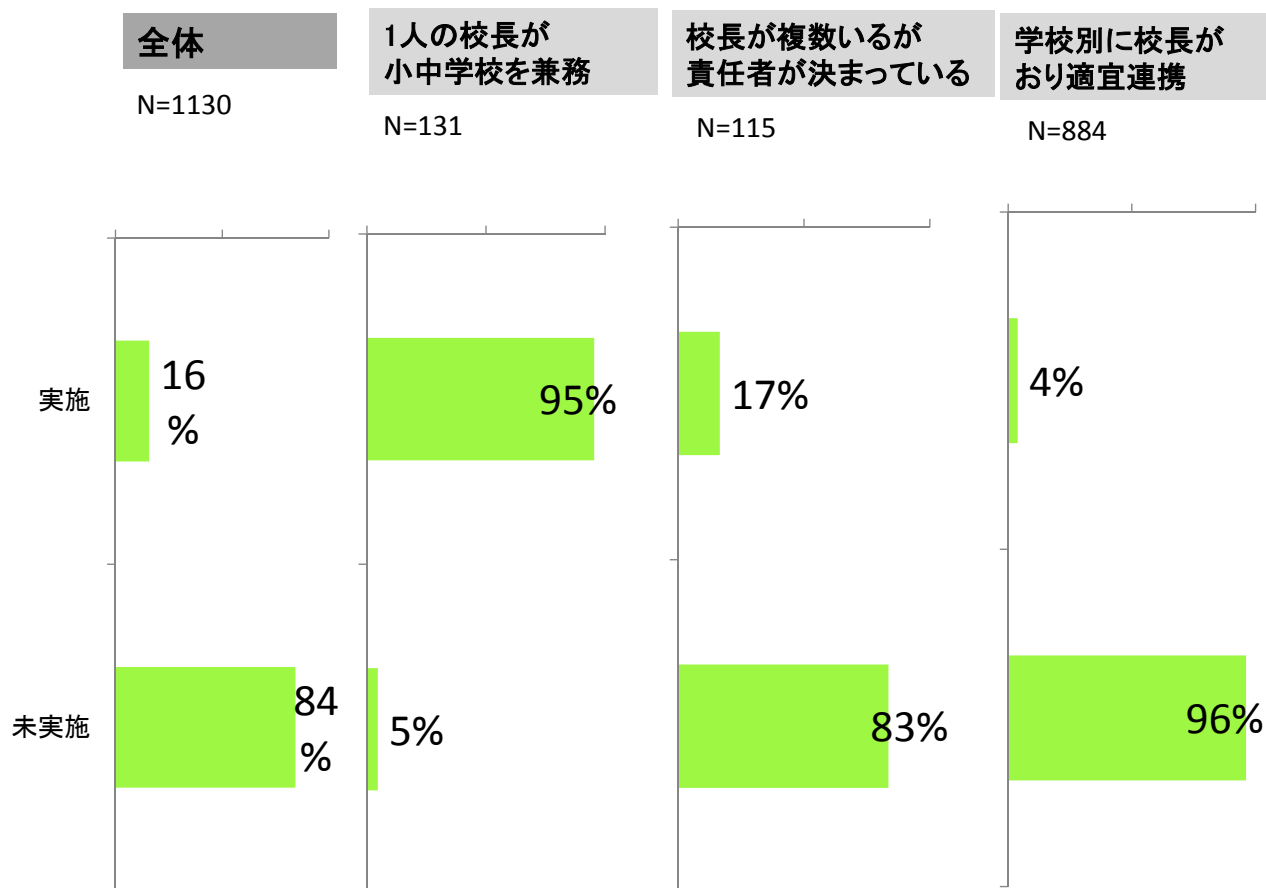


N=1130(小中一貫教育実施件数)

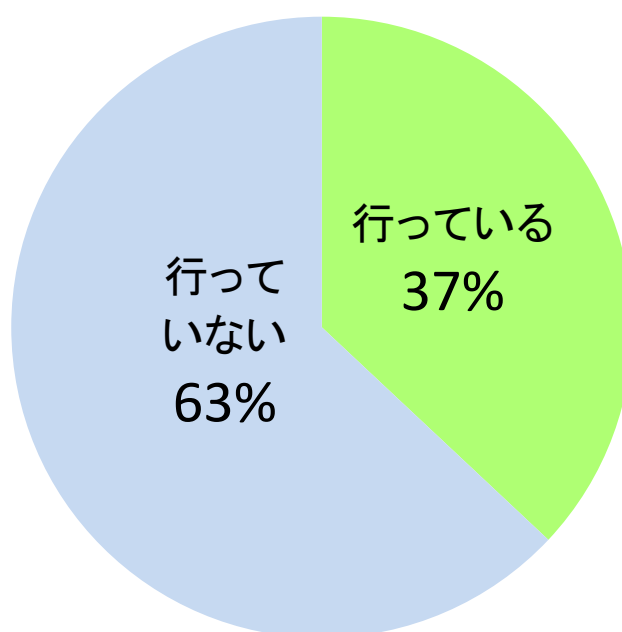
小・中の合同職員会議(施設形態別)



小・中の合同職員会議(校長体制別)

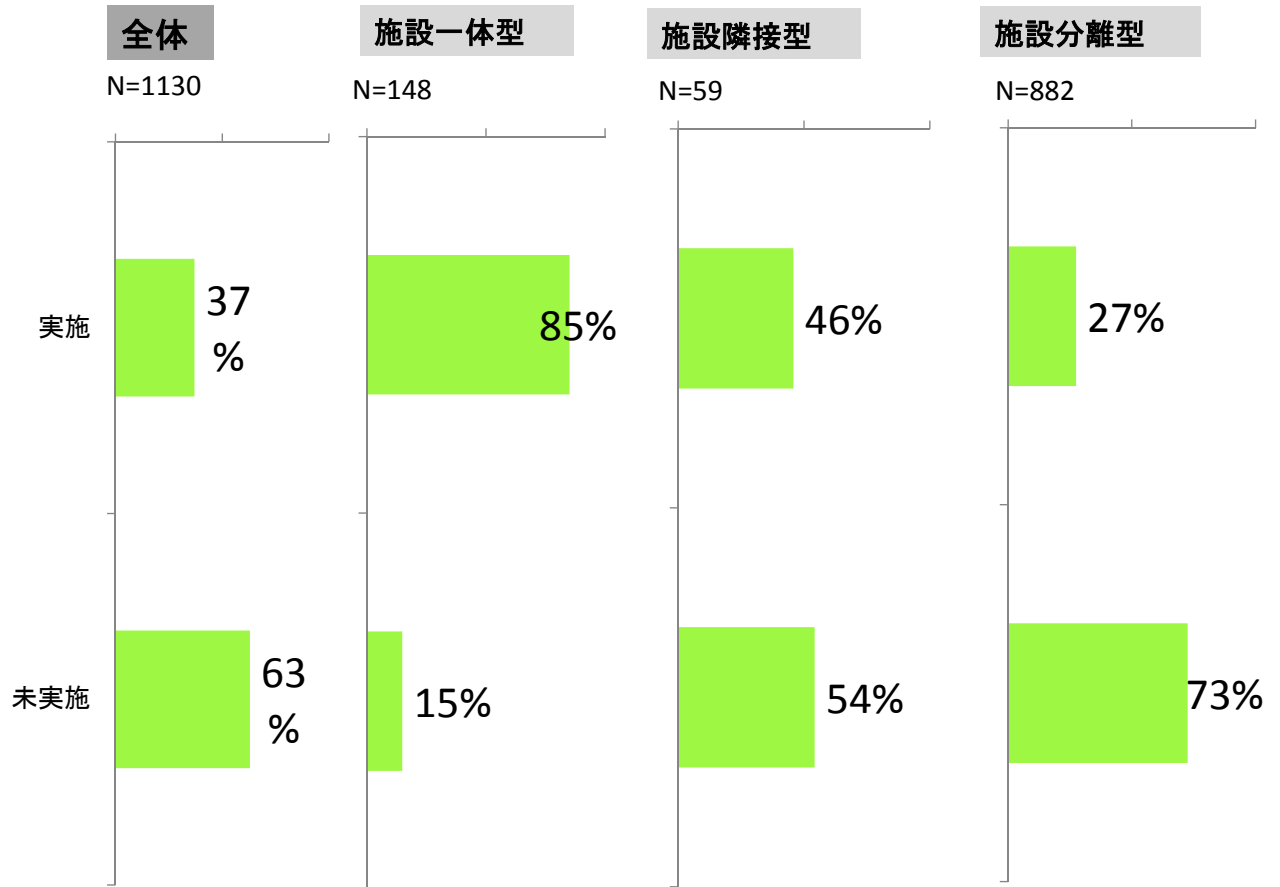


小・中全体の年間行事予定表等の作成

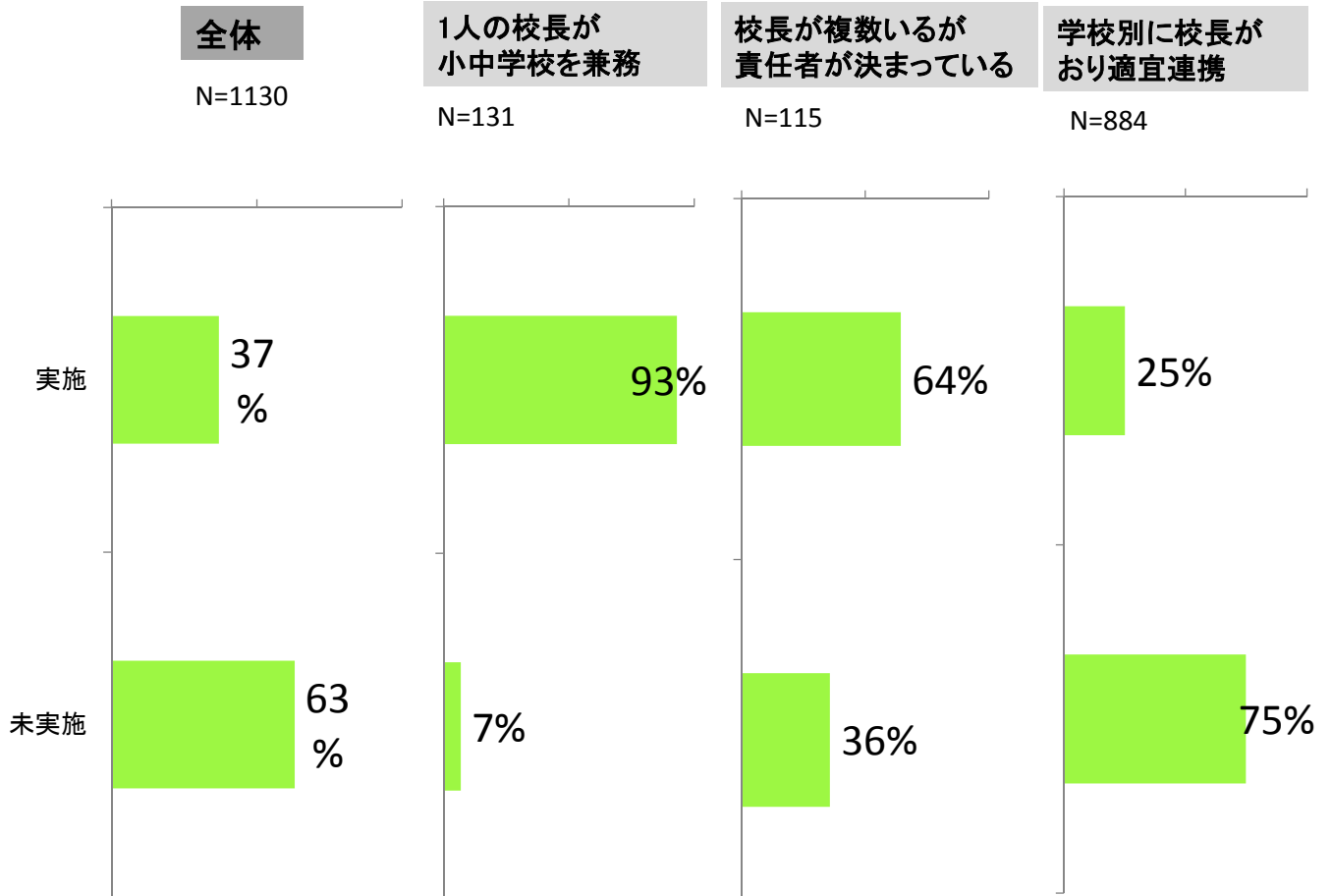


N=1130(小中一貫教育実施件数)

小・中全体の年間行事予定表等の作成(施設形態別)

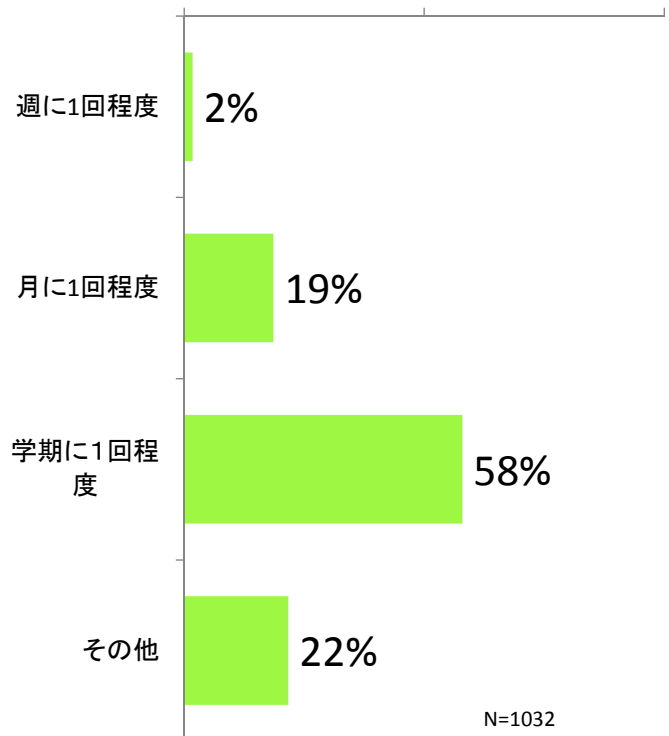
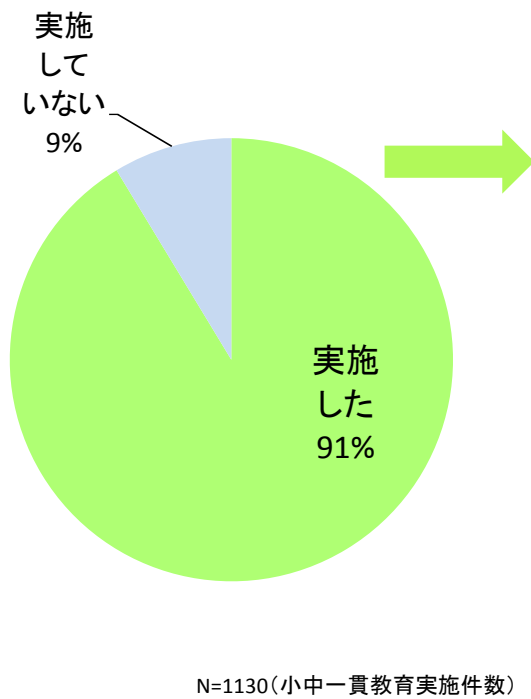


小・中全体の年間行事予定表等の作成(校長体制別)

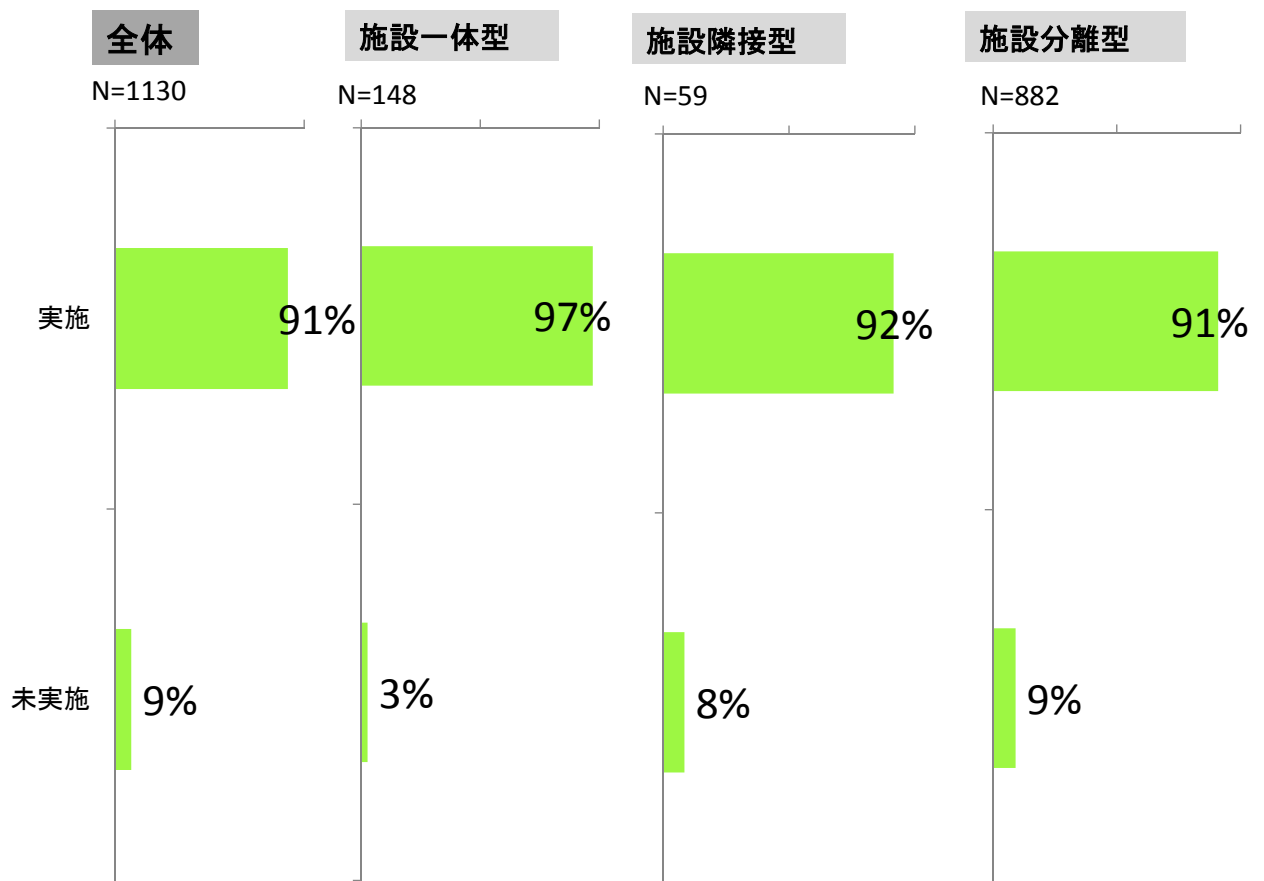


小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施

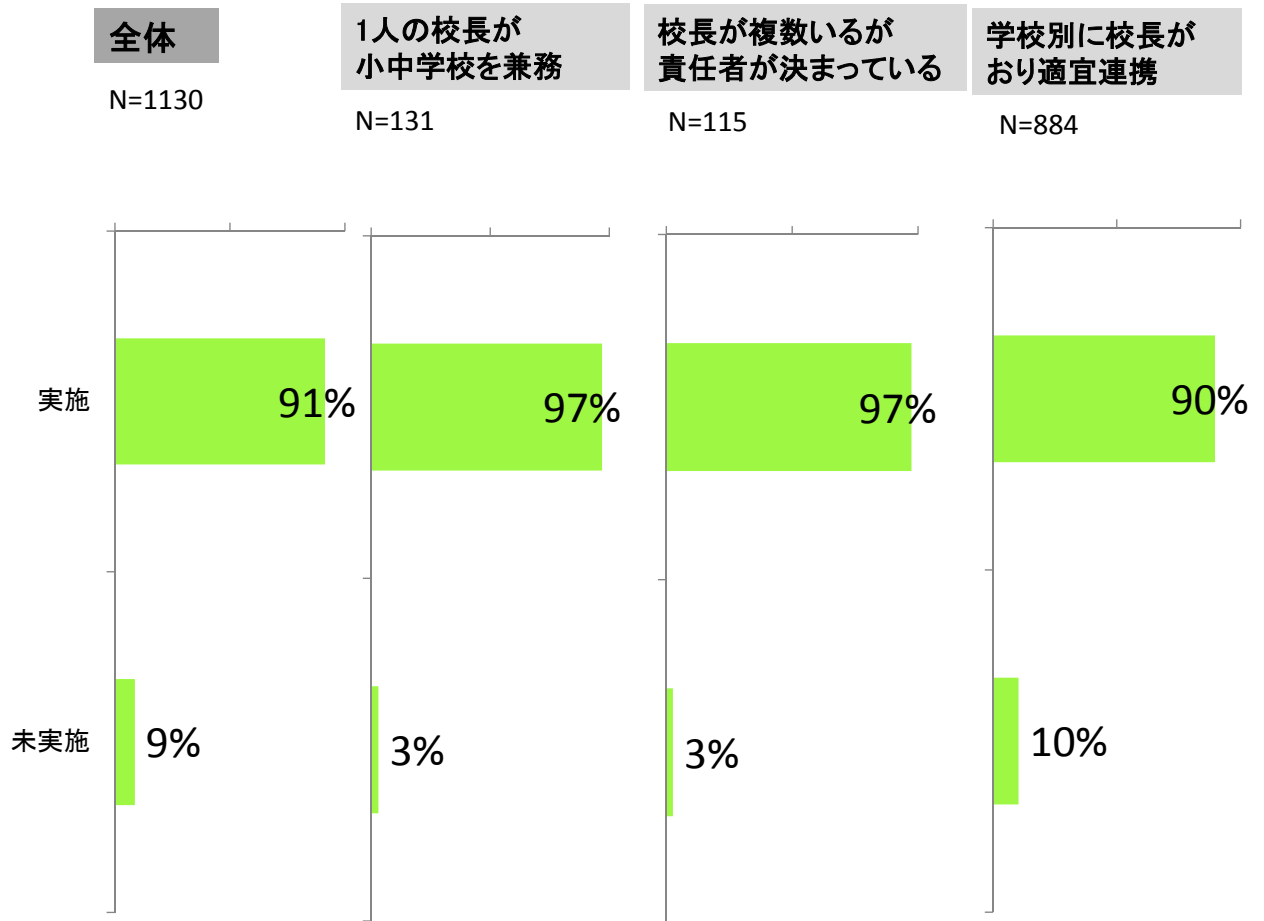
実施している場合の開催頻度



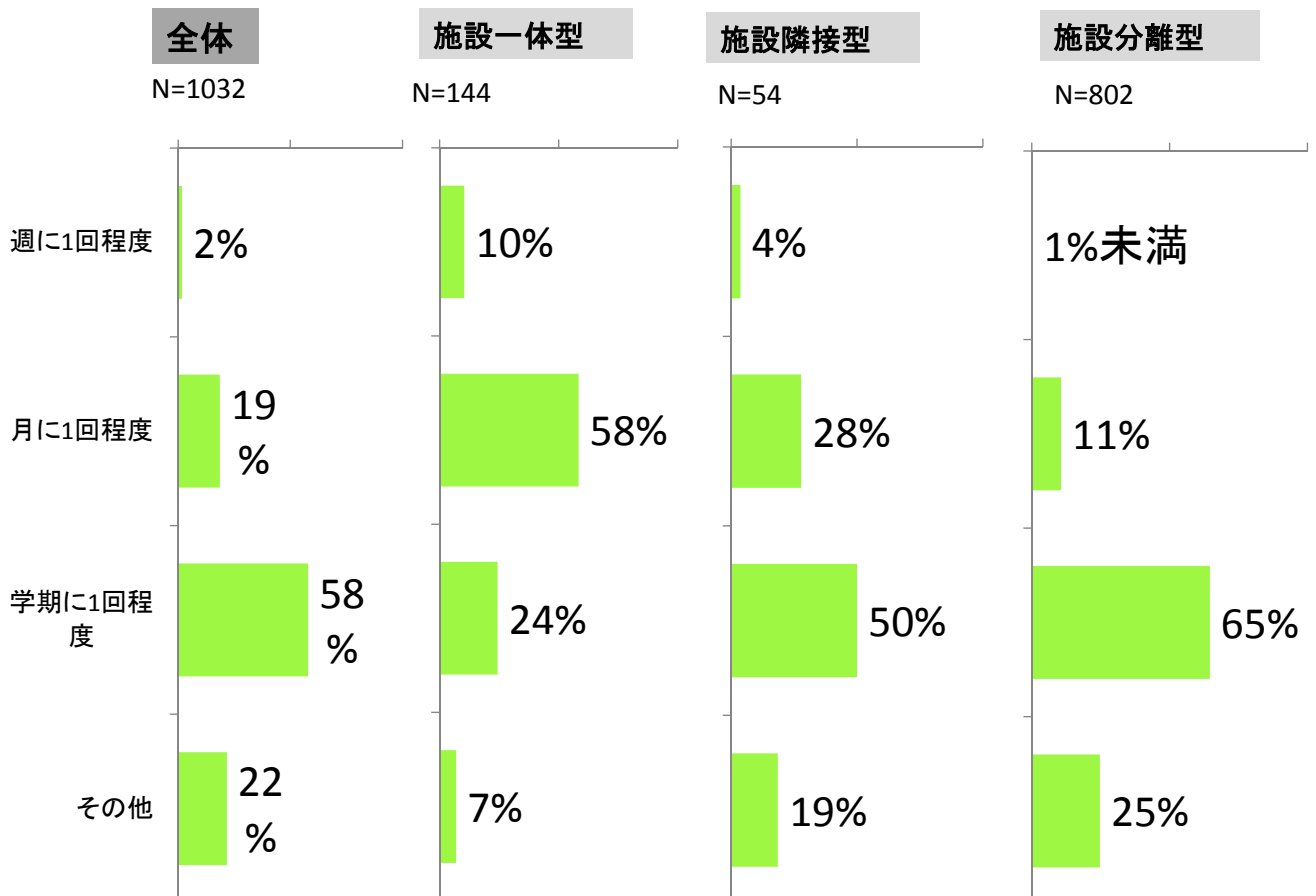
小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施(施設形態別)



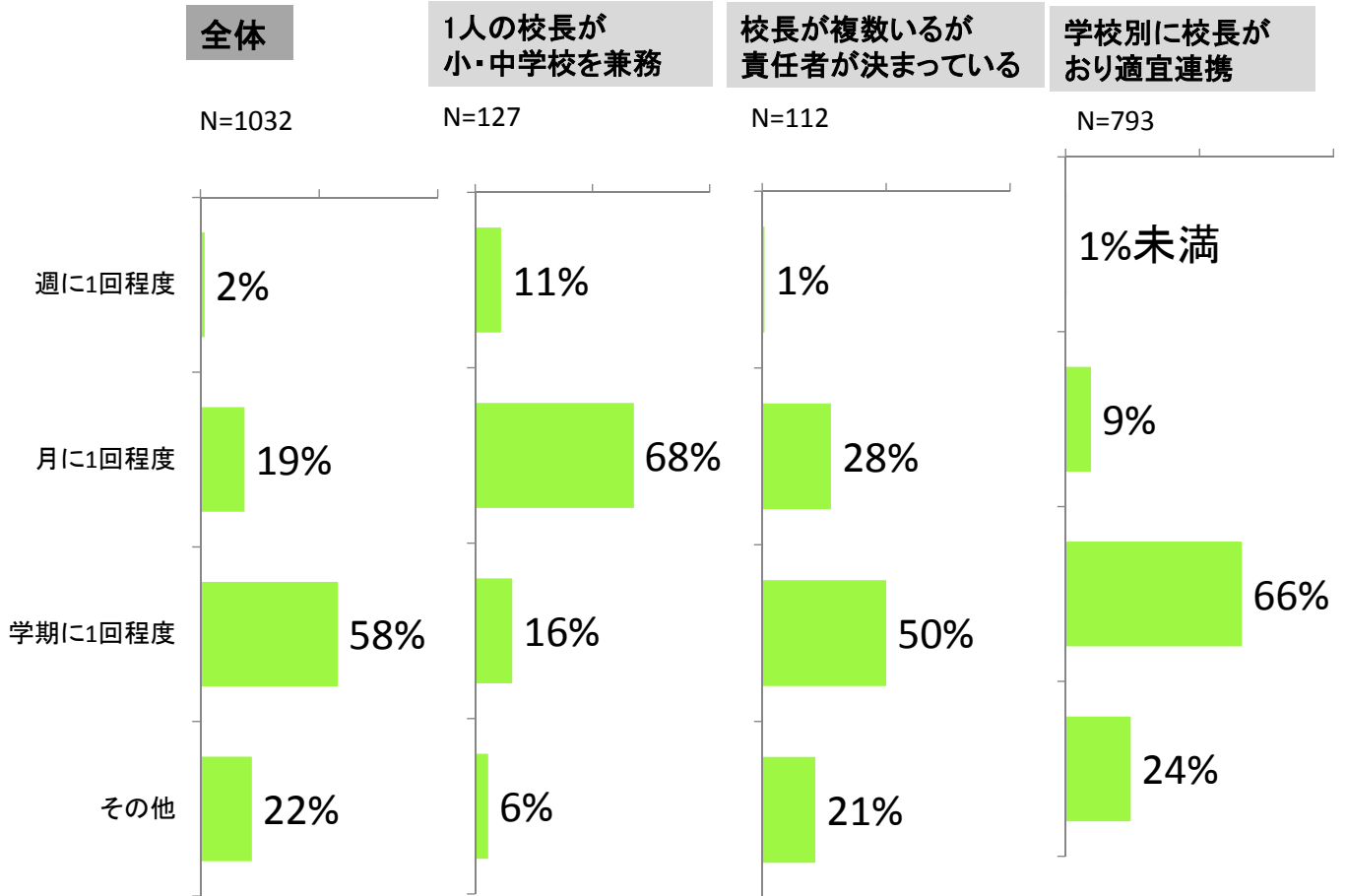
小・中の合同研修の年間にわたる計画的・継続的な実施(校長体制別)



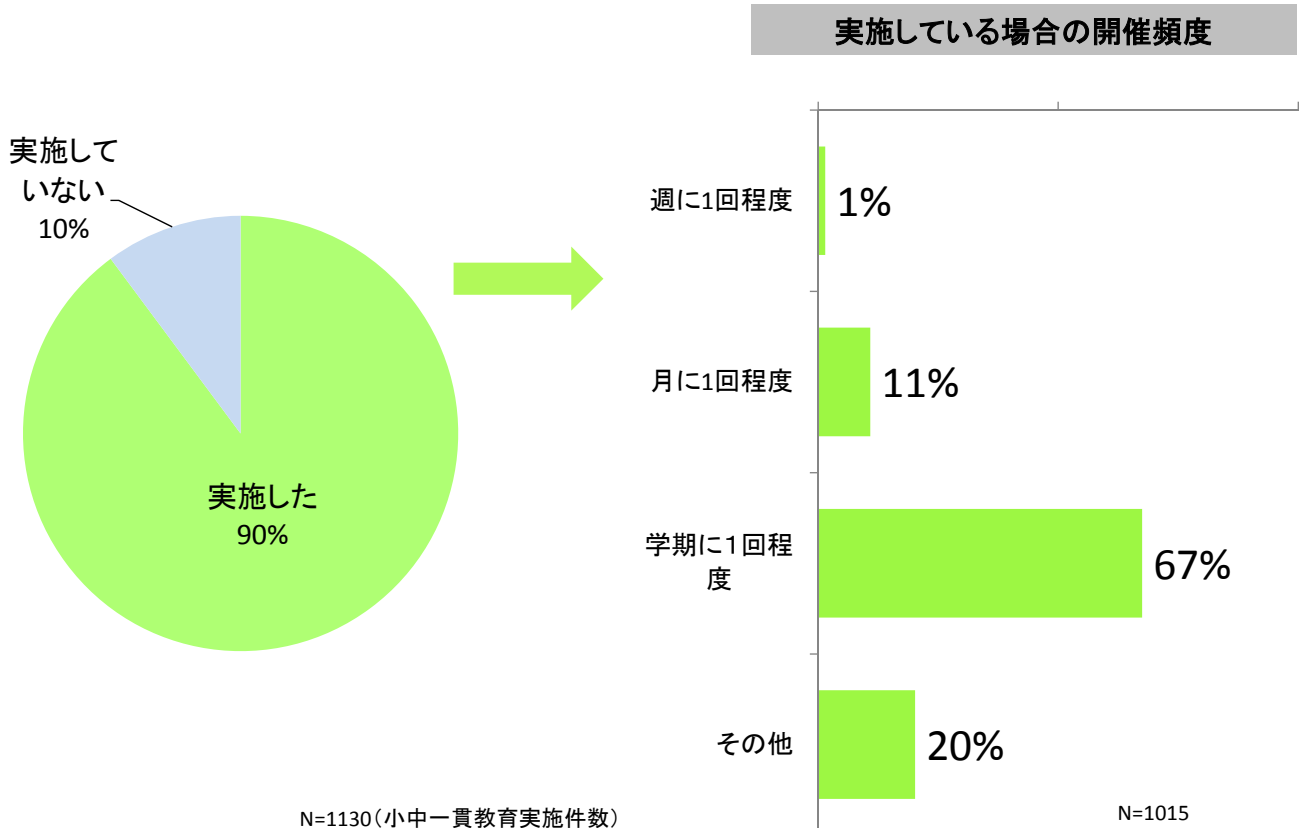
小・中の合同研修を行っている場合の実施頻度(施設形態別)



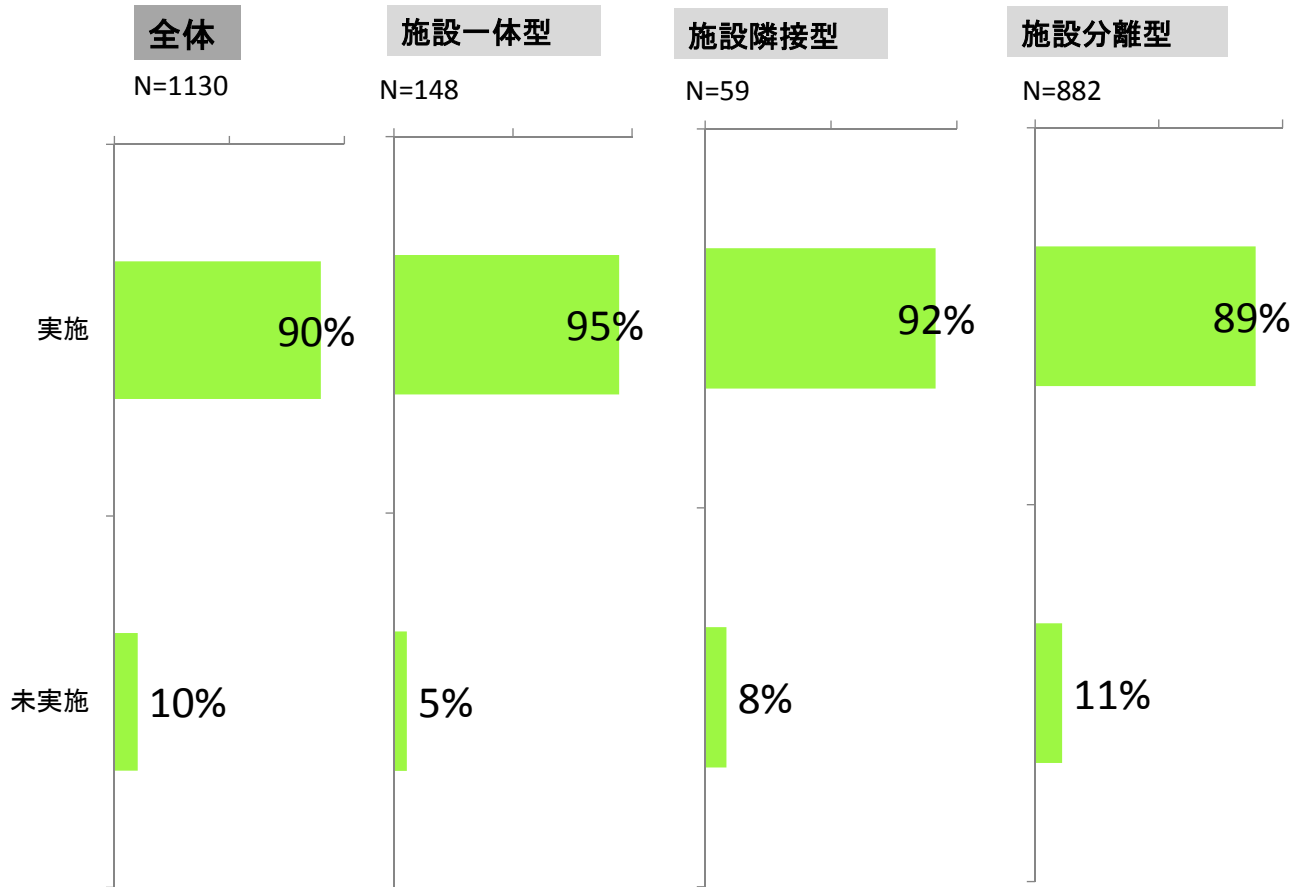
小・中教員の合同研修を行っている場合の実施頻度(校長体制別)



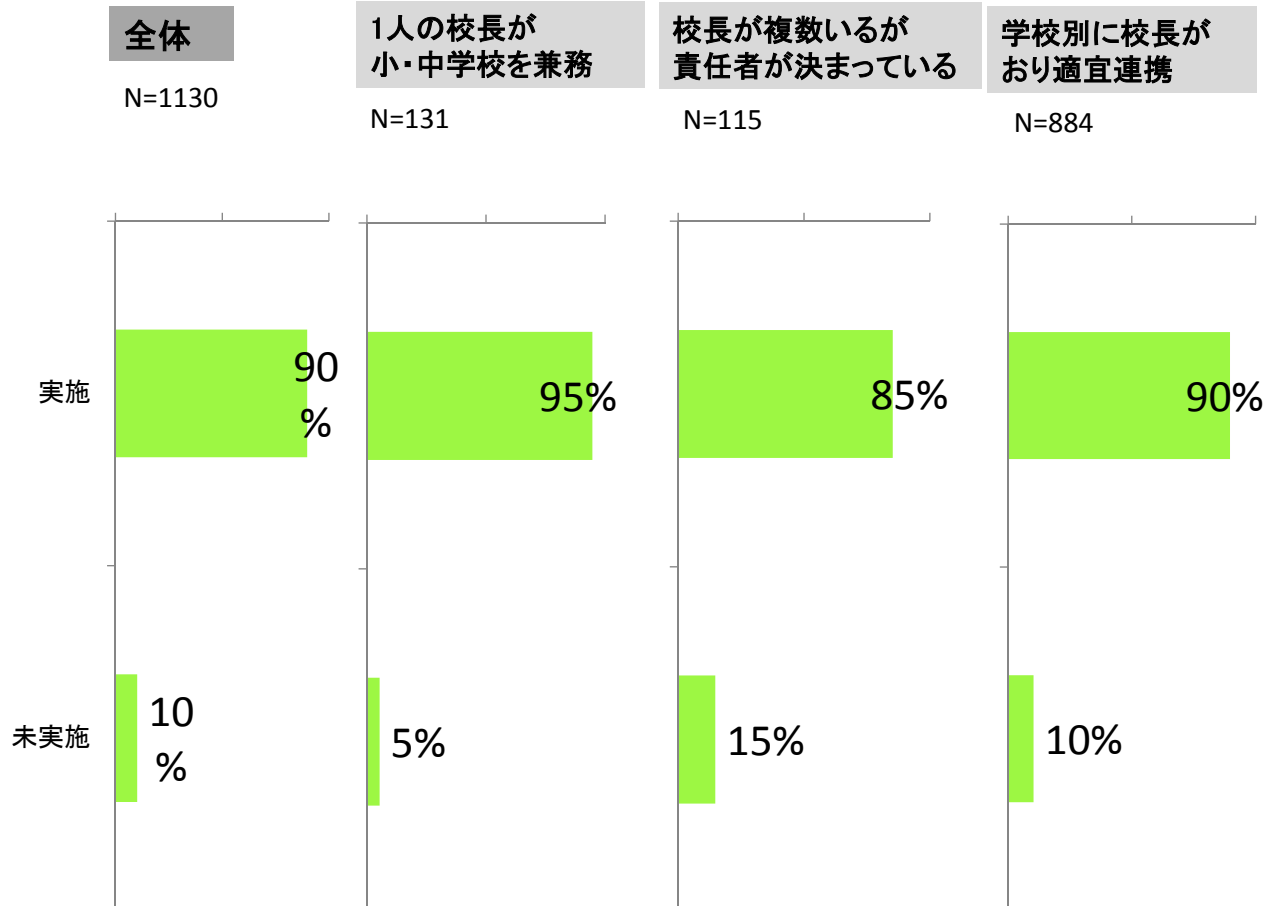
小・中教員の相互授業参観の計画的・継続的实施



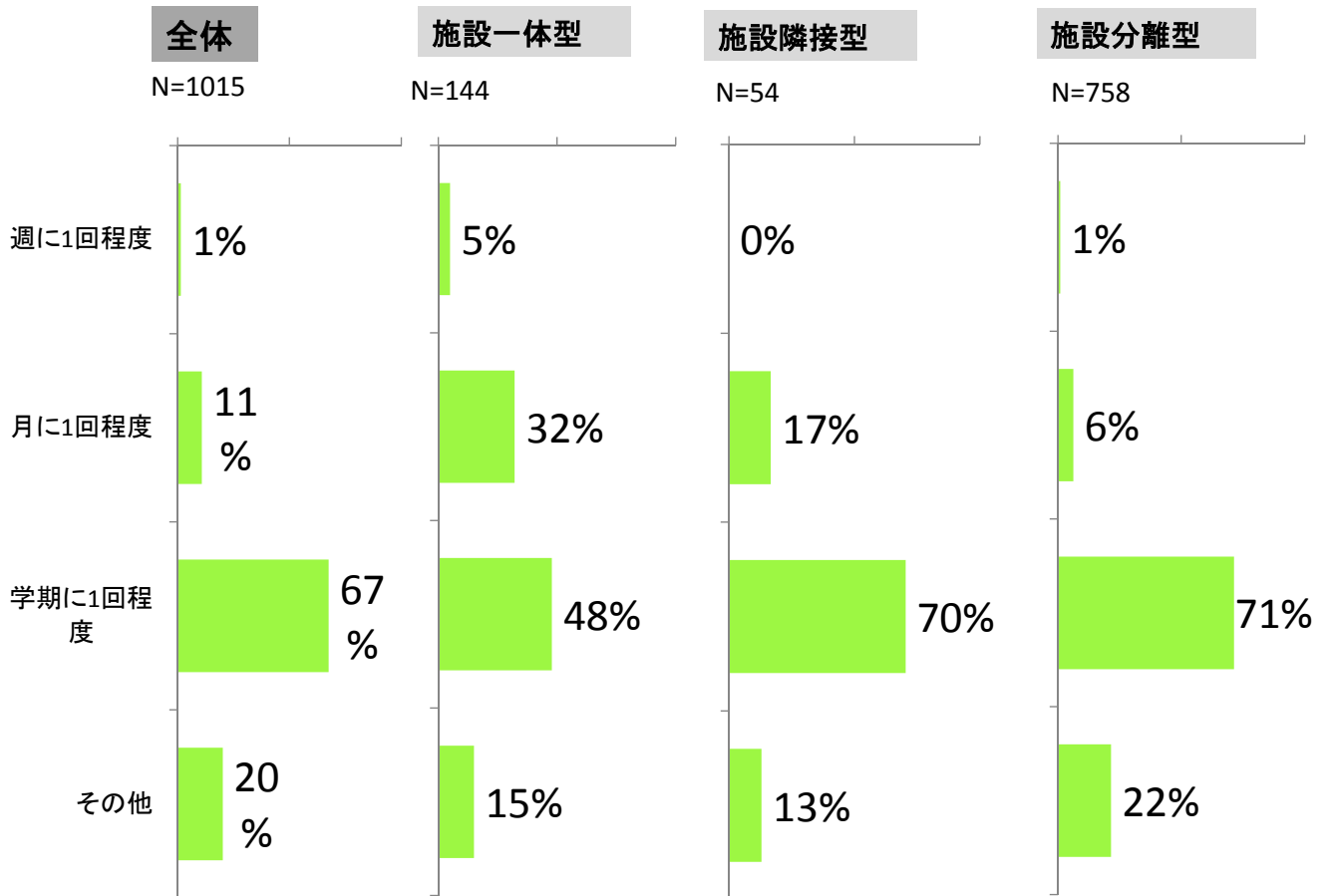
小・中教員の相互授業参観の計画的・継続的实施(施設形態別)



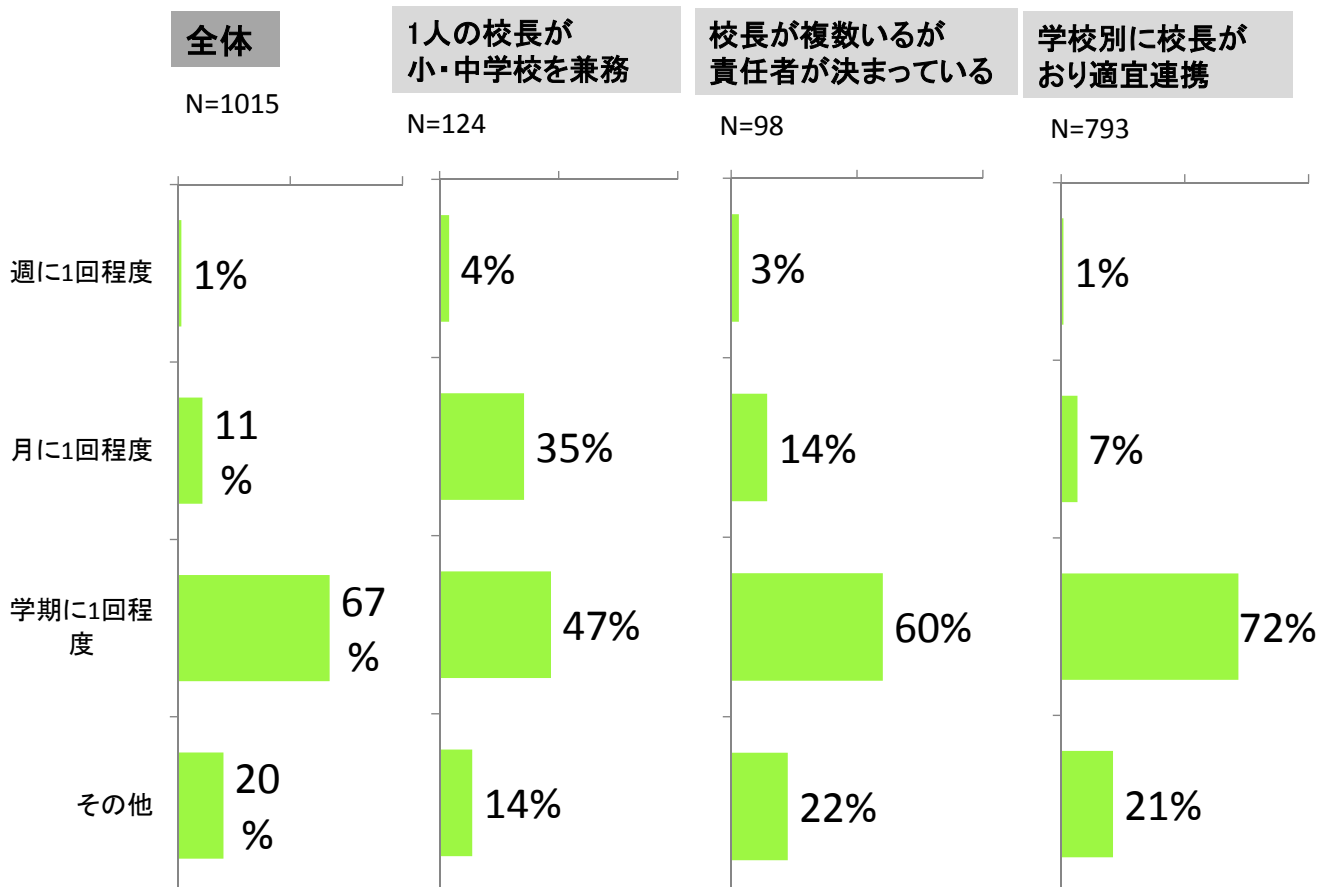
小・中教員の相互授業参観の計画的・継続的实施(校長体制別)



小・中教員の相互授業参観を行っている場合の実施頻度(施設形態別)

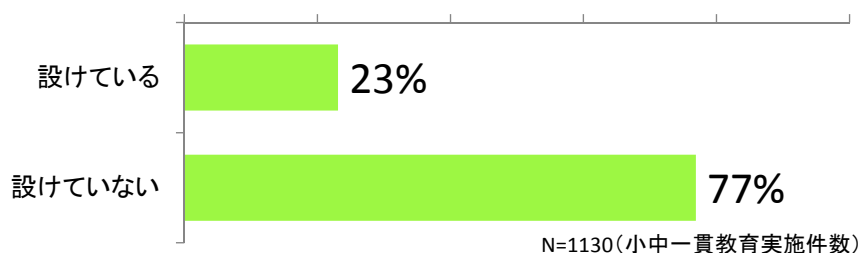


小・中教員の相互授業参観を行っている場合の実施頻度(校長体制別)

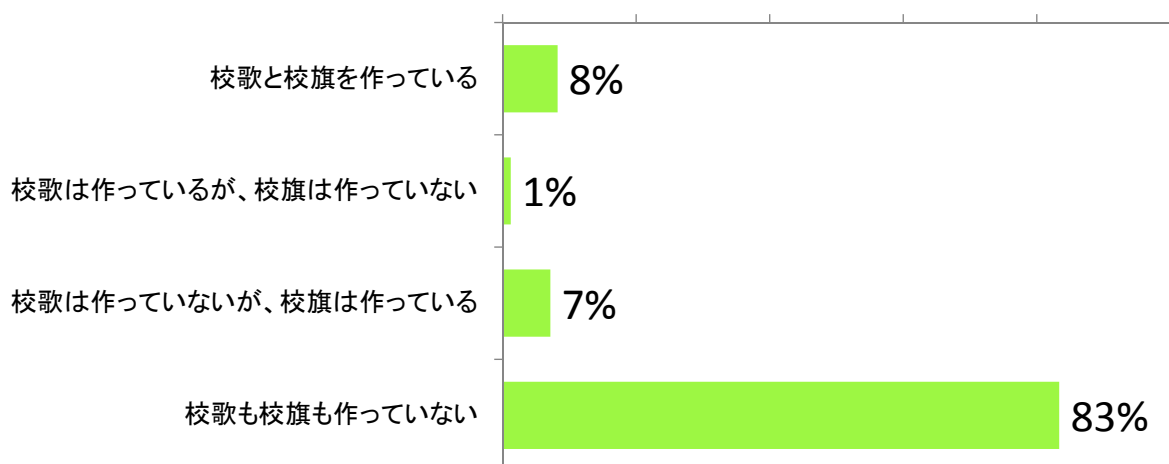


IV その他の取組（～P70）

小・中学校の正式名称とは別の呼称の使用状況（「〇〇学園」等）

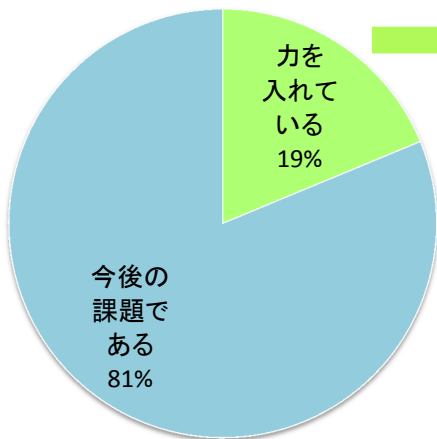


小・中合同の校歌や校旗(シンボルマーク含む)の作成状況

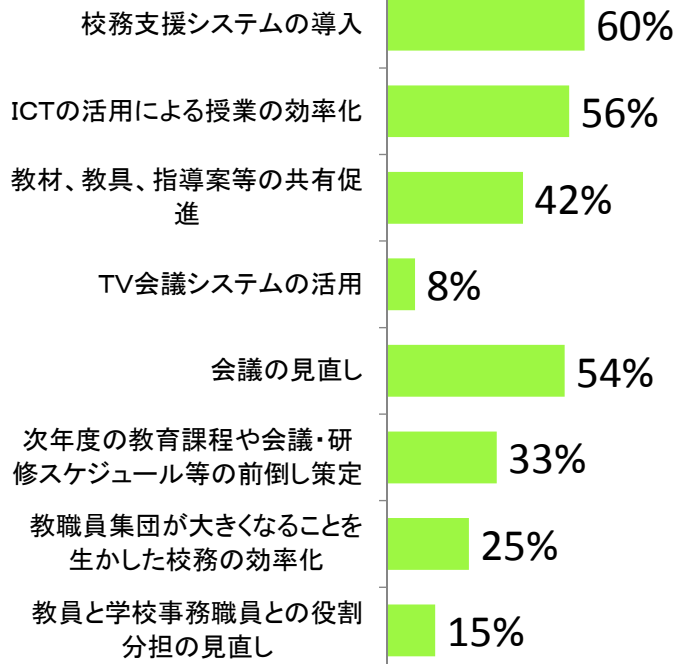


余裕時間の確保や負担軽減の取組

取組内容

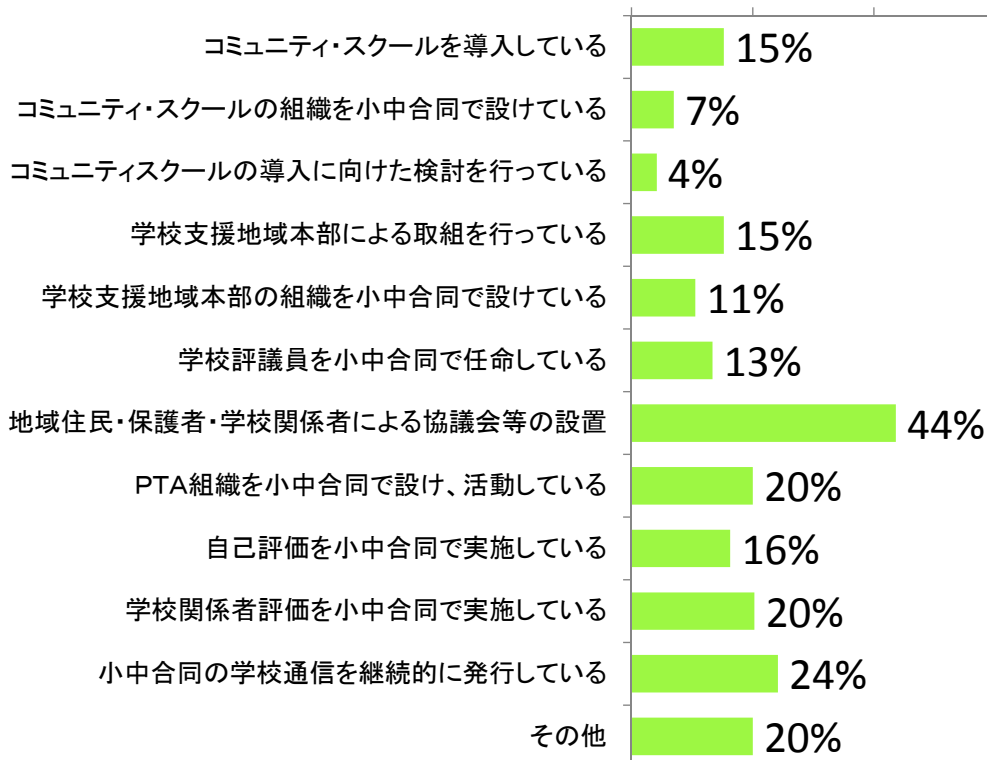


N=1130(小中一貫教育実施件数)



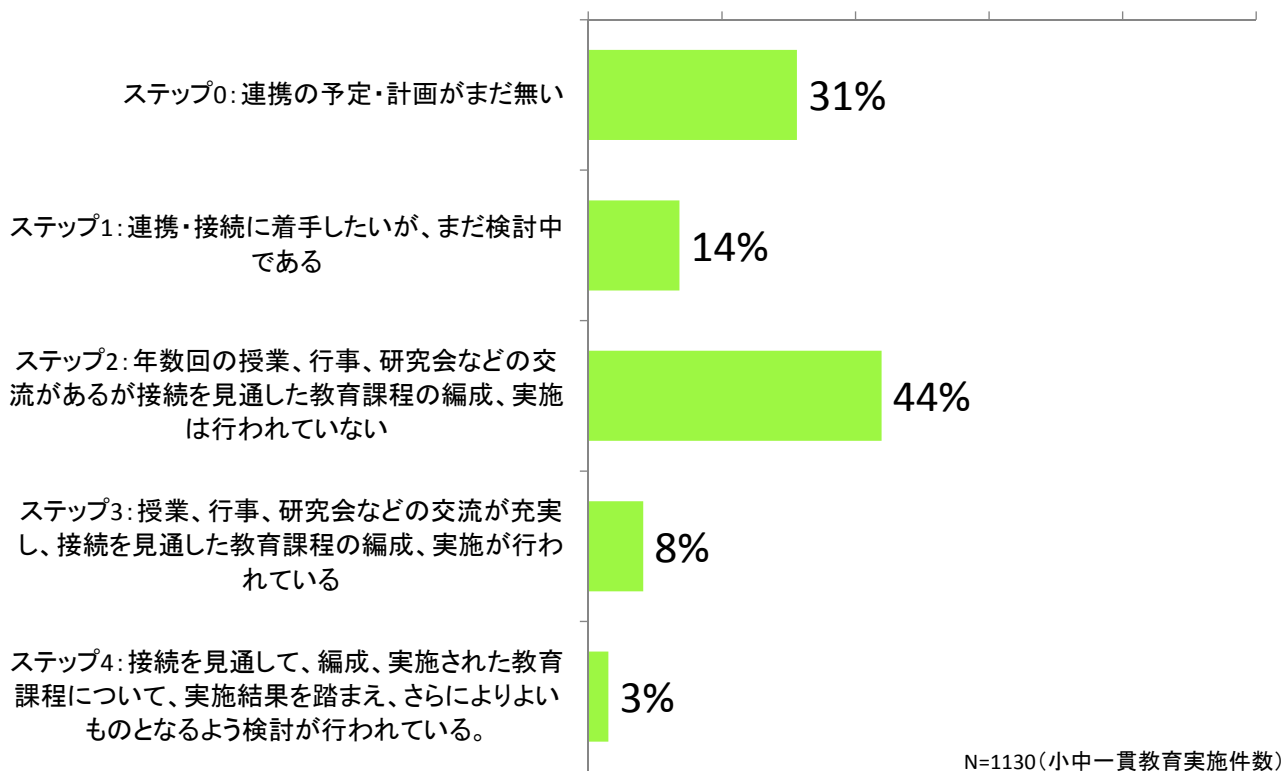
N=212

地域や保護者との協働関係を強めることを目的に取り組んでいる事項



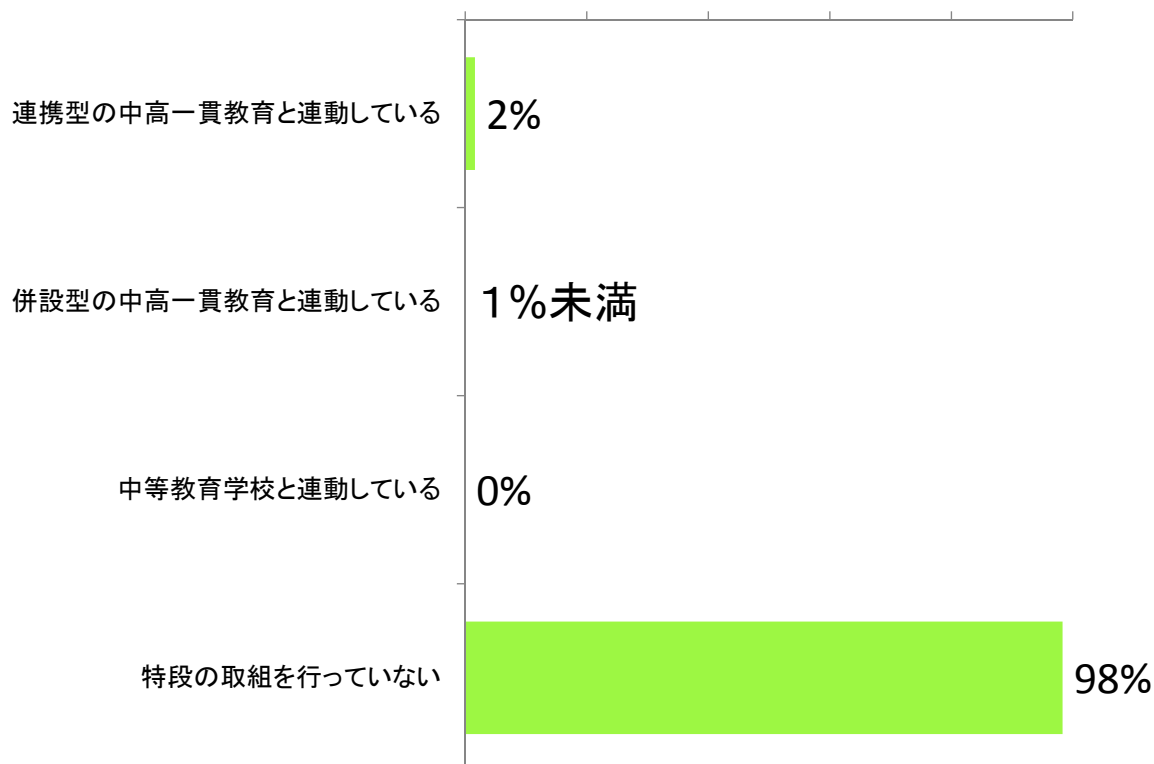
N=1130(小中一貫教育実施件数)

幼稚園、保育所との連携・接続状況



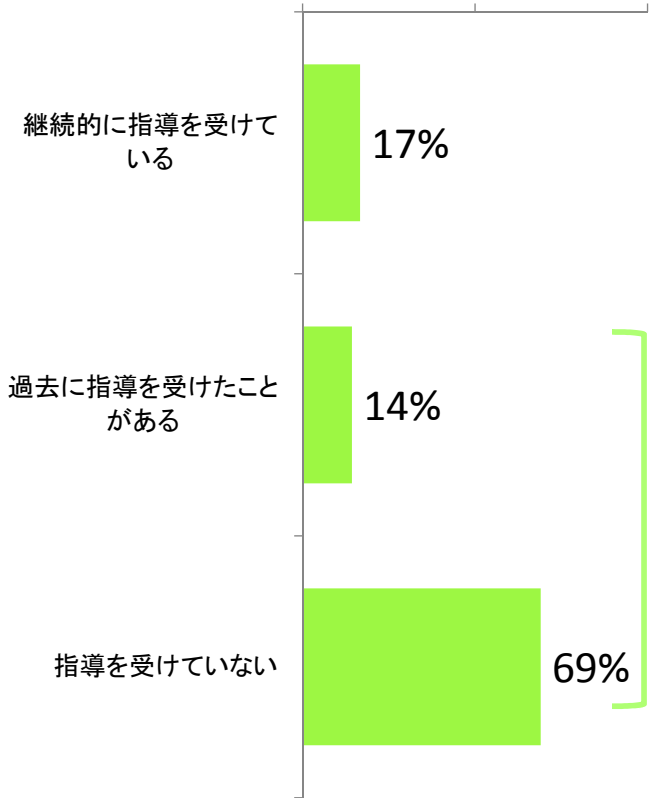
※幼小連携のステップの分類については、「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議報告書」(平成22年11月11日)による。

中高一貫教育との連動



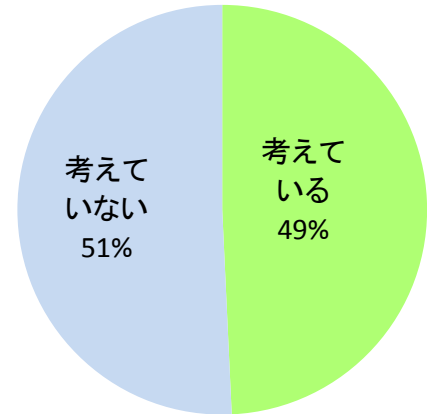
外部有識者からの指導助言

指導助言の有無



N=1130(小中一貫教育実施件数)

今後の指導希望意向

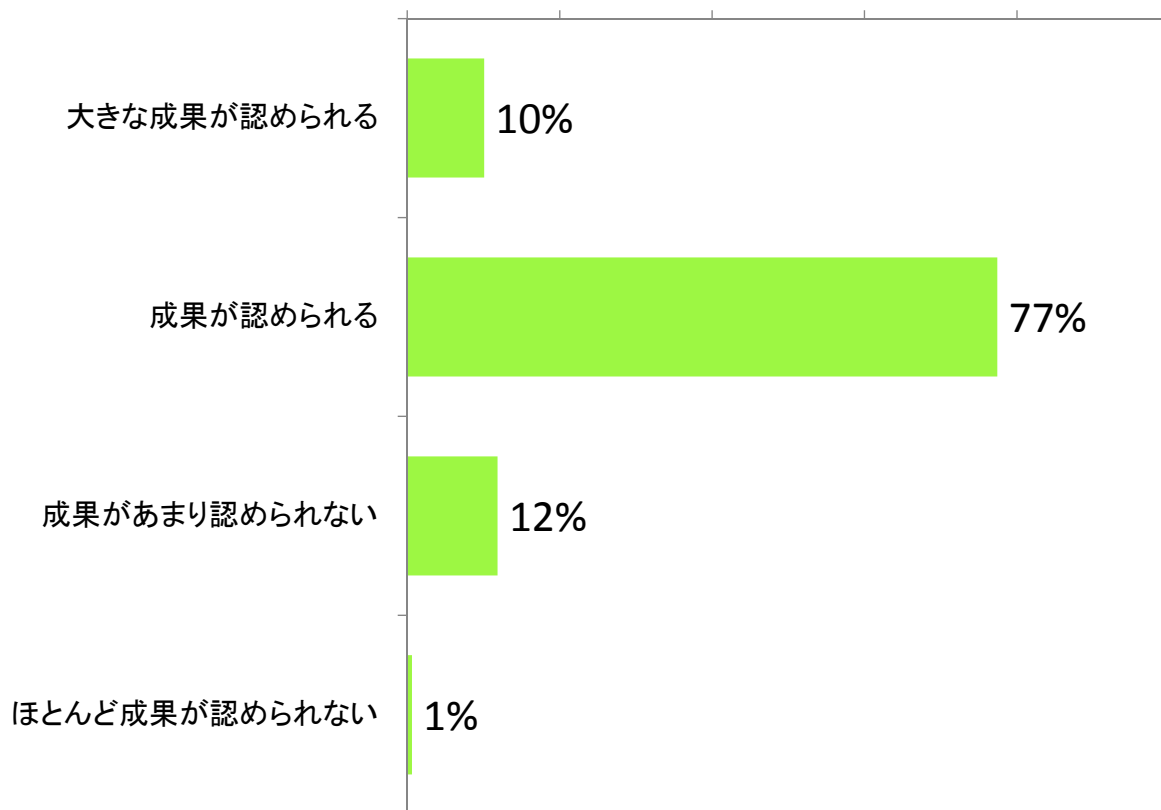


N=942



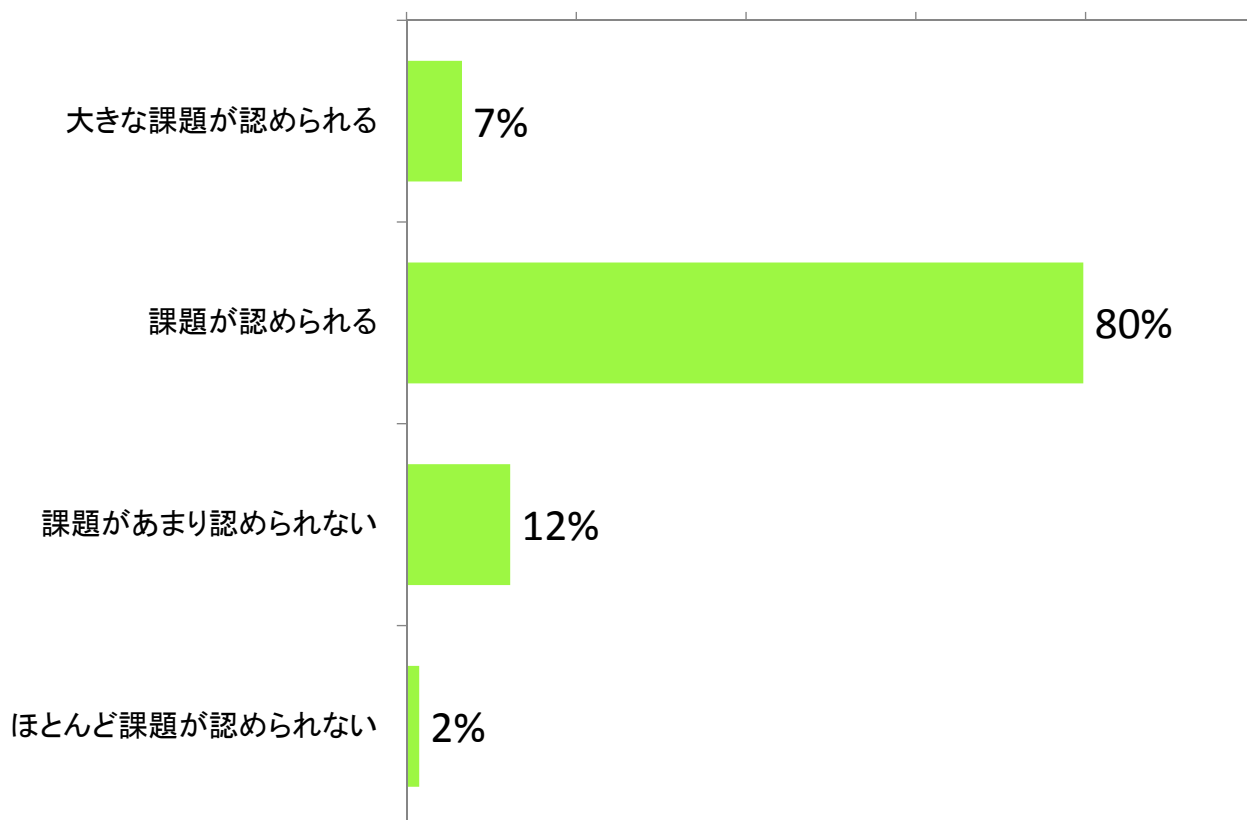
V 成果・課題など（～P75）

小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)



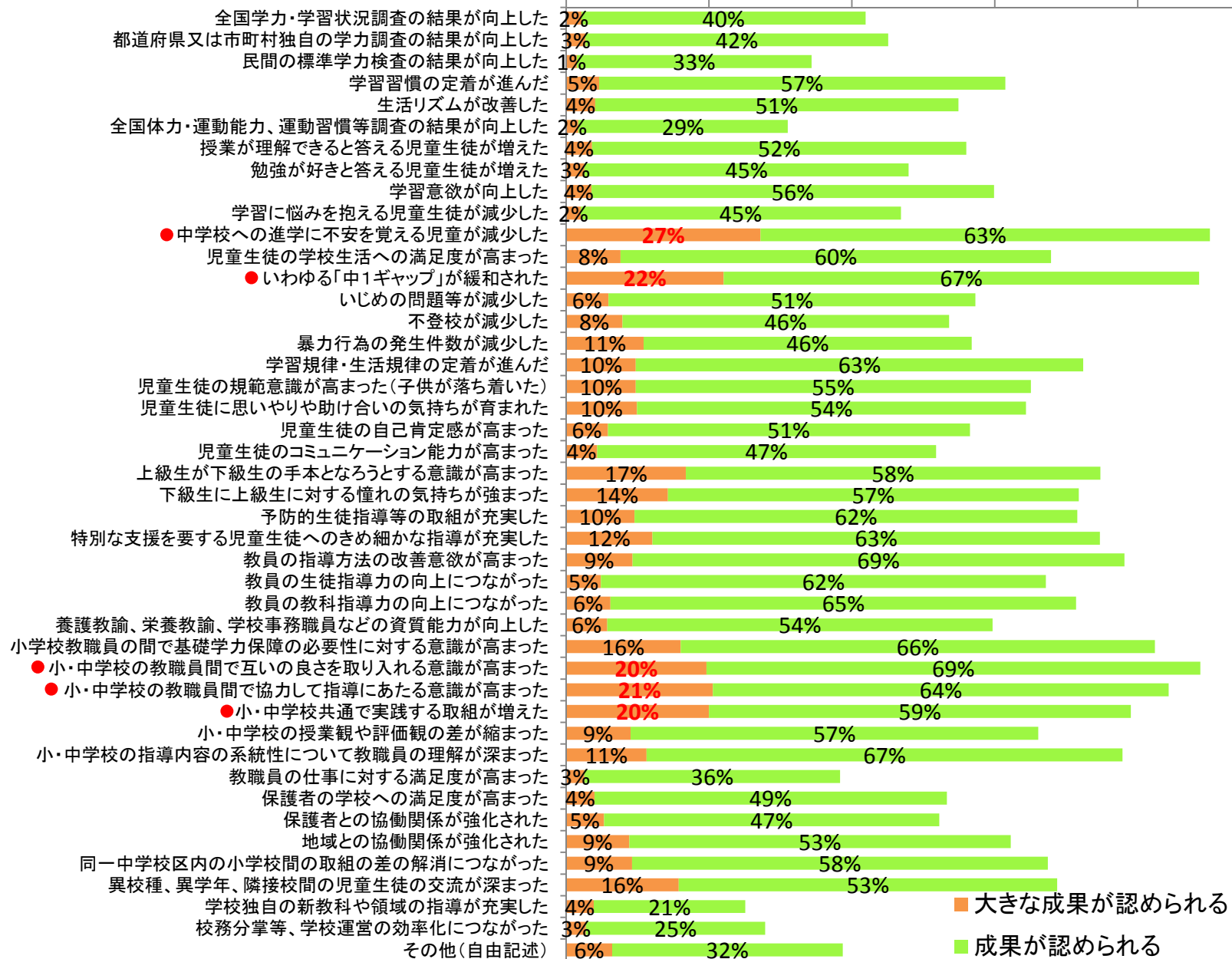
N=1130(小中一貫教育実施件数)

小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(課題)



N=1130(小中一貫教育実施件数)

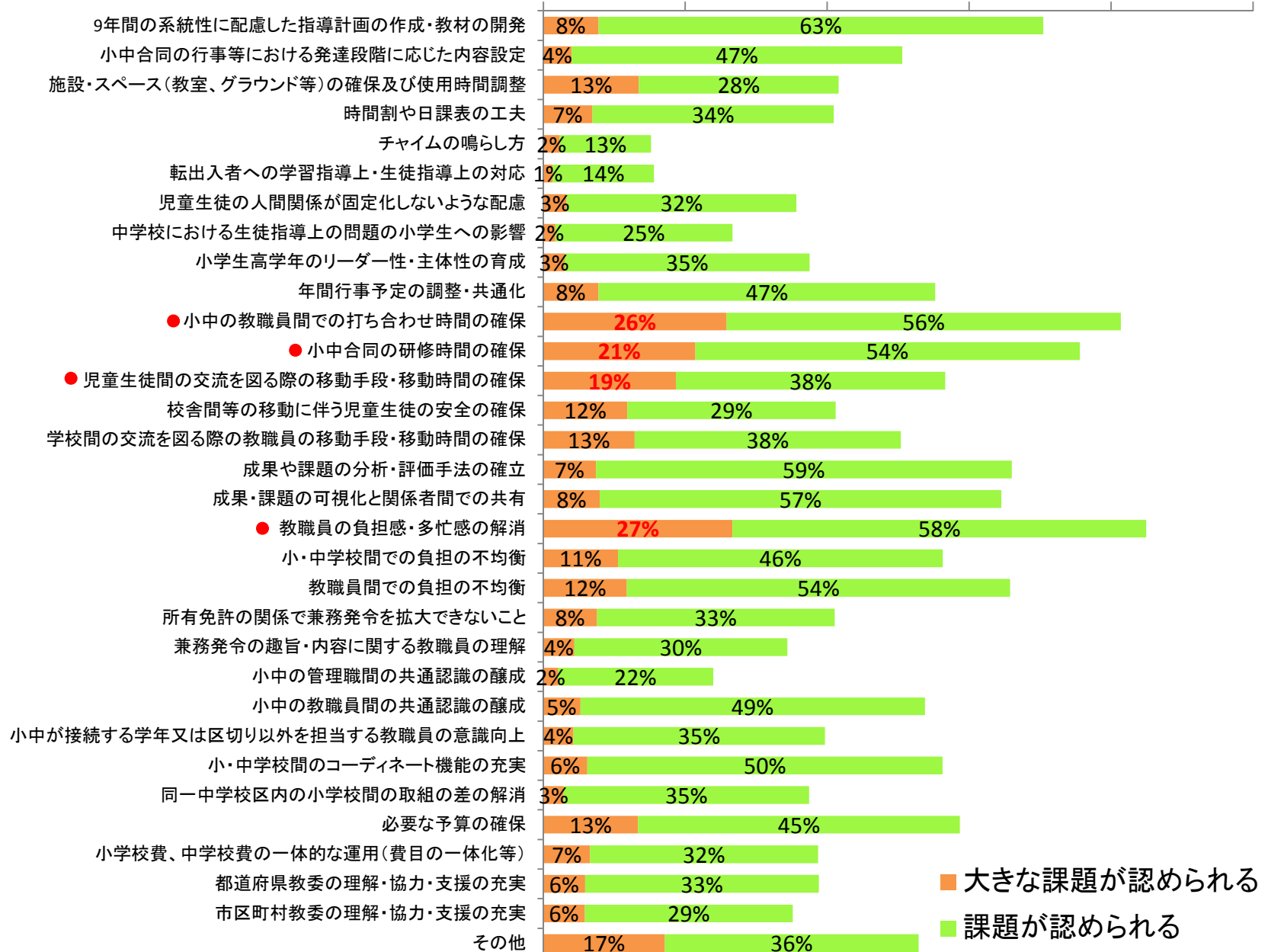
小中一貫教育の成果



N=1130(小中一貫教育実施件数)

※「大きな成果が認められる」の回答が特に多い項目については●で示している。

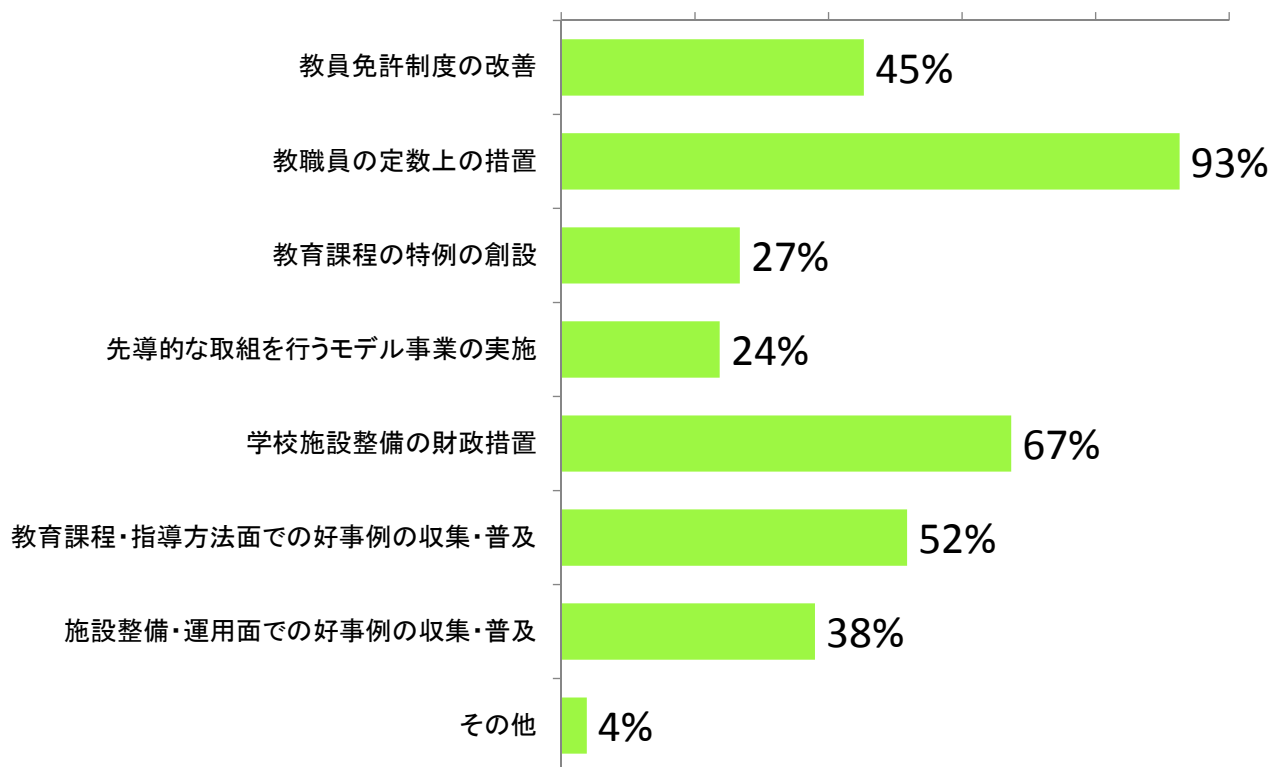
小中一貫教育の課題



N=1130(小中一貫教育実施件数)

※「大きな課題が認められる」の回答が特に多い項目については●で示している。

国に期待する取組



【その他の主な内容】

- ・義務教育学習指導要領の策定
- ・デメリットや課題、小中学校間で必要な段差についての研究や報告 など

N=1130(小中一貫教育実施件数)



クロス分析

【成果とのクロス分析】

- I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の成果【79】
- II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の成果【87】
- III 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の成果【95】
- IV 校長の体制 × 小中一貫教育の成果【104】
- V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の成果【112】
- VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム × 小中一貫教育の成果【120】
- VII 施設形態 × 小中一貫教育の成果【128】

【課題とのクロス分析】

- I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の課題【138】
- II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の課題【142】
- III 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の課題【144】
- IV 校長の体制 × 小中一貫教育の課題【148】
- V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の課題【153】
- VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム × 小中一貫教育の課題【158】
- VII 施設形態 × 小中一貫教育の課題【162】

※小中一貫教育の具体的成果や具体的課題と、①経過年数、②教科担任制の導入の有無、③小中教員の乗り入れ授業の実施の有無、④校長の体制の違い、⑤教育課程の区分の変更の有無⑥9年間の学校教育目標・カリキュラムの有無⑦施設形態についてクロス分析を実施

クロス分析総表（成果）

	I 小中一貫教育の実施経過年数	II 小学校における教科担任制実施状況	III 小中教員の乗り入れ授業実施状況	IV 校長の体制	V 学年段階の区切り	VI 9年間の学校教育目標・カリキュラム	VII 施設形態
総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小中合同の行事等における発達段階に応じた内容設定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
施設・スペース(教室・グラウンド等)の確保及び使用時間調整	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
時間割や日課表の工夫	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
チャイムの鳴らし方	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
転入社への学習指導上・生徒指導上の対応	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小学生高学年のリーダー性・主体性の育成	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
年間行事予定の調整・共通化	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小中合同の研修時間の確保	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全確保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
成果や課題の分析・評価手法の確立	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
成果・課題の可視化と関係者間での共有	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
教職員間の負担感・多忙感の解消	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校間での負担の不均衡	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
教職員間での負担の不均衡	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
所有免許の関係で兼務発令を拡大できないこと	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
兼務発令の趣旨、内容に関する教職員の理解	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小中の管理職間の共通認識の醸成	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小中の教職員間の共通認識の醸成	—	◎	◎	○	○	◎	—
小中が接続する学年又は区切り以外の担当教職員の意識向上	◎	○	○	—	—	◎	—
小・中学校間のコーディネート機能の充実	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
必要な予算の確保	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
都道府県教委の理解・協力・支援の充実	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
その他	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校共通で実践する取組が増えた	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
教職員の仕事に対する満足度が高まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
保護者の学校への満足度が高まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
保護者との協働関係が強化された	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地域との協働関係が強化された	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消につながった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学校独自の新教科や領域の指導が充実した	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
校務分掌等、学校運営の効率化につながった	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎

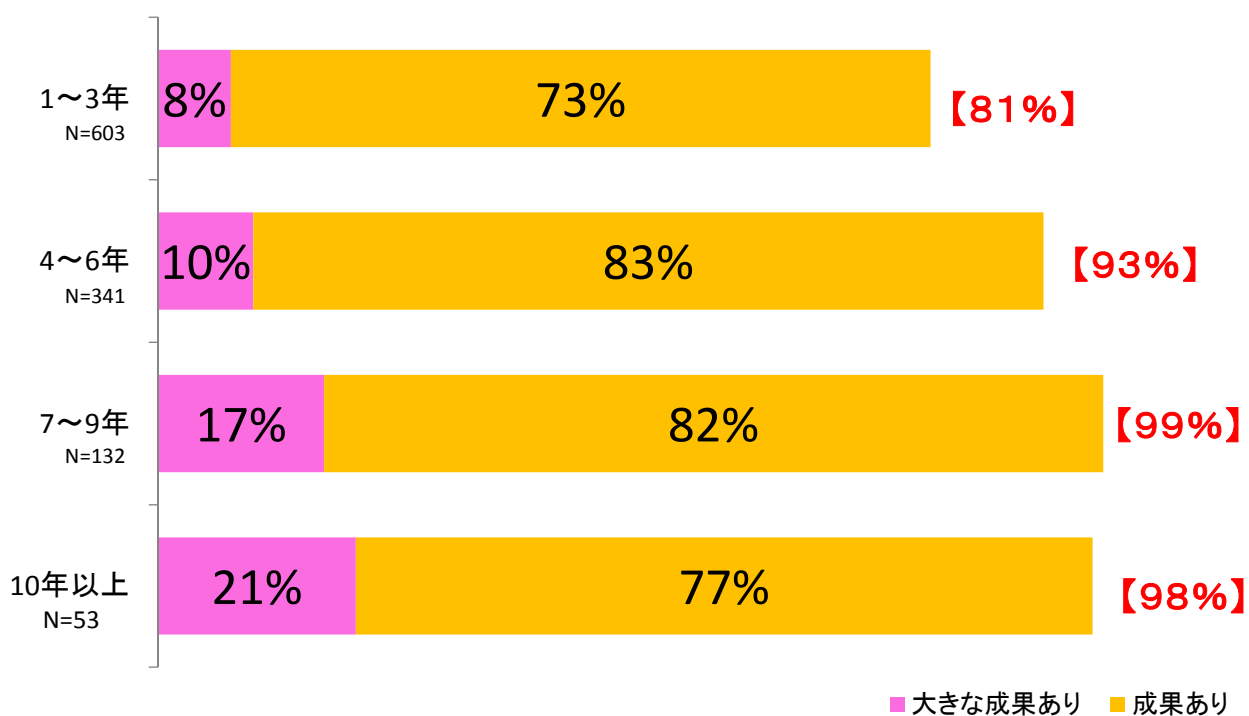
※1 ◎・○は、I～VIIの各項目における取組の違いにより、成果の有無に係る回答に有意な差異があったことを示す。
 ※2 ◎はカイニ乗検定における1%水準、○は5%水準で有意であることを示し、—は有意な差異が見られなかったことを示す。

I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の成果

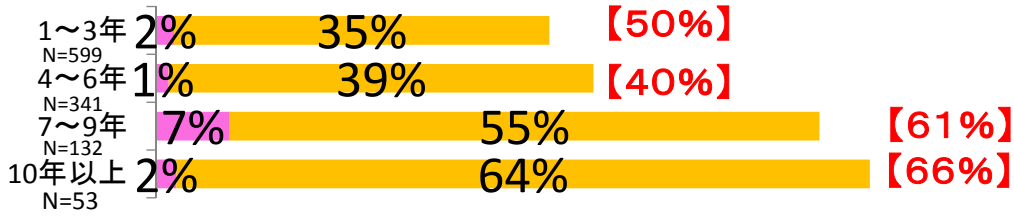
(～P86)

小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の成果

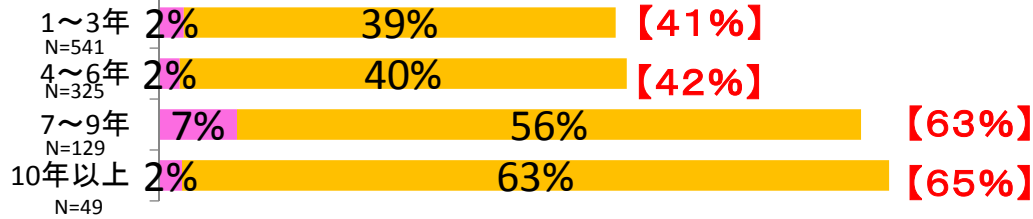
総合評価



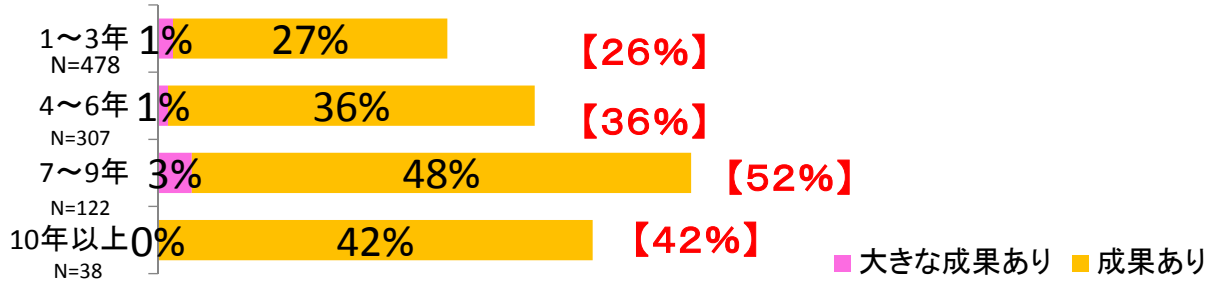
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



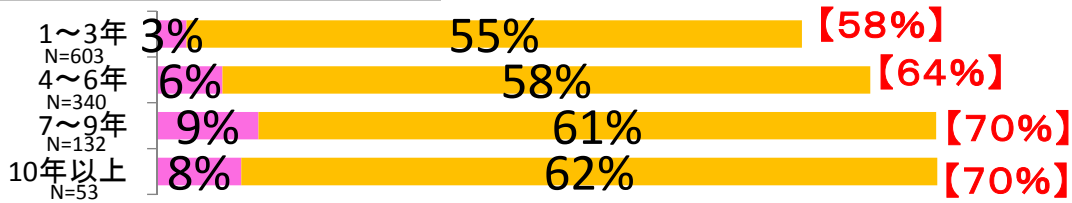
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



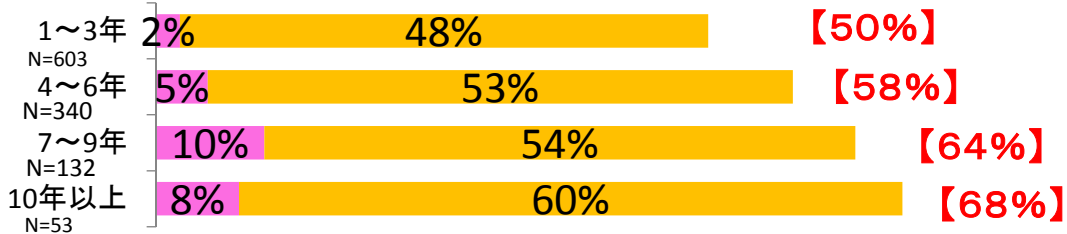
③民間の標準学力検査の結果が向上した



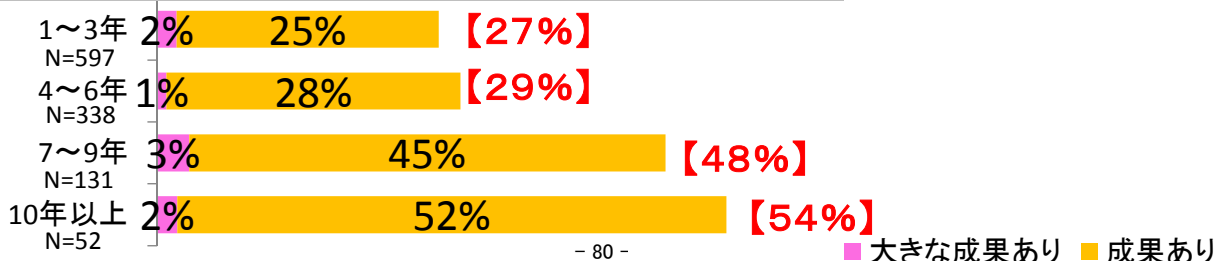
④学習習慣の定着が進んだ



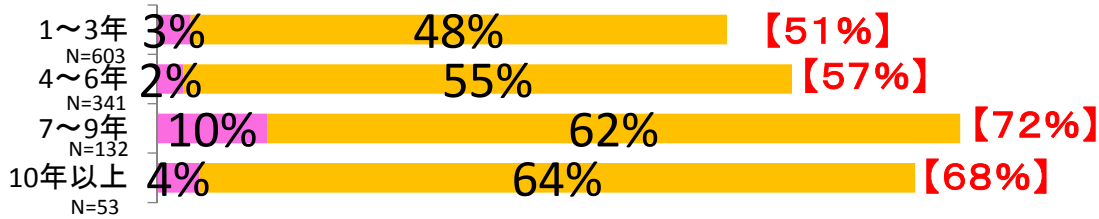
⑤生活リズムが改善した



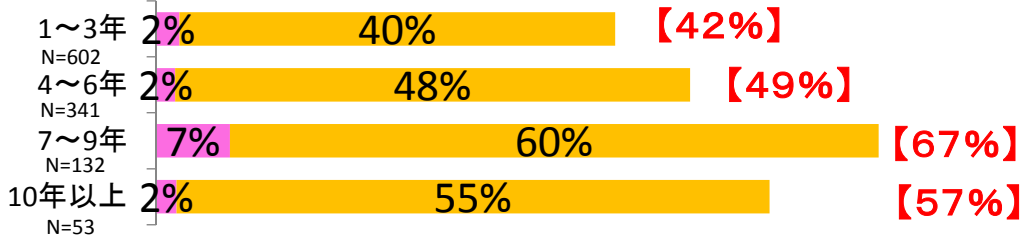
⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した



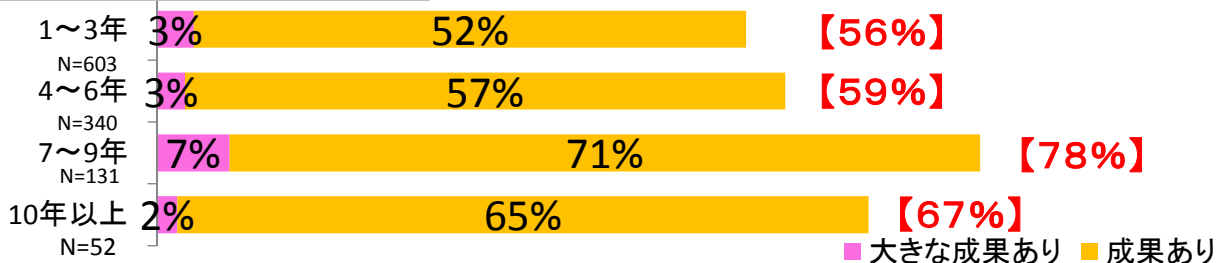
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



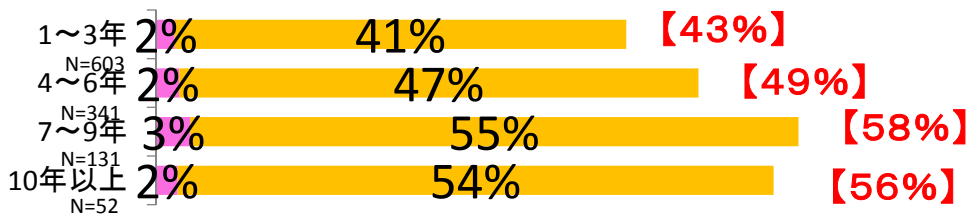
⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた



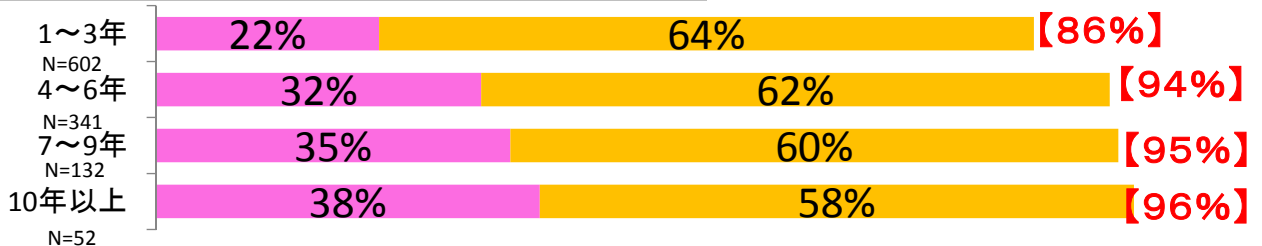
⑨学習意欲が向上した



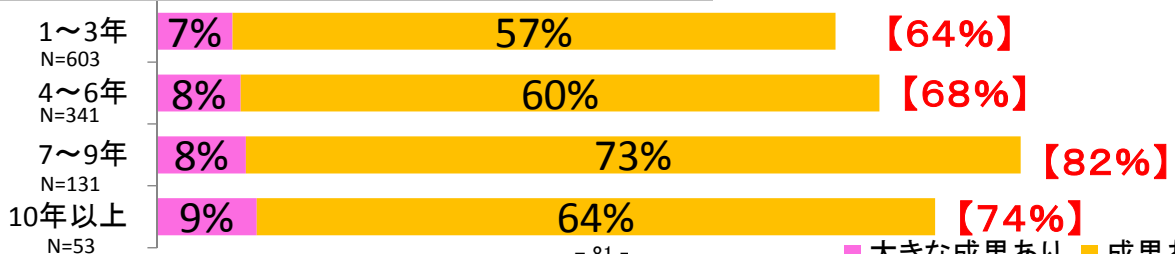
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



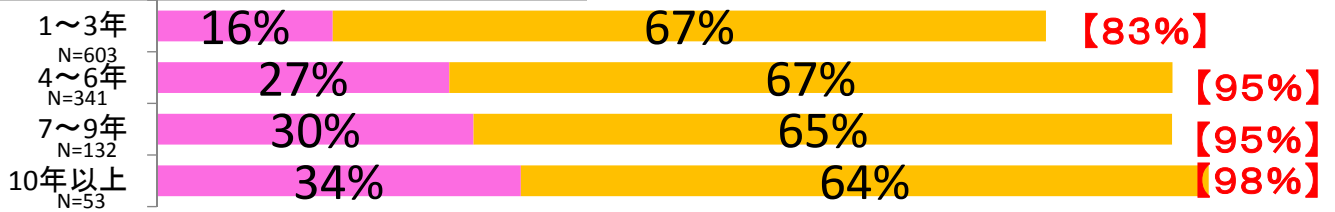
⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



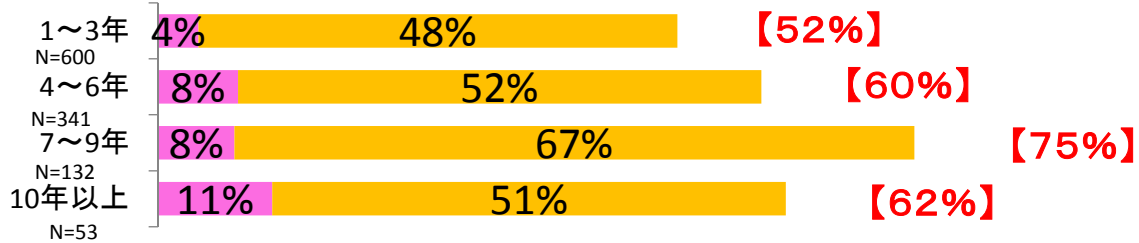
⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった



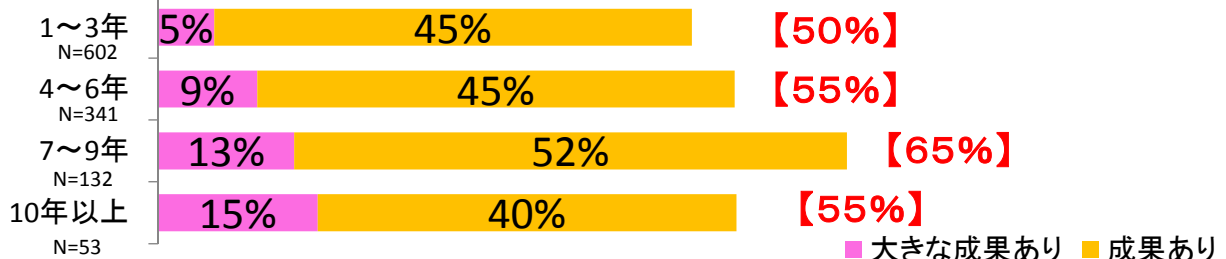
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



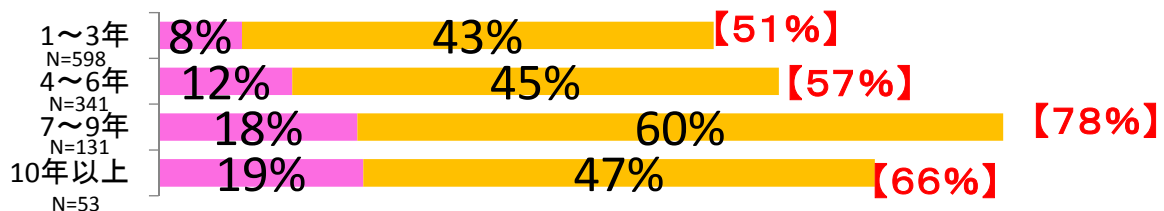
⑭いじめの問題等が減少した



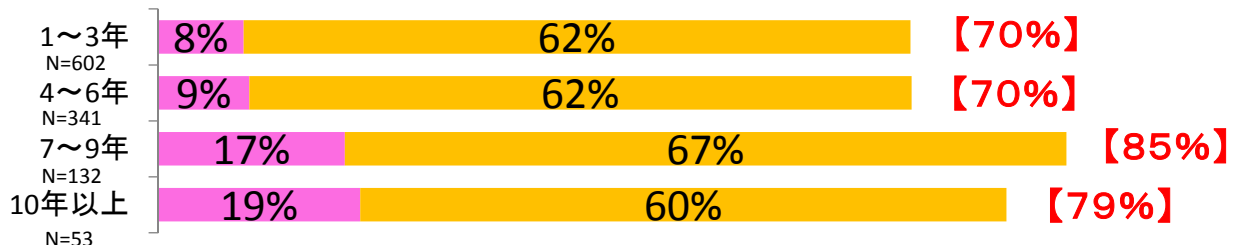
⑮不登校が減少した



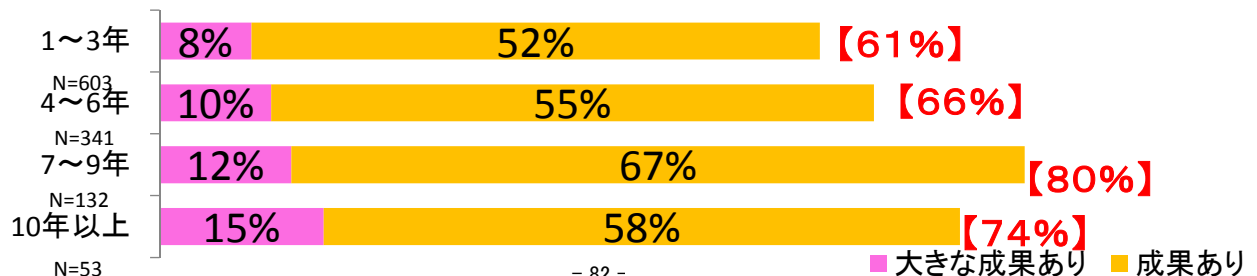
⑯暴力行為の発生件数が減少した



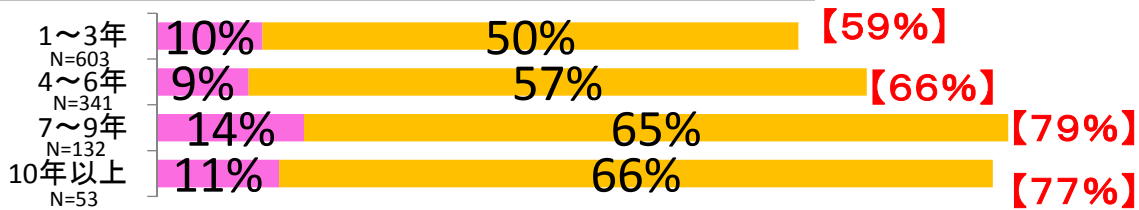
⑰学習規律・生活規律の定着が進んだ



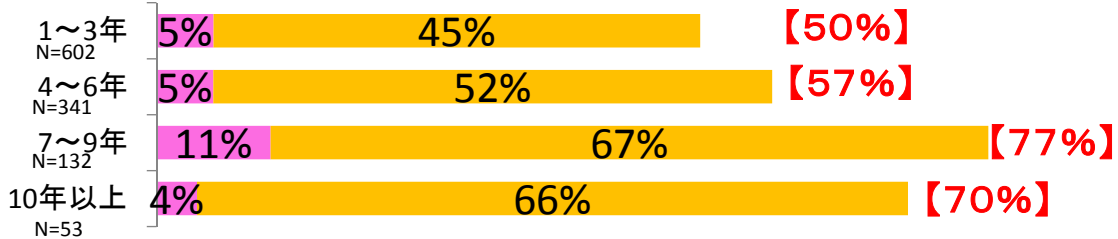
⑱児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



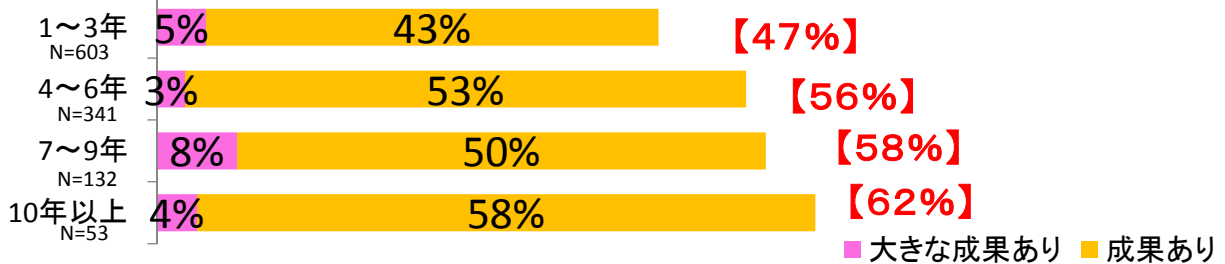
⑱児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



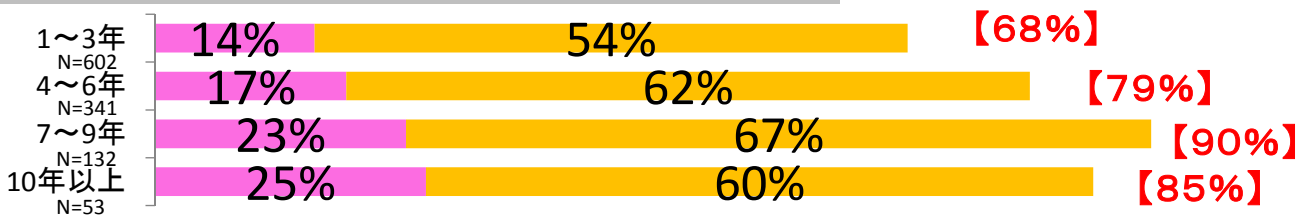
⑳児童生徒の自己肯定感が高まった



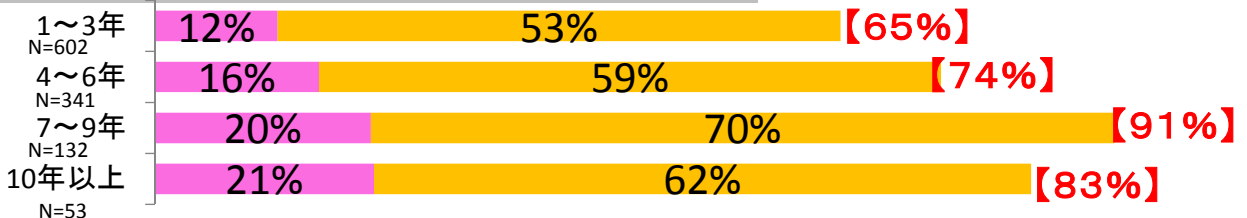
㉑児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



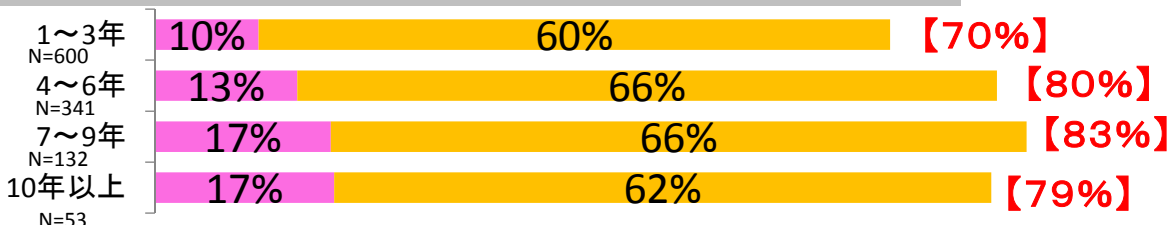
㉒上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった。



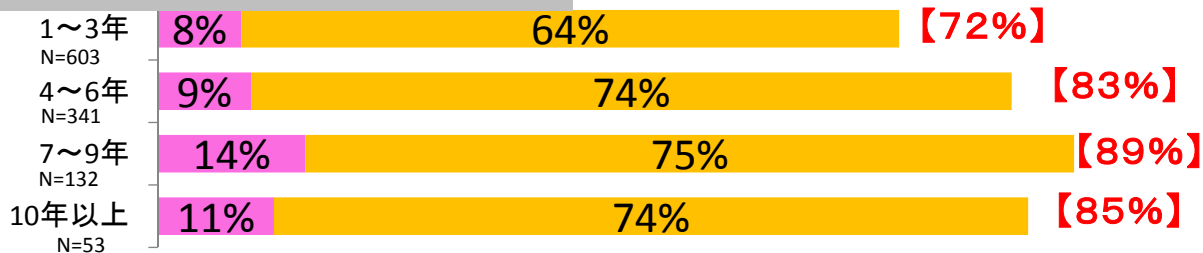
㉓下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



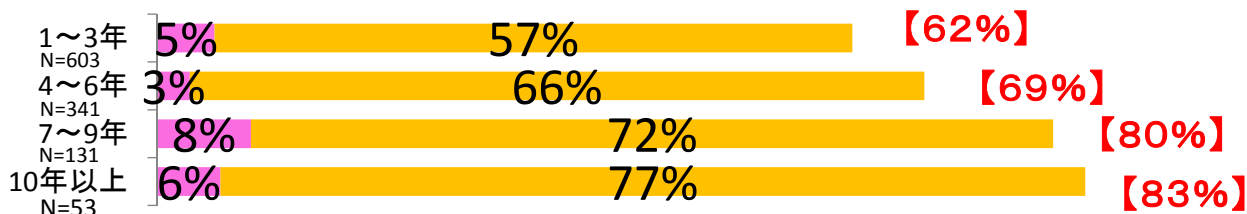
㉔特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導が充実した



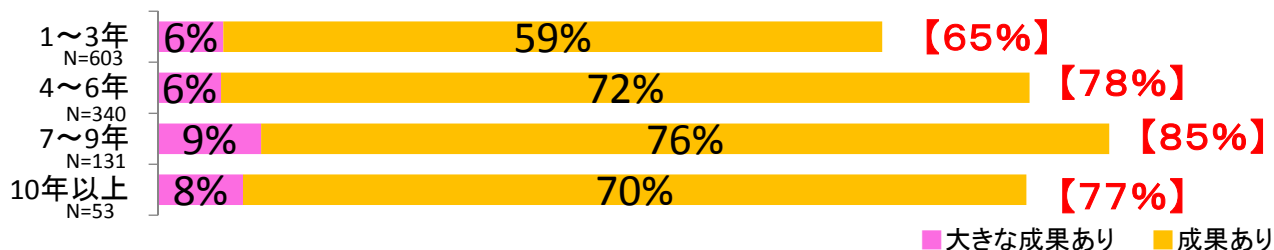
②⑤教員の指導方法の改善意欲が高まった



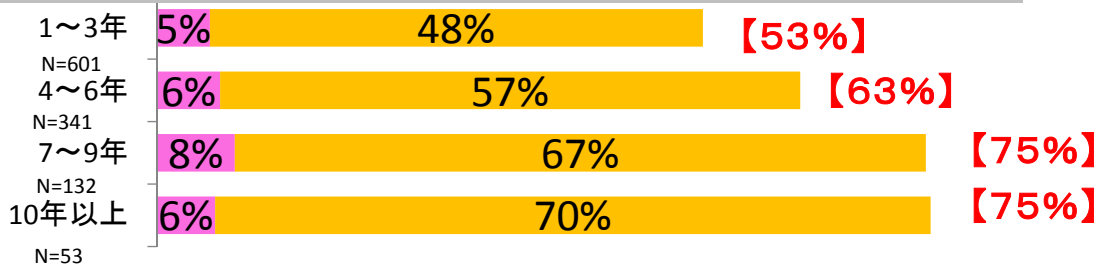
②⑥教員の生徒指導力の向上につながった



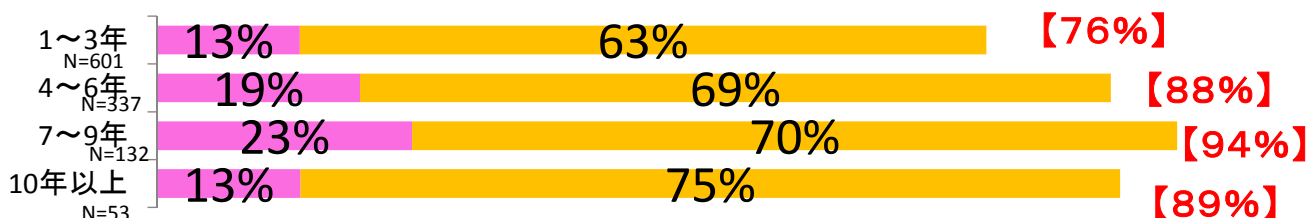
②⑦教員の教科指導力の向上につながった



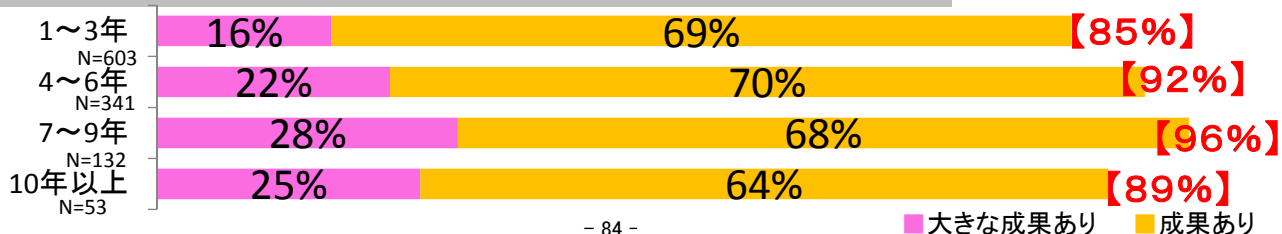
②⑧養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



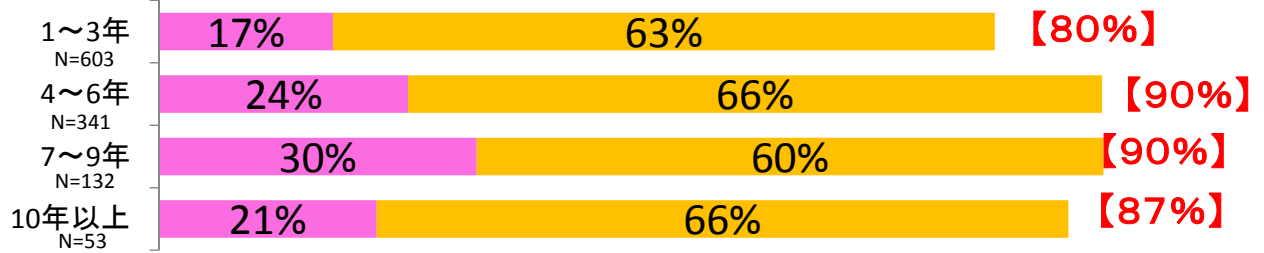
②⑨小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



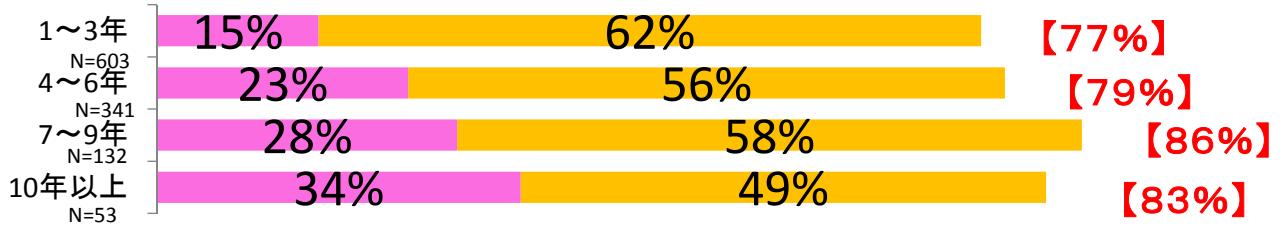
③⑩小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



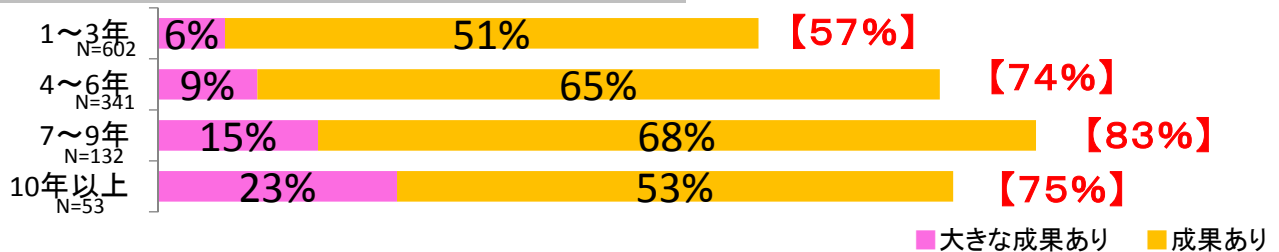
③①小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



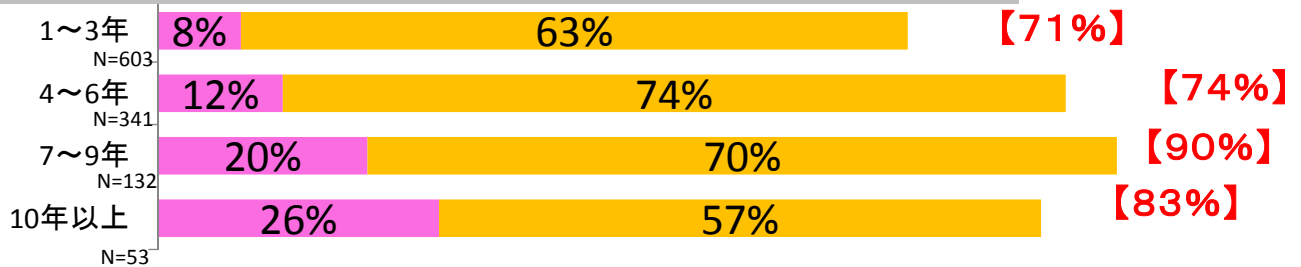
③②小・中学校共通で実践する取組が増えた



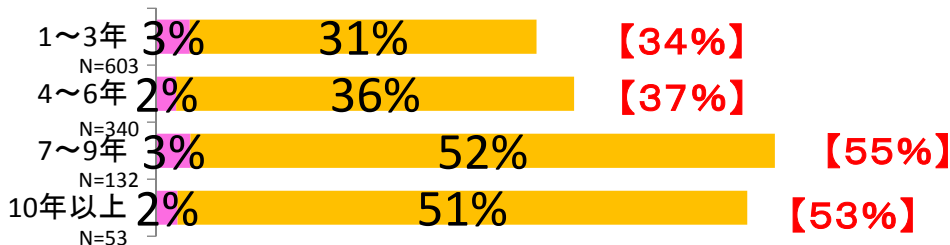
③③小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



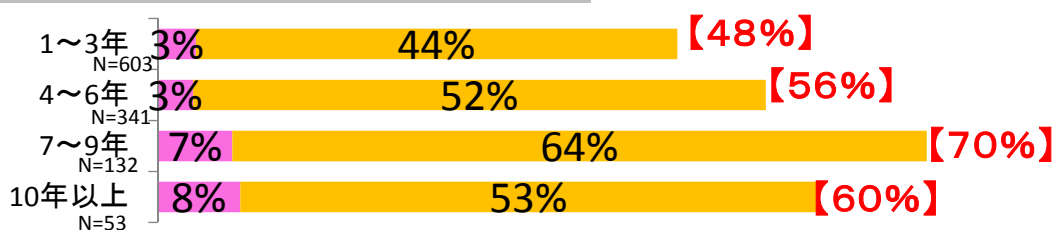
③④小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



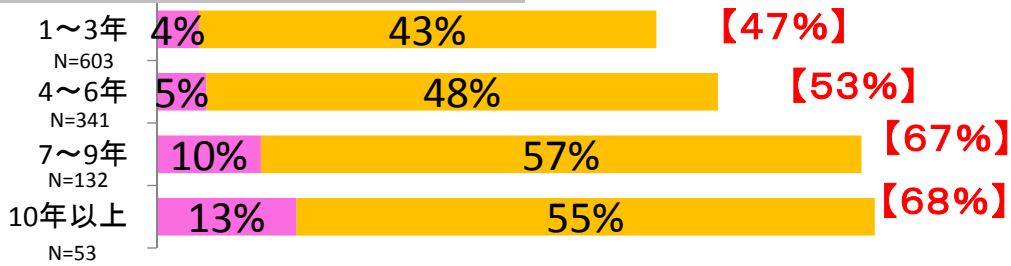
③⑤教職員の仕事に対する満足度が高まった



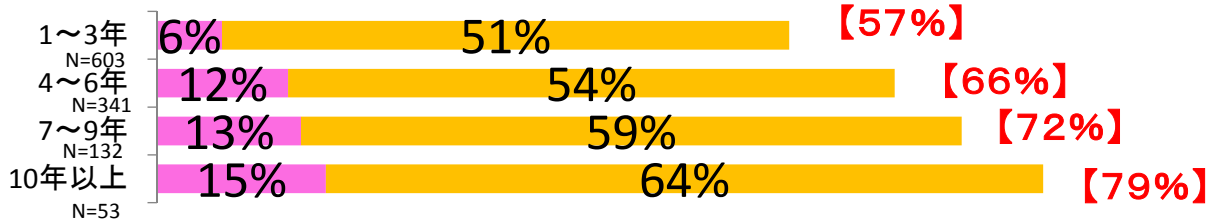
③⑥保護者の学校への満足度が高まった



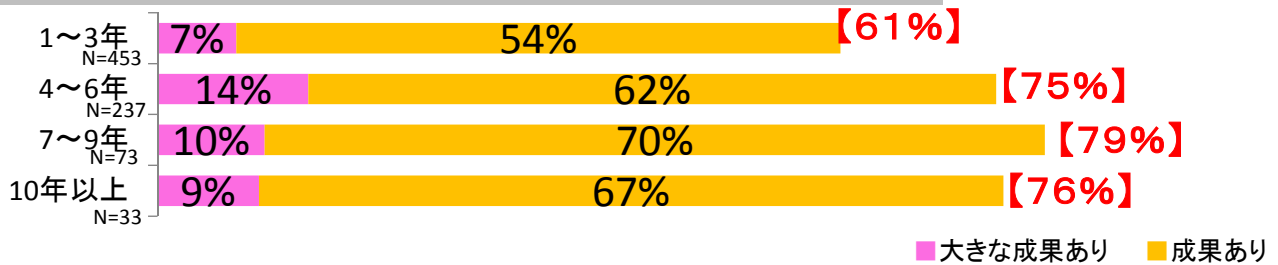
③⑦保護者との協働関係が強化された



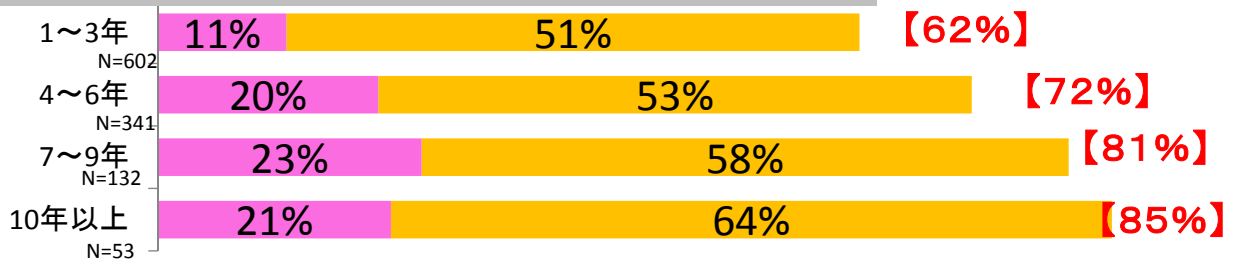
③⑧地域との協働関係が強化された



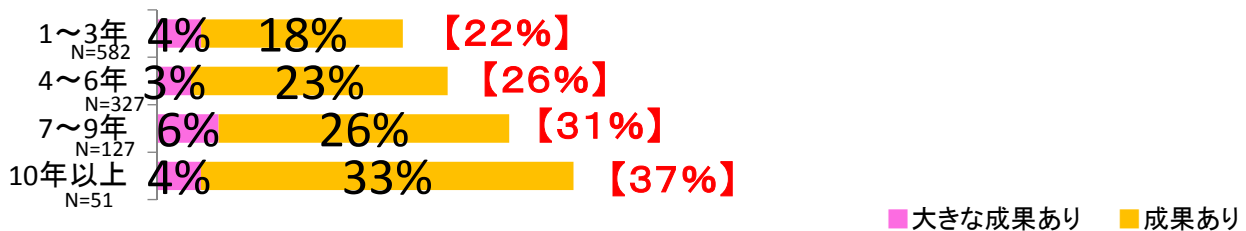
③⑨同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消につながった



④⑩異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



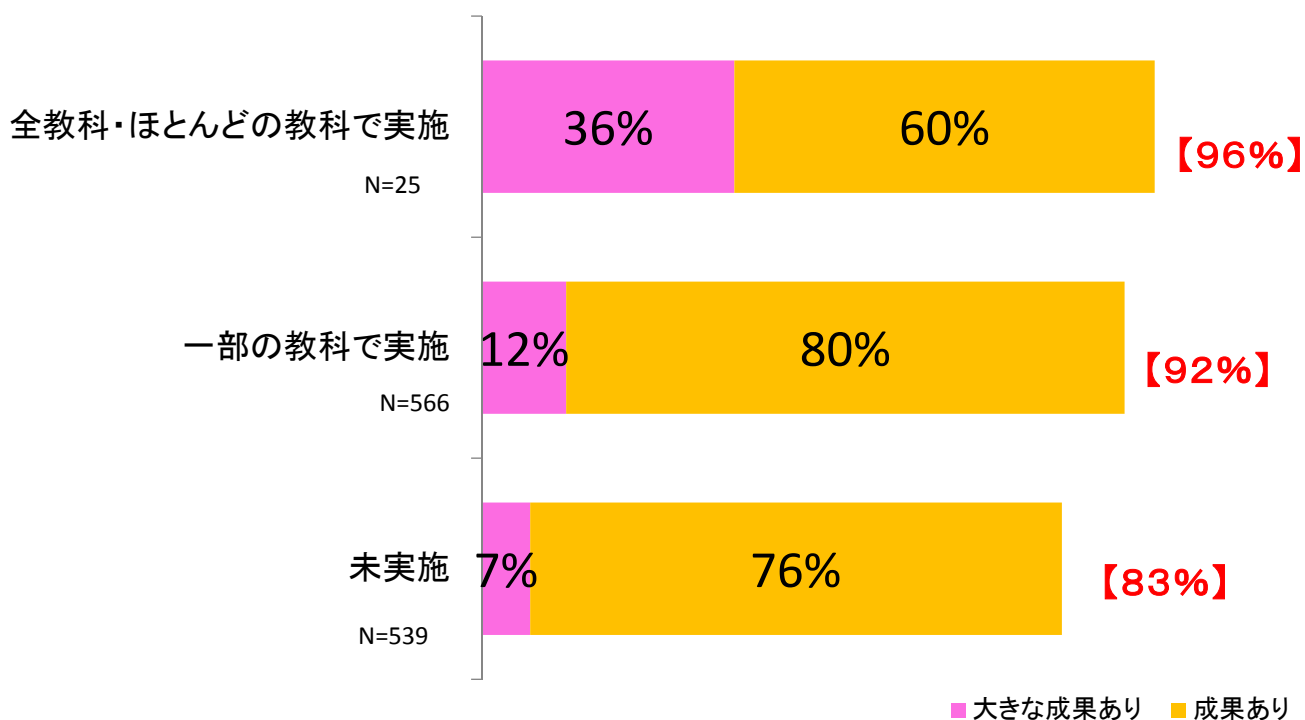
④⑪学校独自の新教科や領域の指示が充実した



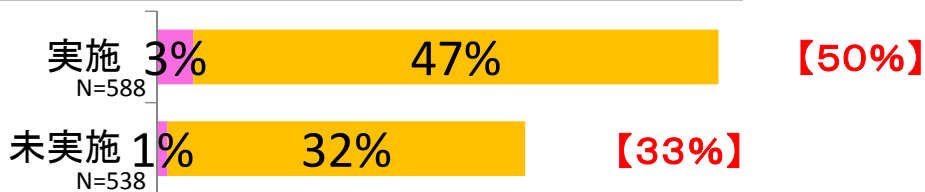
II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の成果 (～P95)

小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の成果

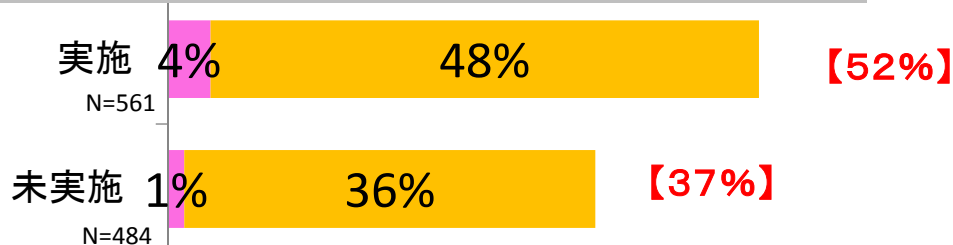
総合評価



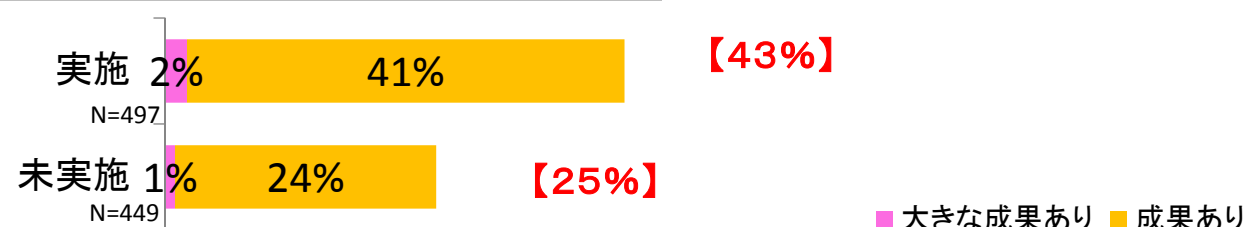
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



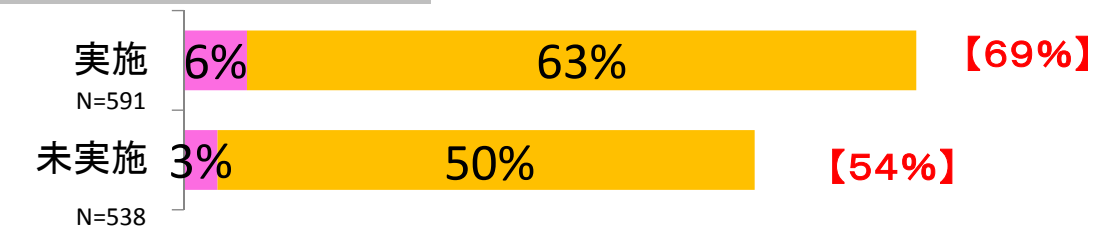
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



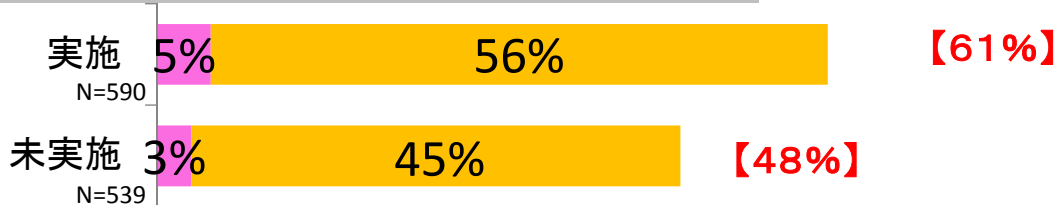
③民間の標準学力検査の結果が向上した



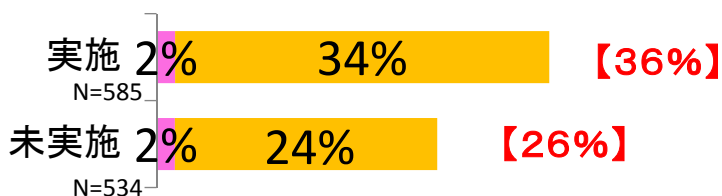
④学習習慣の定着が進んだ



⑤生活リズムが改善した

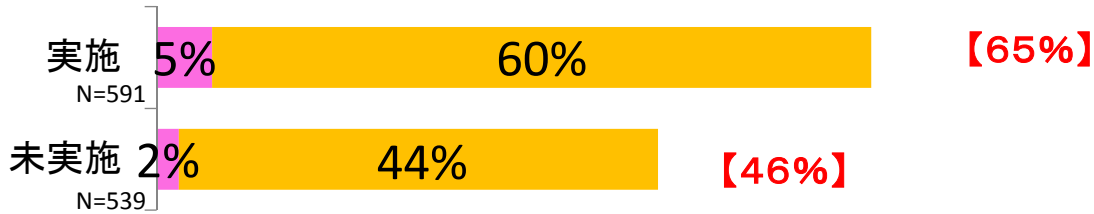


⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した

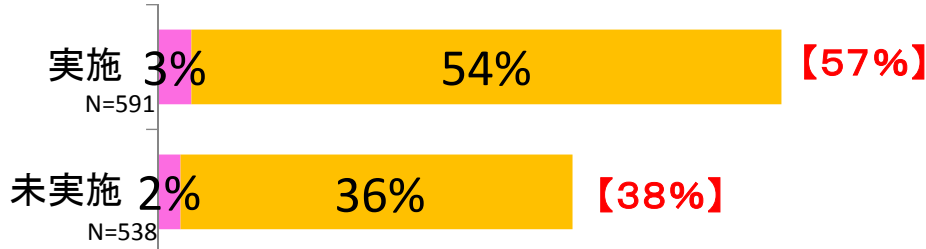


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

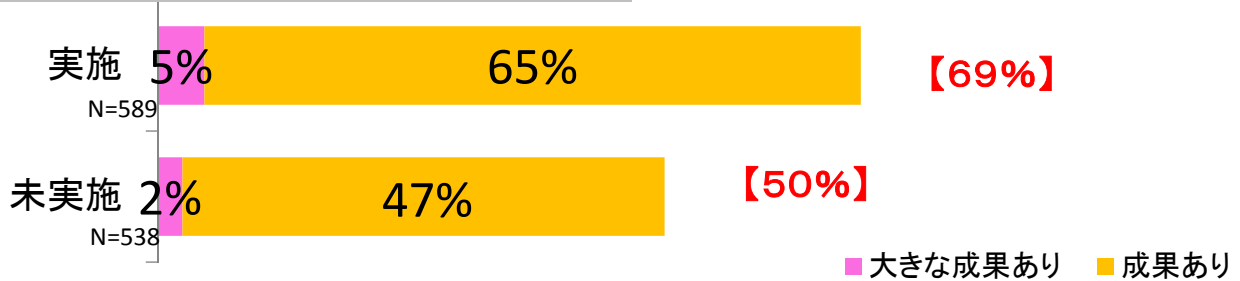
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



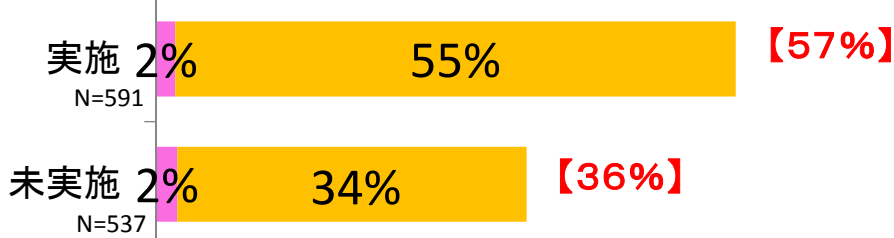
⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた



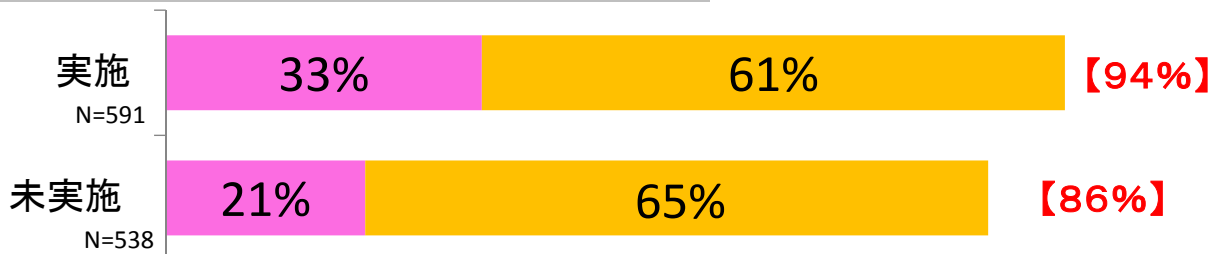
⑨学習意欲が向上した



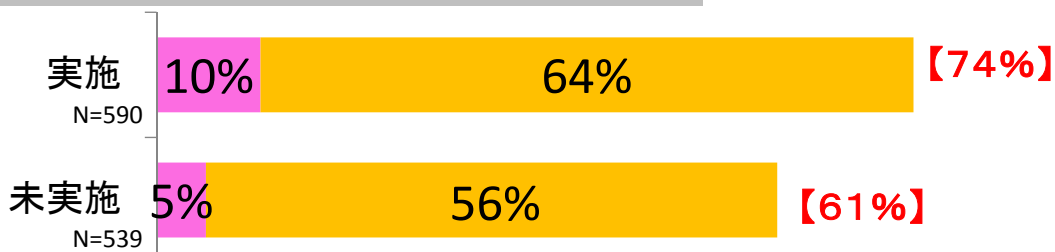
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した

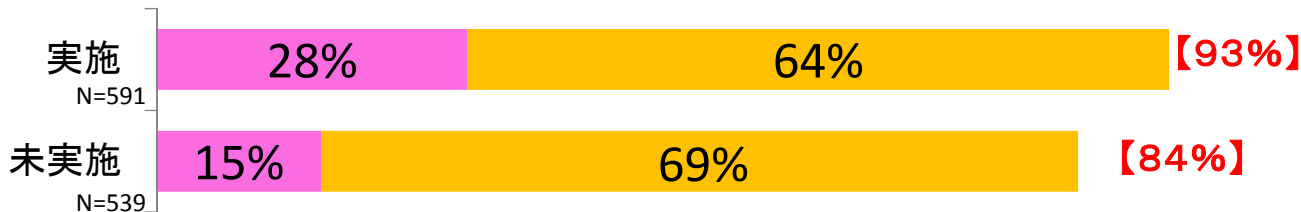


⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった

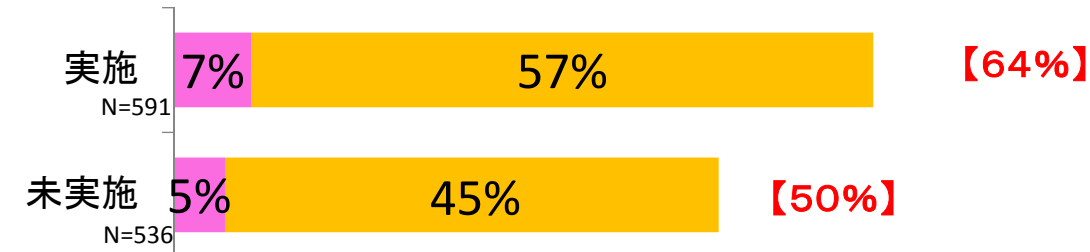


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

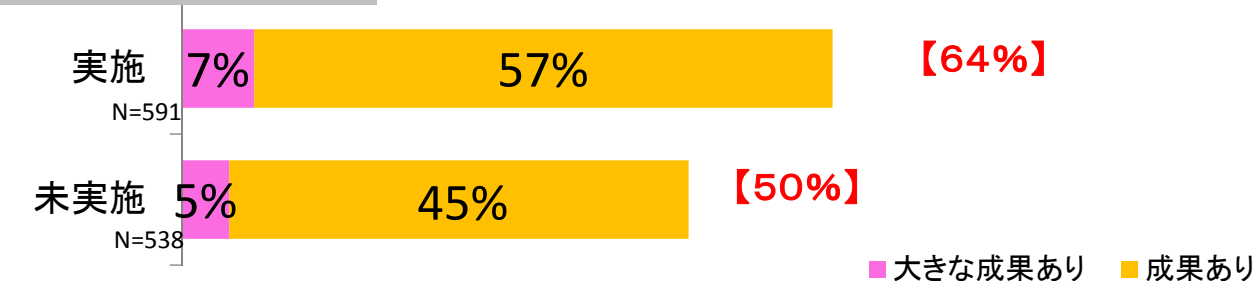
⑬ いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



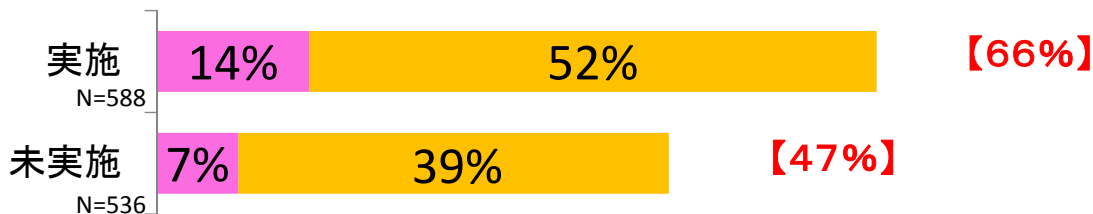
⑭ いじめが原因である問題等が減少した



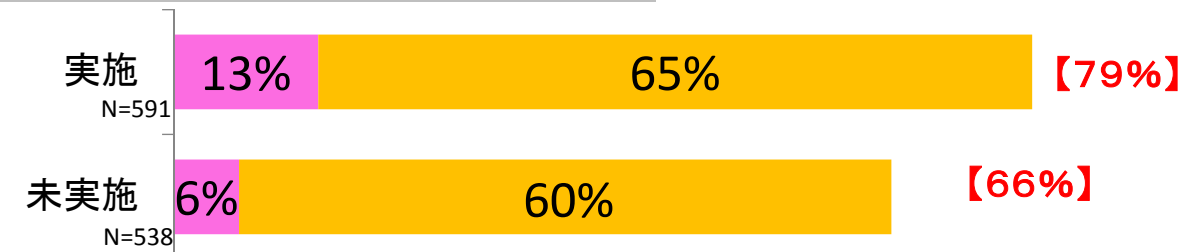
⑮ 不登校が減少した



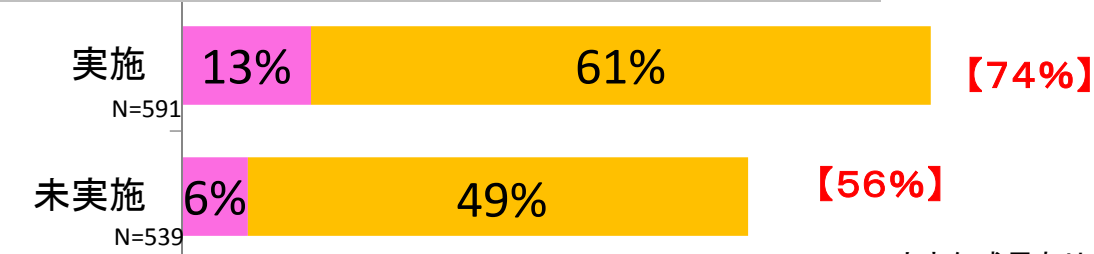
⑯ 暴力行為の発生件数が減少した



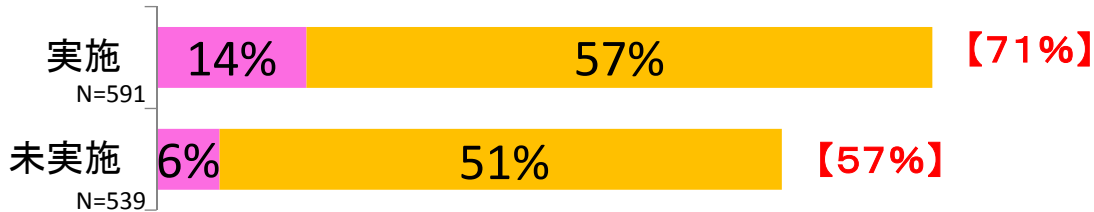
⑰ 学習規律・生活規律の定着が進んだ



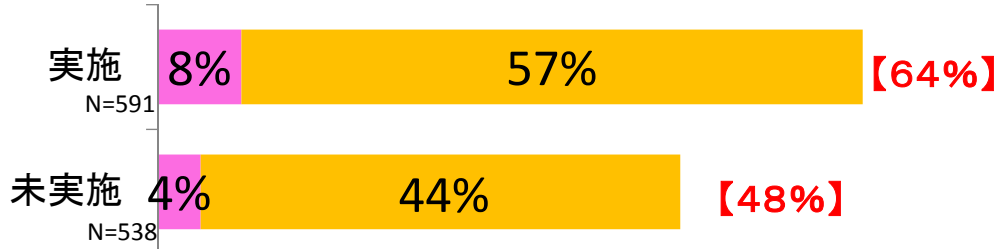
⑱ 児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



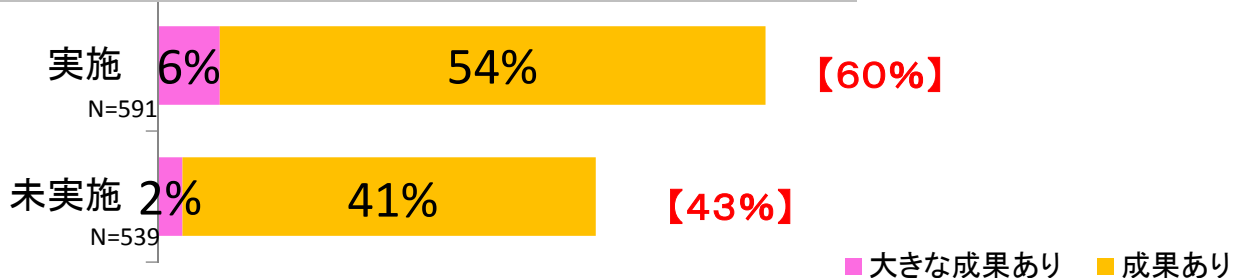
⑱ 児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



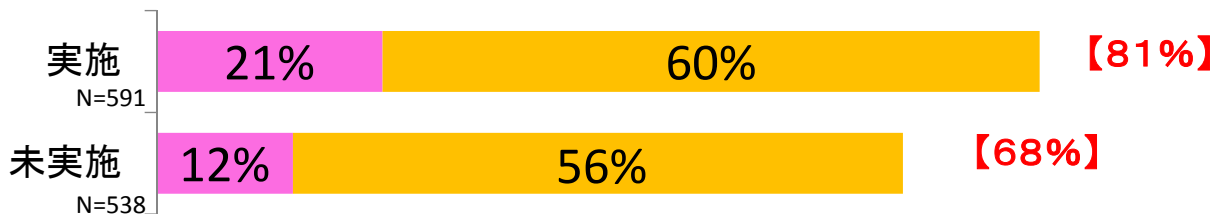
⑳ 児童生徒の自己肯定感が高まった



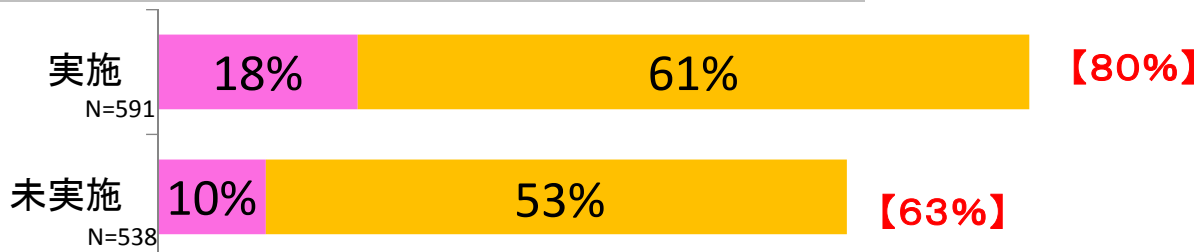
㉑ 児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



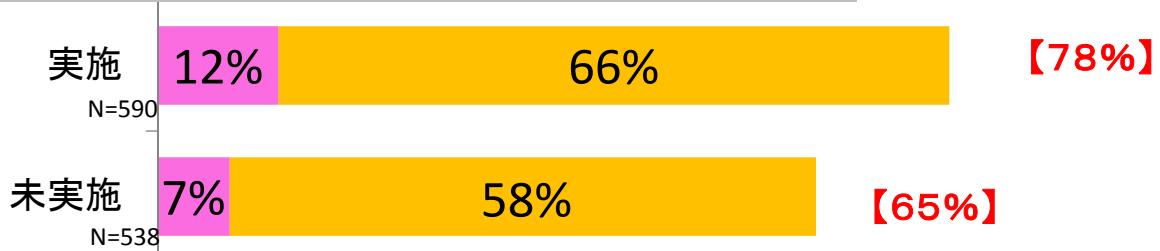
㉒ 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



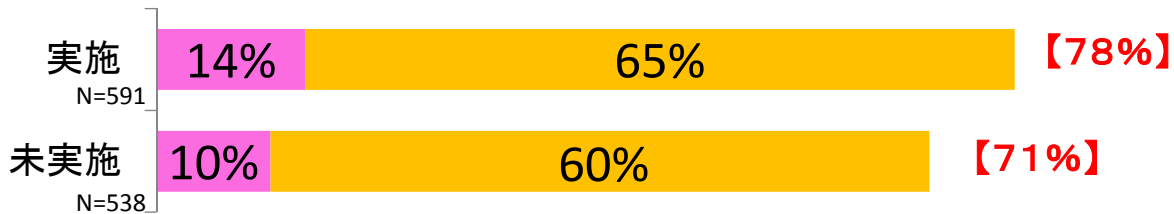
㉓ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



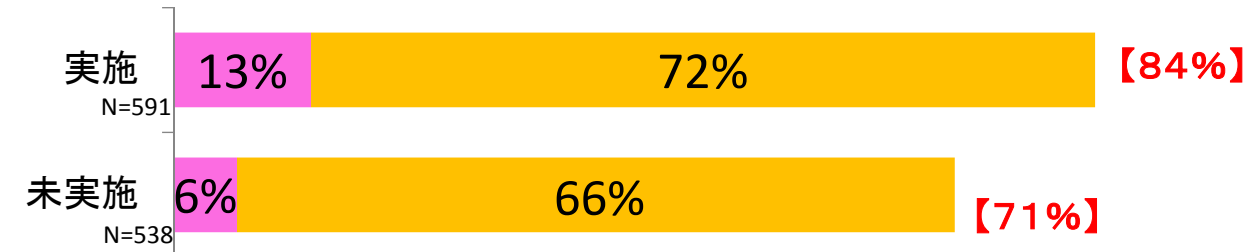
㉔ 予防的生徒指導等の取組が充実した



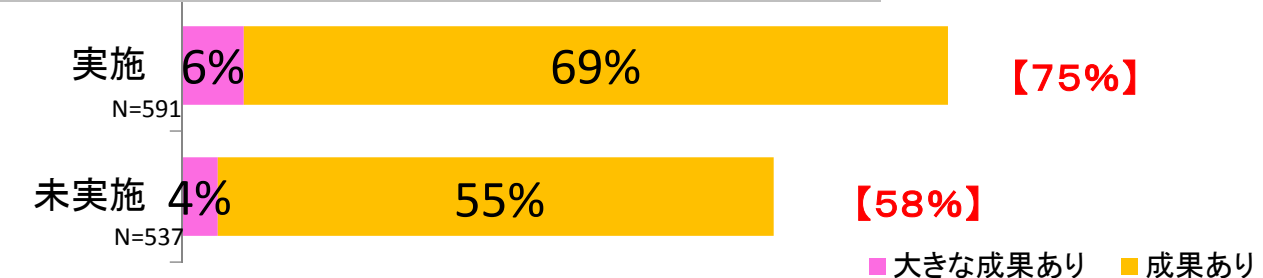
②⑤ 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導が充実した



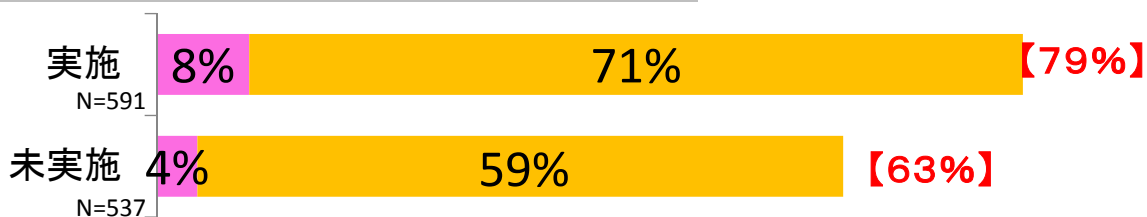
②⑥ 教員の指導方法の改善意欲が高まった



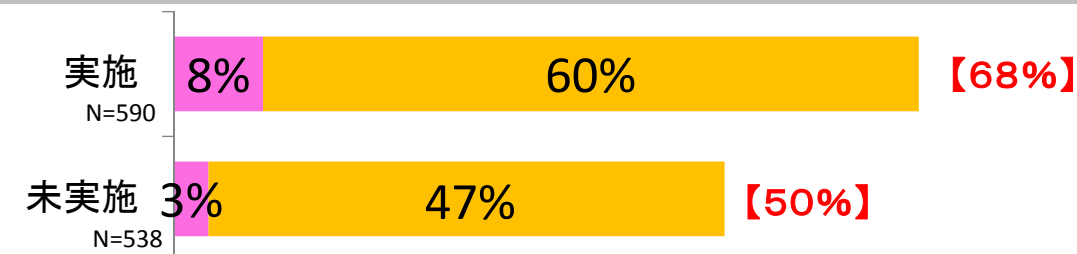
②⑦ 教員の生徒指導力の向上につながった



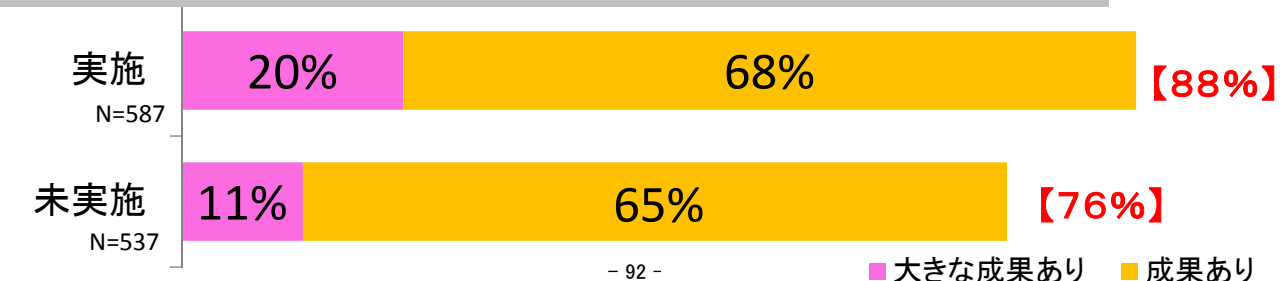
②⑧ 教員の教科指導力の向上につながった



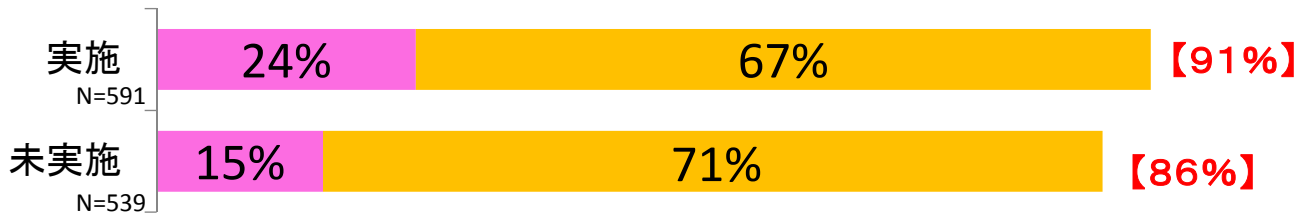
②⑨ 養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



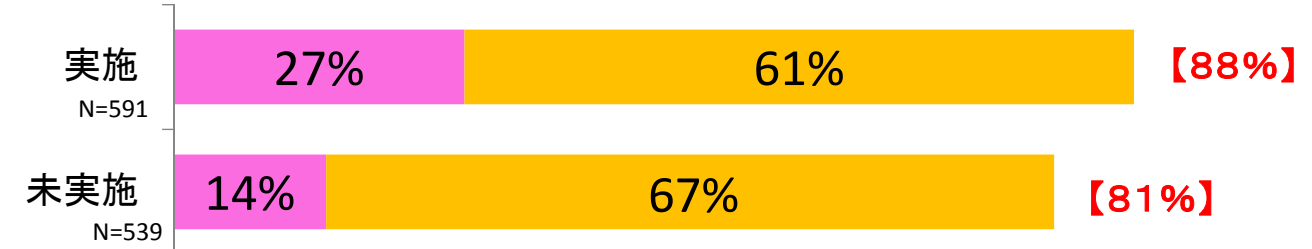
③⑩ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



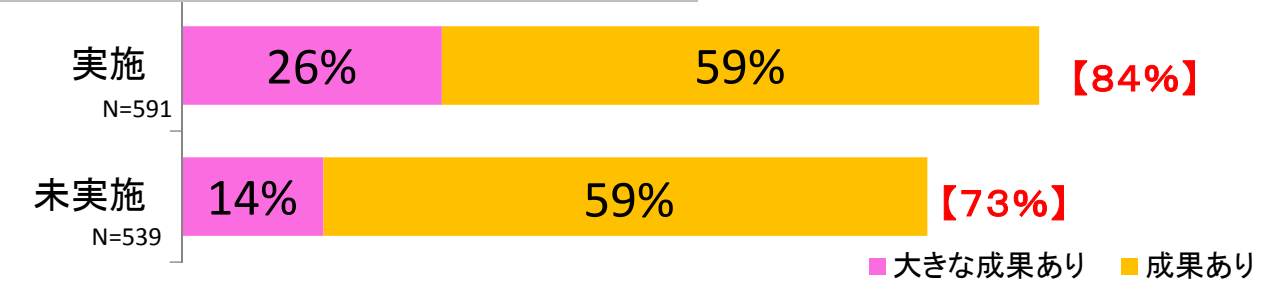
③① 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



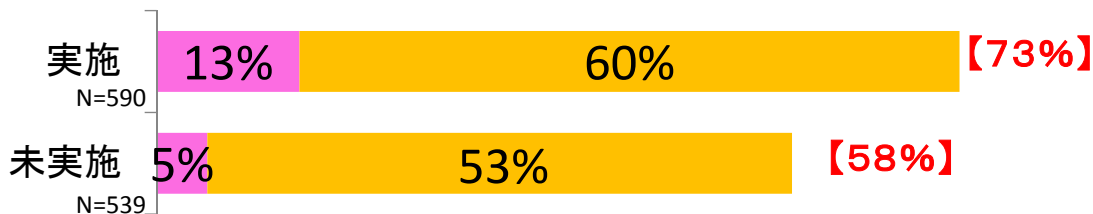
③② 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



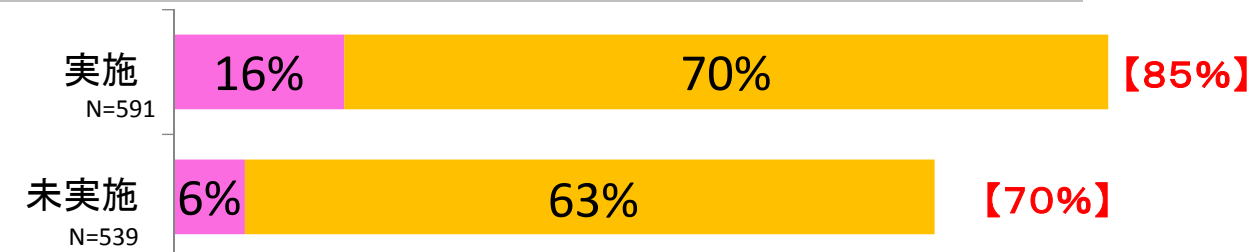
③③ 小・中学校共通で実践する取組が増えた



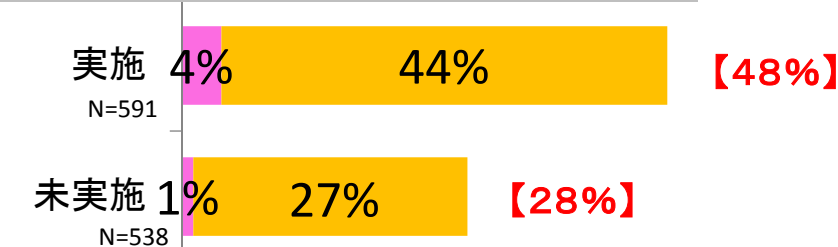
③④ 小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



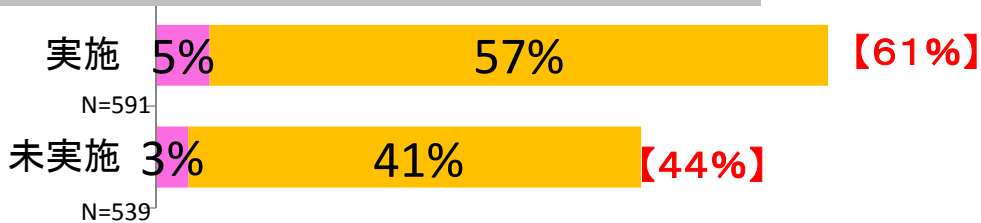
③⑤ 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



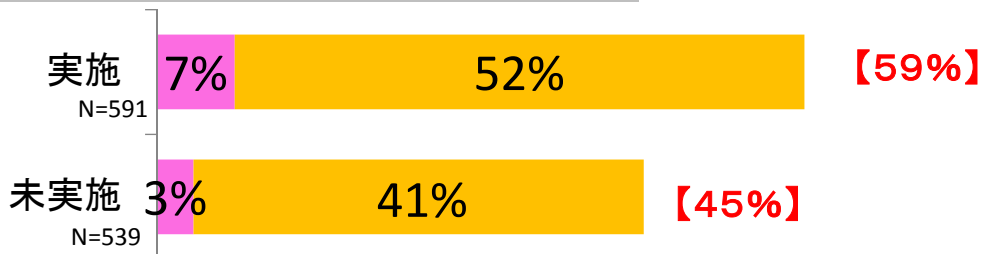
③⑥ 教職員の仕事に対する満足度が高まった



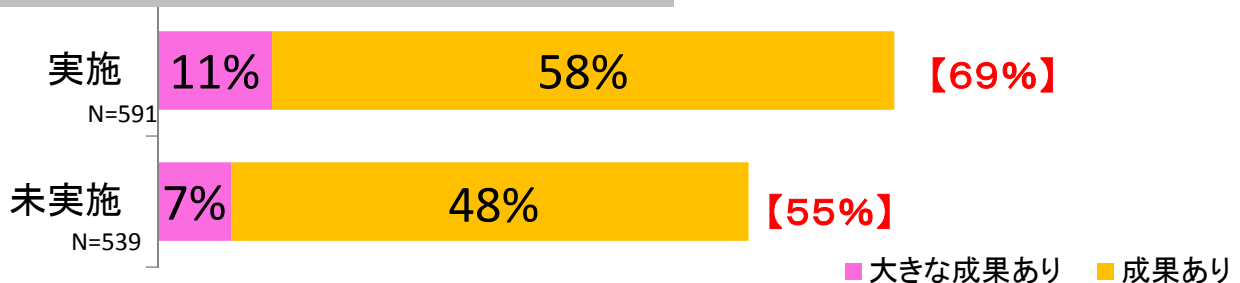
⑳ 保護者の学校への満足度が上がった



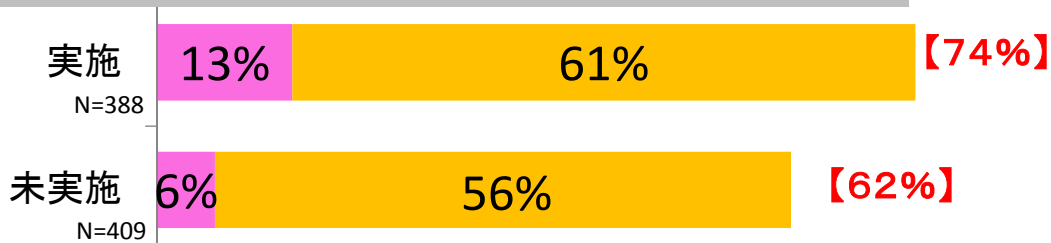
㉑ 保護者との協働関係が強化された



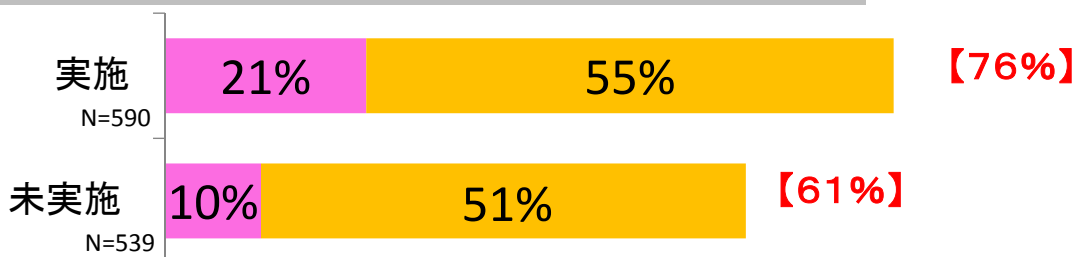
㉒ 地域との協働関係が強化された



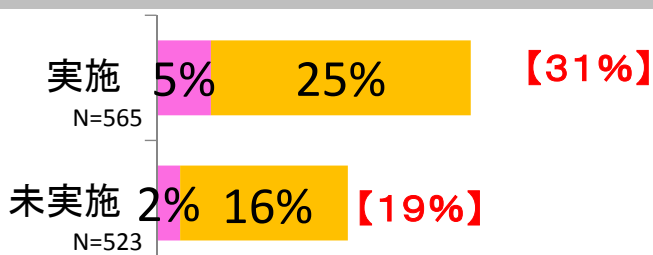
㉓ 同一中学校区内の小中学校間の取組の差の解消につながった



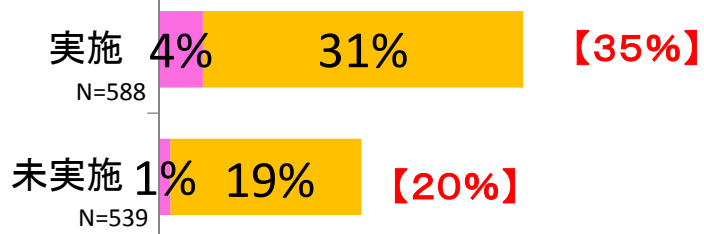
㉔ 異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



㉕ 学校独自の新教科や領域の指導が充実した

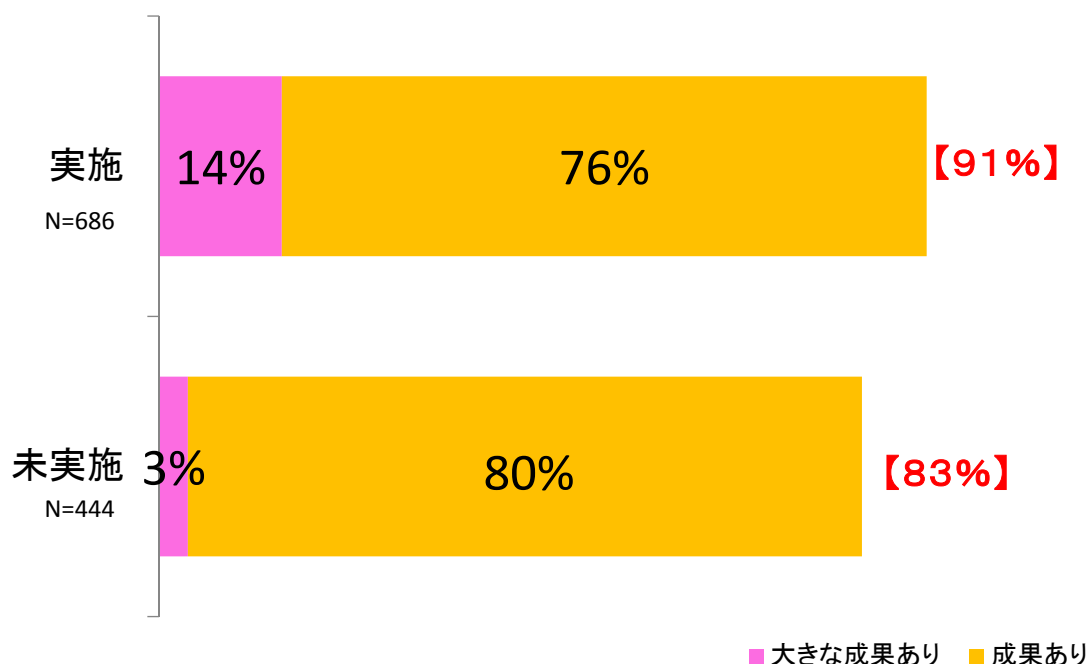


④ 校務分掌等、学校運営の効率化につながった

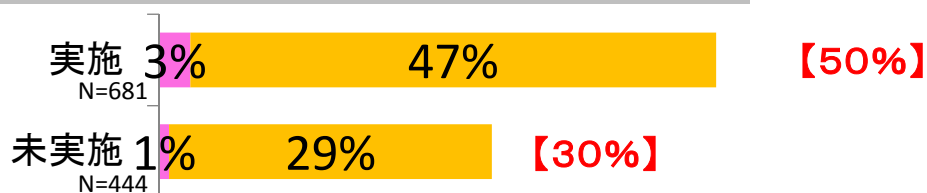


Ⅲ 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の成果
(~P103)

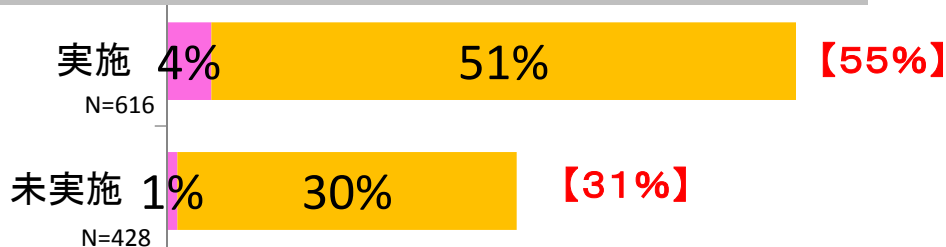
総合評価



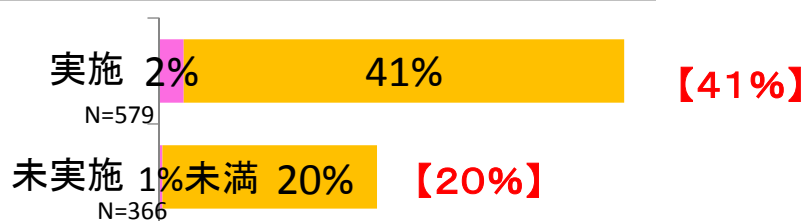
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



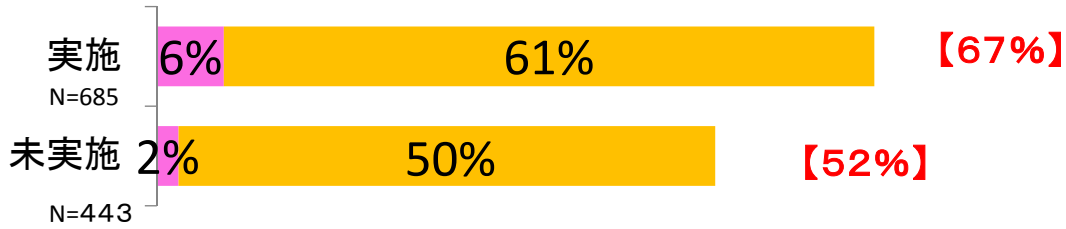
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



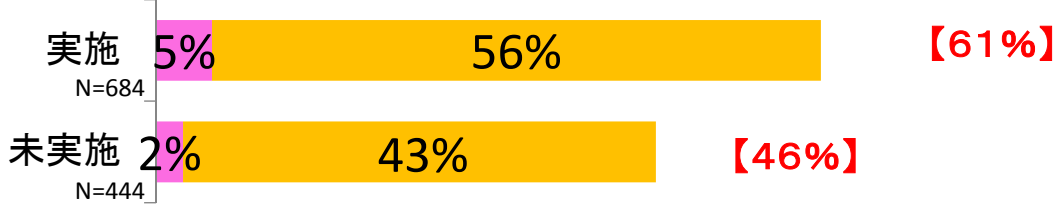
③民間の標準学力検査の結果が向上した



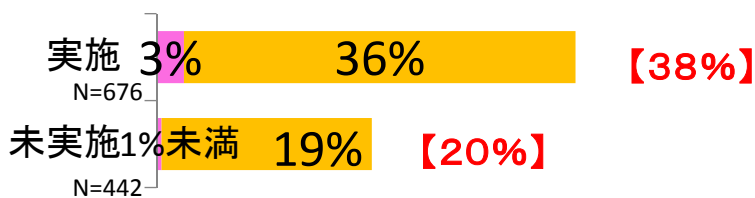
④学習習慣の定着が進んだ



⑤生活リズムが改善した

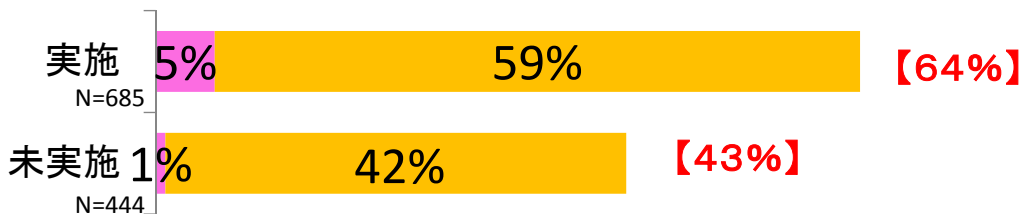


⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した

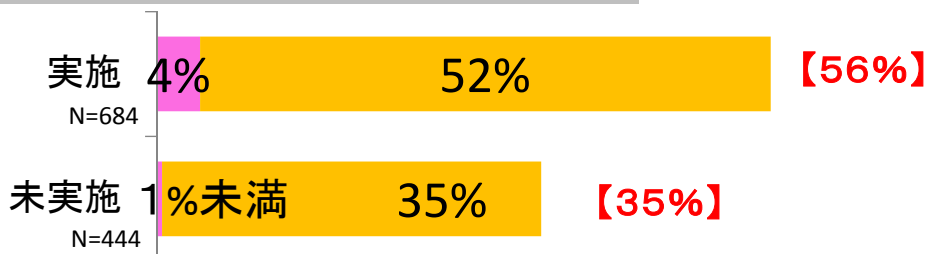


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

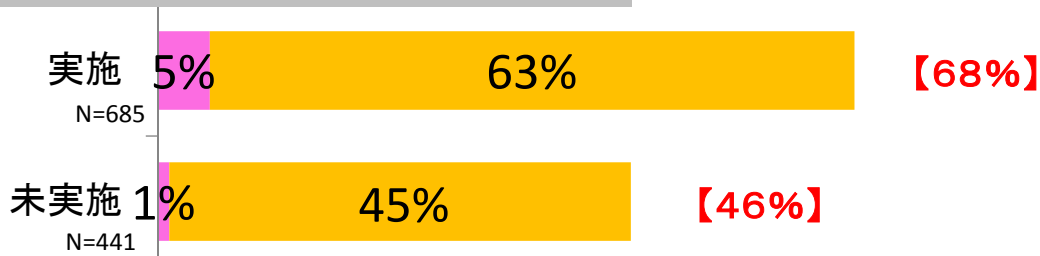
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた

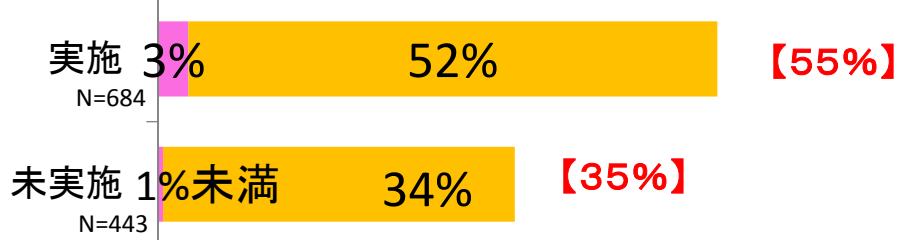


⑨学習意欲が向上した

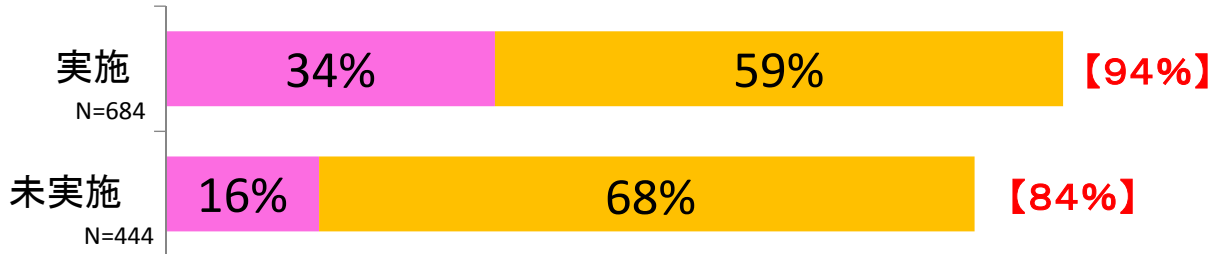


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

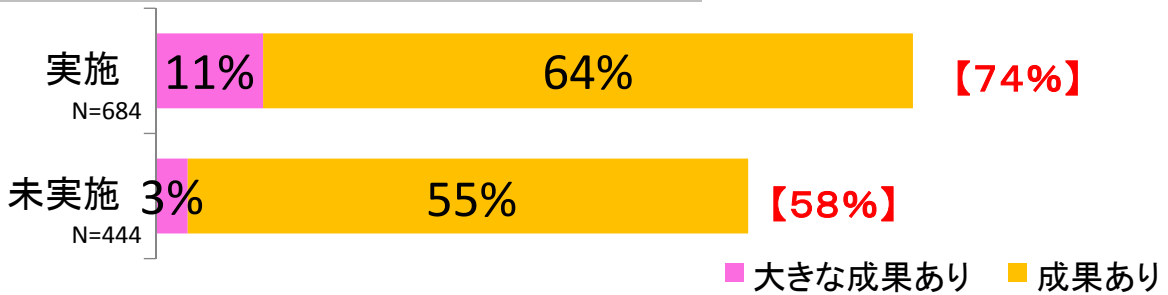
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



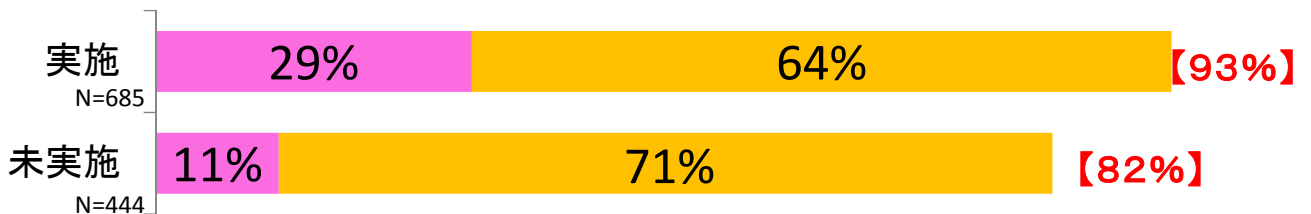
⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



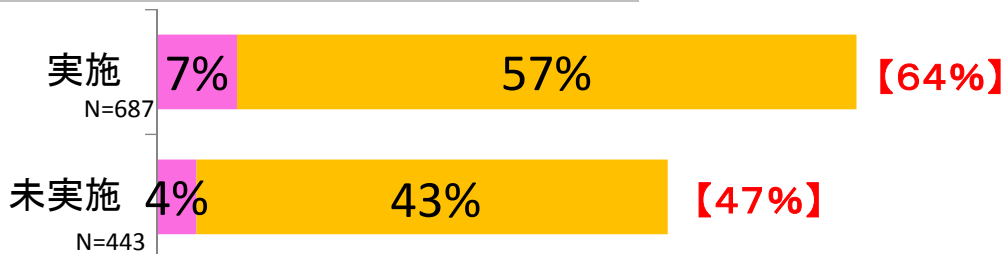
⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった



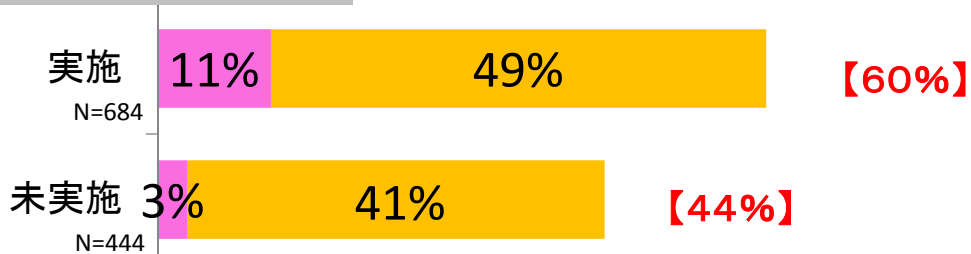
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



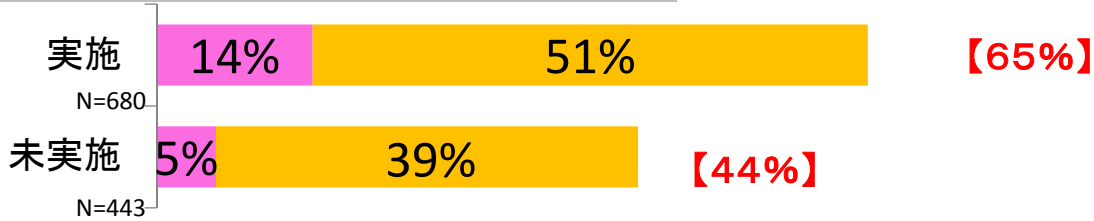
⑭いじめが原因である問題等が減少した



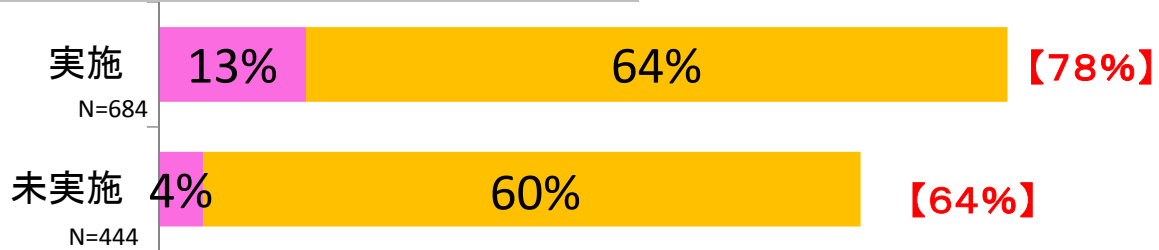
⑮不登校が減少した



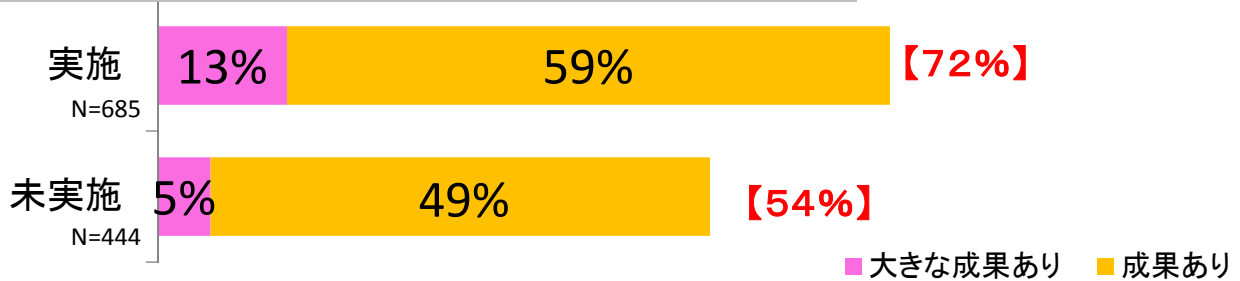
⑩暴力行為の発生件数が減少した



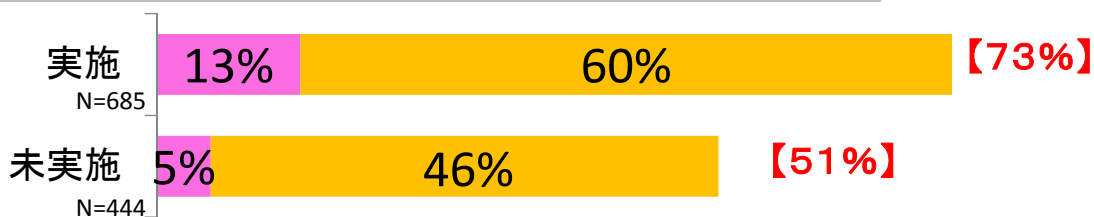
⑪学習規律・生活規律の定着が進んだ



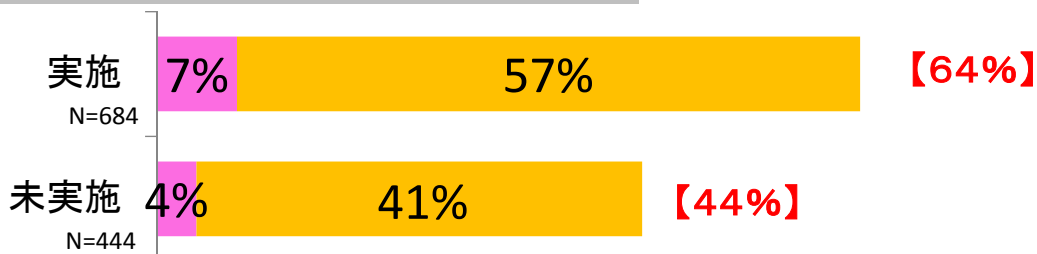
⑫児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



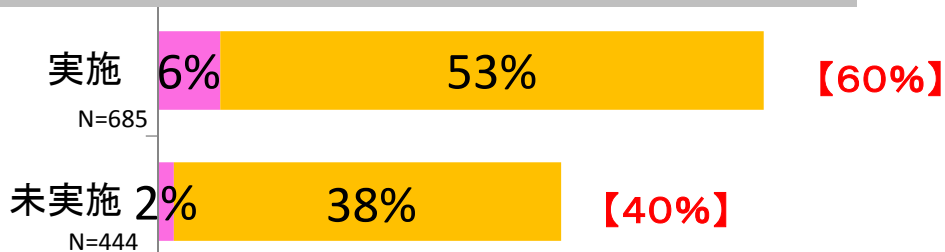
⑬児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



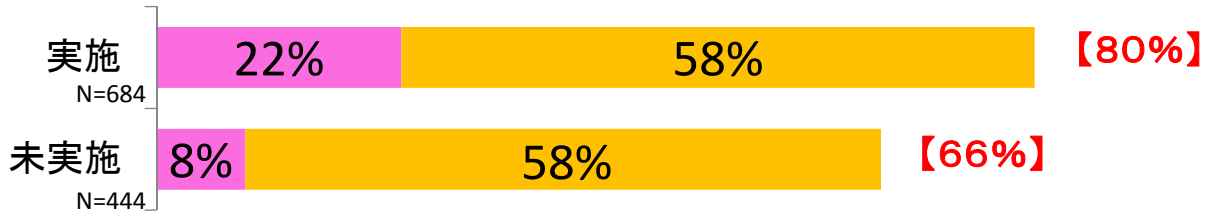
⑭児童生徒の自己肯定感が高まった



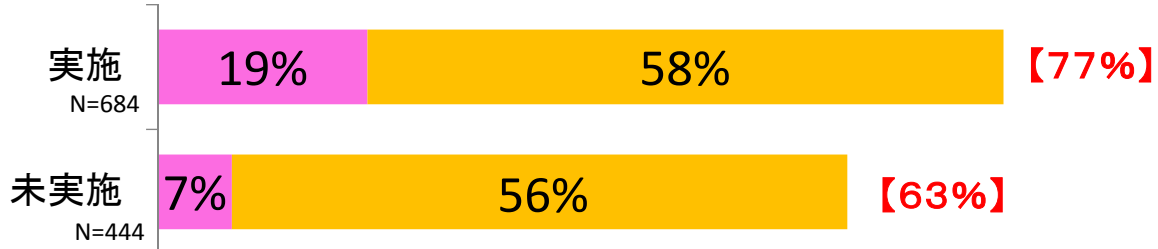
⑮児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



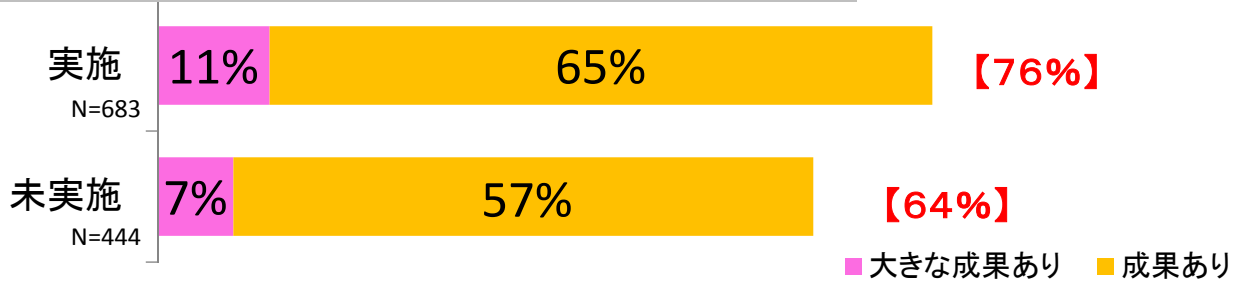
②② 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



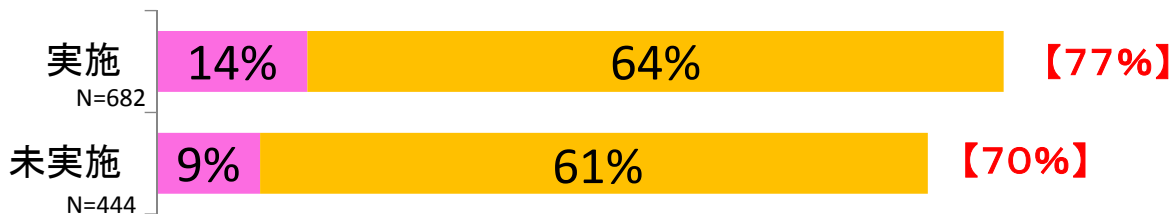
②③ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



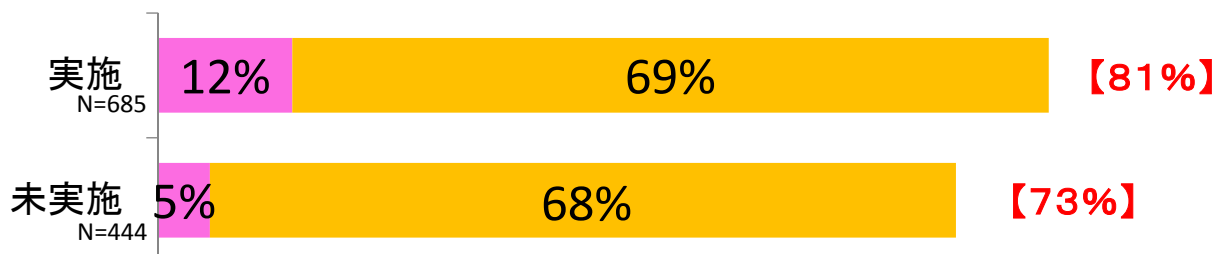
②④ 予防的生徒指導等の取組が充実した



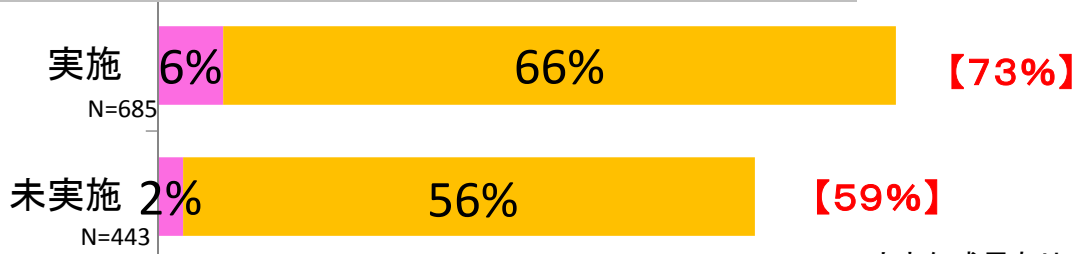
②⑤ 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな指導が充実した



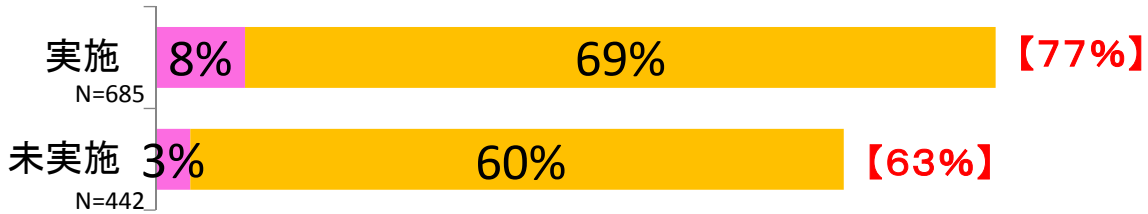
②⑥ 教員の指導方法の改善意欲が高まった



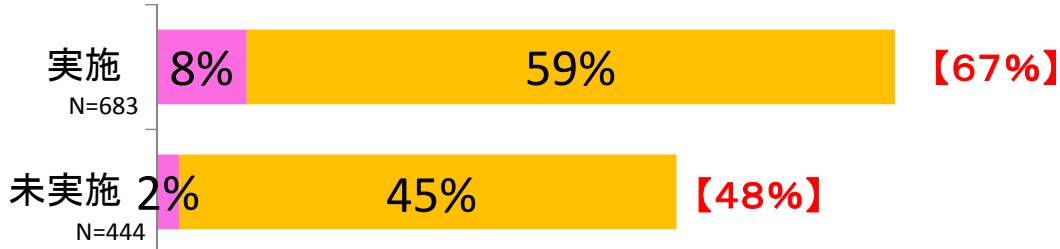
②⑦ 教員の生徒指導力の向上につながった



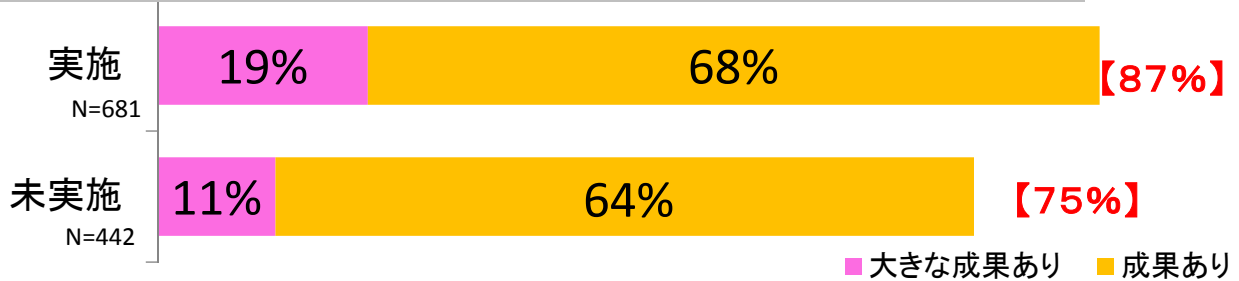
⑳ 教員の教科指導力の向上につながった



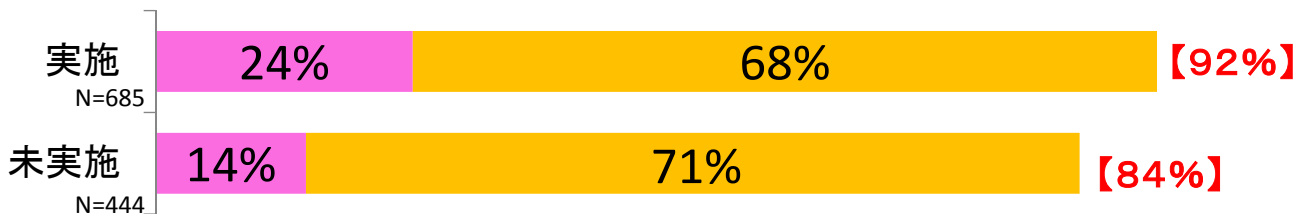
㉑ 養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



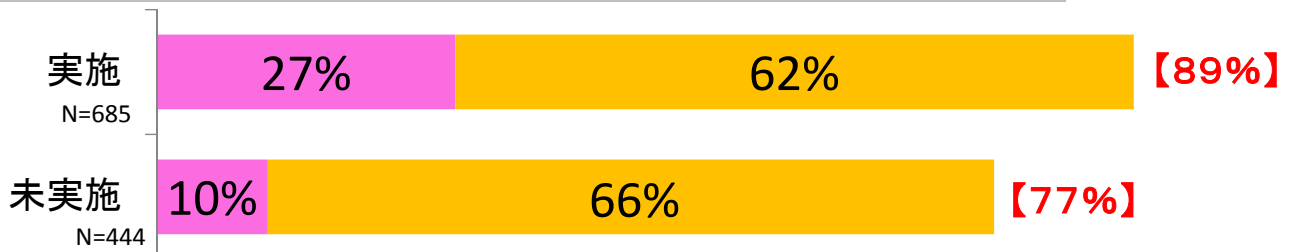
㉒ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



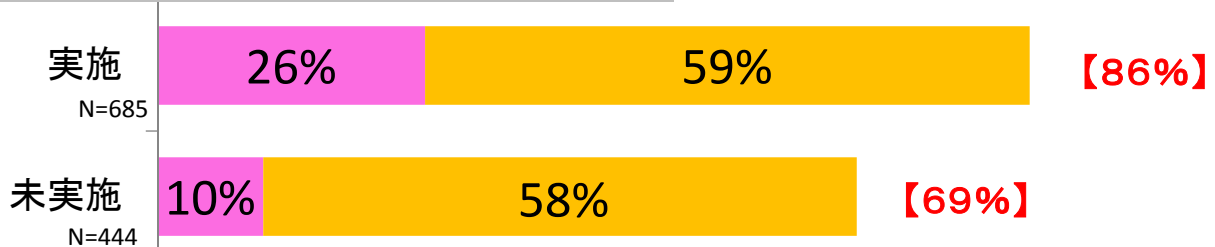
㉓ 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



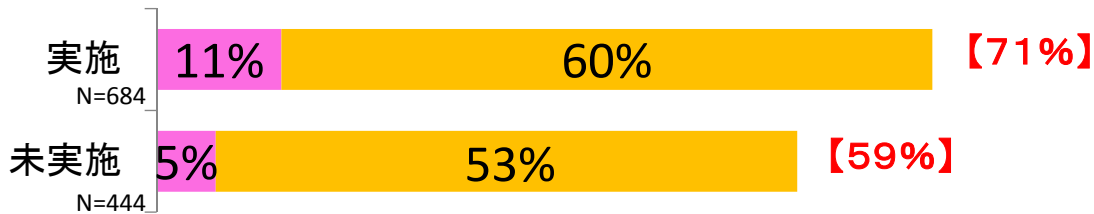
㉔ 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



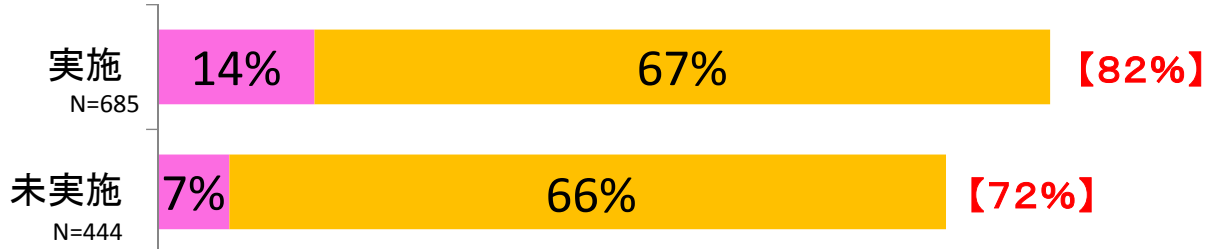
㉕ 小・中学校共通で実践する取組が増えた



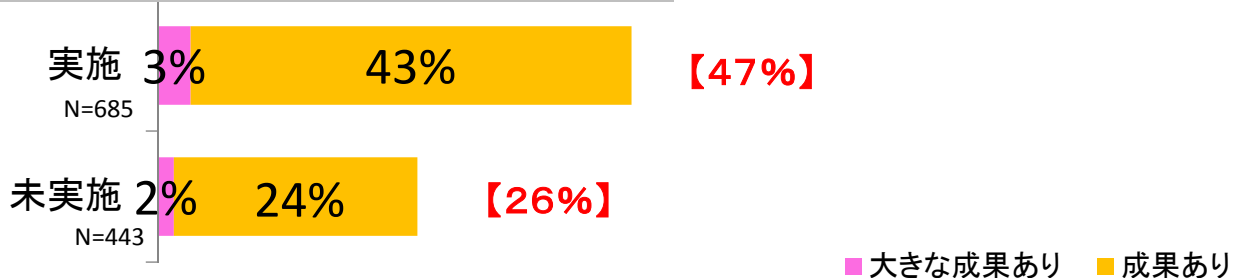
③④ 小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



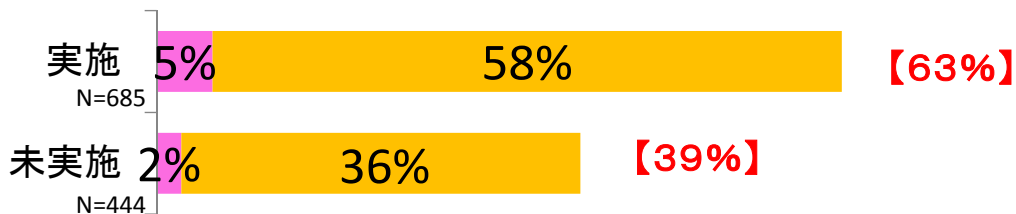
③⑤ 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



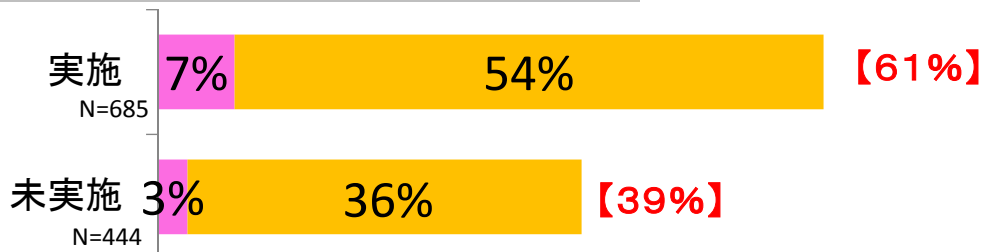
③⑥ 教職員の仕事に対する満足度が高まった



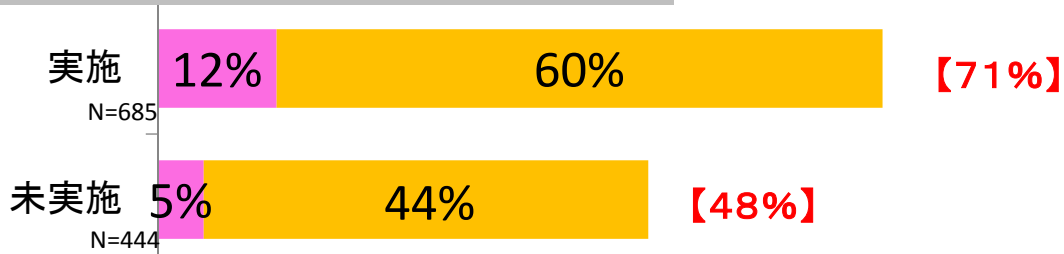
③⑦ 保護者の学校への満足度が高まった



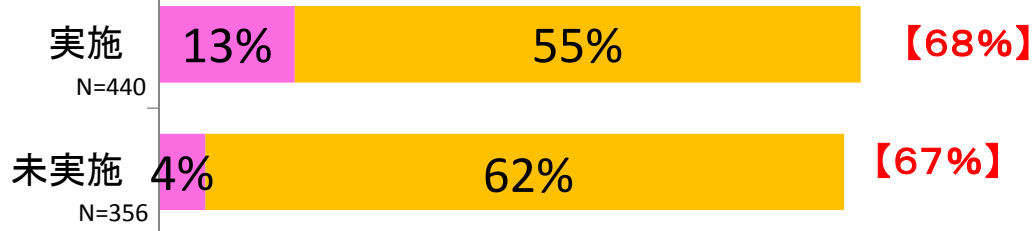
③⑧ 保護者との協働関係が強化された



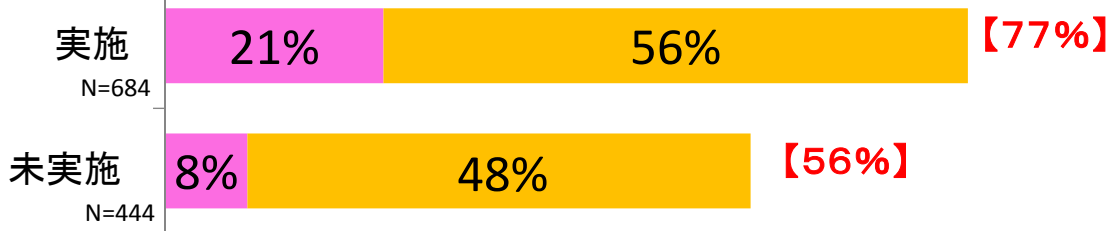
③⑨ 地域との協働関係が強化された



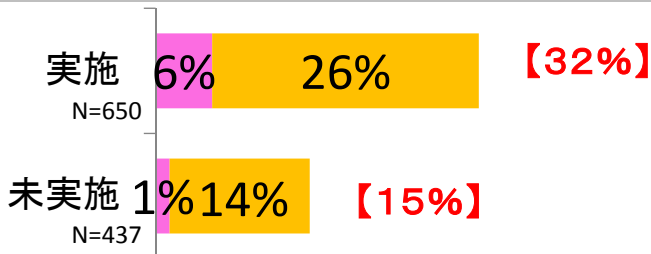
④⑩ 同一中学校区内の小中学校間の取組の差の解消につながった



④⑪ 異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった

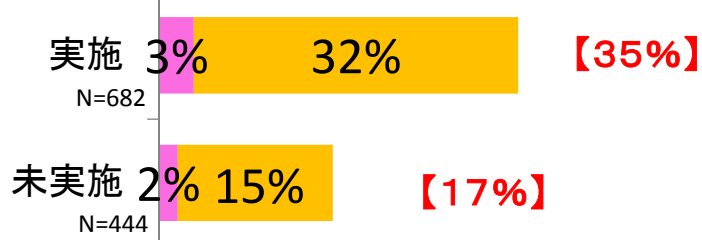


④⑫ 学校独自の新教科や領域の指導が充実した



■ 大きな成果あり ■ 成果あり

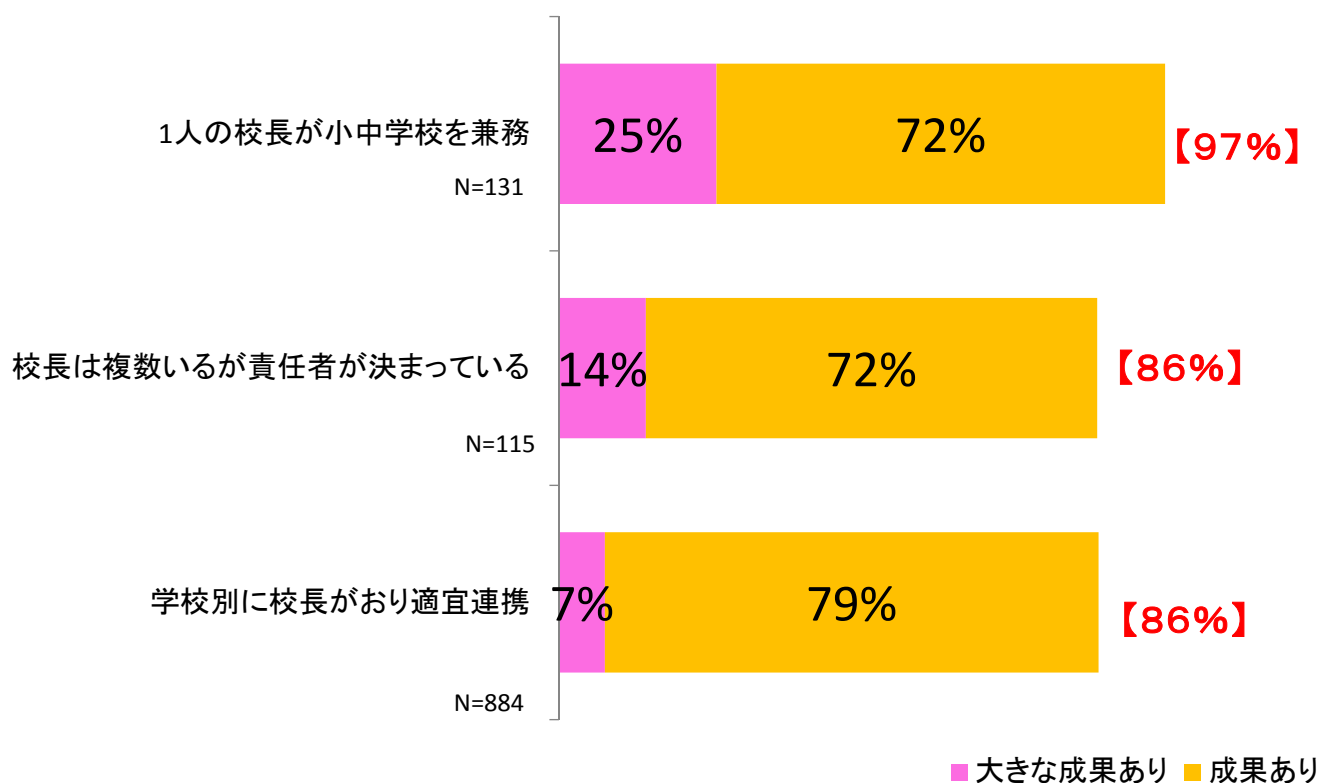
④⑬ 校務分掌等、学校運営の効率化につながった



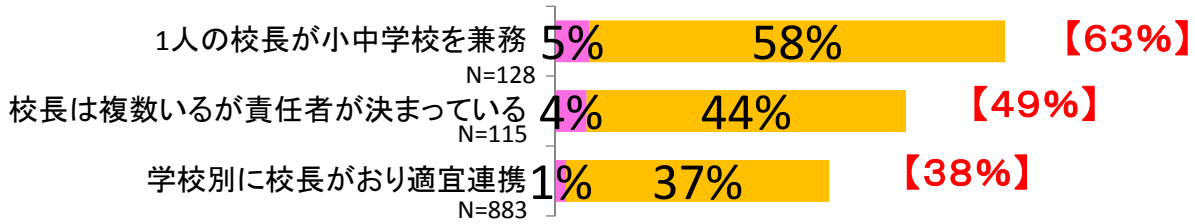
IV 校長の体制 × 小中一貫教育の成果（～P111）

校長の体制 × 小中一貫教育の成果

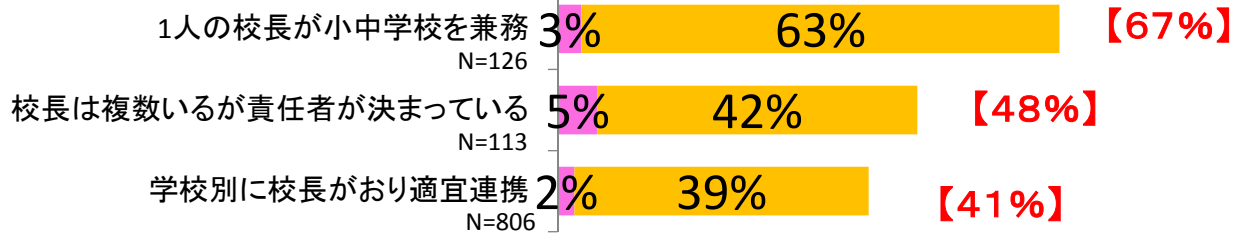
総合評価



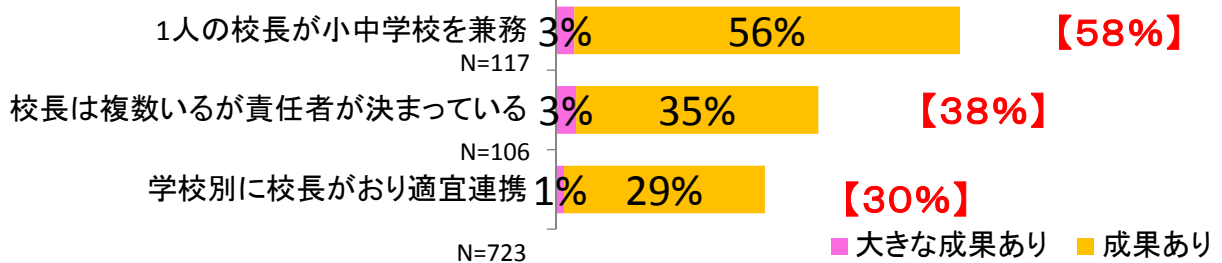
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



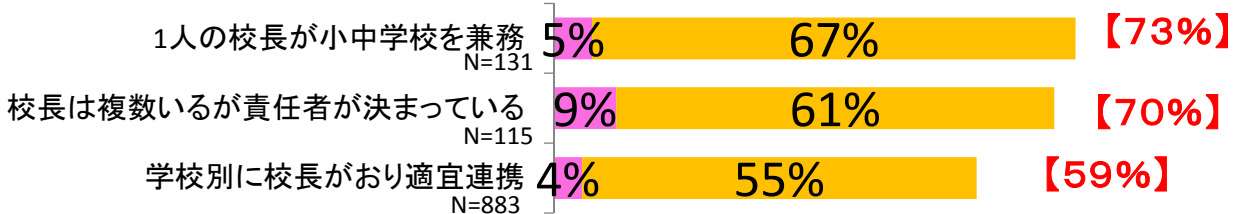
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



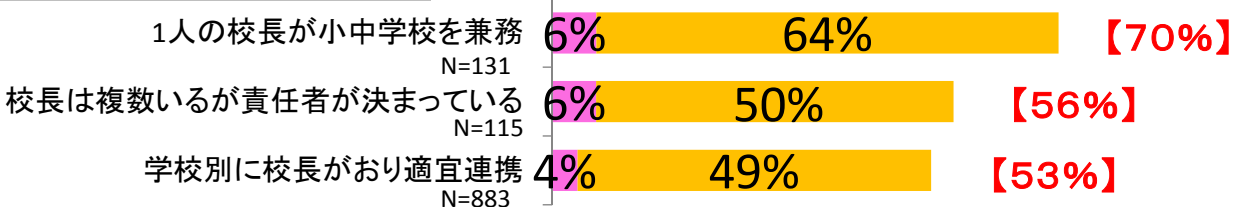
③民間の標準学力検査の結果が向上した



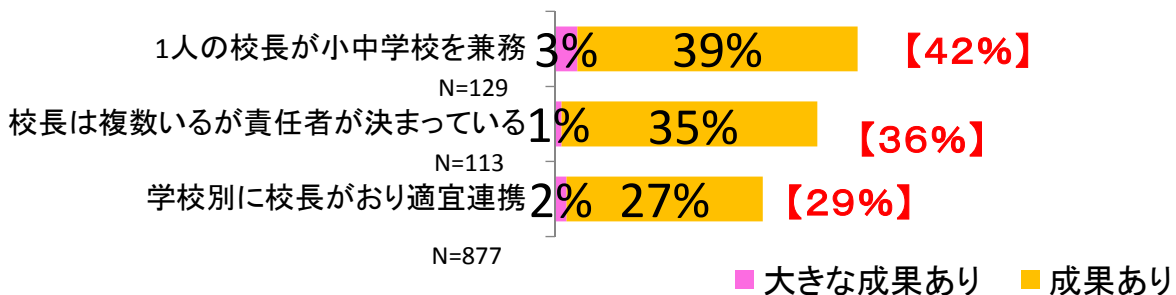
④学習習慣の定着が進んだ



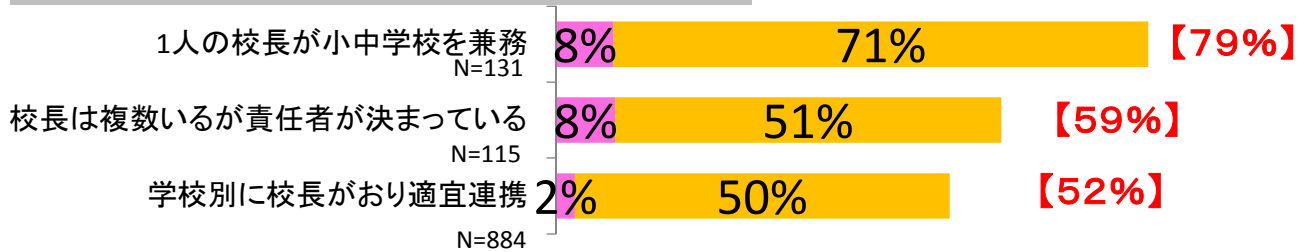
⑤生活リズムが改善した



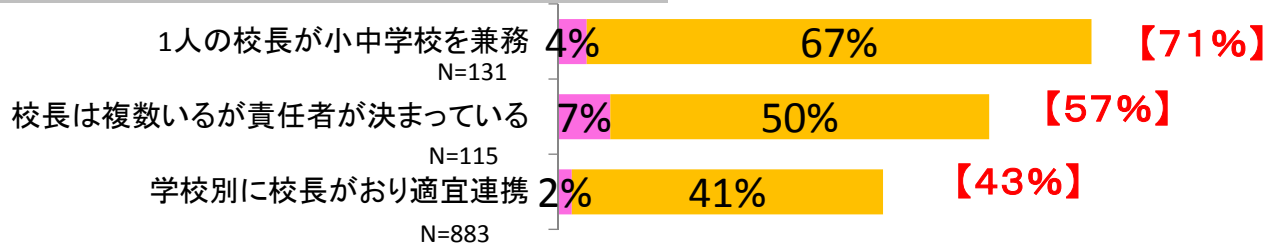
⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した



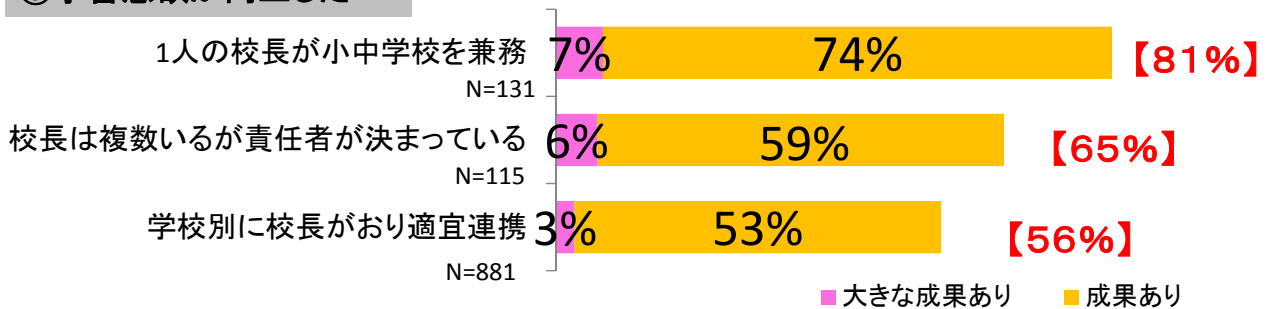
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



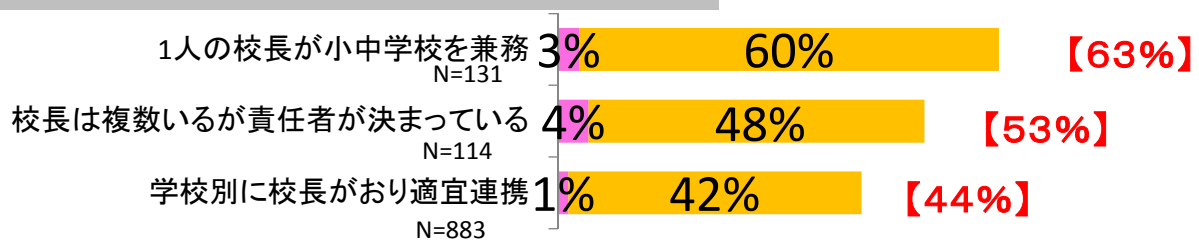
⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた



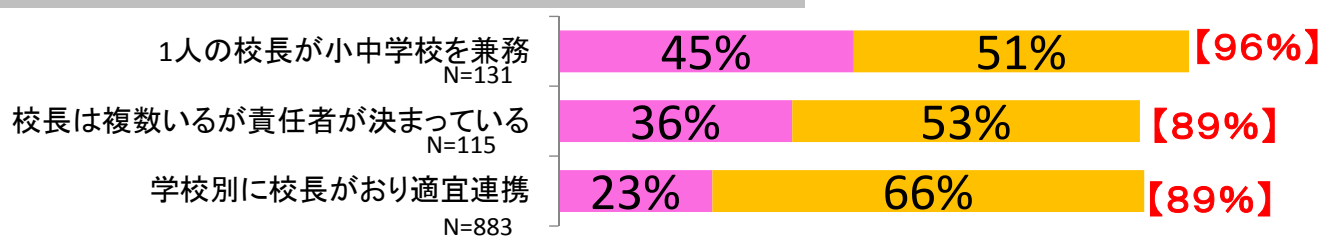
⑨学習意欲が向上した



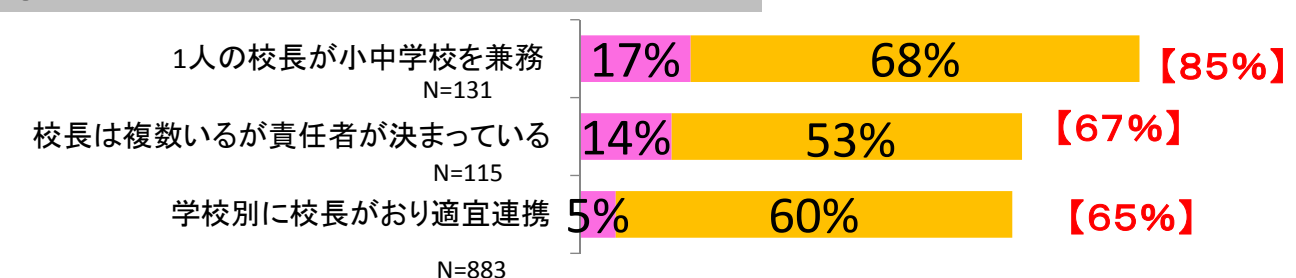
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



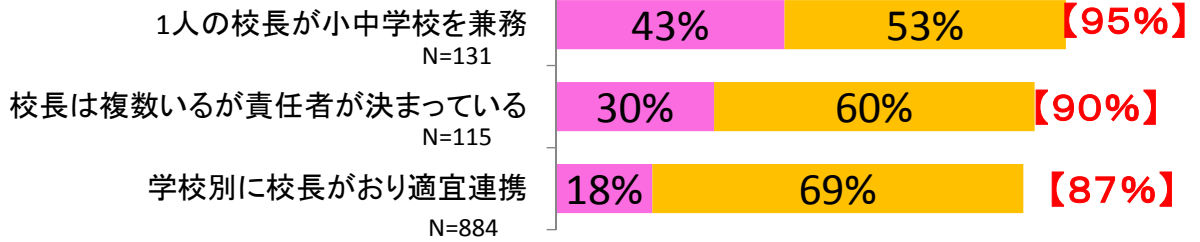
⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



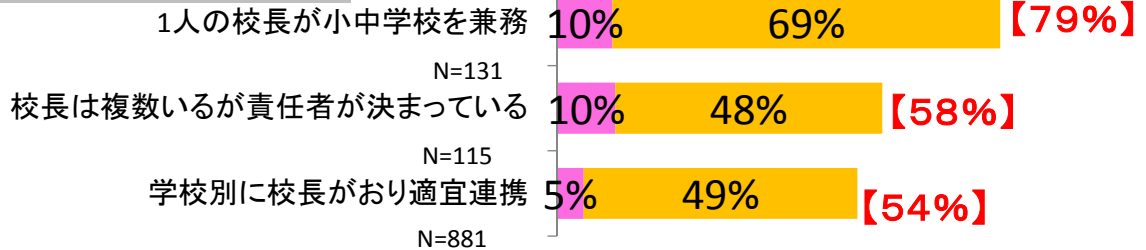
⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった



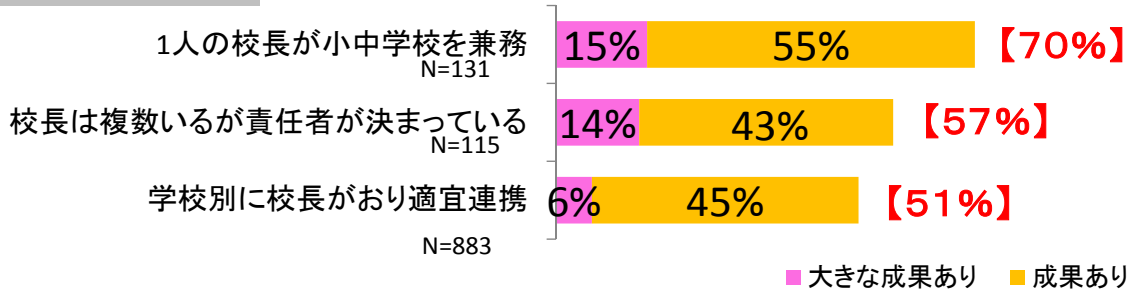
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



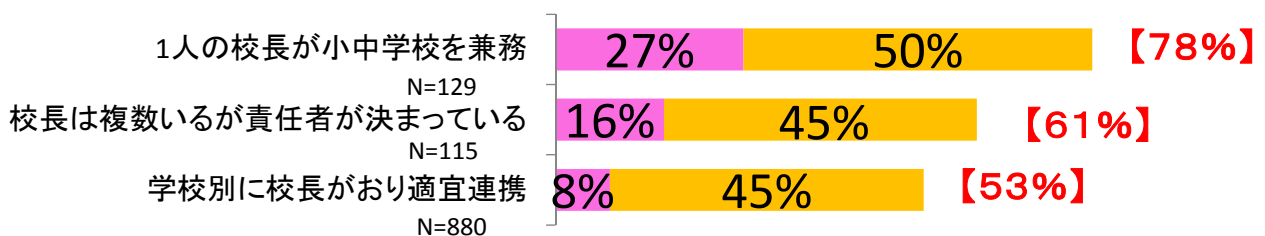
⑭いじめの問題等が減少した



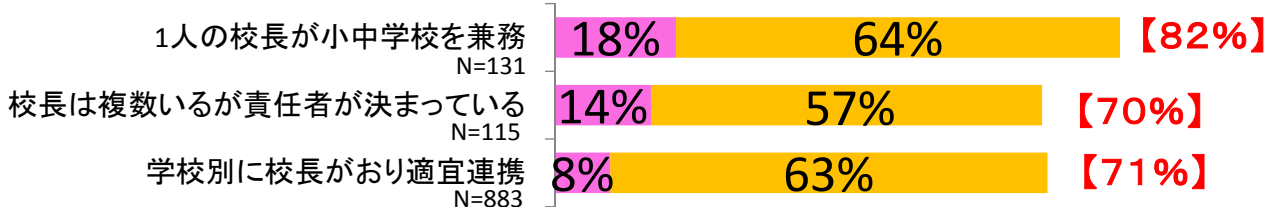
⑮不登校が減少した



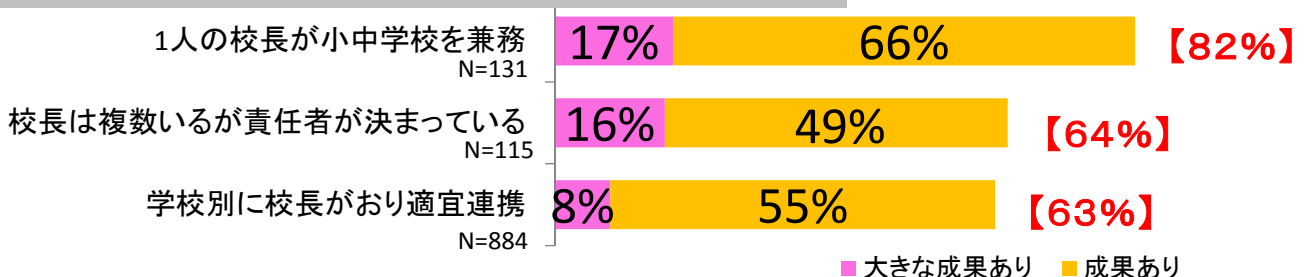
⑯暴力行為の発生件数が減少した



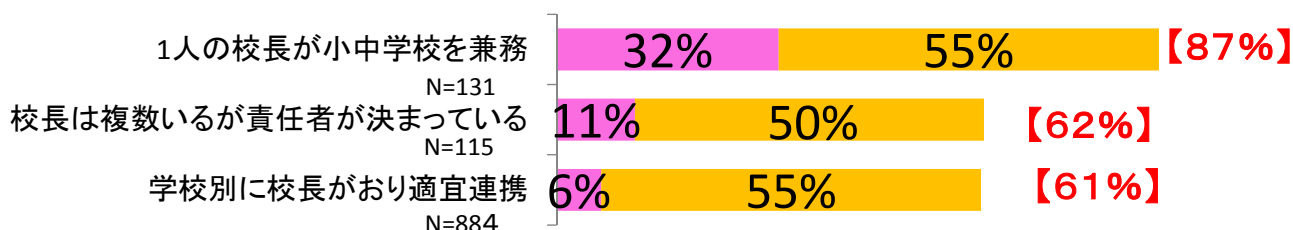
⑰学習規律・生活規律の定着が進んだ



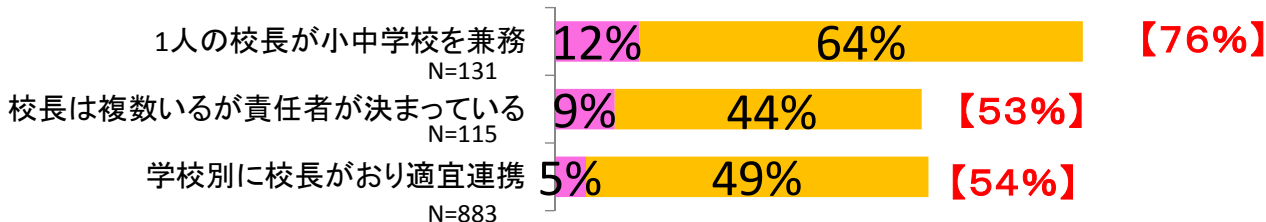
⑱児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



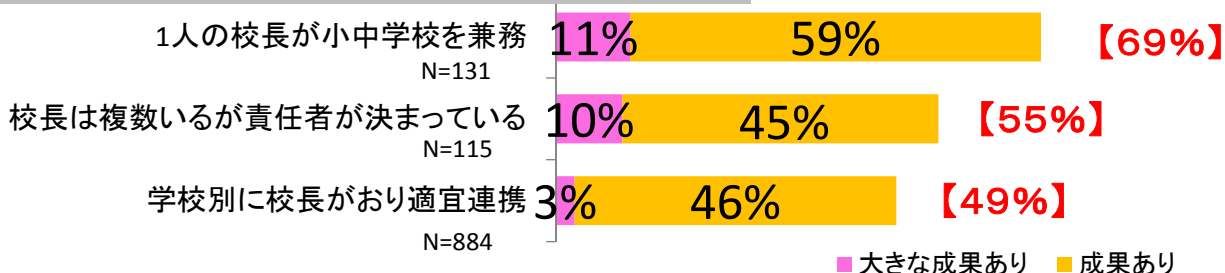
⑱児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



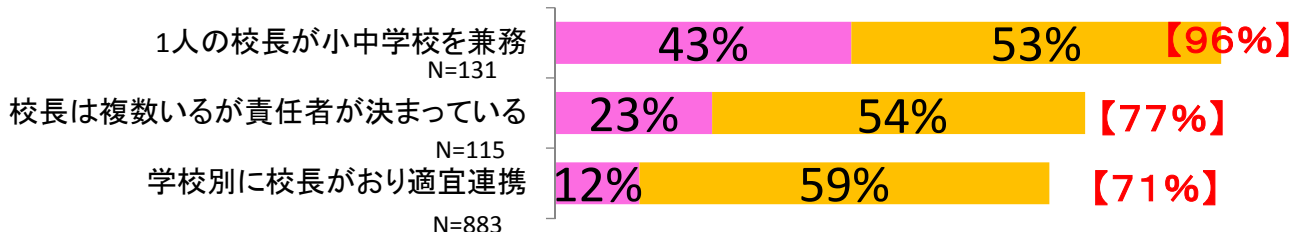
⑳児童生徒の自己肯定感が高まった



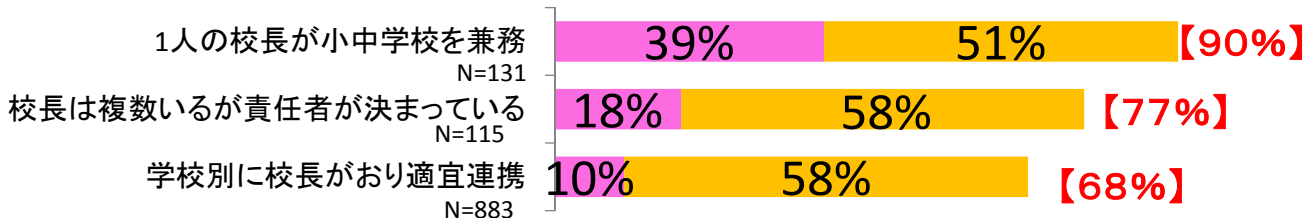
㉑児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



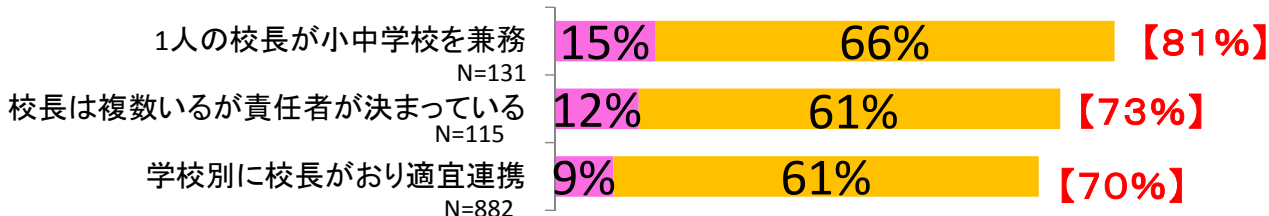
㉒上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



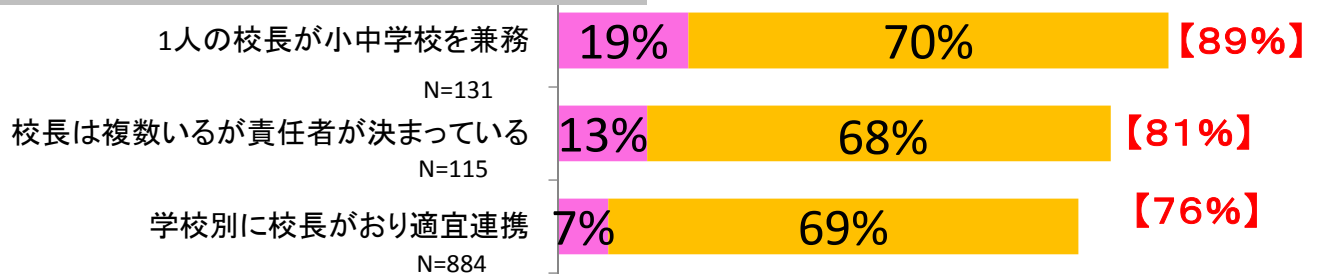
㉓下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



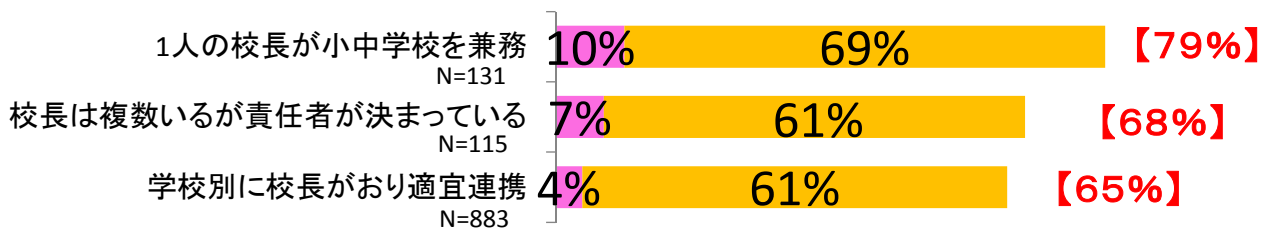
㉔予防的生徒指導等の取組が充実した



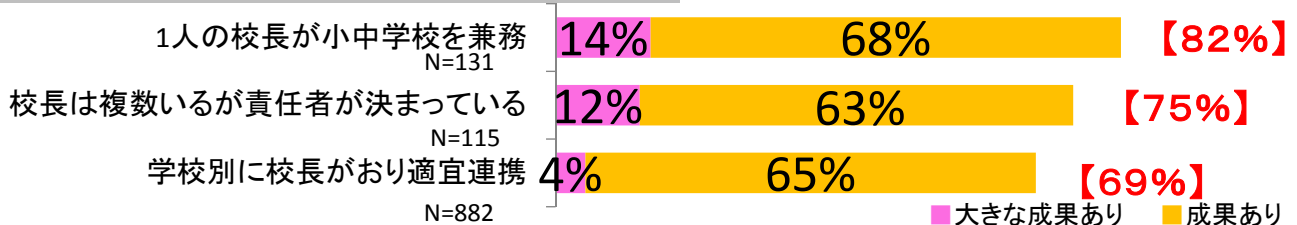
②⑤教員の指導方法の改善意欲が高まった



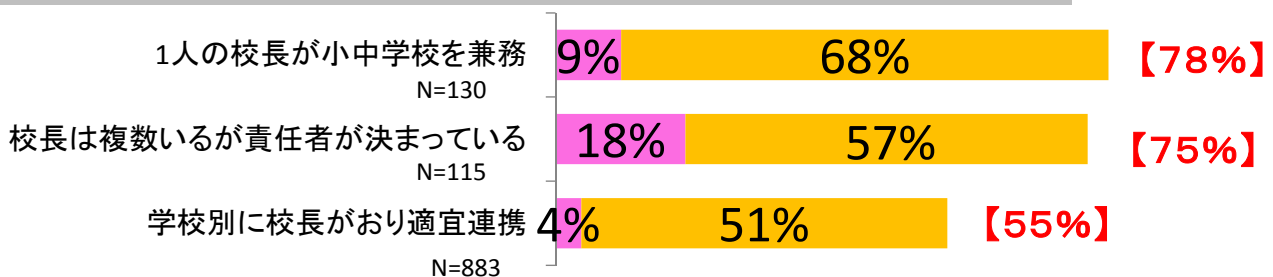
②⑥教員の生徒指導力の向上につながった



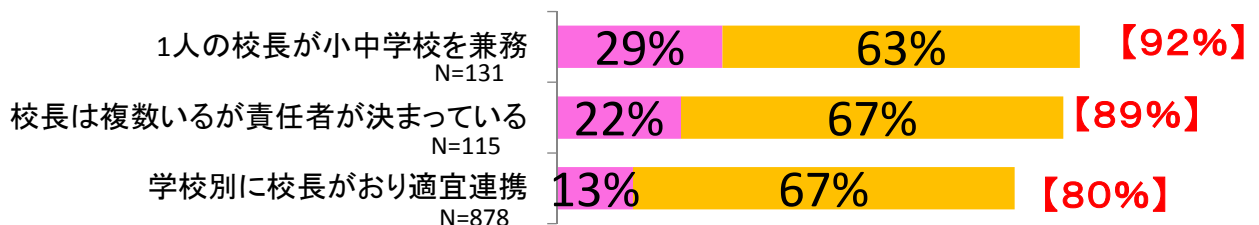
②⑦教員の教科指導力の向上につながった



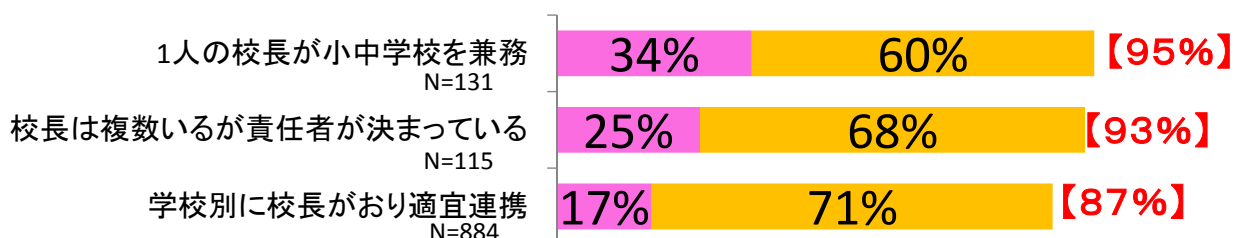
②⑧養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



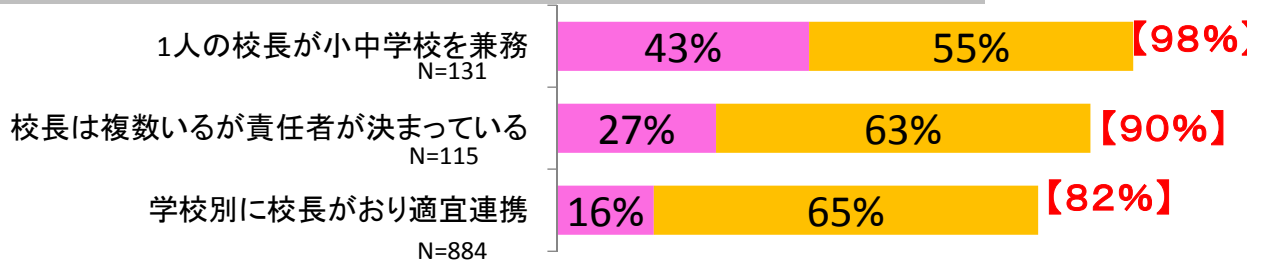
②⑨小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



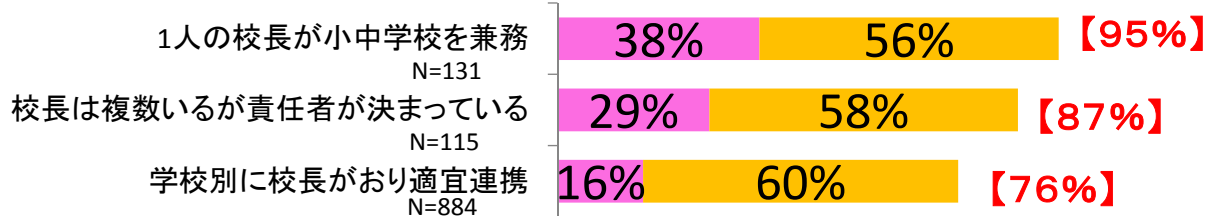
③⑩小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



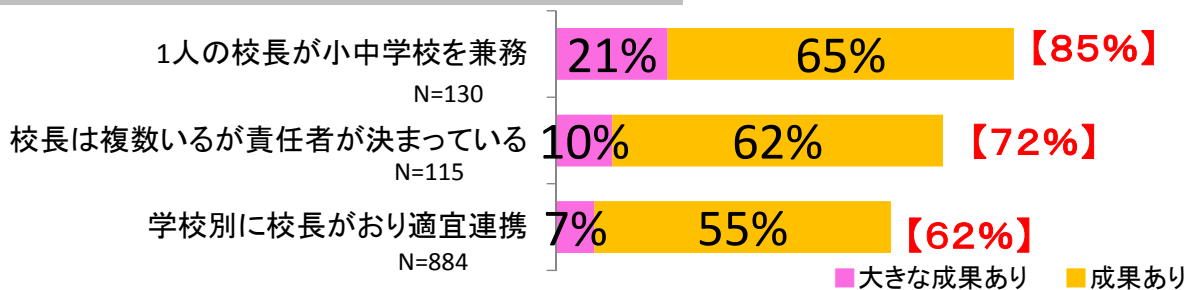
③①小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



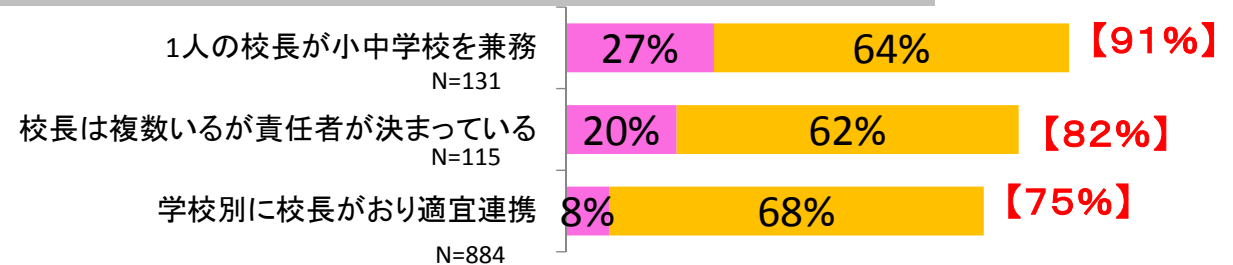
③②小・中学校共通で実践する取組が増えた



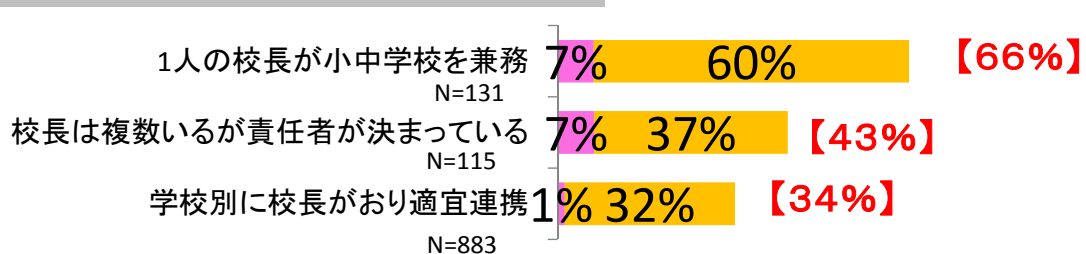
③③小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



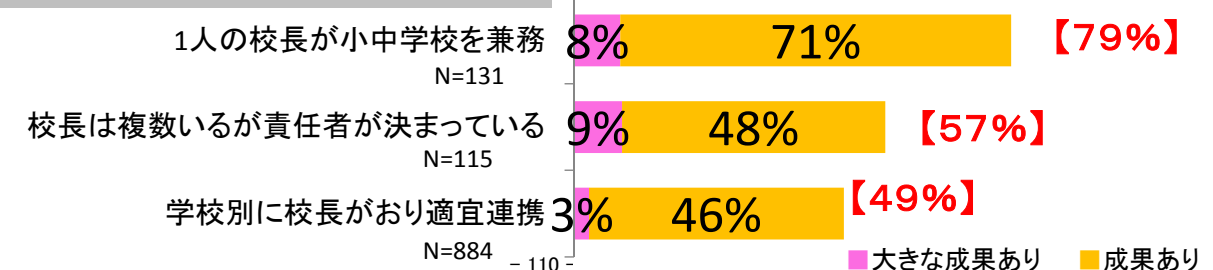
③④小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



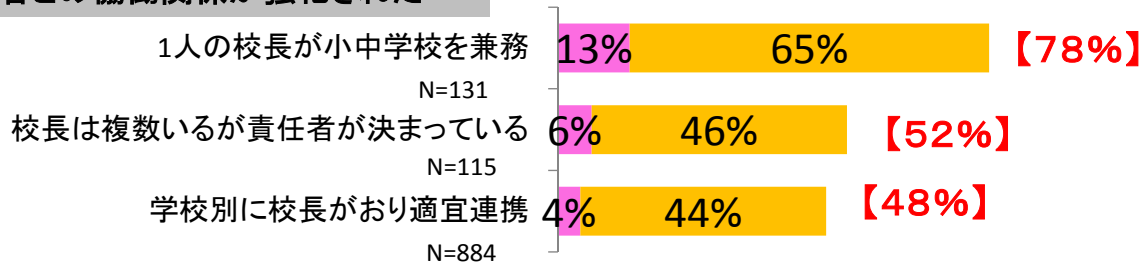
③⑤教職員の仕事に対する満足度が高まった



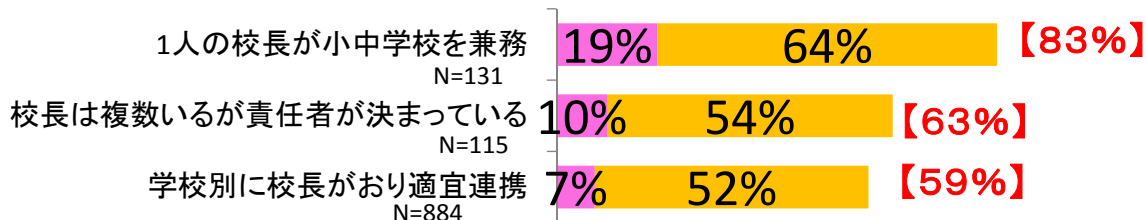
③⑥保護者の学校への満足度が高まった



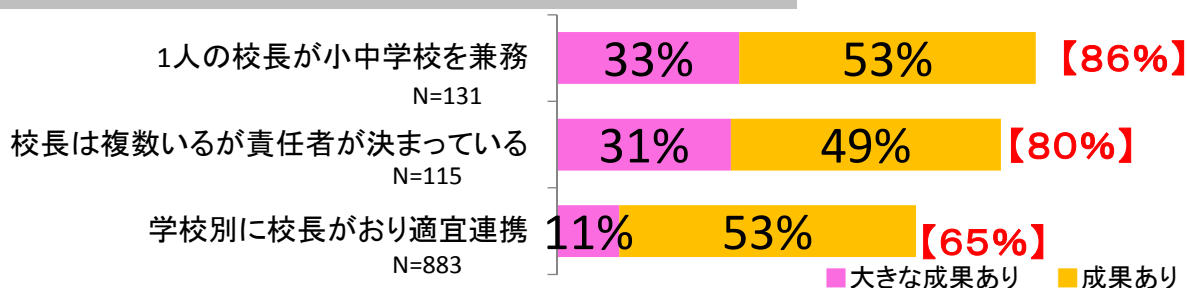
③⑦保護者との協働関係が強化された



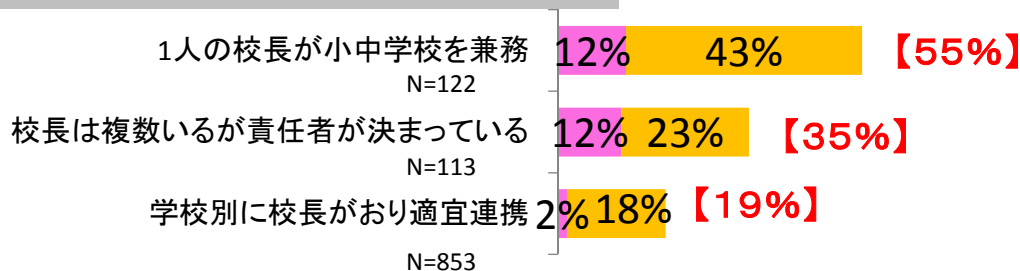
③⑧地域との協働関係が強化された



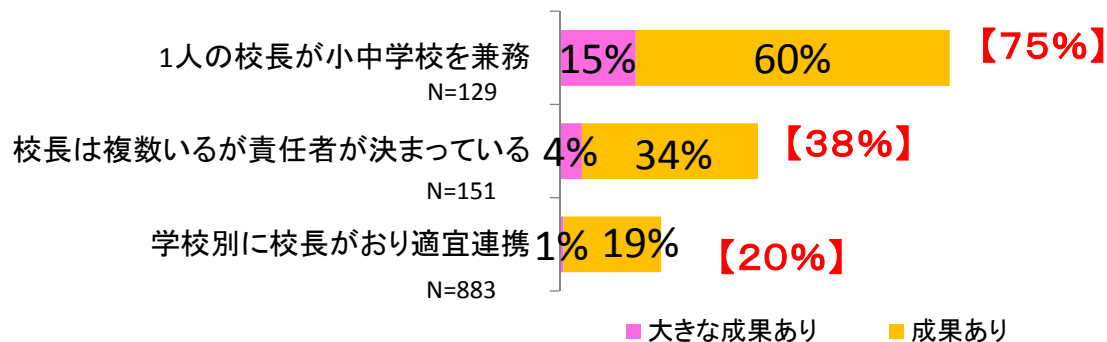
③⑨異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



④⑩学校独自の新教科や領域の指導が充実した



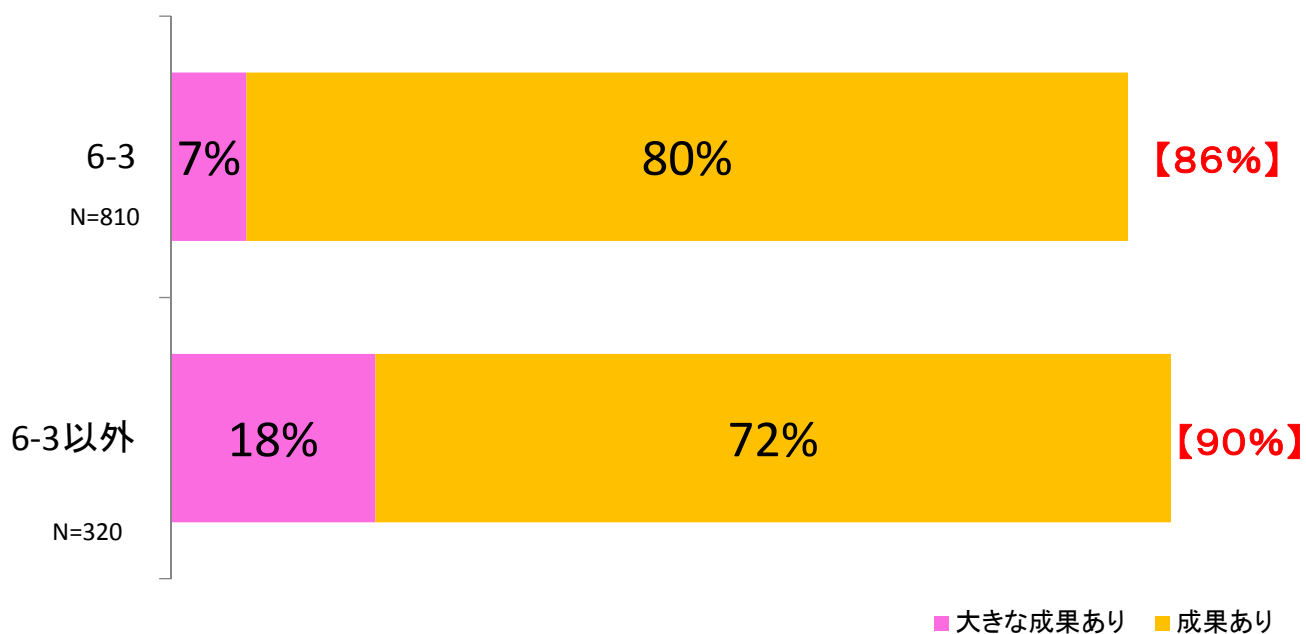
④⑪校務分掌等、学校運営の効率化につながった



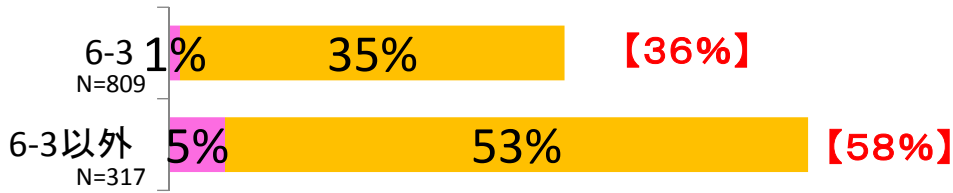
V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の成果（～P119）

学年段階の区切り × 小中一貫教育の成果

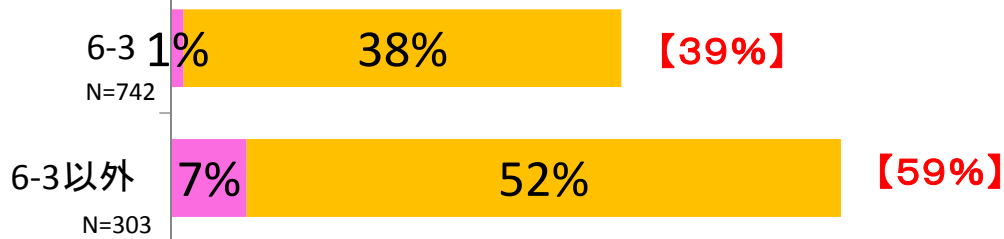
総合評価



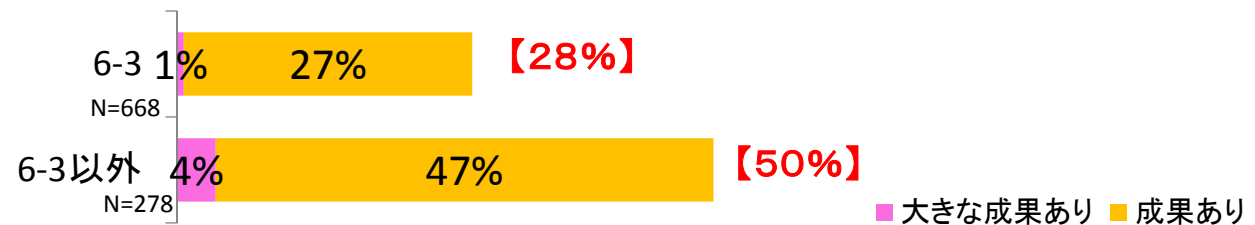
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



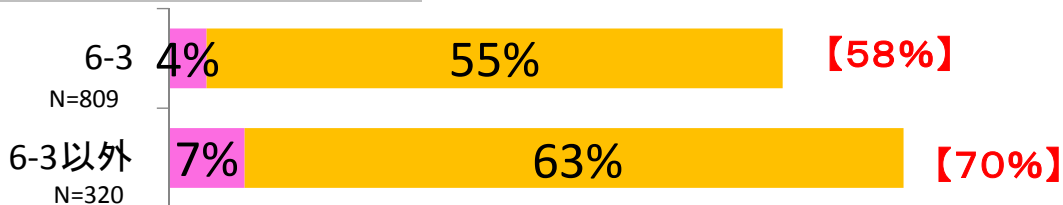
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



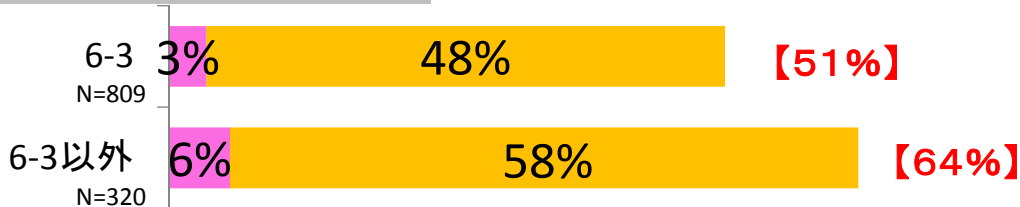
③民間の標準学力検査の結果が向上した



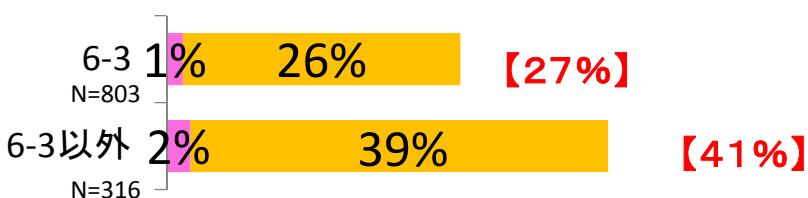
④学習習慣の定着が進んだ



⑤生活リズムが改善した

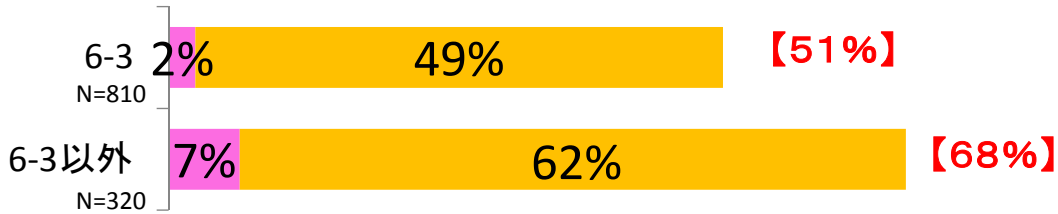


⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した

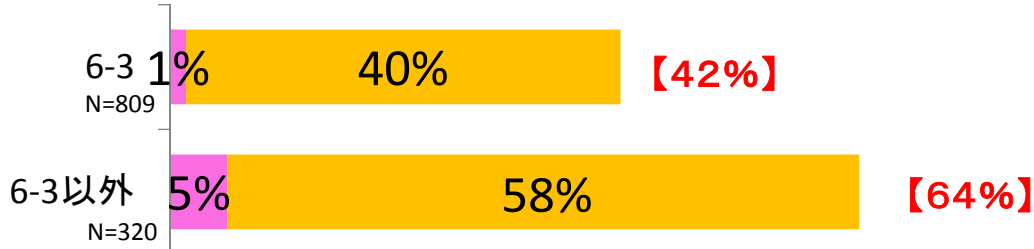


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

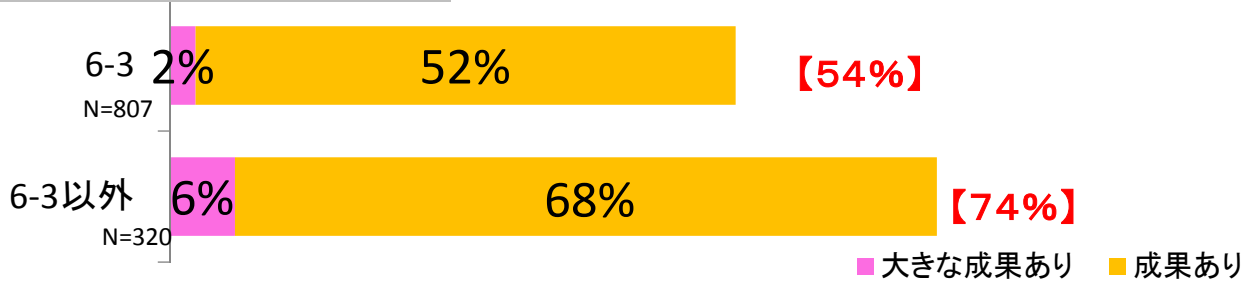
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



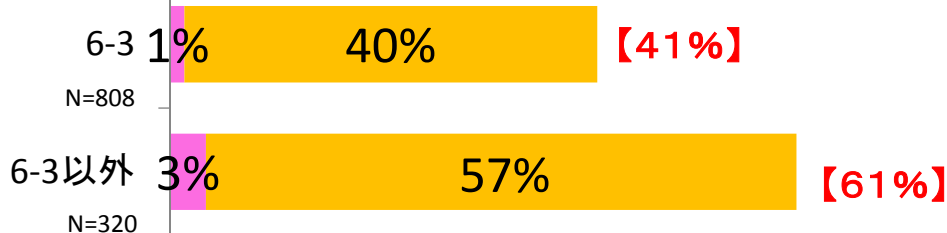
⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた



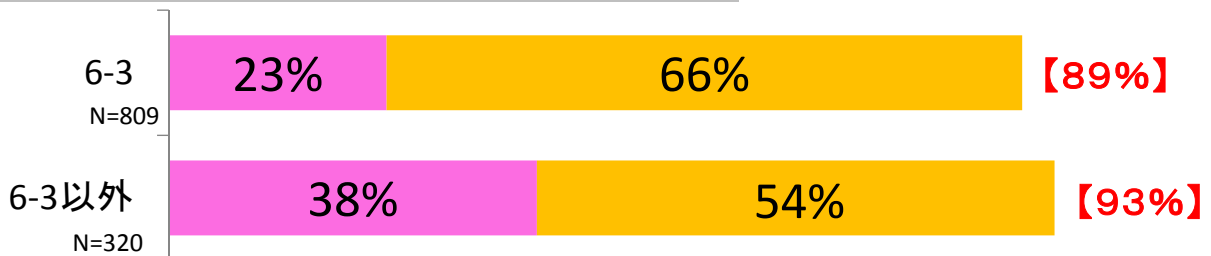
⑨学習意欲が向上した



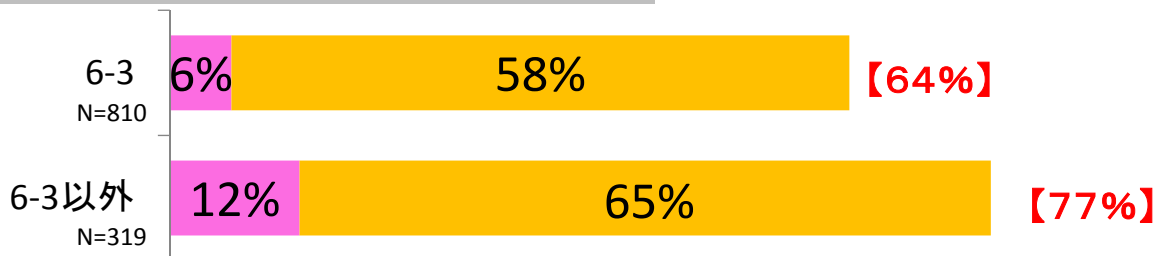
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



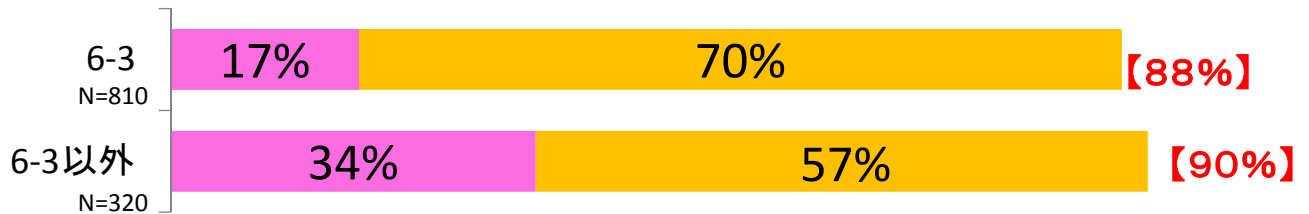
⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



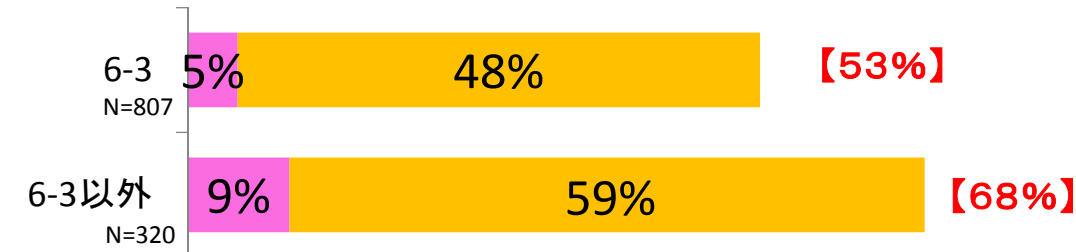
⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった



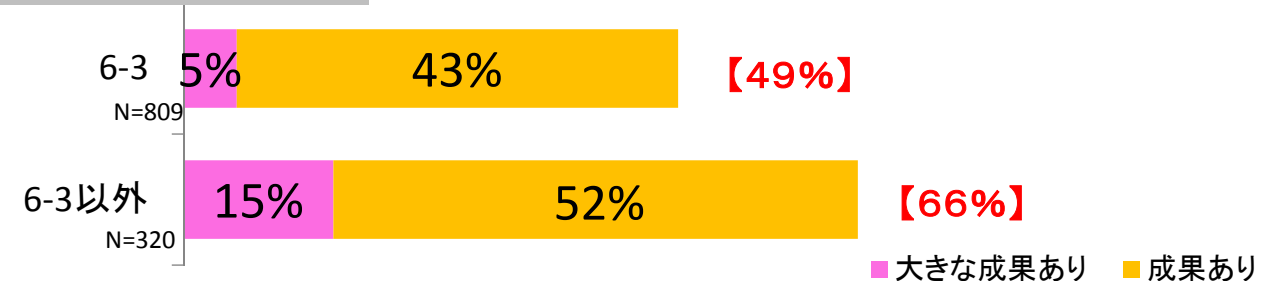
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



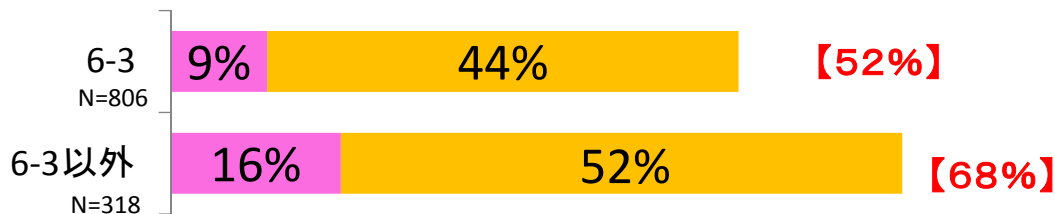
⑭いじめの問題等が減少した



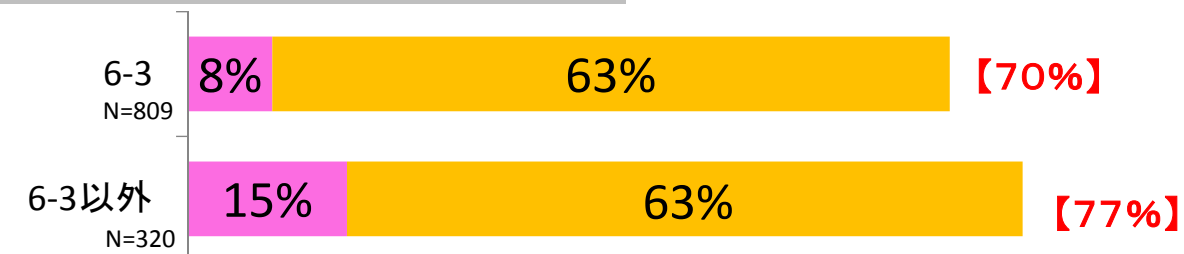
⑮不登校が減少した



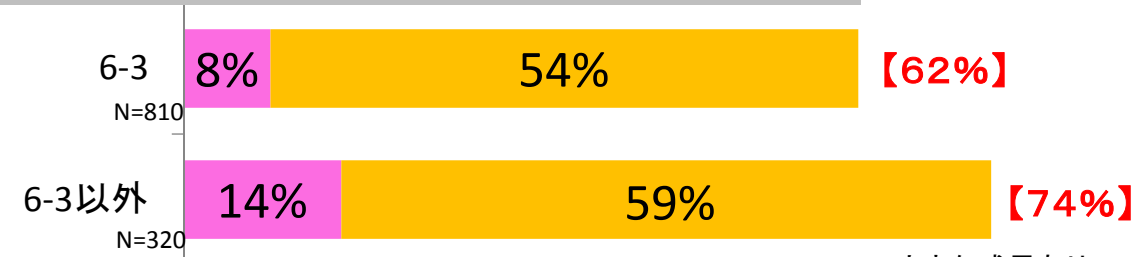
⑯暴力行為の発生件数が減少した



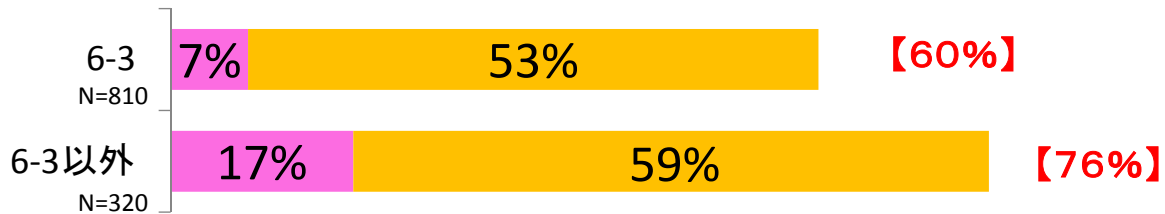
⑰学習規律・生活規律の定着が進んだ



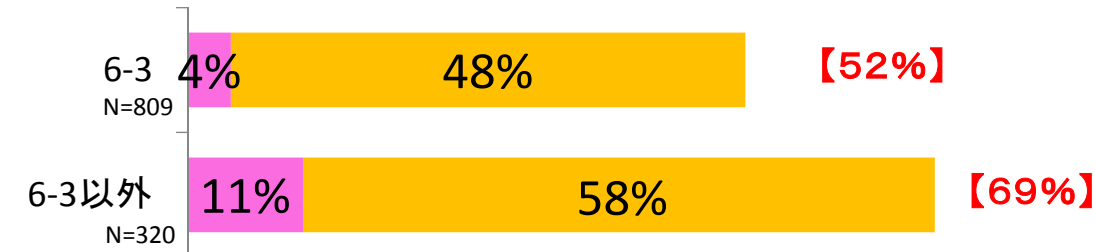
⑱児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



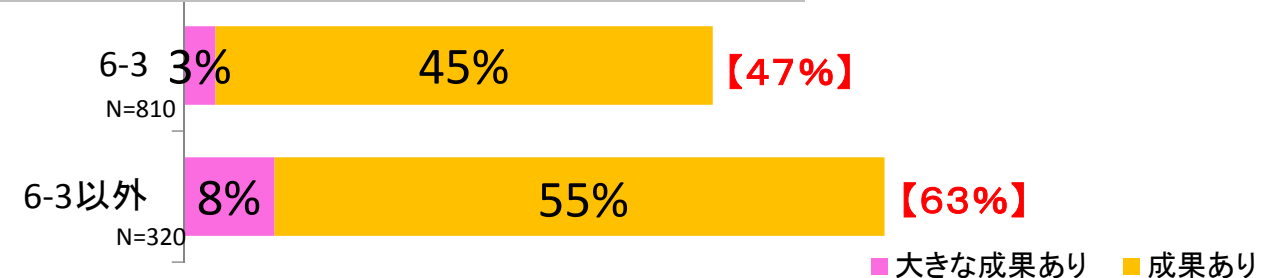
⑱児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



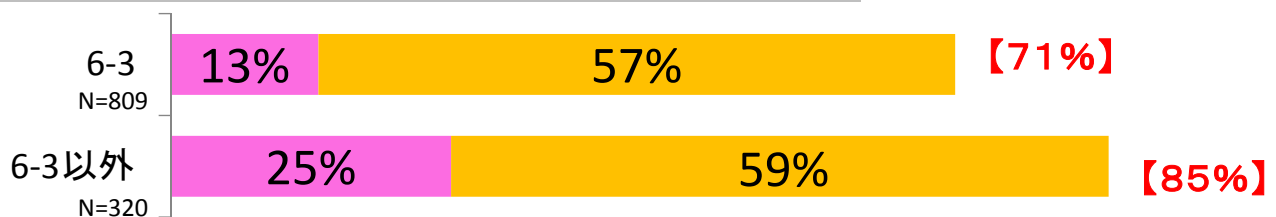
⑳児童生徒の自己肯定感が高まった



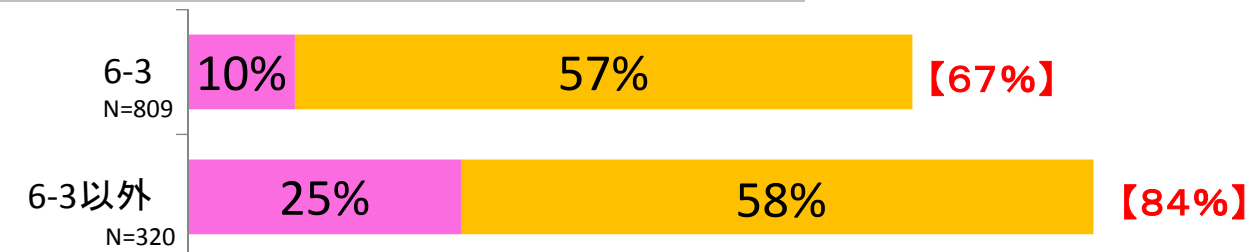
㉑児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



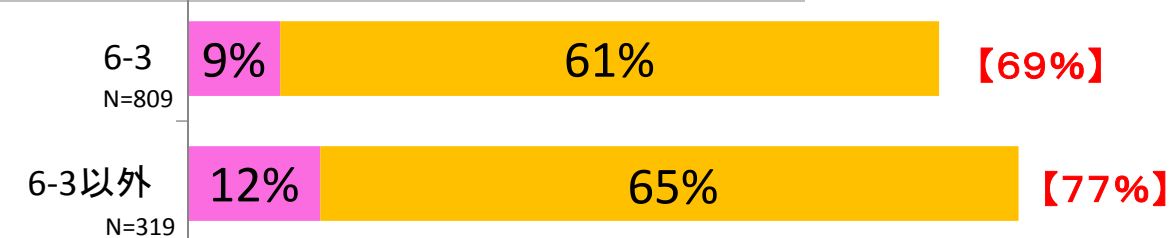
㉒上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



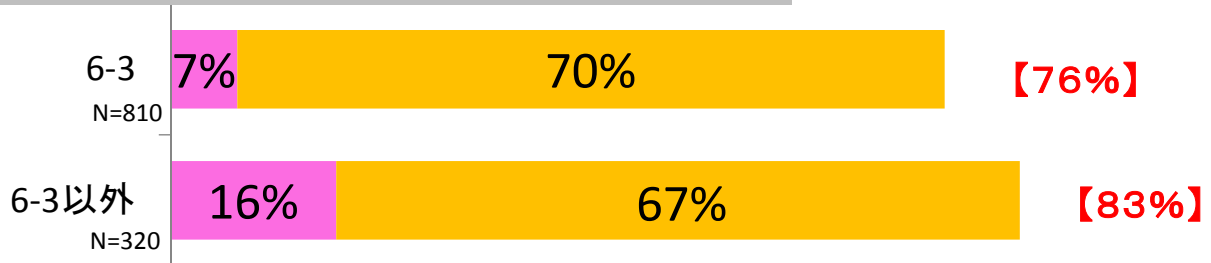
㉓下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



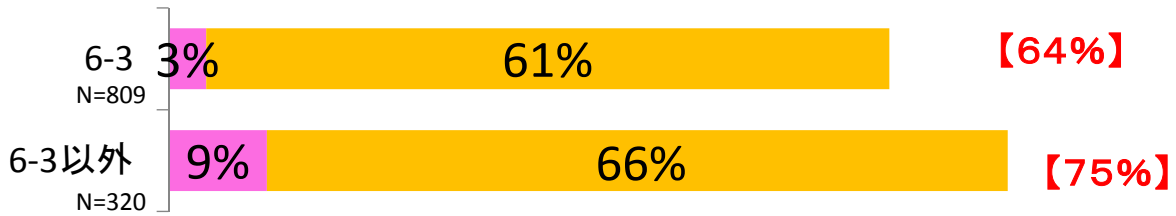
㉔予防的生徒指導等の取組が充実した



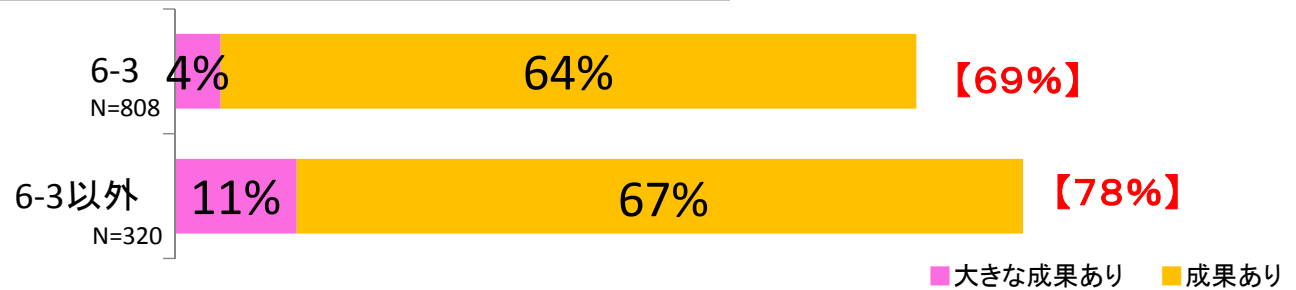
②⑤教員の指導方法の改善意欲が高まった



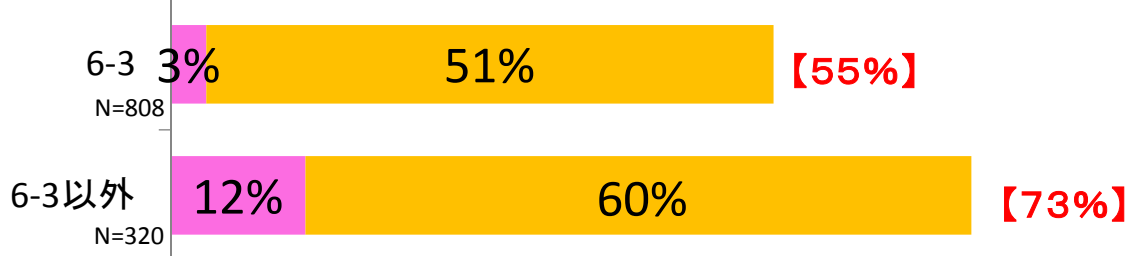
②⑥教員の生徒指導力の向上につながった



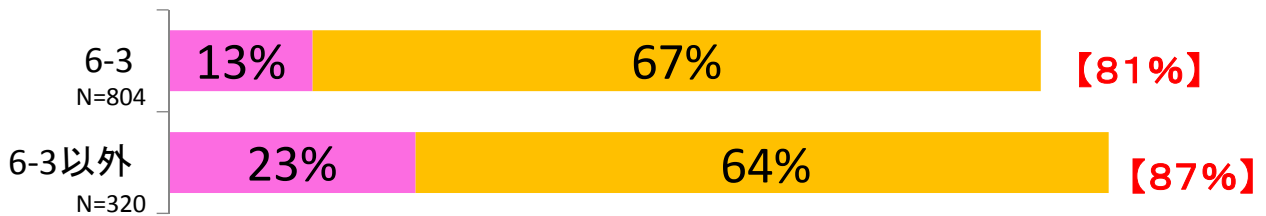
②⑦教員の教科指導力の向上につながった



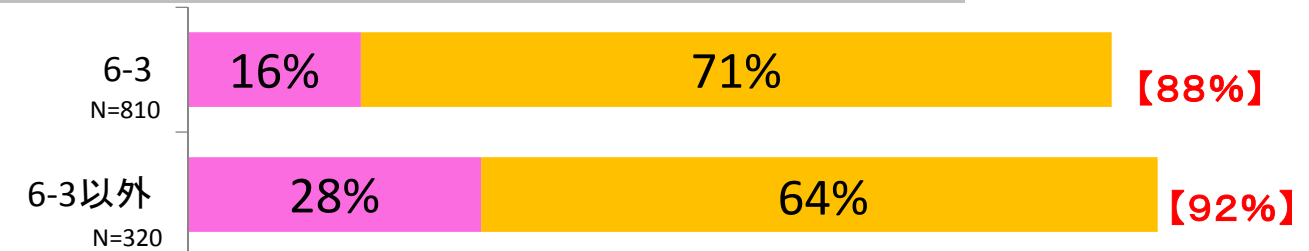
②⑧養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



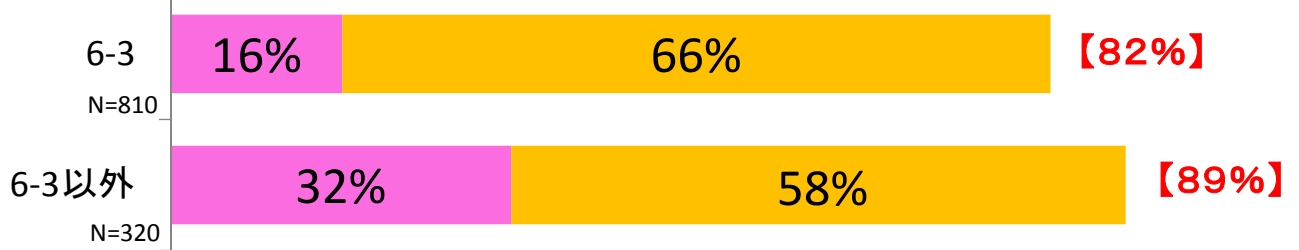
②⑨小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



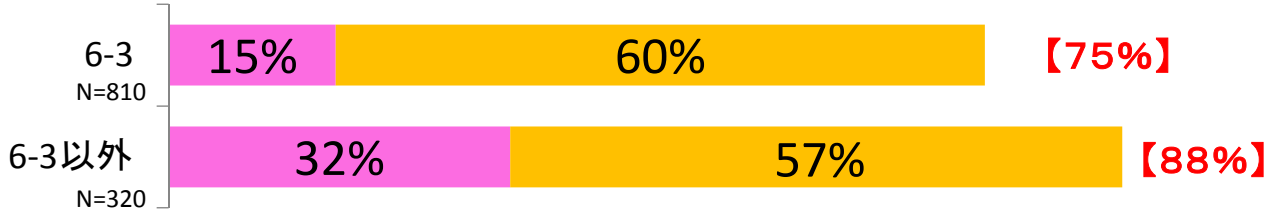
③⑩小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



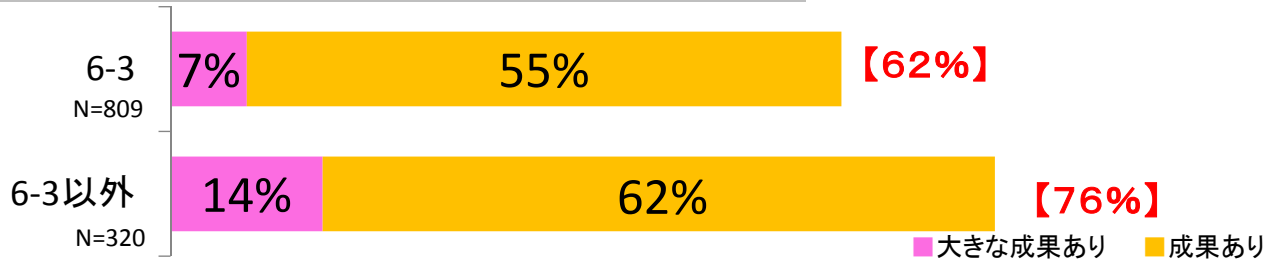
③①小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



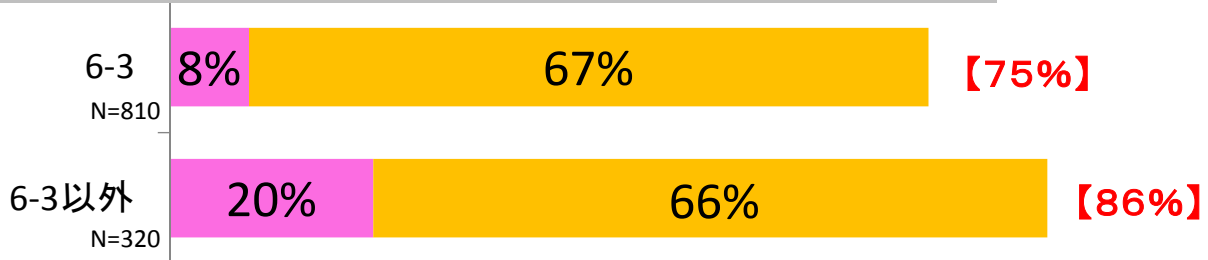
③②小・中学校共通で実践する取組が増えた



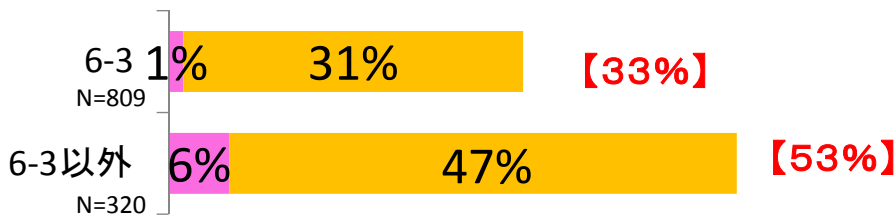
③③小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



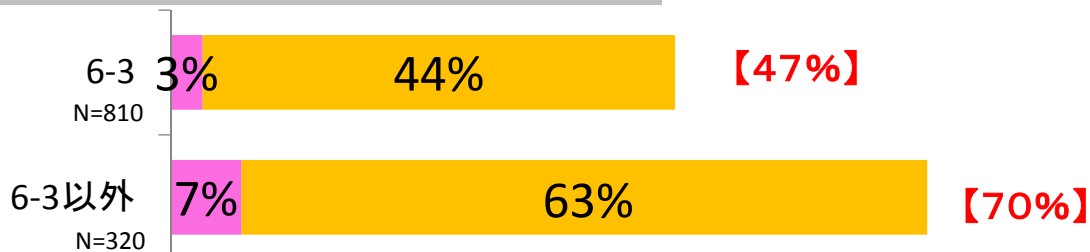
③④小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



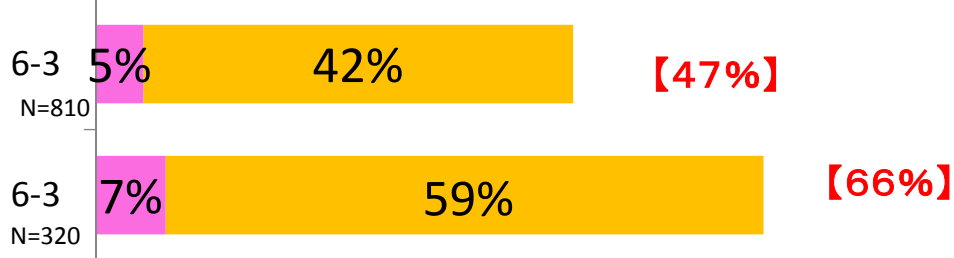
③⑤教職員の仕事に対する満足度が高まった



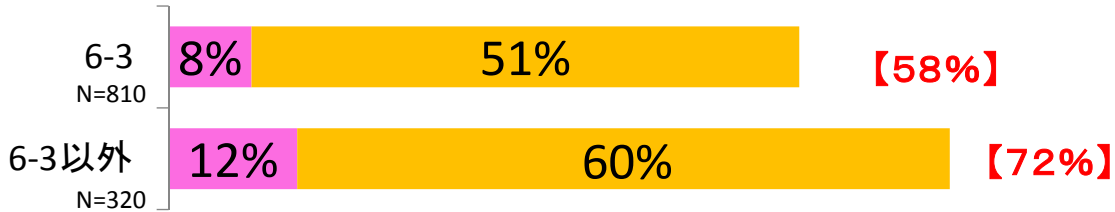
③⑥保護者の学校への満足度が高まった



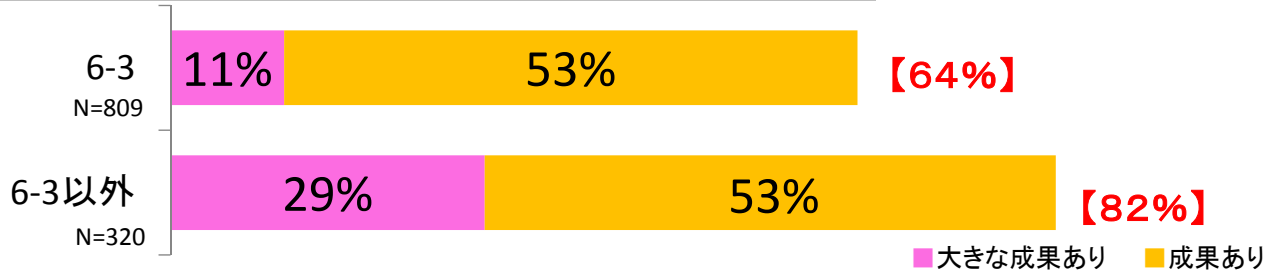
③⑦保護者との協働関係が強化された



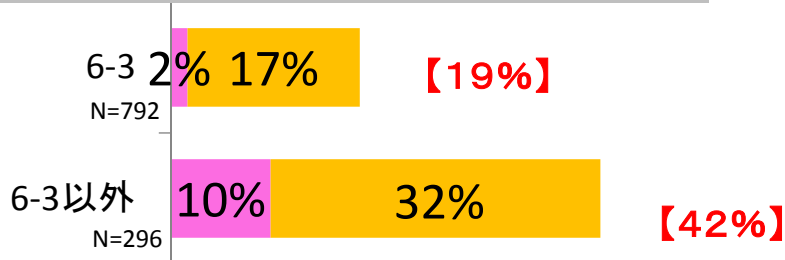
③⑧地域との協働関係が強化された



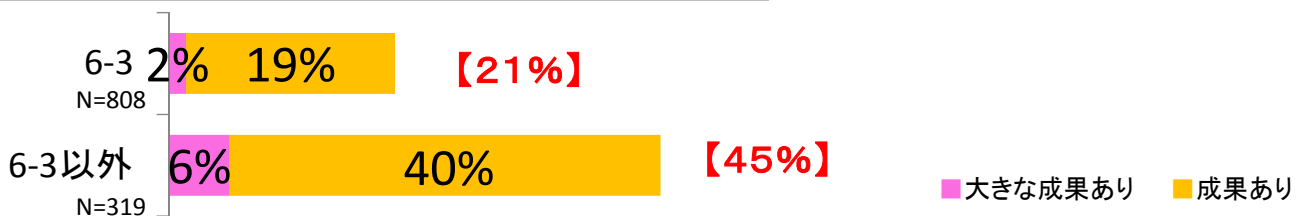
③⑨異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



④⑩学校独自の新教科や領域の指導が充実した



④⑪校務分掌等、学校運営の効率化につながった

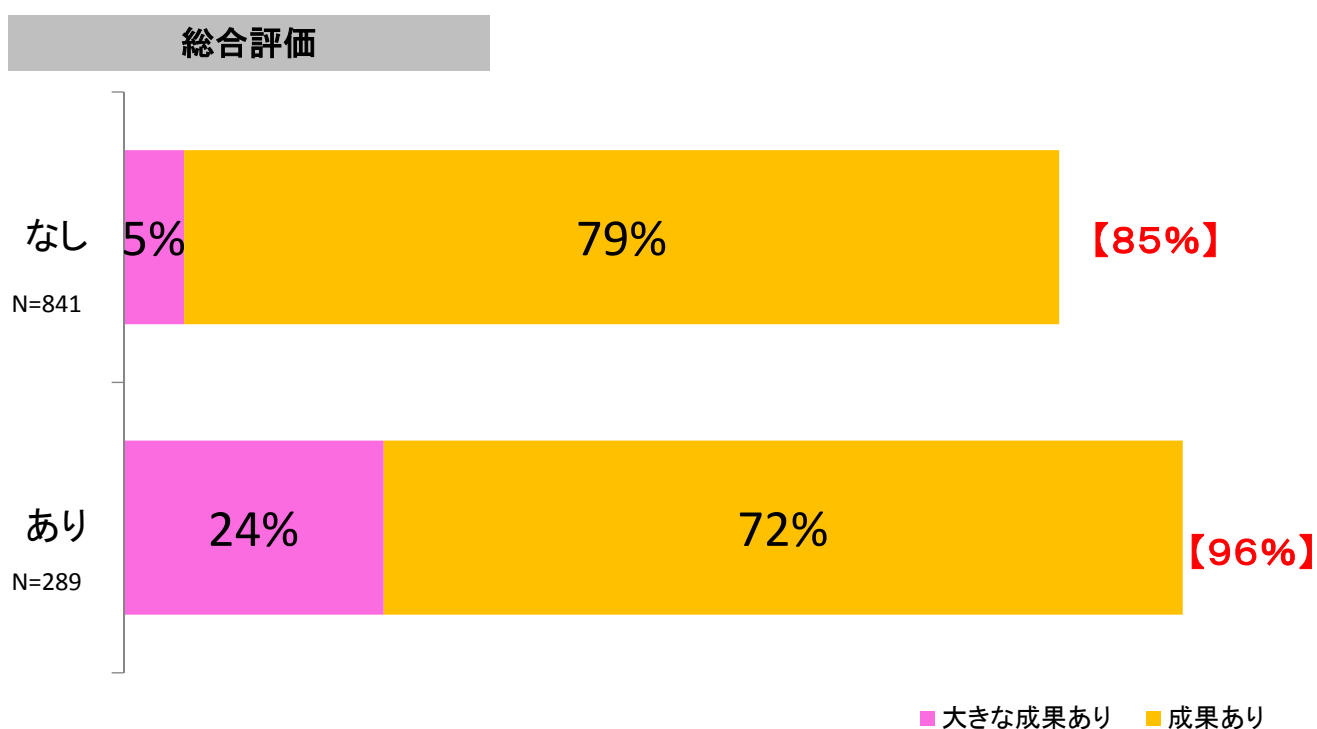


VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム

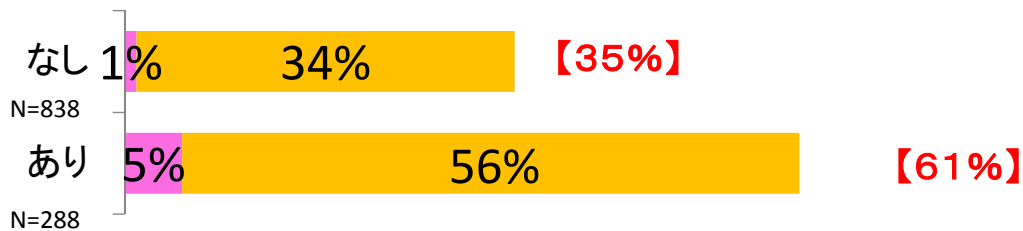
× 小中一貫教育の成果

(～P128)

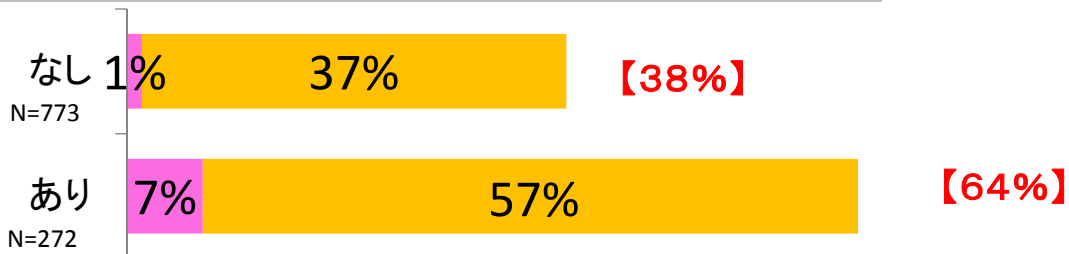
9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム × 小中一貫教育の成果



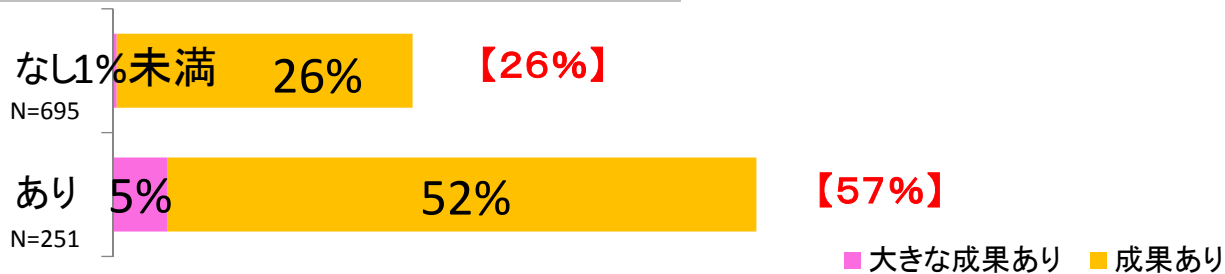
① 全国学力・学習状況調査の結果が向上した



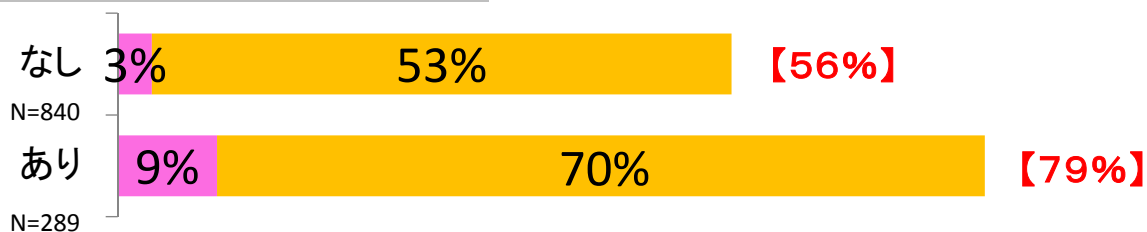
② 都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



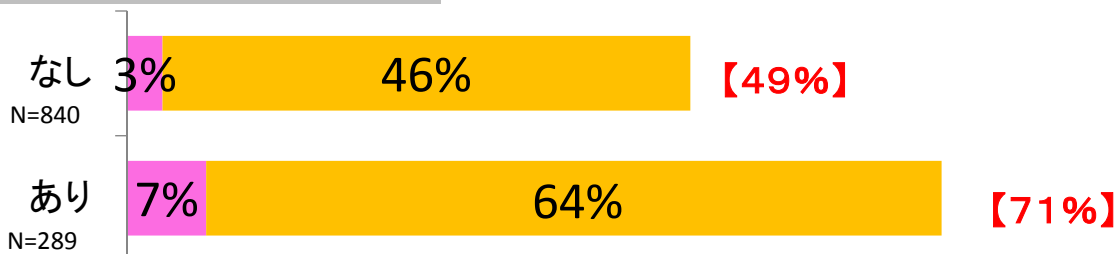
③ 民間の標準学力検査の結果が向上した



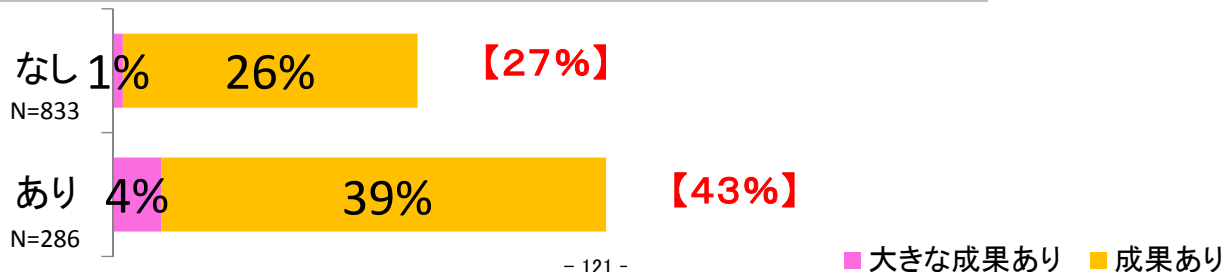
④ 学習習慣の定着が進んだ



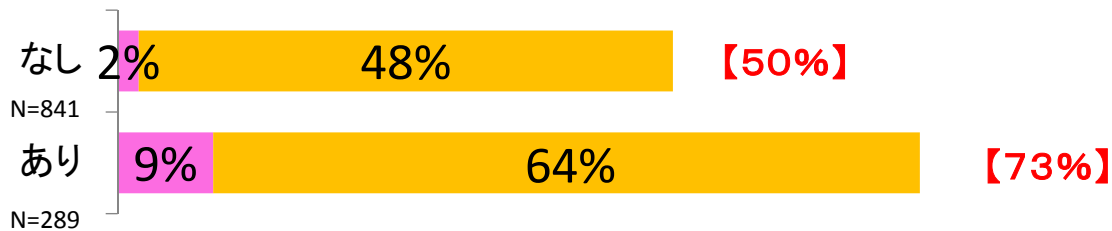
⑤ 生活リズムが改善した



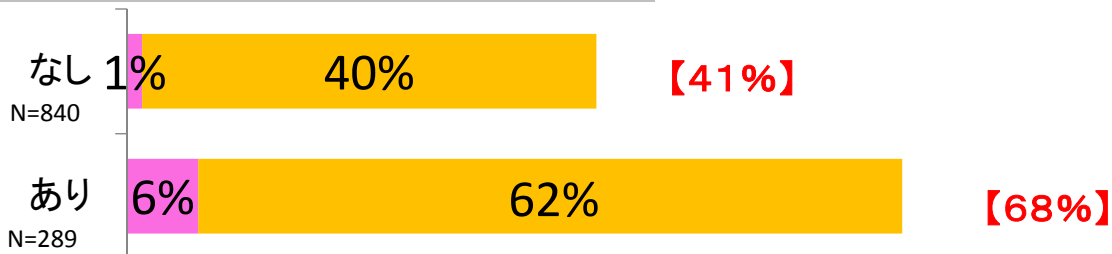
⑥ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した



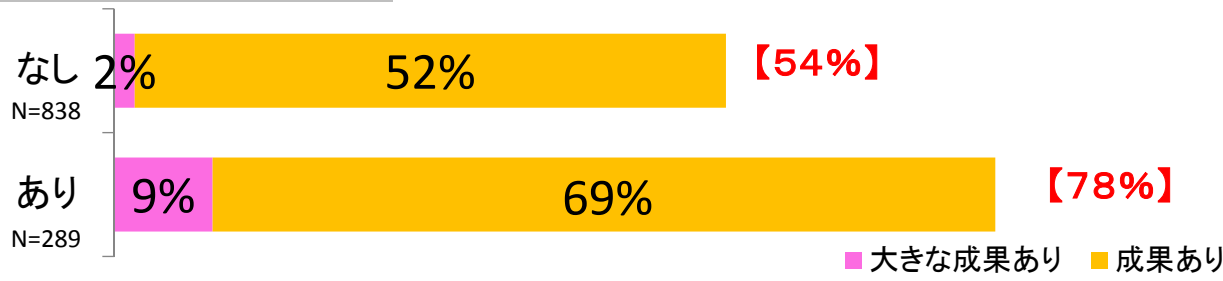
⑦ 授業が理解できると答える児童生徒が増えた



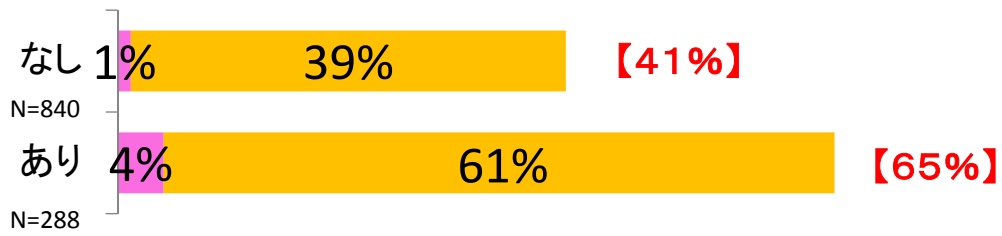
⑧ 勉強が好きと答える児童生徒が増えた



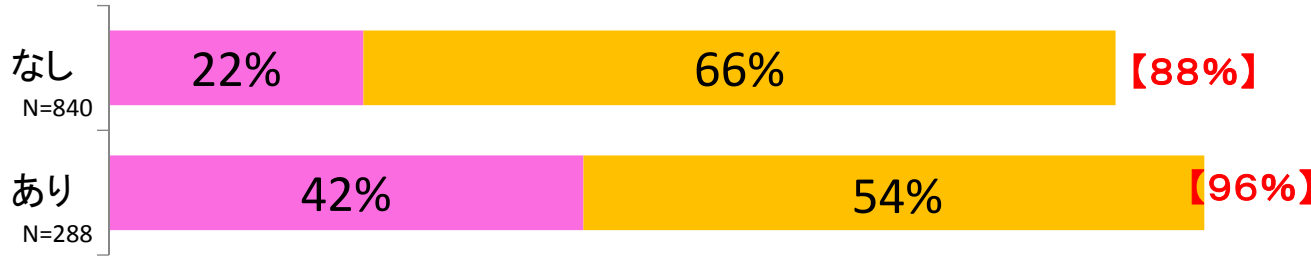
⑨ 学習意欲が向上した



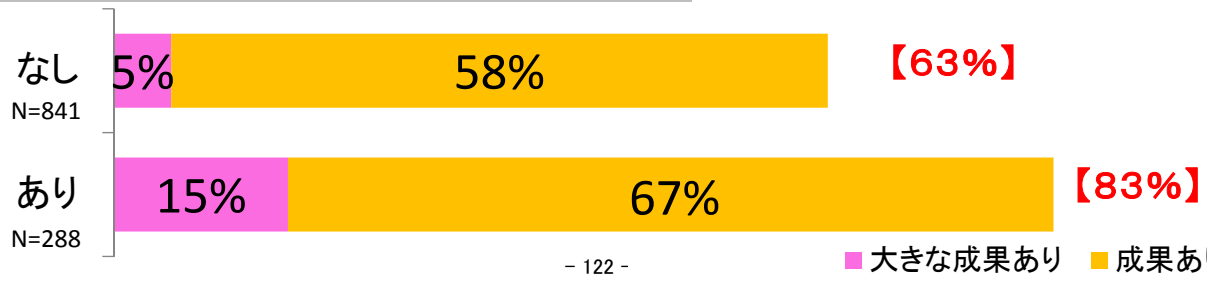
⑩ 学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



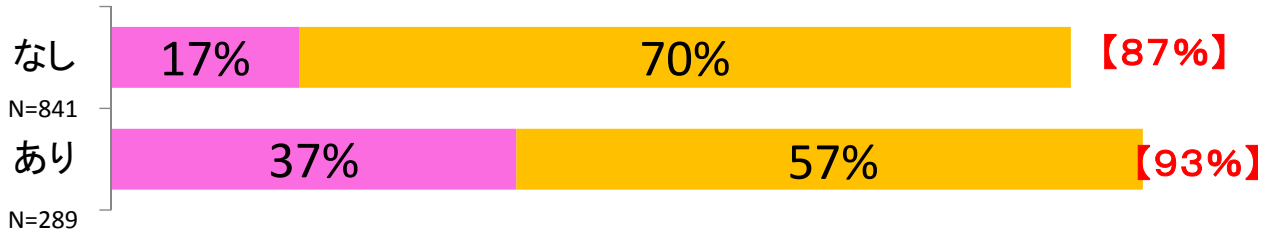
⑪ 中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



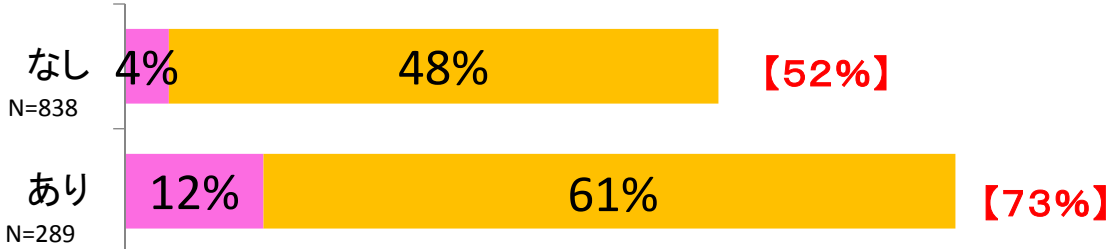
⑫ 児童生徒の学校生活への満足度が上がった



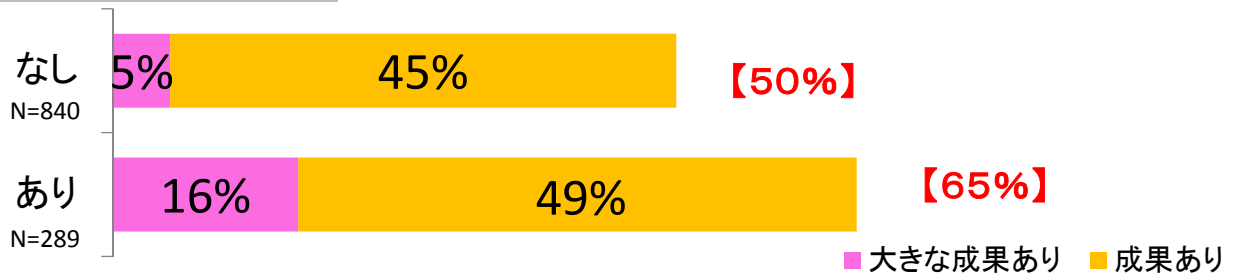
⑬ いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



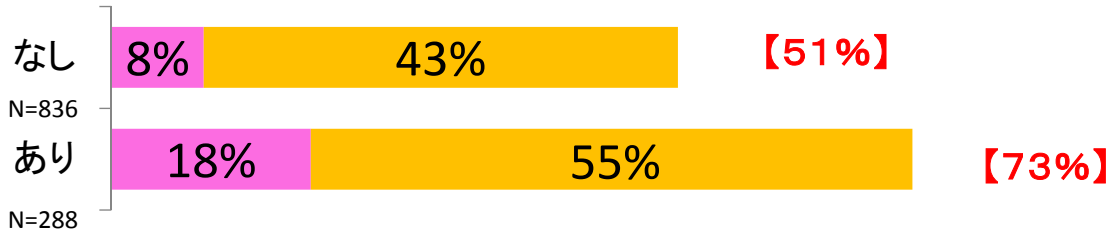
⑭ いじめの問題等が減少した



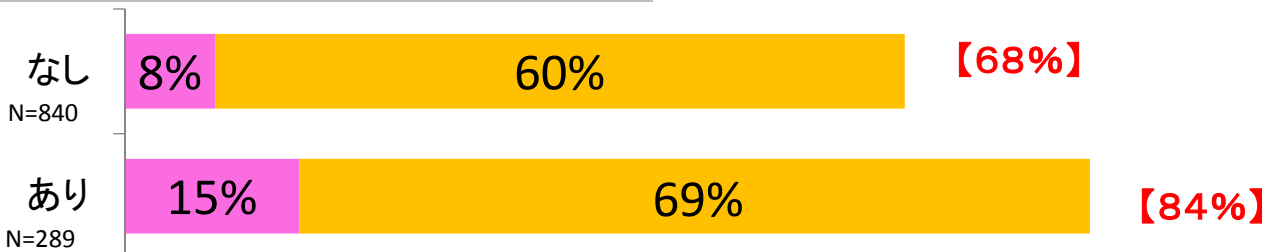
⑮ 不登校が減少した



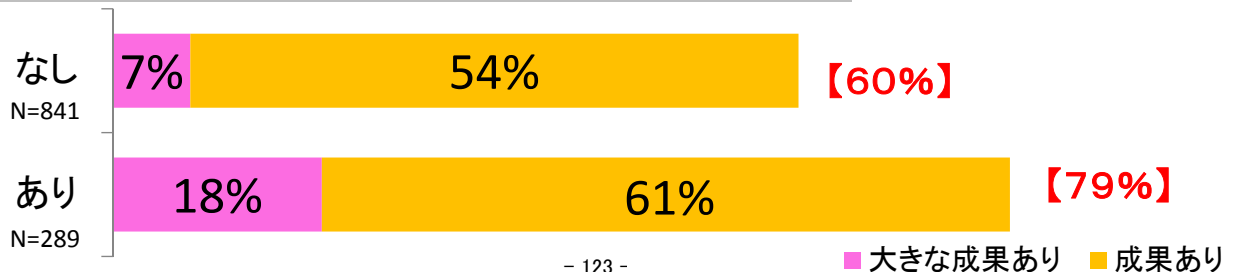
⑯ 暴力行為の発生件数が減少した



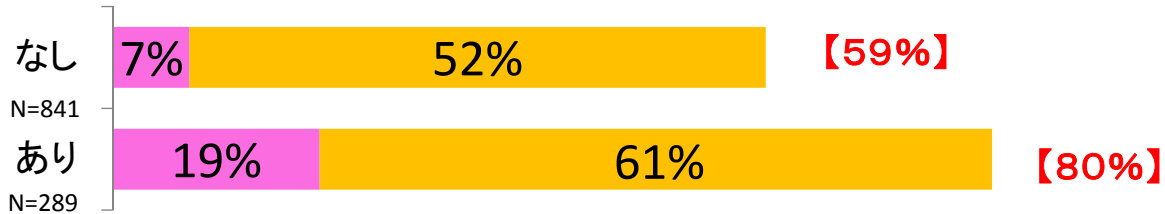
⑰ 学習規律・生活規律の定着が進んだ



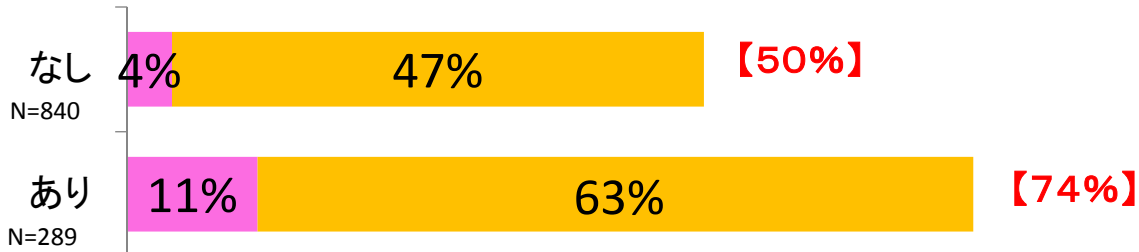
⑱ 児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



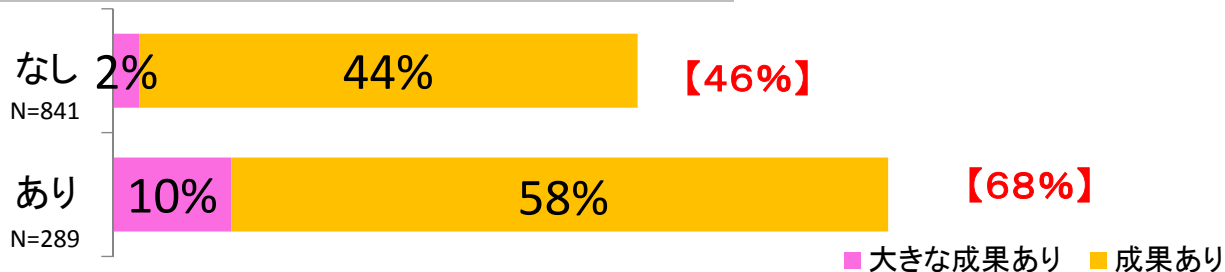
⑱ 児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



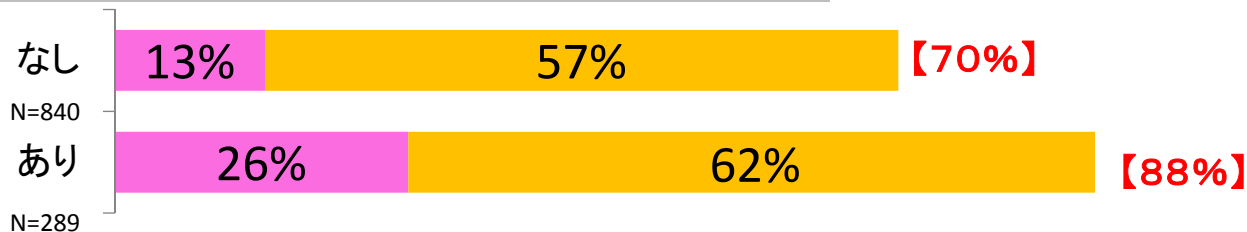
⑳ 児童生徒の自己肯定感が高まった



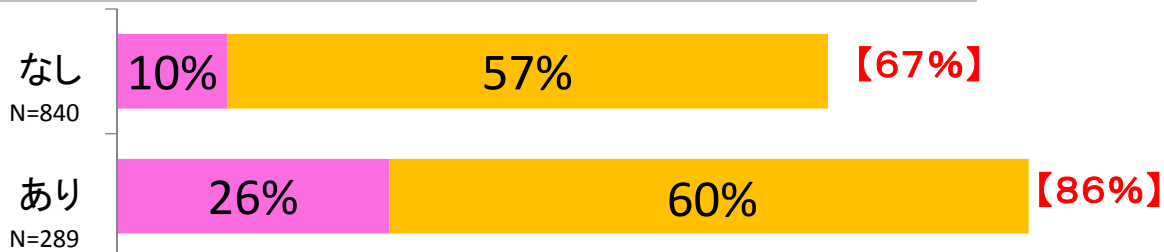
㉑ 児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



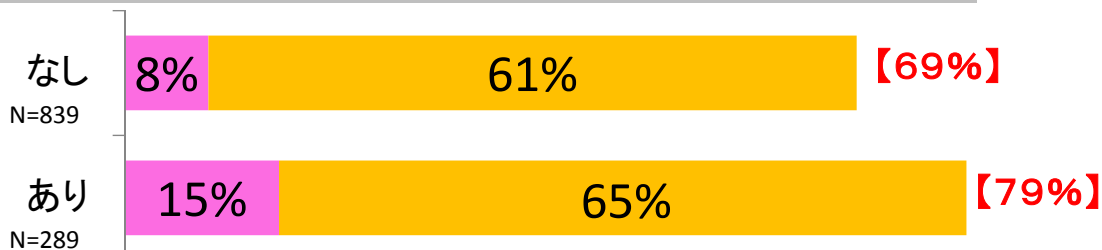
㉒ 上級生が下級生の手本になろうとする意識が高まった



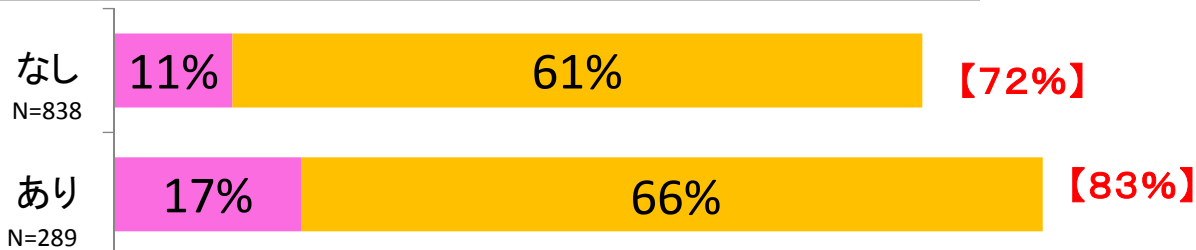
㉓ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



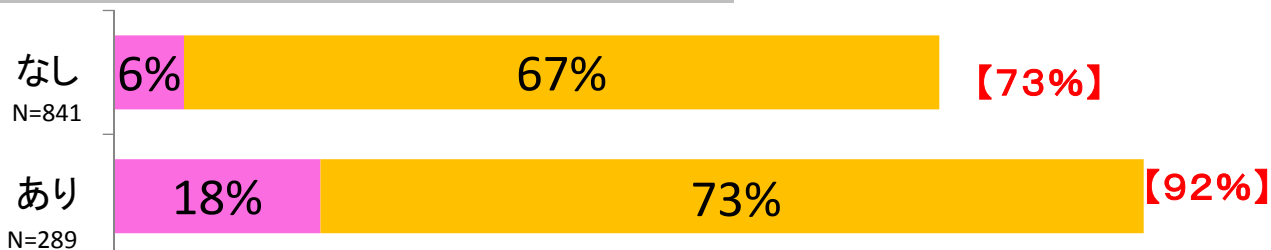
㉔ 予防的生徒指導等の取組が充実した



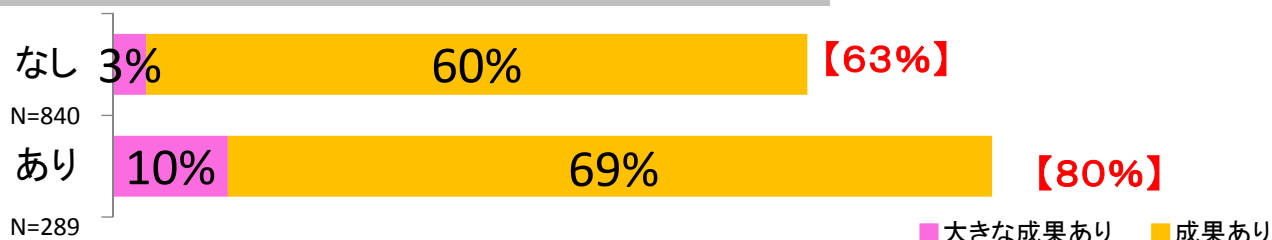
②⑤ 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導が充実した



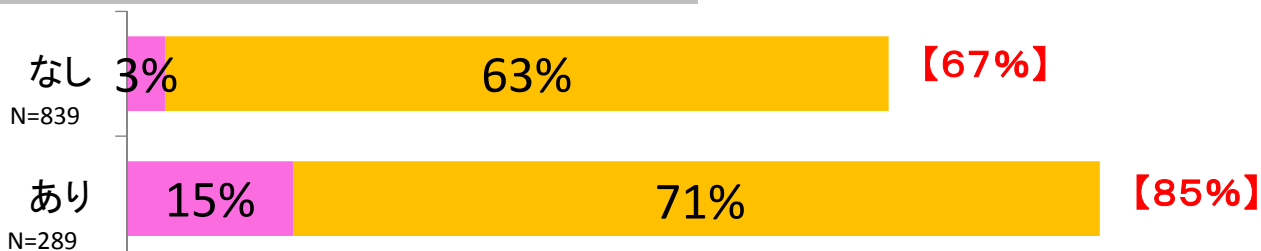
②⑥ 教員の指導方法の改善意欲が高まった



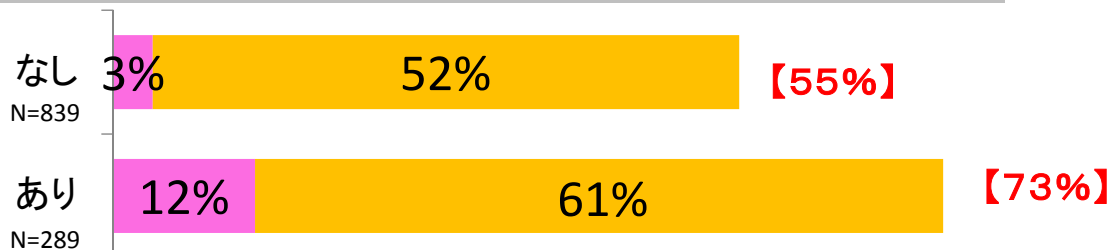
②⑦ 教員の生徒指導力の向上につながった



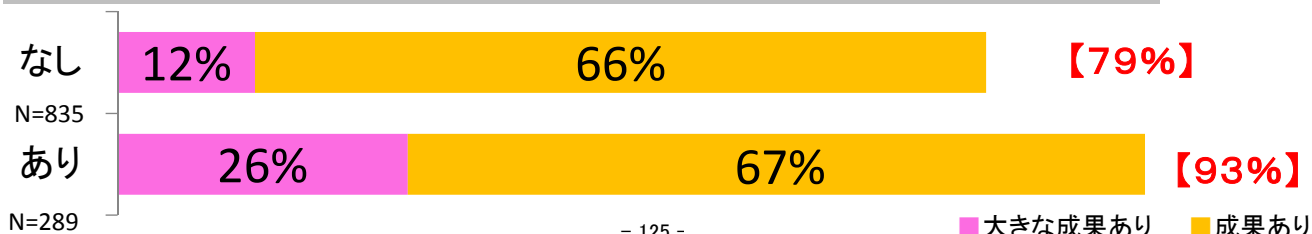
②⑧ 教員の教科指導力の向上につながった



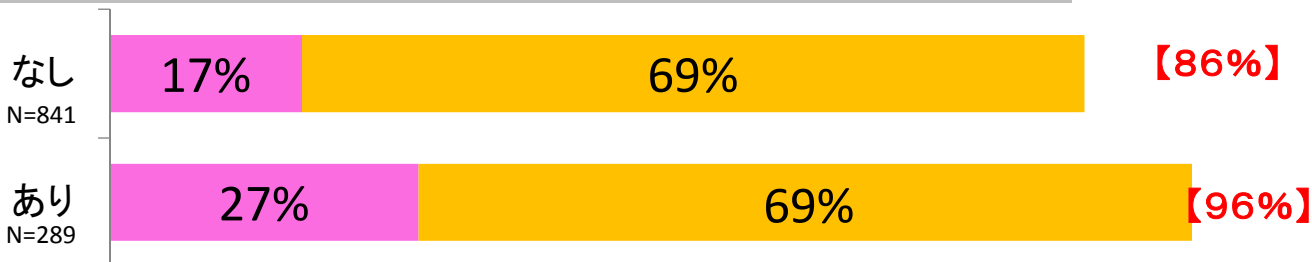
②⑨ 養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



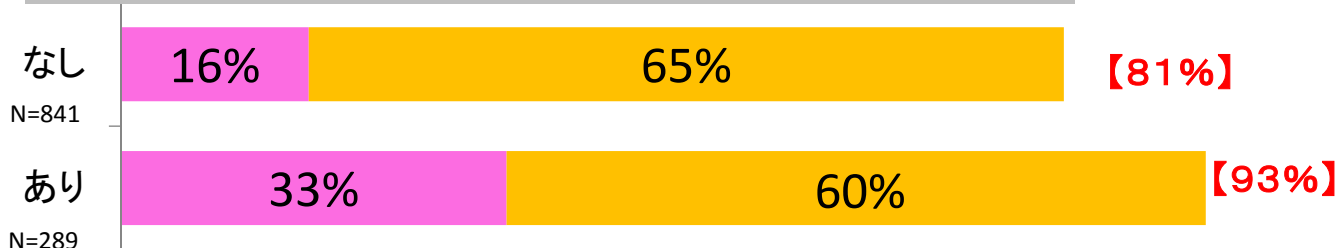
③⑩ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



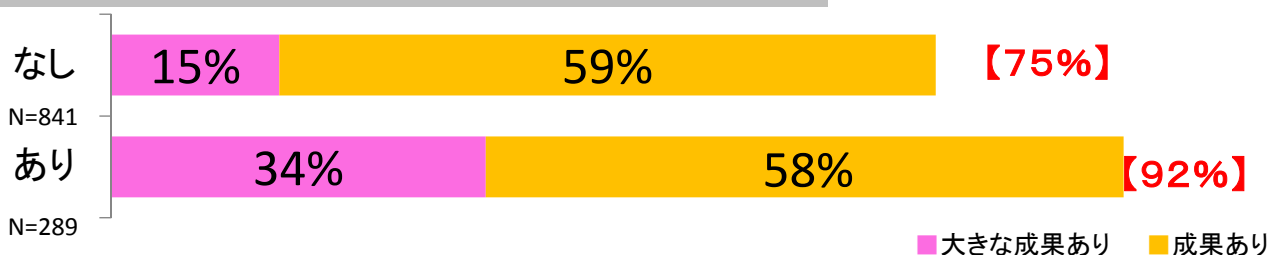
③① 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



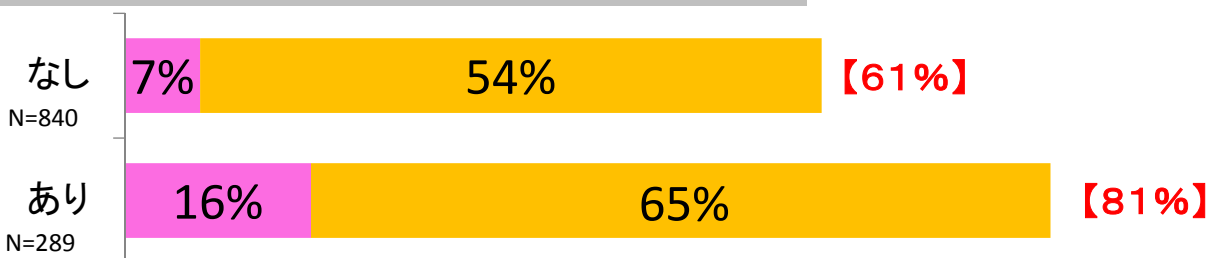
③② 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



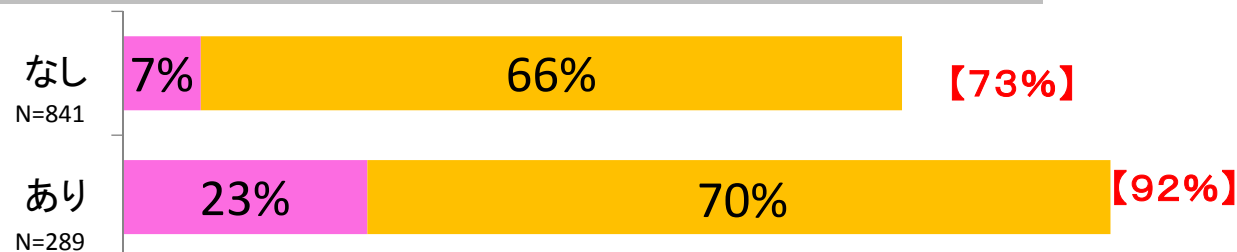
③③ 小・中学校共通で実践する取組が増えた



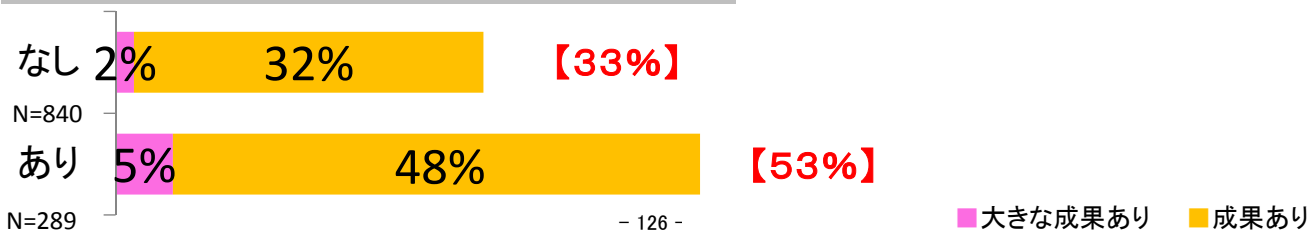
③④ 小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



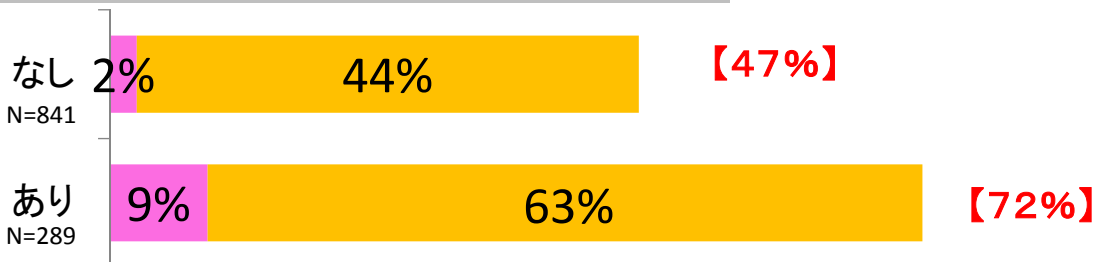
③⑤ 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



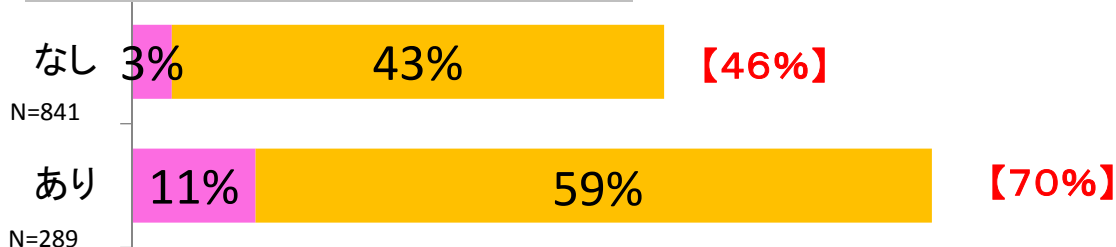
③⑥ 教職員の仕事に対する満足度が高まった



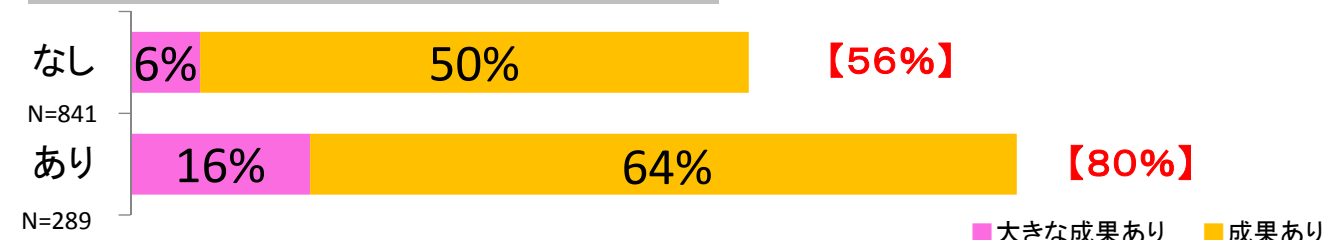
③⑦ 保護者の学校への満足度が高まった



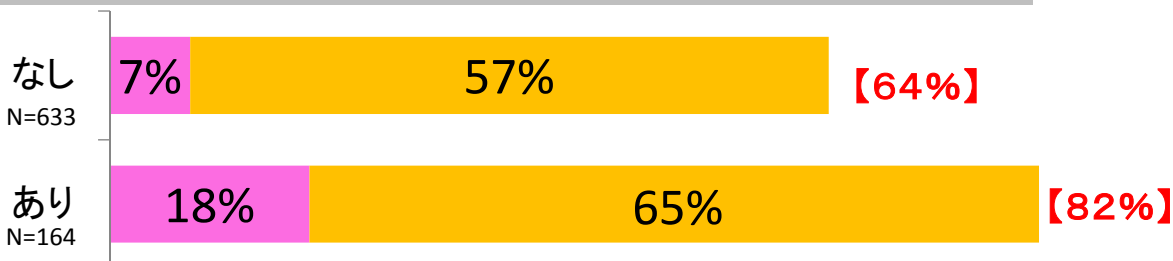
③⑧ 保護者との協働関係が強化された



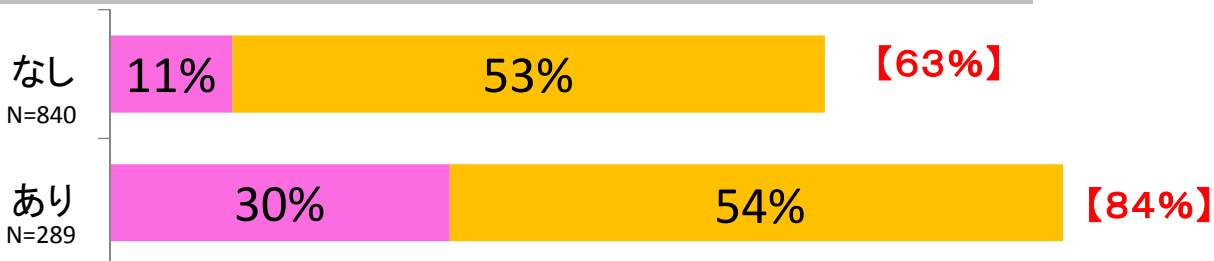
③⑨ 地域との協働関係が強化された



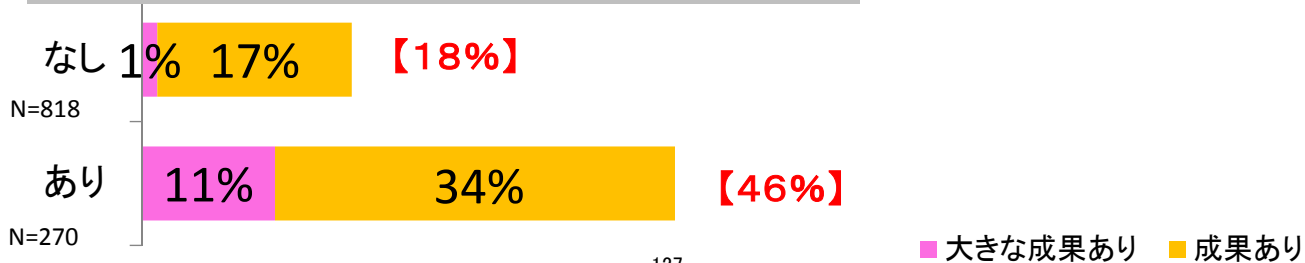
④⑩ 同一中学校区内の小学校感の取組の差の解消につながった



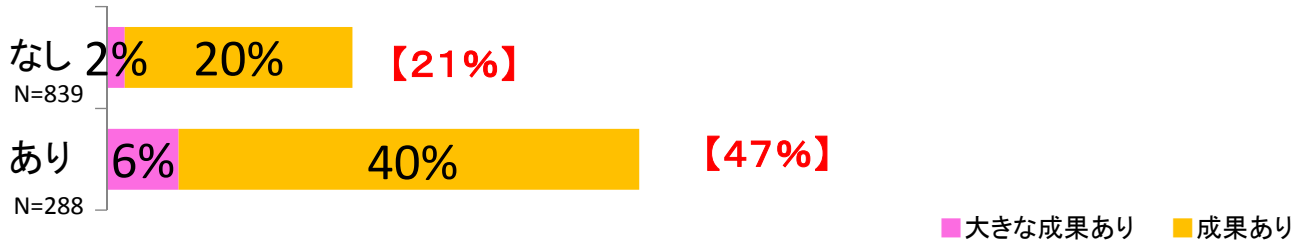
④⑪ 異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



④⑫ 学校独自の新教科や領域の指導が充実した

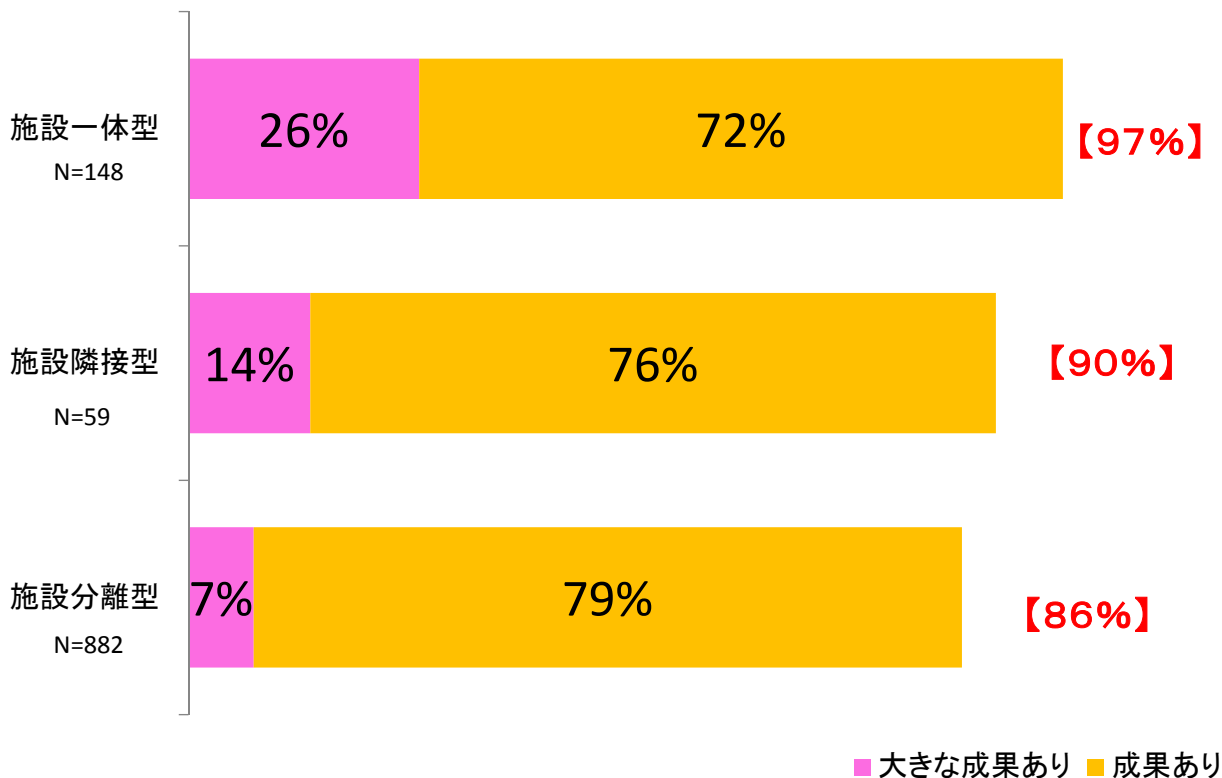


④ 校務分掌等、学校運営の効率化につながった

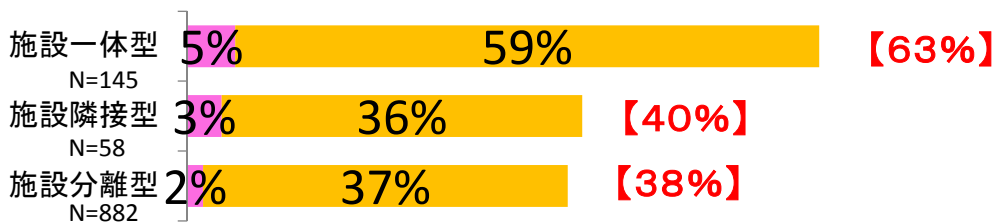


VII 施設形態 × 小中一貫教育の成果（～P136）

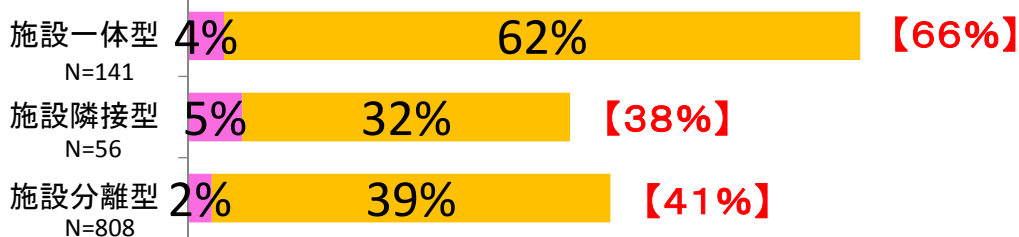
総合評価



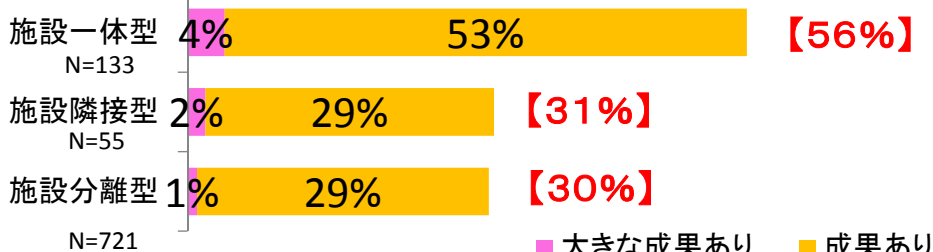
①全国学力・学習状況調査の結果が向上した



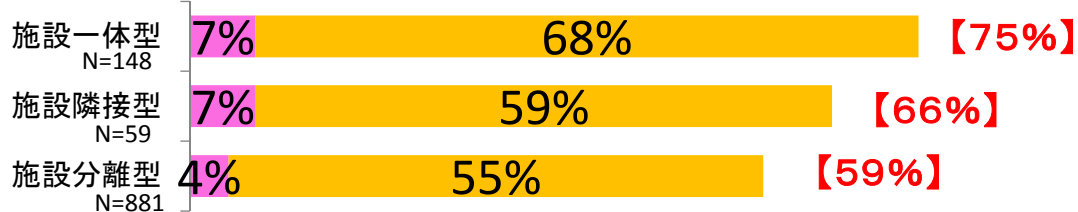
②都道府県又は市町村独自の学力調査の結果が向上した



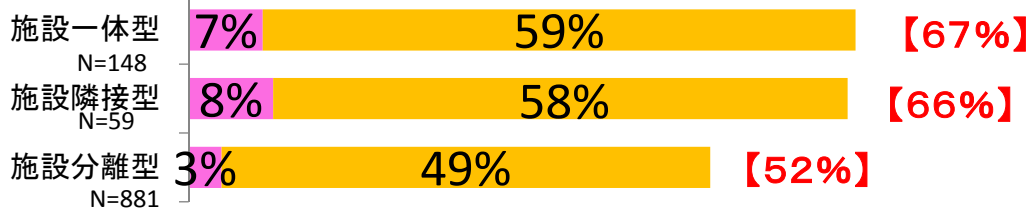
③民間の標準学力検査の結果が向上した



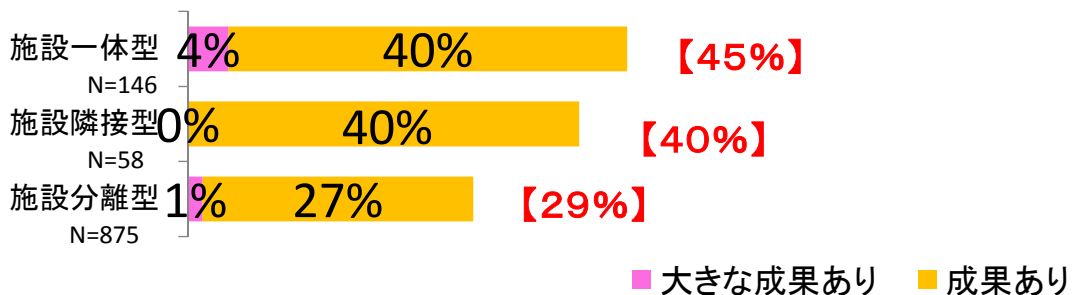
④学習習慣の定着が進んだ



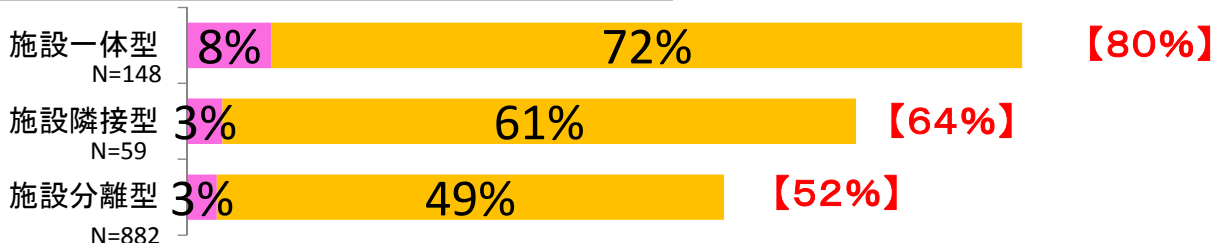
⑤生活リズムが改善した



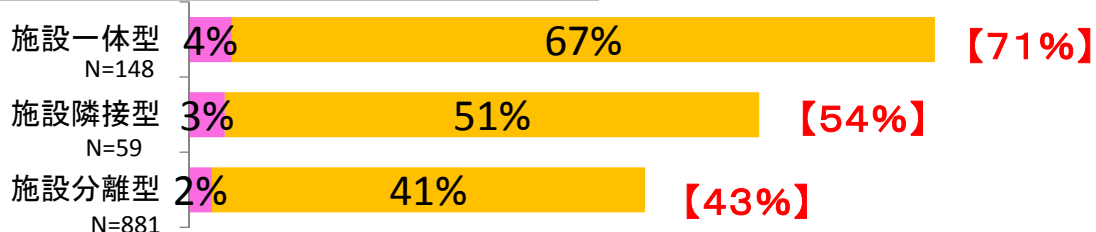
⑥全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が向上した



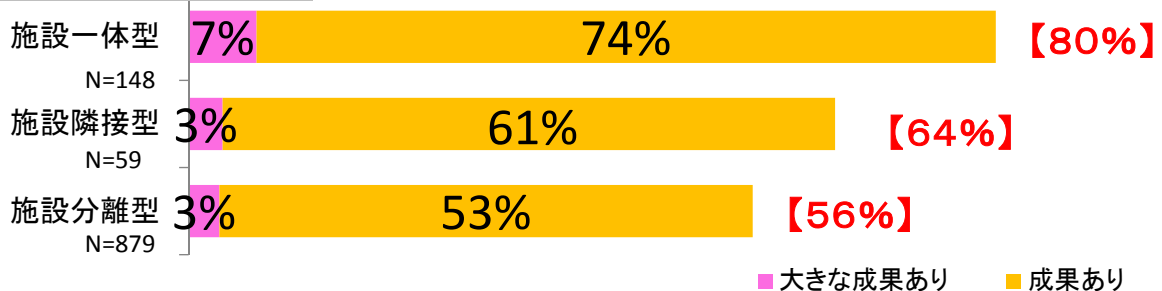
⑦授業が理解できると答える児童生徒が増えた



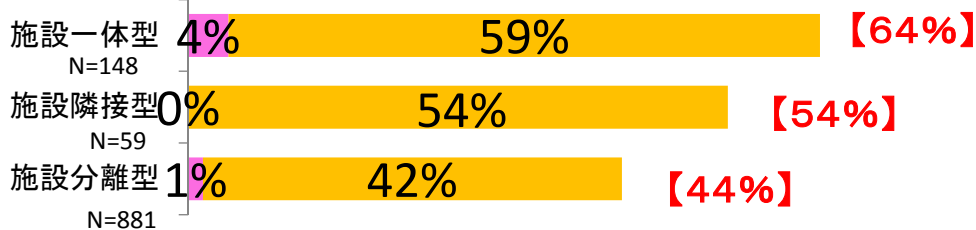
⑧勉強が好きと答える児童生徒が増えた



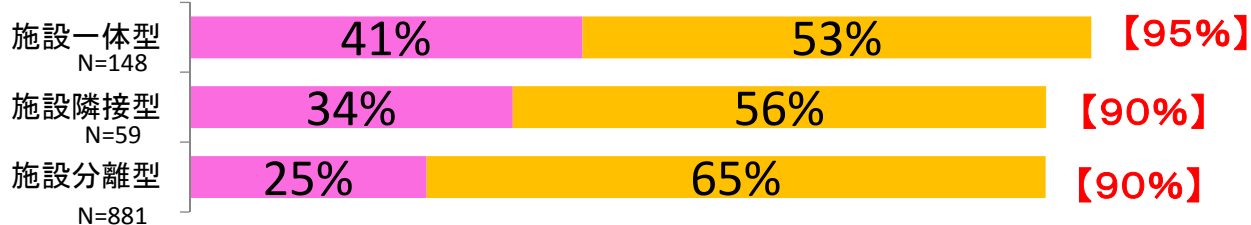
⑨学習意欲が向上した



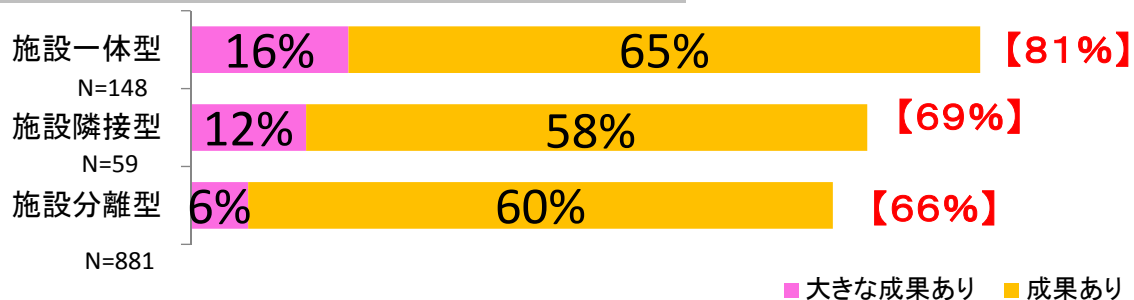
⑩学習に悩みを抱える児童生徒が減少した



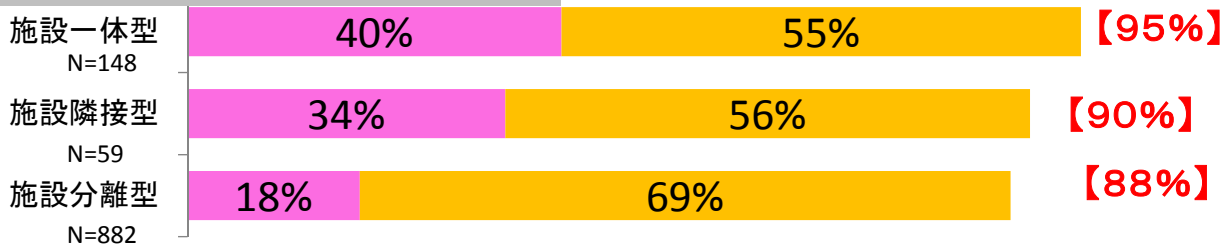
⑪中学校への進学に不安を感じる児童が減少した



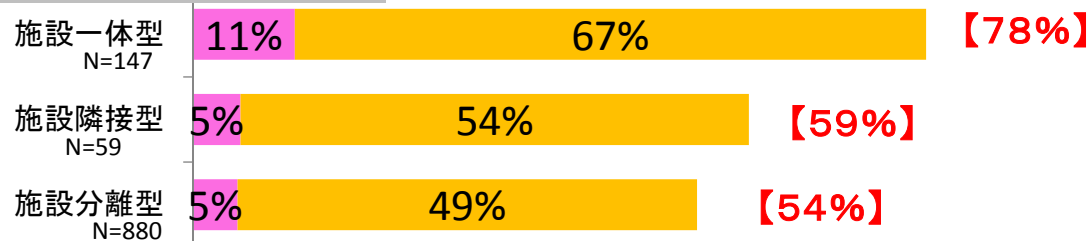
⑫児童生徒の学校生活への満足度が高まった



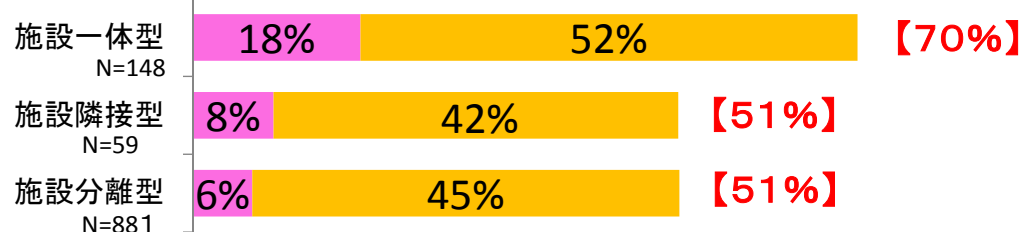
⑬いわゆる「中1ギャップ」が緩和された



⑭いじめの問題等が減少した

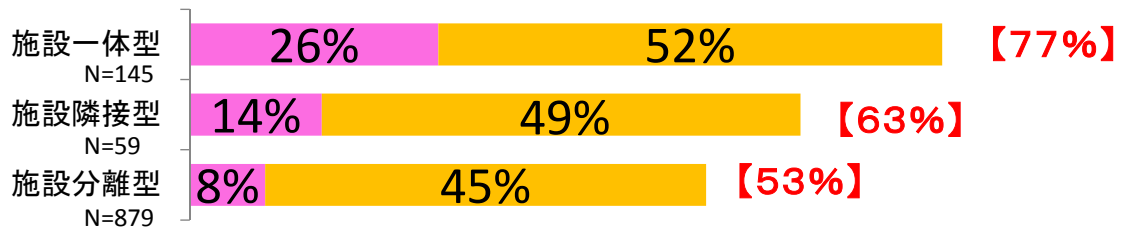


⑮不登校が減少した

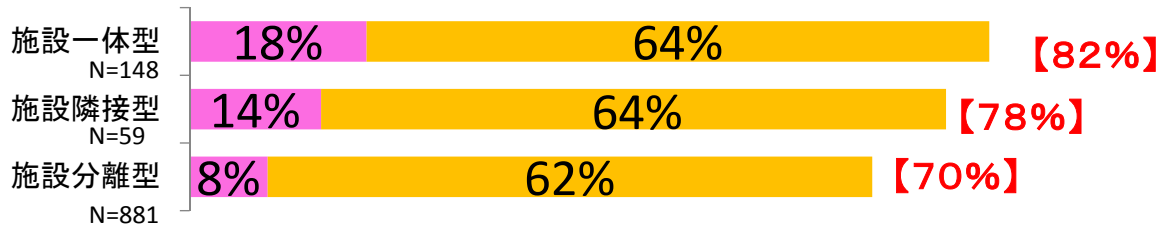


■ 大きな成果あり ■ 成果あり

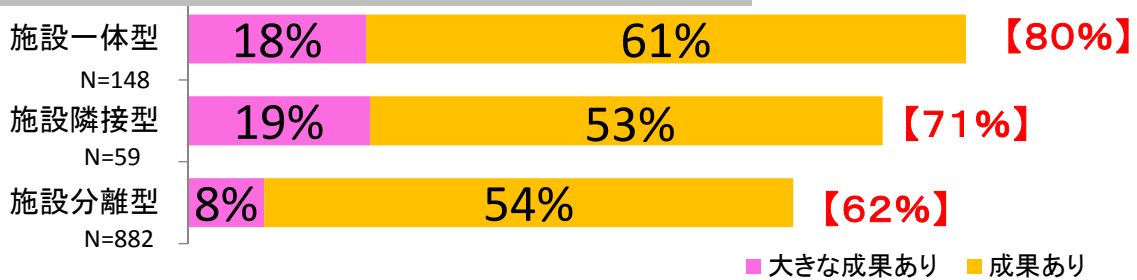
⑩暴力行為の発生件数が減少した



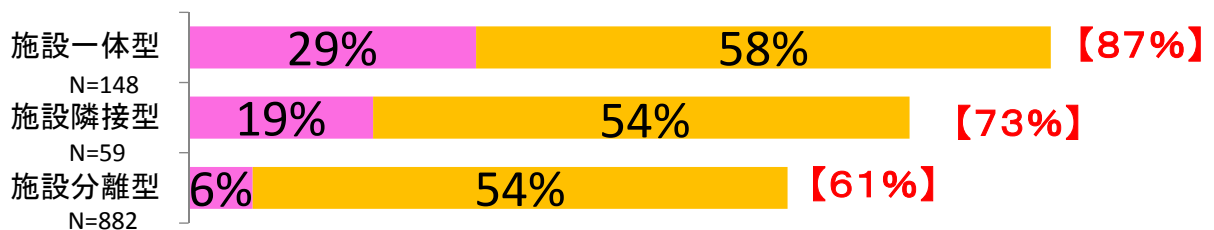
⑪学習規律・生活規律の定着が進んだ



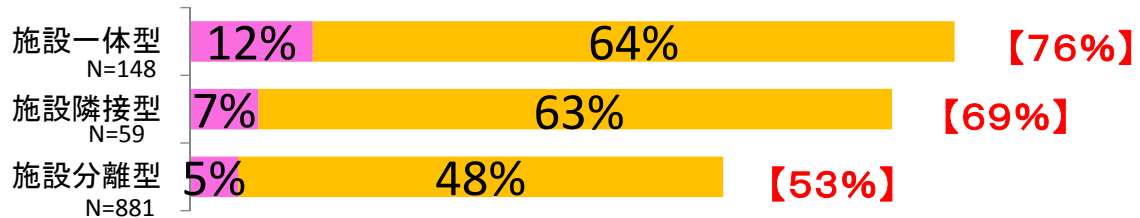
⑫児童生徒の規範意識が高まった(子供が落ち着いた)



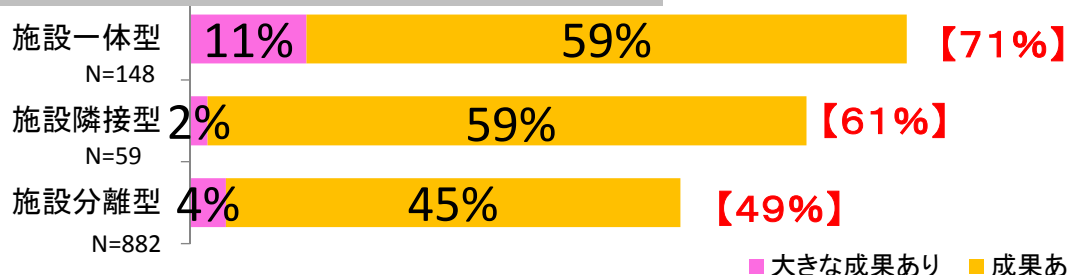
⑬児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた



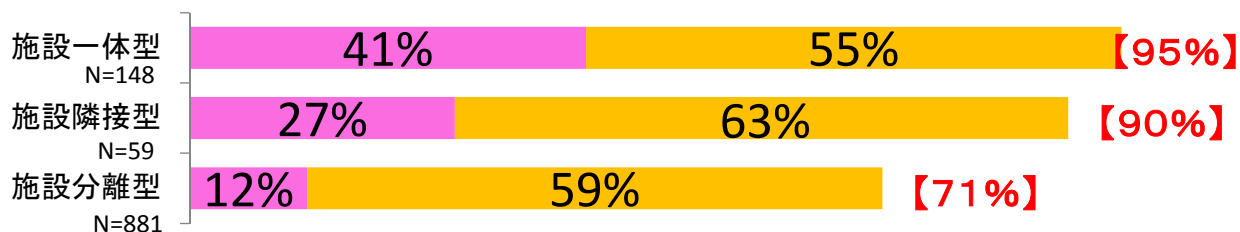
⑭児童生徒の自己肯定感が高まった



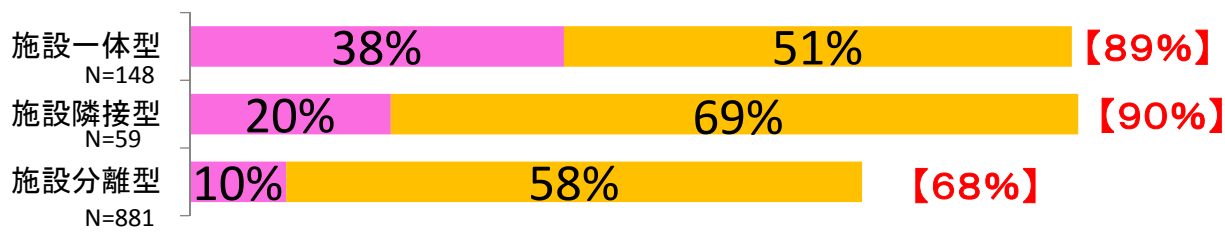
⑮児童生徒のコミュニケーション能力が高まった



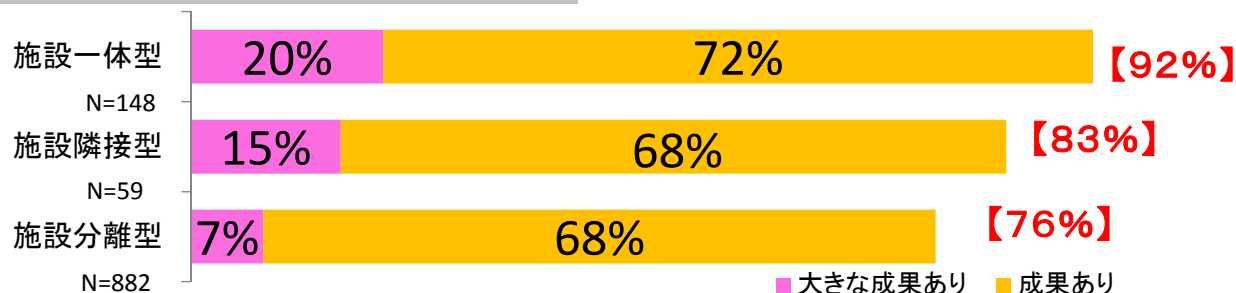
②② 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった



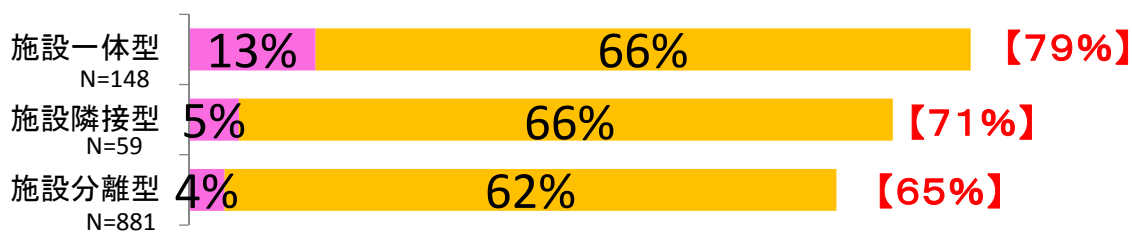
②③ 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった



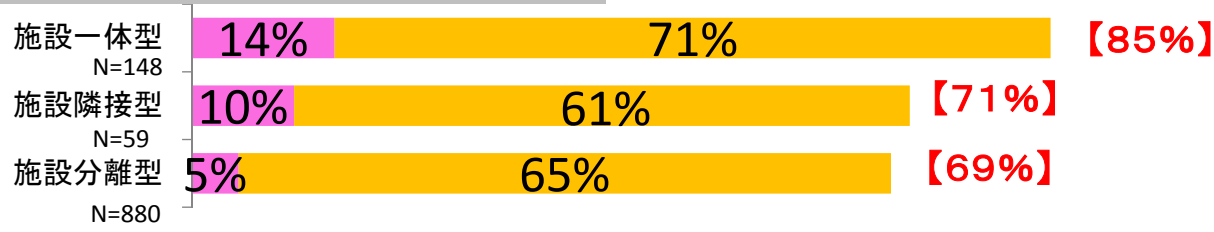
②④ 教員の指導方法の改善意欲が高まった



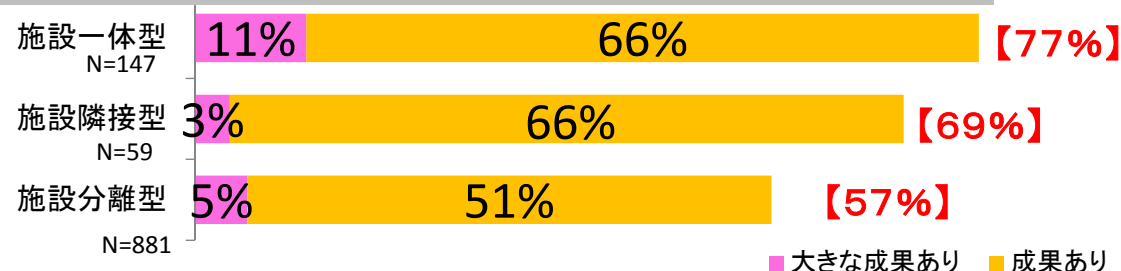
②⑤ 教員の生徒指導力の向上につながった



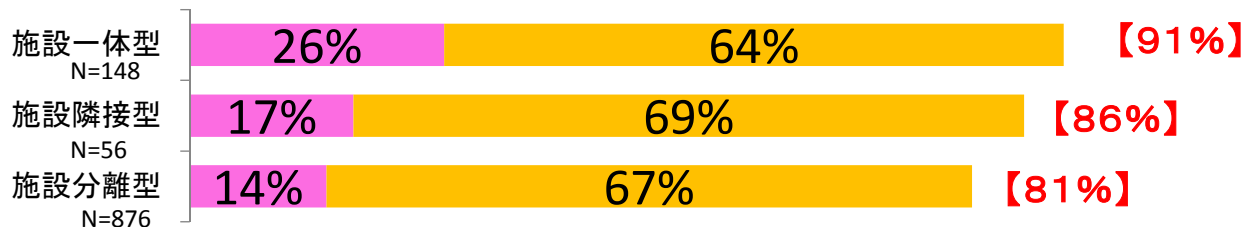
②⑥ 教員の教科指導力の向上につながった



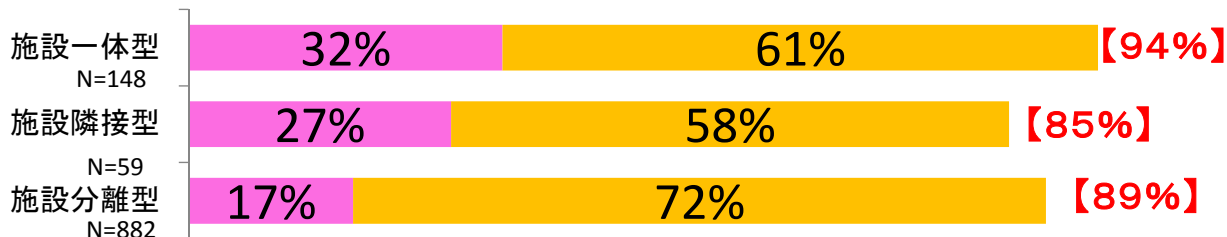
②⑦ 養護教諭、栄養教諭、学校事務職員などの資質能力が向上した



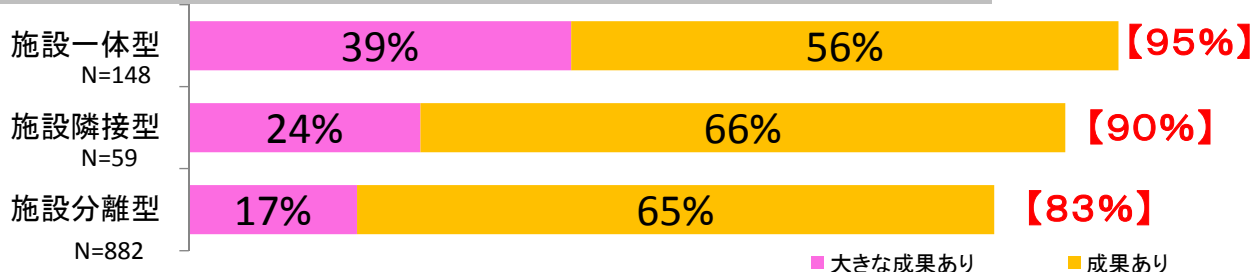
⑳ 小学校教職員の間で基礎学力保障の必要性に対する意識が高まった



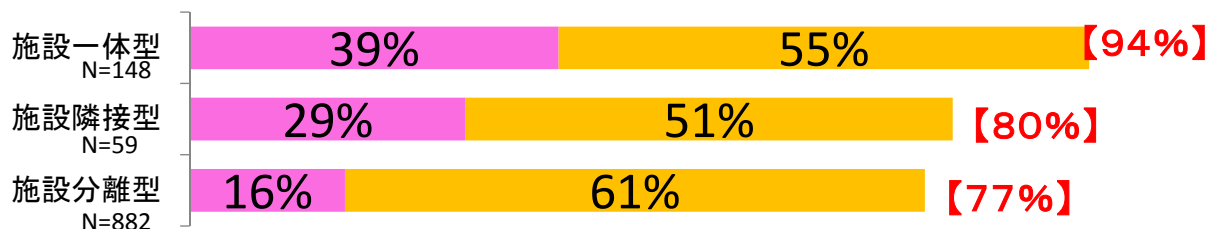
㉑ 小・中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった



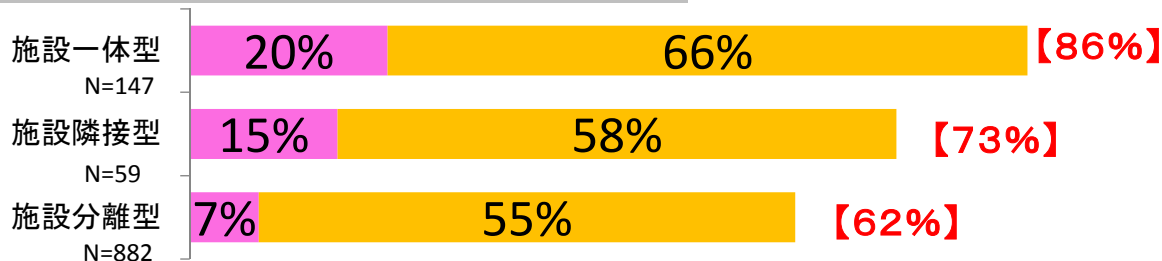
㉒ 小・中学校の教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった



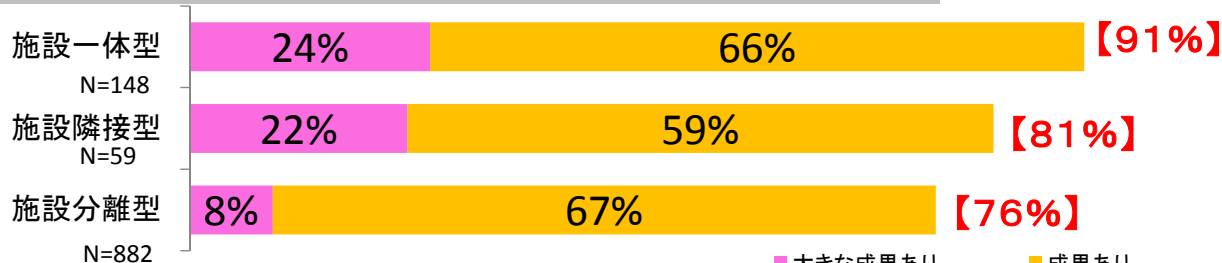
㉓ 小・中学校共通で実践する取組が増えた



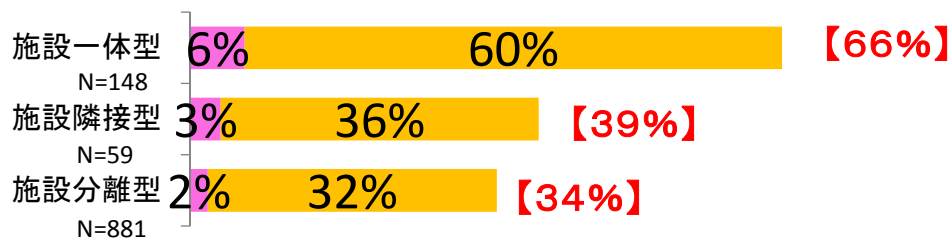
㉔ 小・中学校の授業観や評価観の差が縮まった



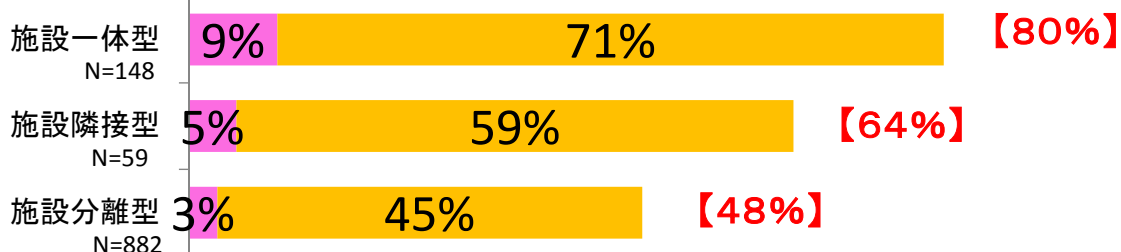
㉕ 小・中学校の指導内容の系統性について教職員の理解が深まった



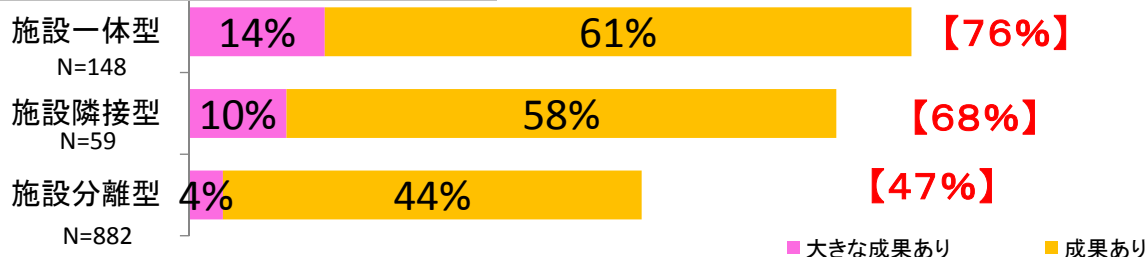
③④教職員の仕事に対する満足度が高まった



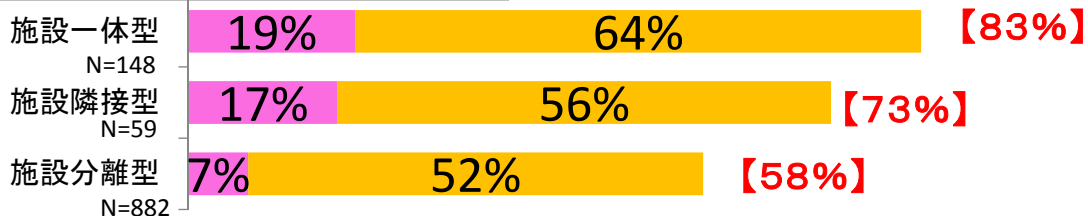
③⑤保護者の学校への満足度が高まった



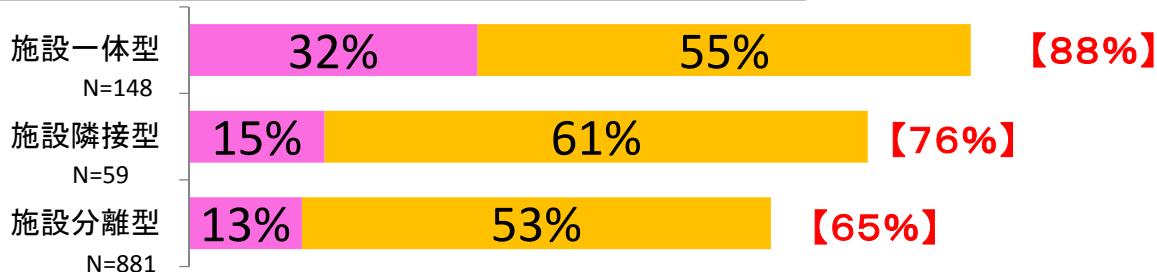
③⑥保護者との協働関係が強化された



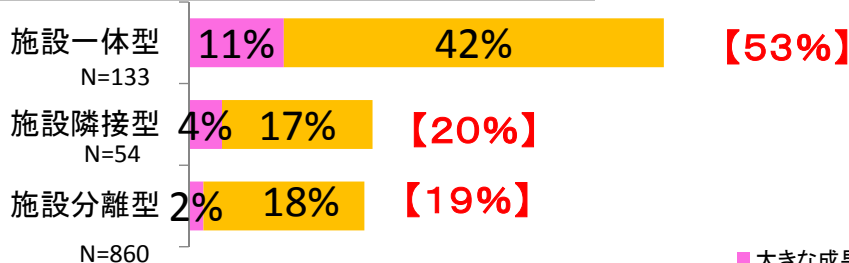
③⑦地域との協働関係が強化された



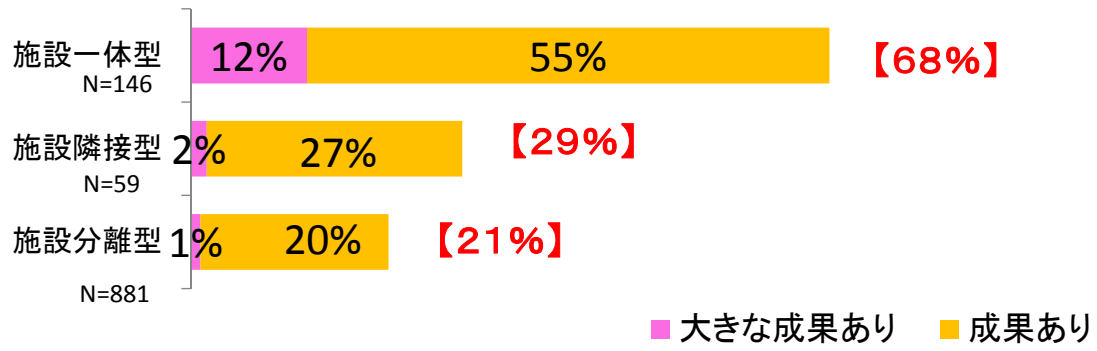
③⑧異校種、異学年、隣接校間の児童生徒の交流が深まった



③⑨学校独自の新教科や領域の指導が充実した



④校務分掌等、学校運営の効率化につながった



クロス分析総表（課題）

	I 小中一貫教育の実施経過年数	II 小学校における教科担任制実施状況	III 小中教員の乗り入れ授業実施状況	IV 校長の体制	V 学年段階の区切り	VI 9年間の学校教育目標・カリキュラム	VII 施設形態
総合評価	◎	○	—	○	◎	◎	◎
9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発	○	—	○	○	◎	◎	◎
小中合同の行事等における発達段階に応じた内容設定	◎	—	◎	—	—	—	—
施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整	◎	—	◎	◎	○	—	○
時間割や日課表の工夫	◎	—	◎	—	◎	—	—
チャイムの鳴らし方	—	—	—	—	◎	—	—
転出入者への学習指導上・生徒指導上の対応	—	—	—	○	—	◎	○
児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮	—	—	○	◎	○	—	◎
中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響	○	○	—	◎	◎	◎	◎
小学生高学年のリーダー性・主体性の育成	—	—	—	◎	—	—	○
年間行事予定の調整・共通化	○	—	—	○	—	—	○
小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保	—	—	○	◎	—	—	◎
小中合同の研修時間の確保	—	—	◎	◎	—	◎	◎
児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎
学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
成果や課題の分析・評価手法の確立	◎	—	○	◎	◎	◎	◎
成果・課題の可視化と関係者間での共有	—	—	○	◎	◎	◎	◎
教職員の負担感・多忙感の解消	—	—	—	○	—	○	◎
小・中学校間での負担の不均衡	◎	—	—	○	—	—	◎
教職員間での負担の不均衡	◎	—	○	◎	—	○	◎
所有免許の関係で兼務発令を拡大できないこと	—	—	—	◎	—	—	◎
兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解	—	—	○	◎	○	◎	◎
小中の管理職間の共通認識の醸成	◎	◎	—	◎	◎	◎	◎
小中の教職員間の共通認識の醸成	◎	○	—	◎	○	◎	◎
小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上	—	—	—	◎	○	○	◎
小・中学校間のコーディネート機能の充実	—	○	○	◎	◎	◎	◎
同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消	◎	—	—	◎	○	—	◎
必要な予算の確保	◎	—	—	○	—	—	—
小学校費、中学校費の一体的な運用(費目の一体化等)	◎	—	—	—	—	—	◎
都道府県教委の理解・協力・支援の充実	◎	—	—	○	◎	○	—
市区町村教委の理解・協力・支援の充実	◎	—	○	◎	◎	◎	◎

※1 ◎・○は、I～VIIの各項目における取組の違いにより、課題の有無に係る回答に有意な差異があったことを示す。

※2 ◎はカイニ乗検定における1%水準、○は5%水準で有意であることを示し、—は有意な差異が見られなかった事を示す。

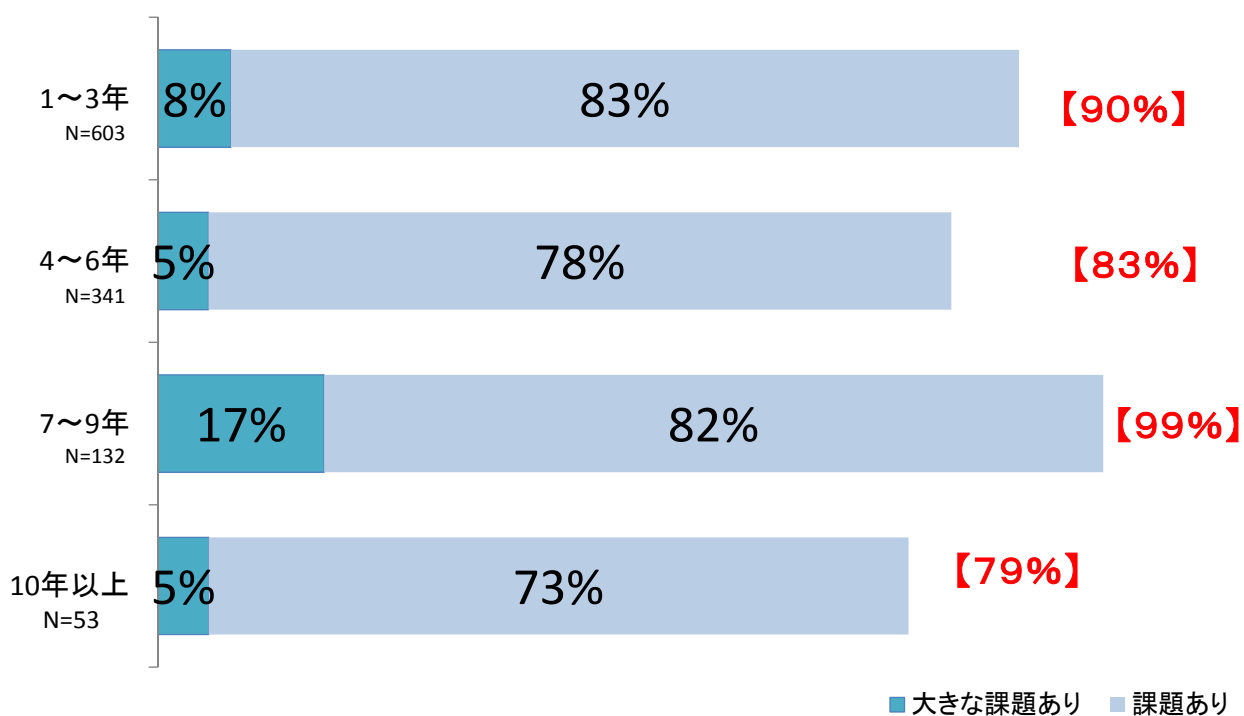
※3 グレーで塗りつぶしたセルは、I～VIIの取組を実施している所の方が大きな課題がある又は課題があると応えた割合が大きいとの結果が得られたものを示す。

I 小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の課題

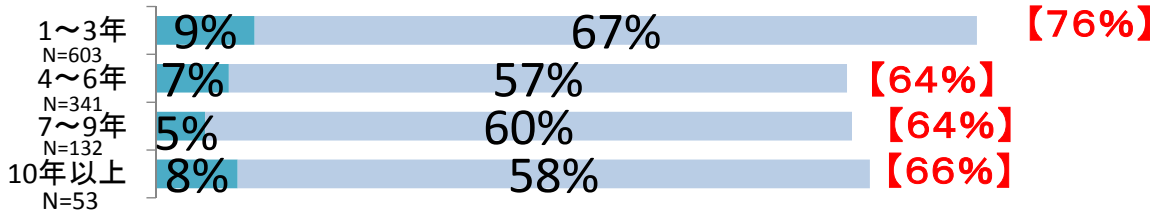
(～P141)

小中一貫教育の実施経過年数 × 小中一貫教育の課題

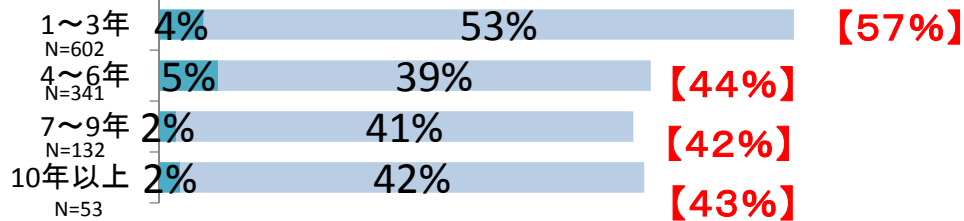
総合評価



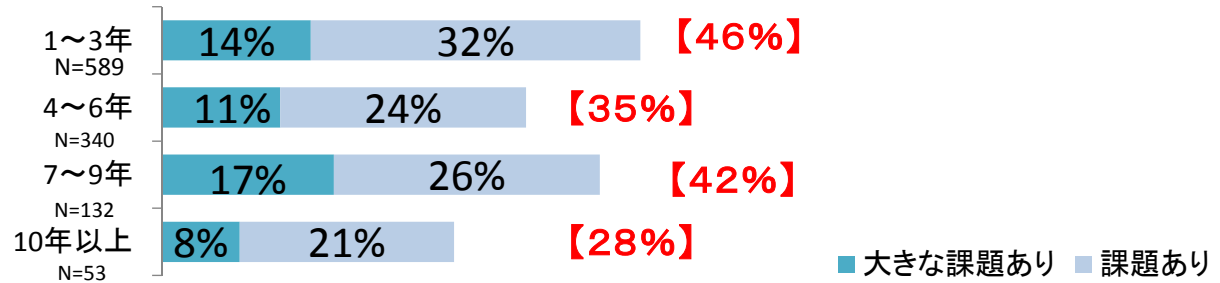
①9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



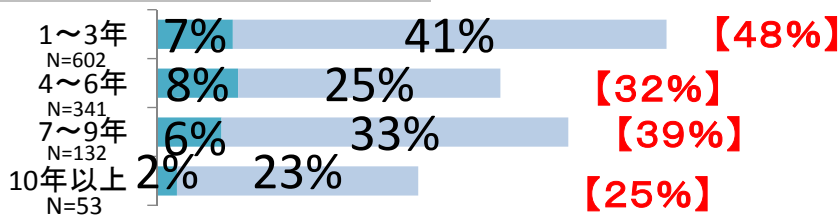
②小中合同における発達段階に応じた内容設定



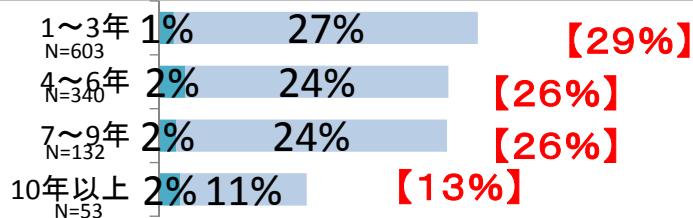
③施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整



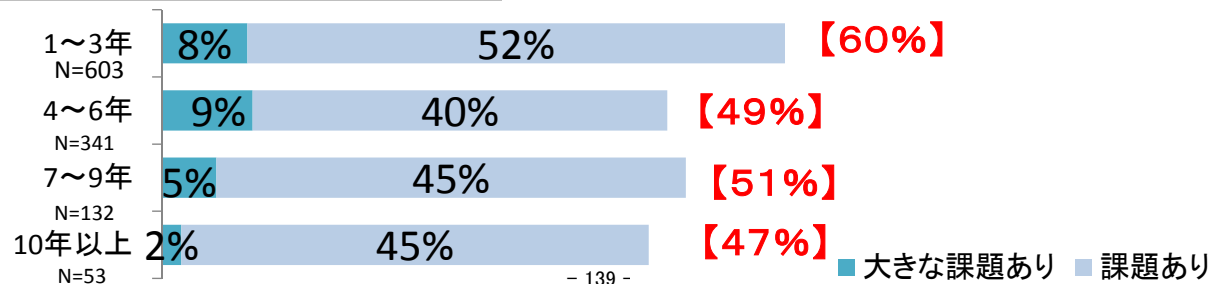
④時間割や日課表の工夫



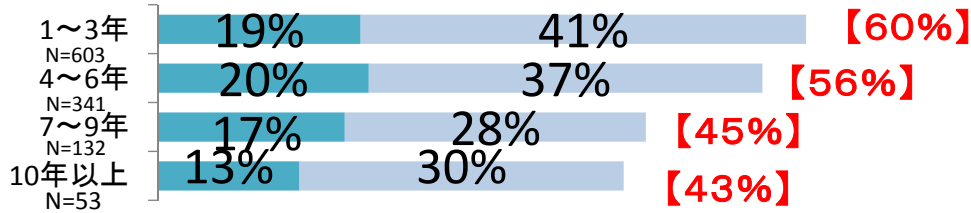
⑤中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



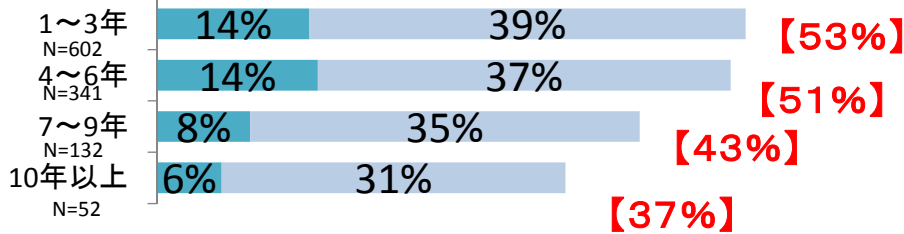
⑥年間行事の調整・共通化



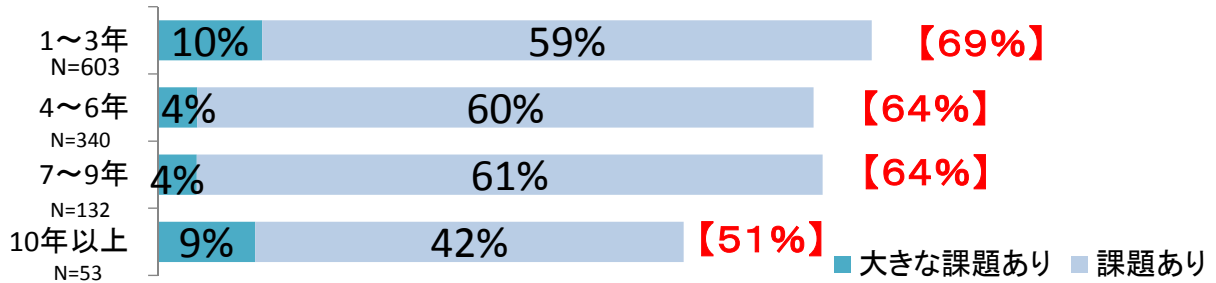
⑦児童生徒間交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



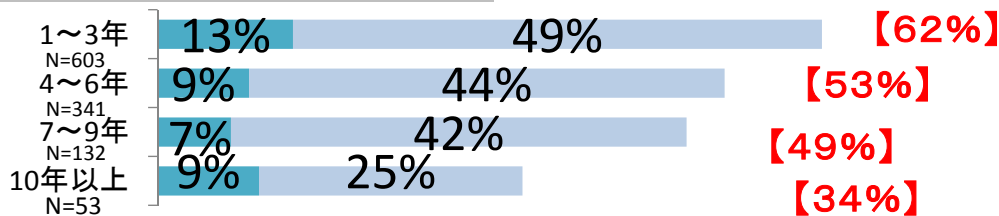
⑧学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



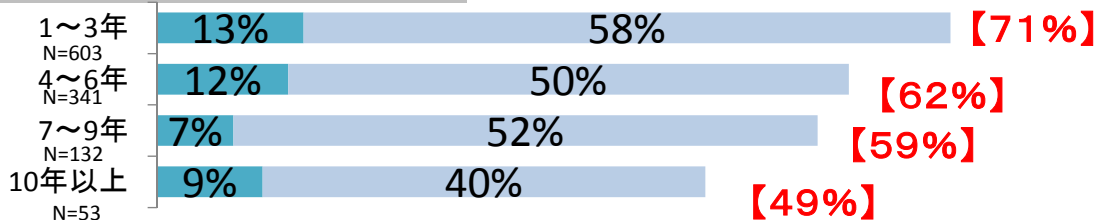
⑨成果や課題の分析・評価手法の確立



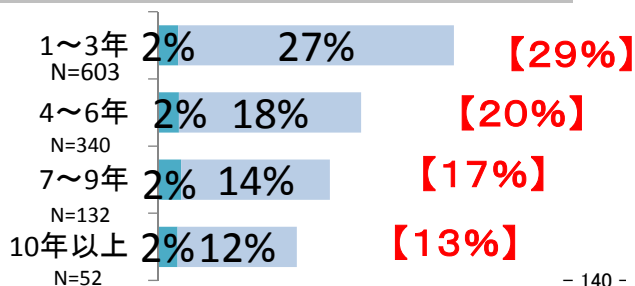
⑩小・中学校での負担の不均衡



⑪教職員間での負担の不均衡

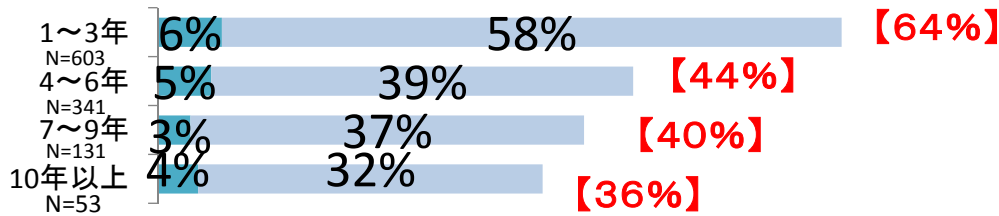


⑫小中の管理職間の共通認識の醸成

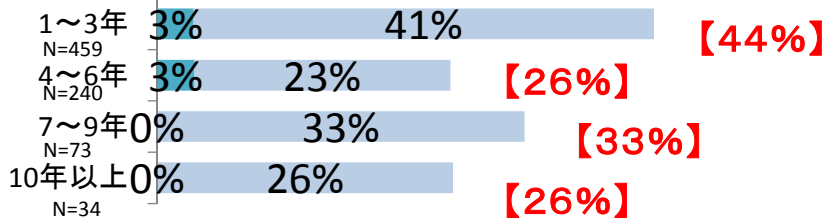


■ 大きな課題あり ■ 課題あり

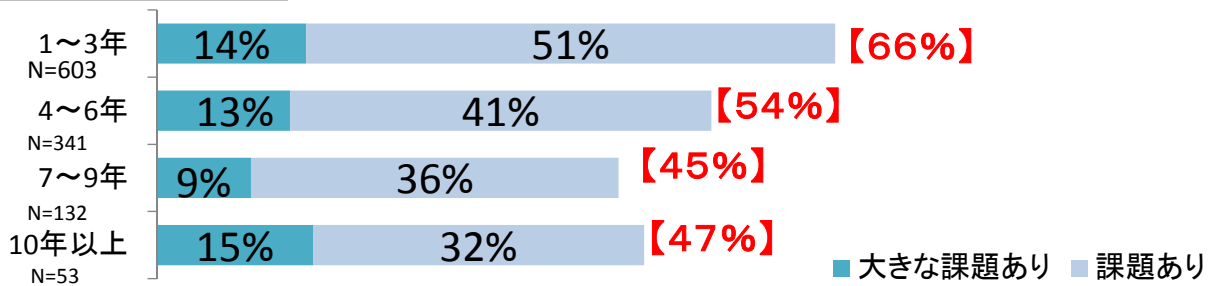
⑬小中の教職員間共通認識の醸成



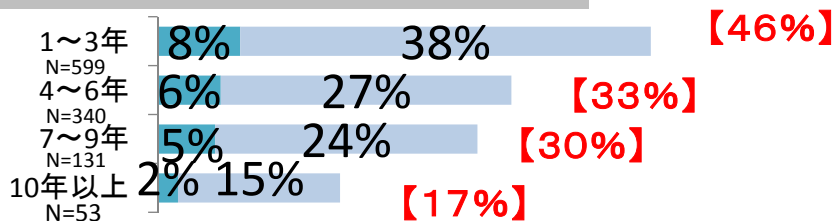
⑭同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消



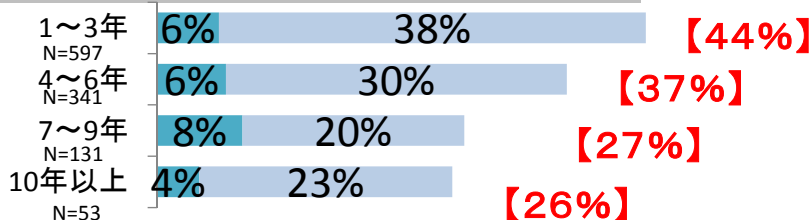
⑮必要な予算の確保



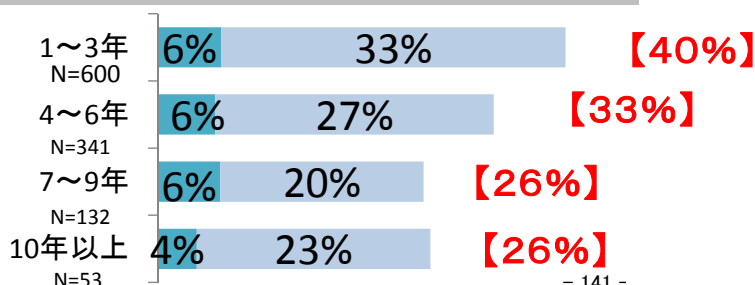
⑯小学校費、中学校費の一体的な運用



⑰都道府県教委の理解・協力・支援の充実

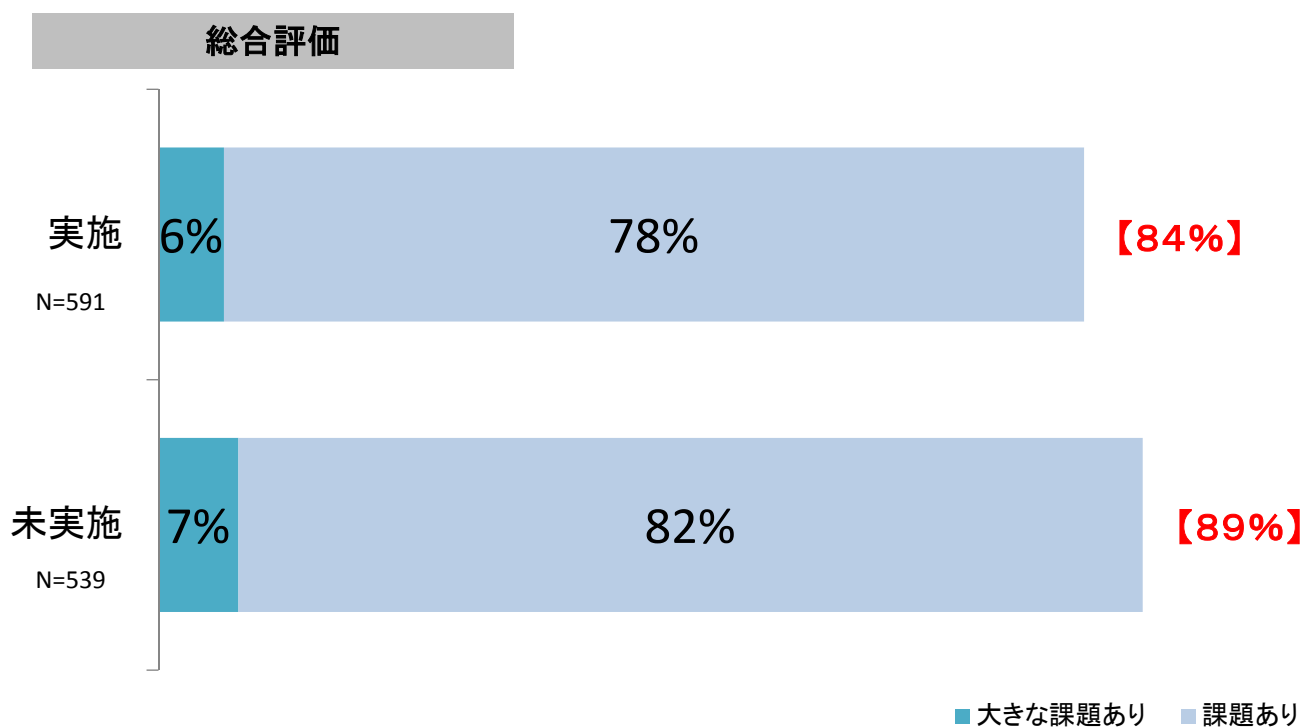


⑱市区町村教委の理解・協力・支援の充実

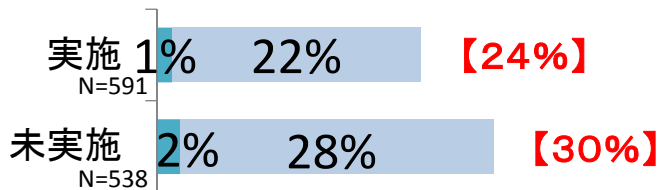


II 小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の課題 (～P144)

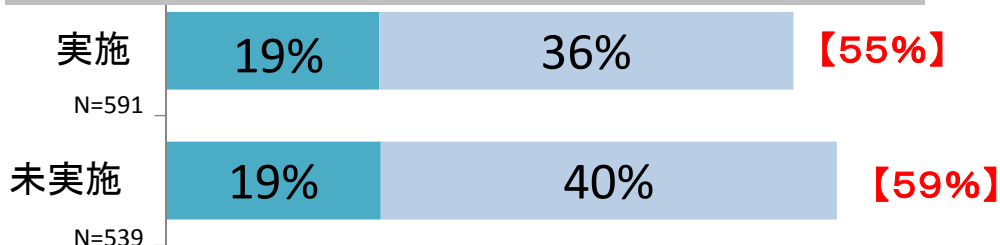
小学校における教科担任制実施状況 × 小中一貫教育の課題



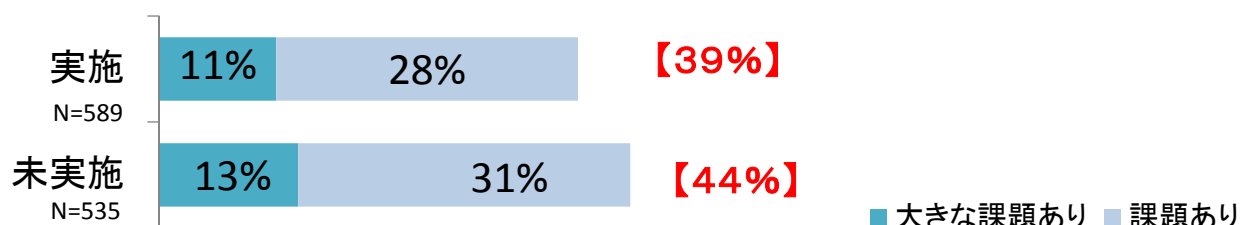
①中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



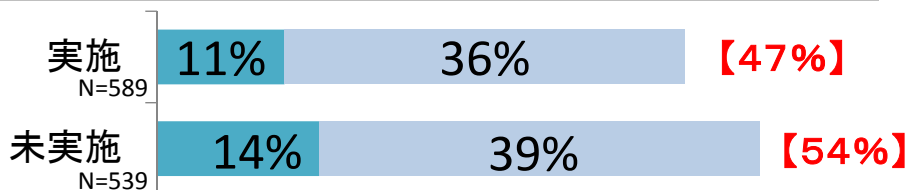
②児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



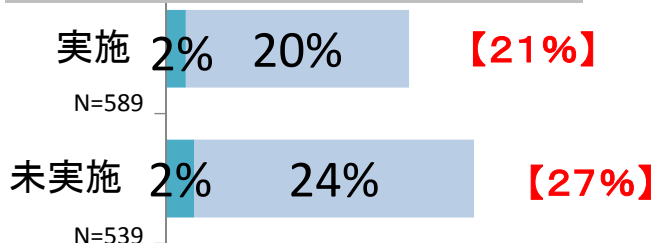
③校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



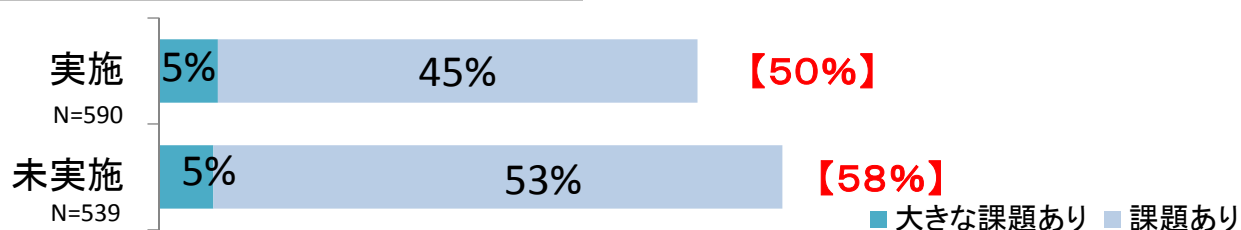
④学校間の交流を図る際の移動手段、移動時間の確保



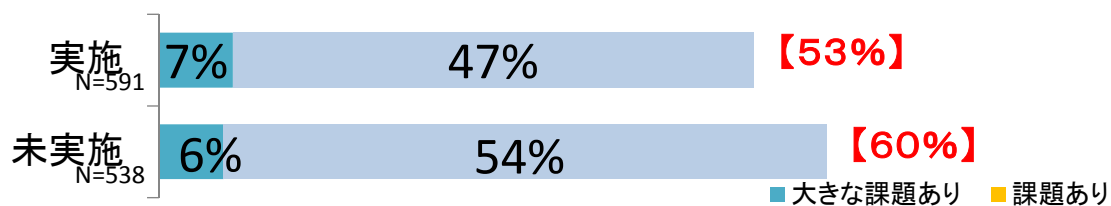
⑤小中の管理職間共通認識の醸成



⑥小中の教職員間の共通認識の醸成



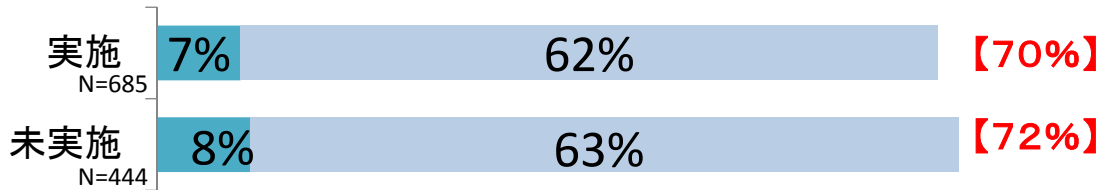
⑦小中学校間のコーディネート機能の充実



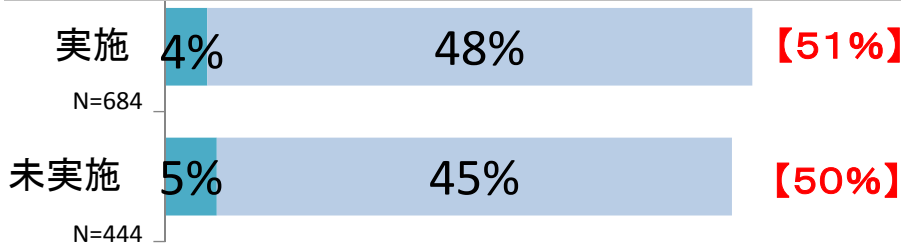
III 小中教員の乗り入れ授業実施状況 × 小中一貫教育の課題 (~P147)

小中教員の乗り入れ授業実施状況×小中一貫教育の課題

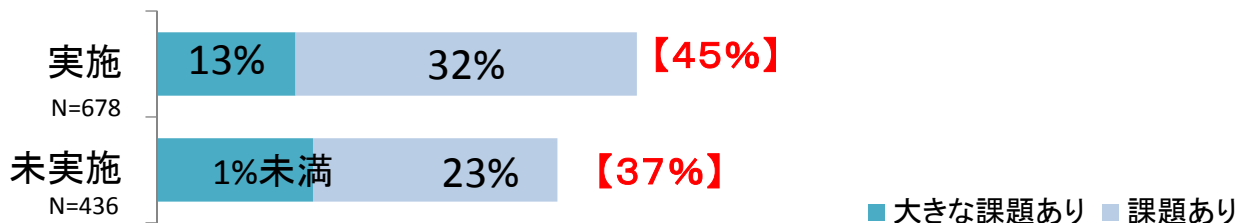
①9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



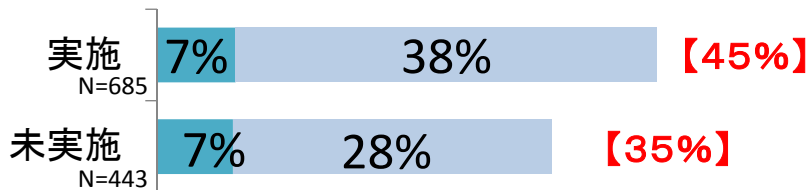
②小中合同の行事等における発達段階に応じた内容設定



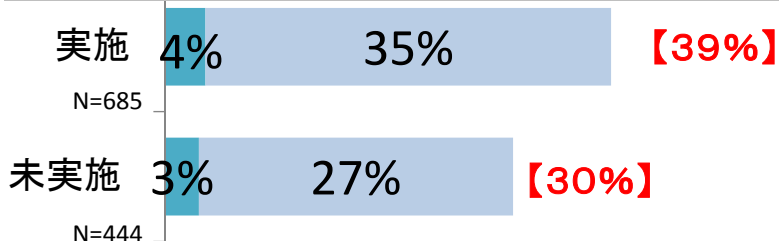
③施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整



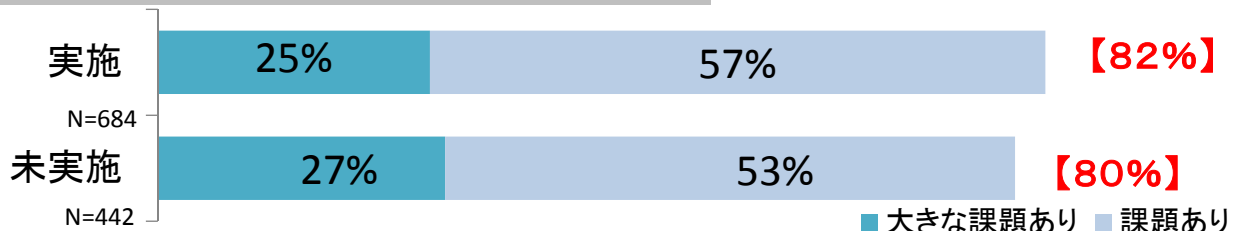
④時間割や日程表の工夫



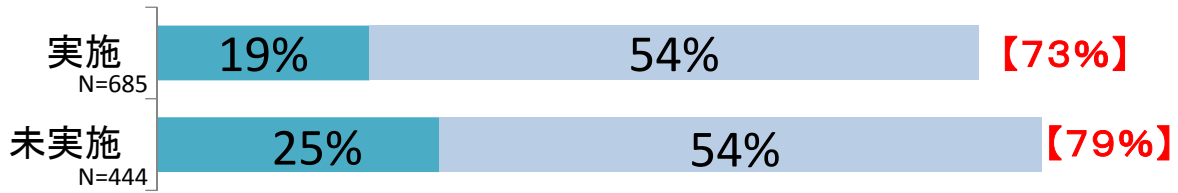
⑤児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮



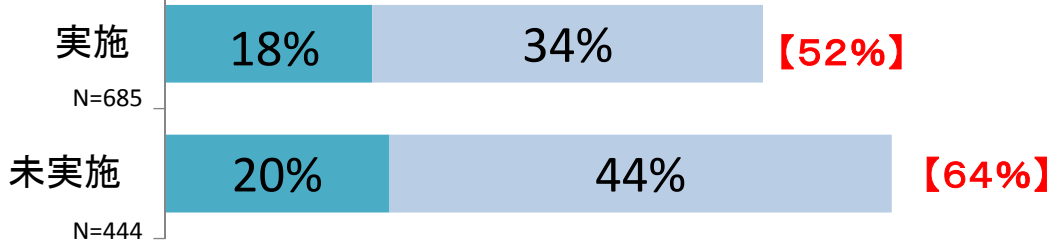
⑥小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保



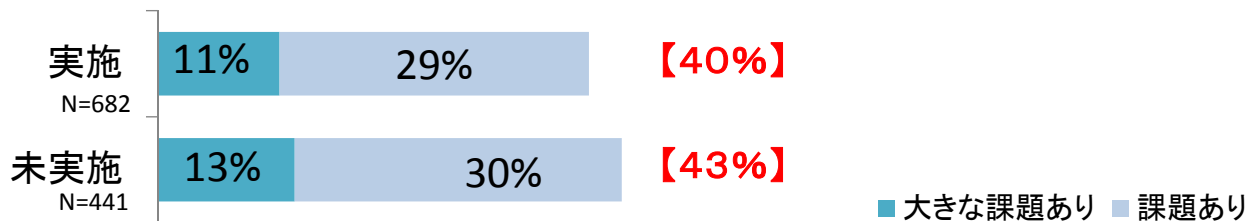
⑦小中合同の研修時間の確保



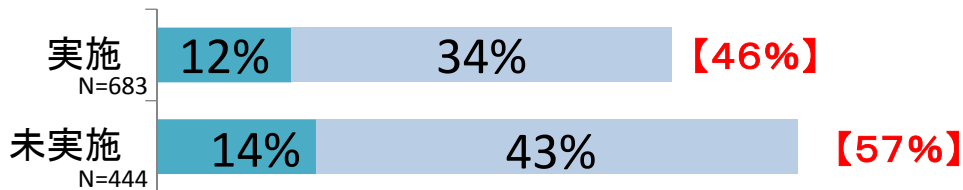
⑧児童生徒間交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



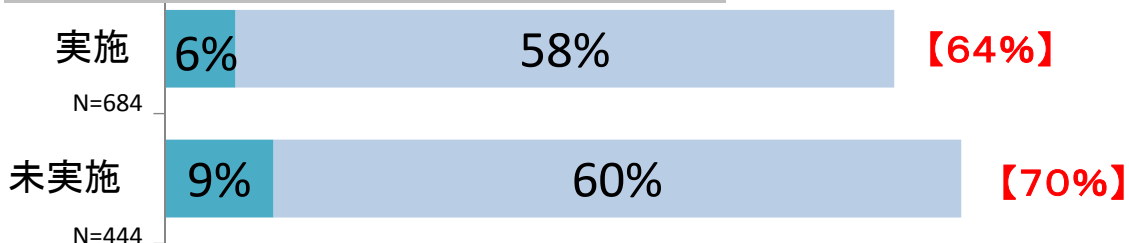
⑨校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



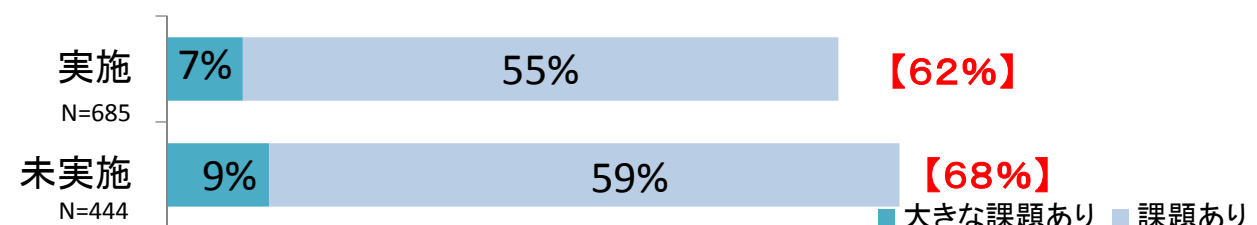
⑩学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



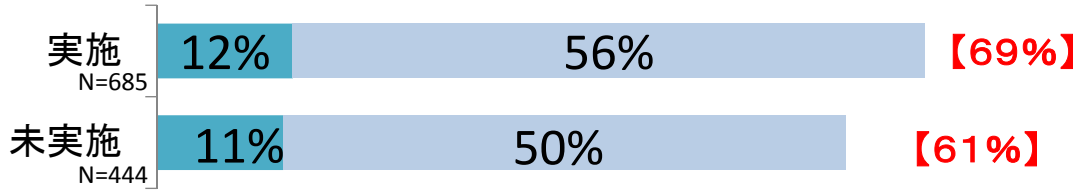
⑪成果や課題の分析・評価手法の確立



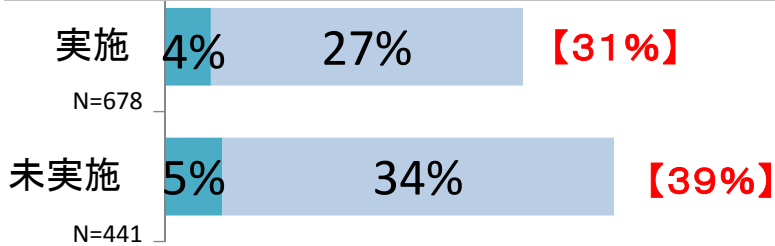
⑫成果・課題の可視化と関係者間での共有



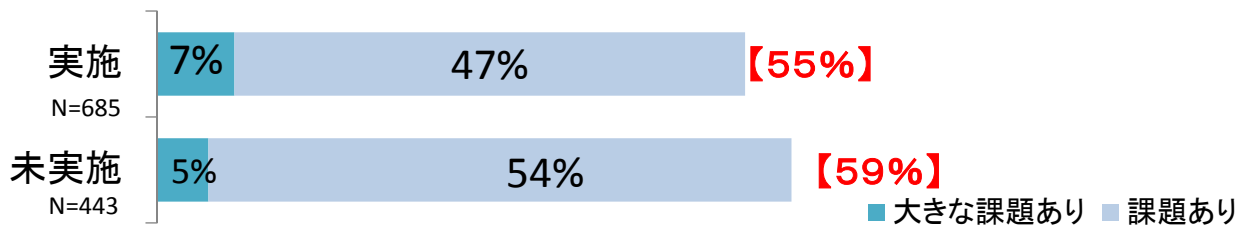
⑬教職員間での負担の不均衡



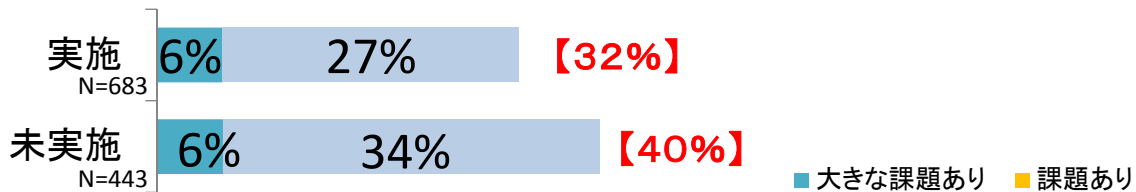
⑭兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



⑮小中学校間のコーディネート機能の充実



⑯支区町村教委の理解・協力・支援の充実



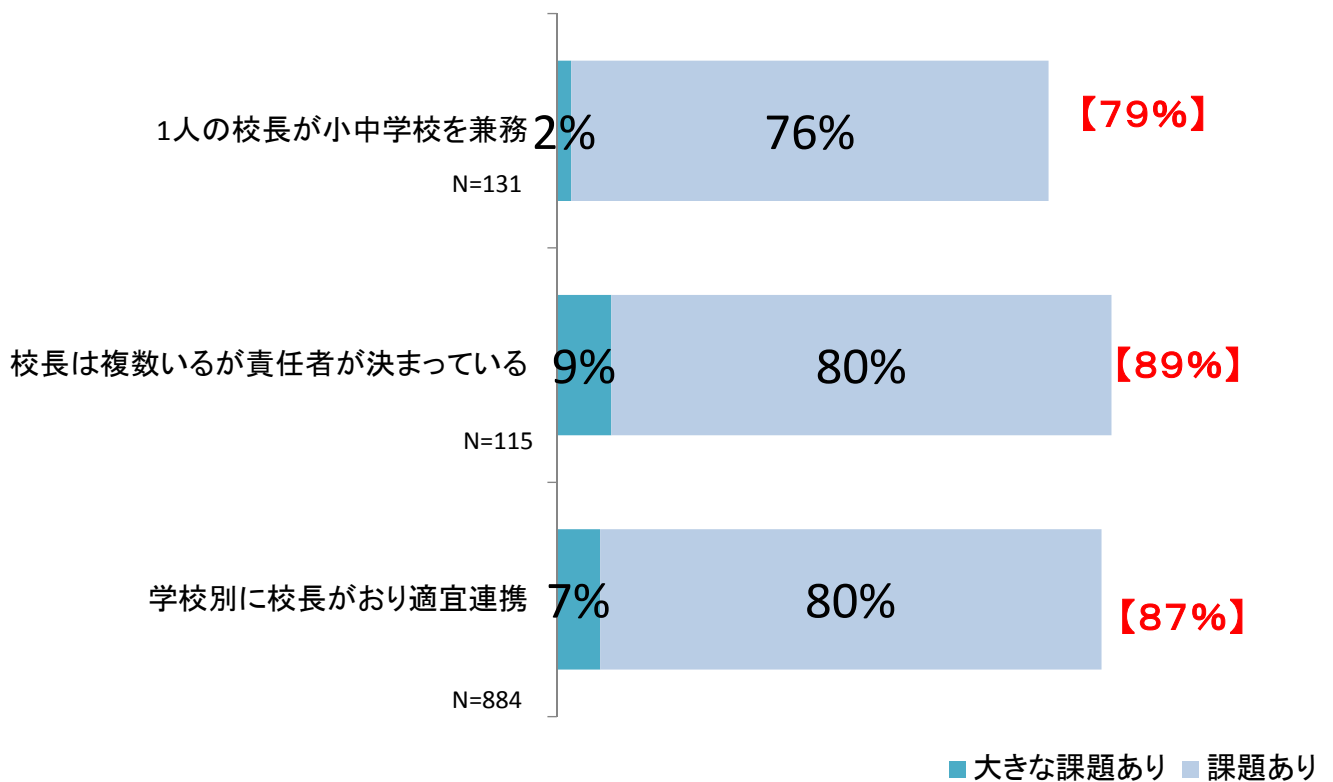


IV 校長の体制 × 小中一貫教育の課題

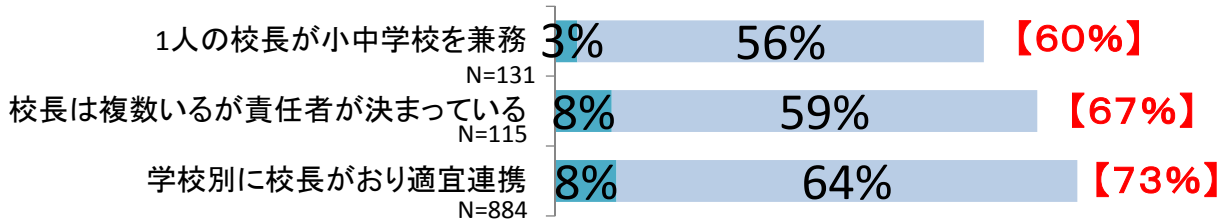
(～P153)

校長の体制 × 小中一貫教育の課題

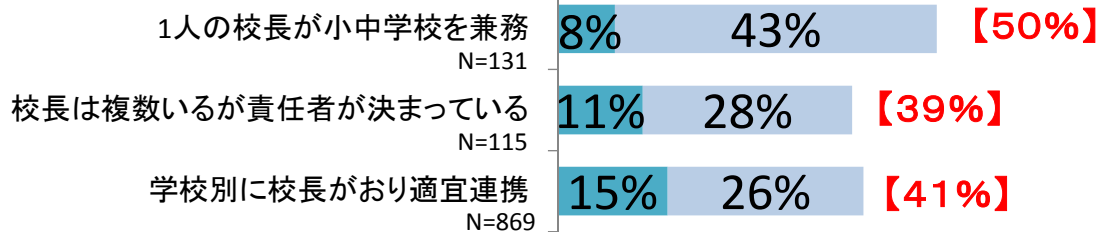
総合評価



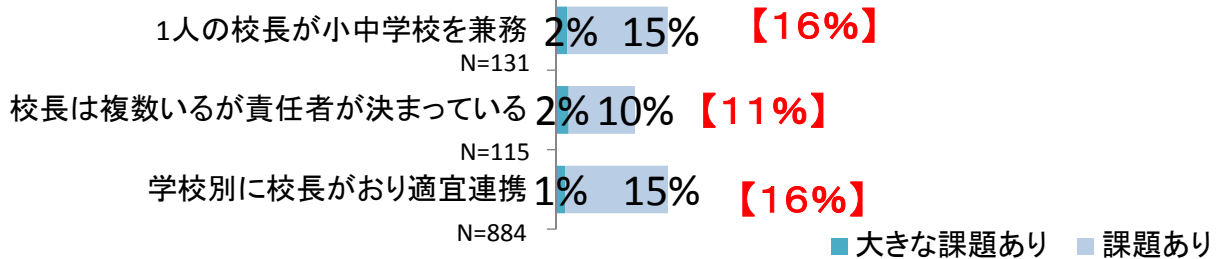
①9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



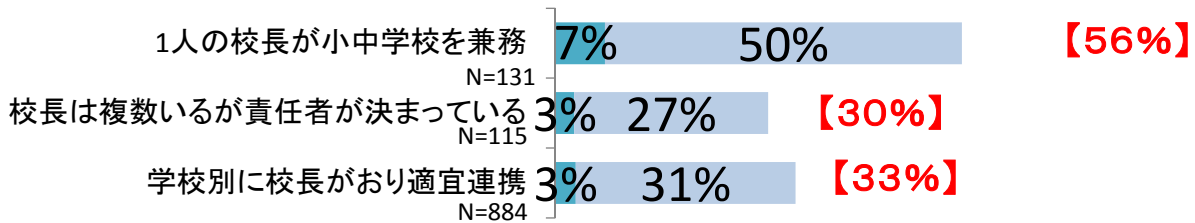
②施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整



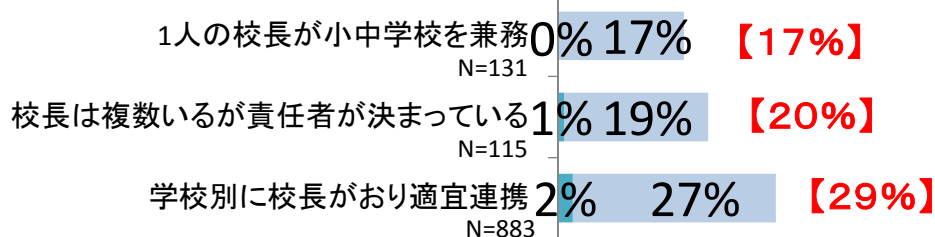
③転出入者への学習指導上・生徒指導上の対応



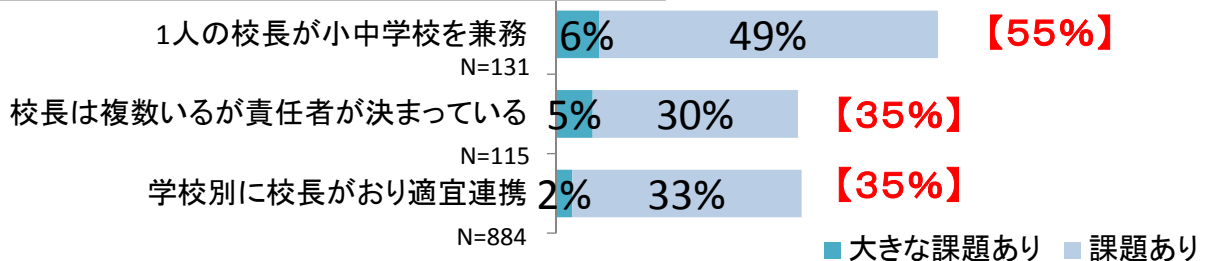
④児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮



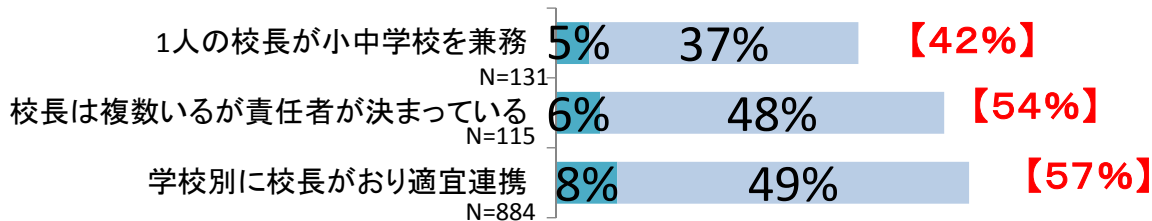
⑤中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



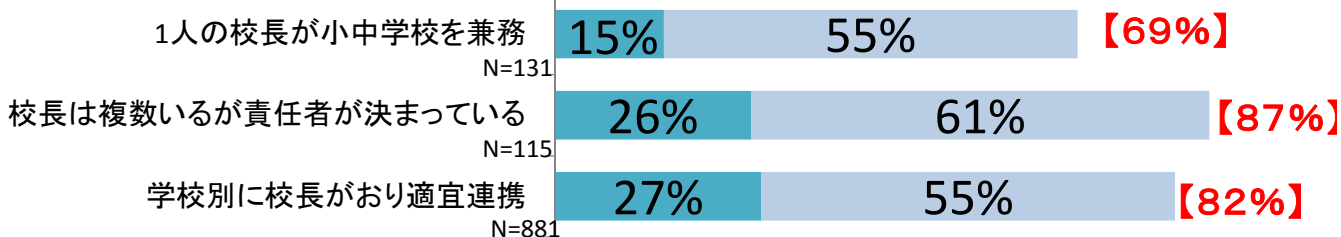
⑥小学生高学年のリーダー性・主体性の育成



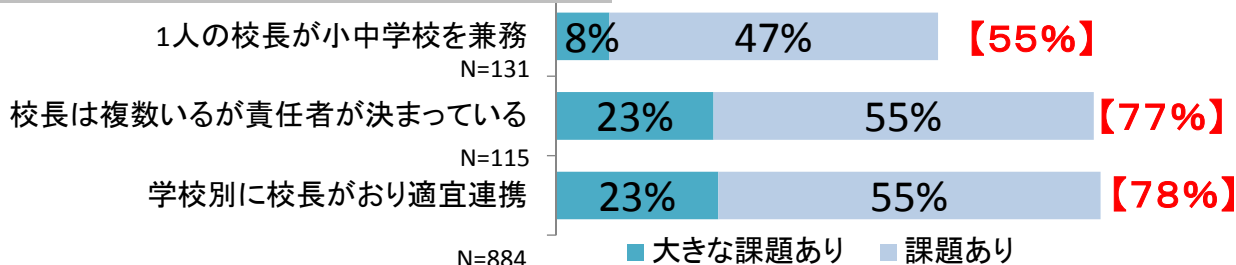
⑦年間行事予定の調整・共通化



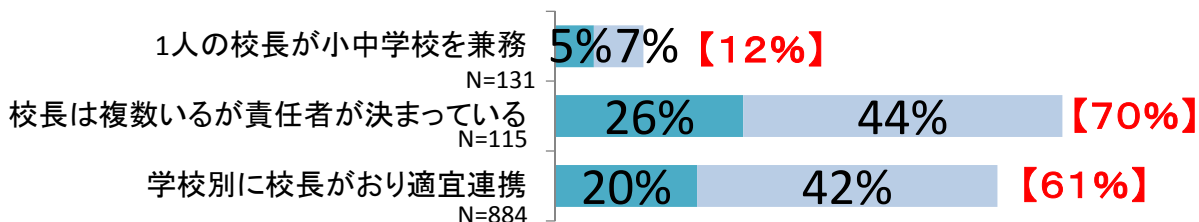
⑧小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保



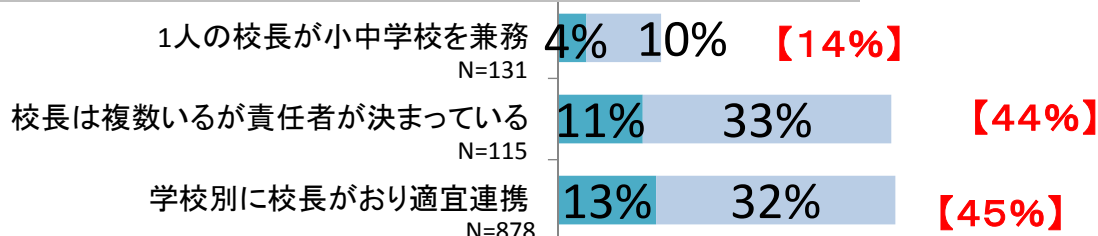
⑨小中合同の研修時間の確保



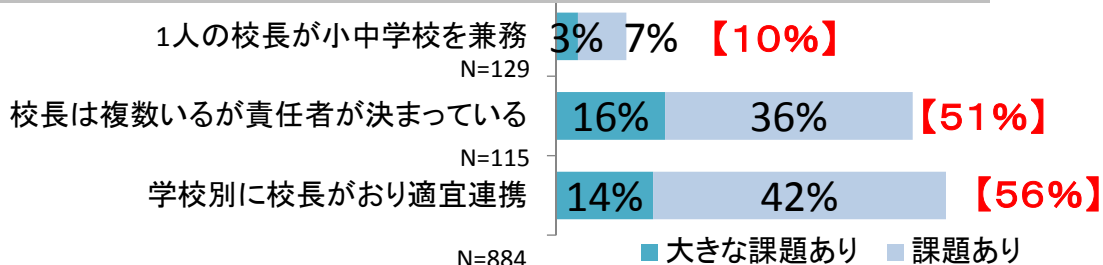
⑩児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



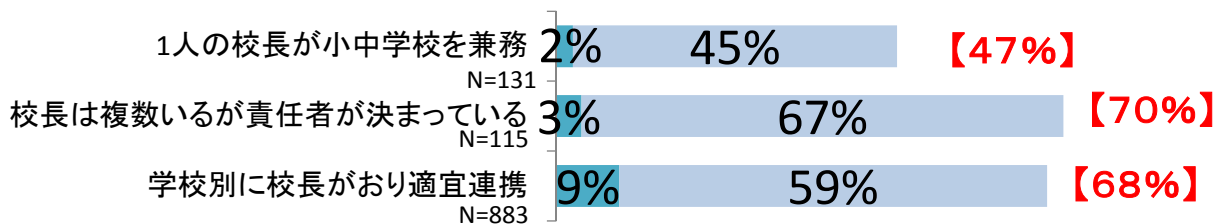
⑪校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



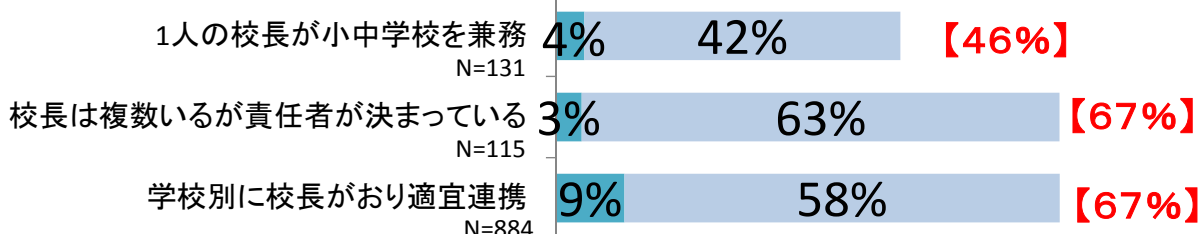
⑫学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



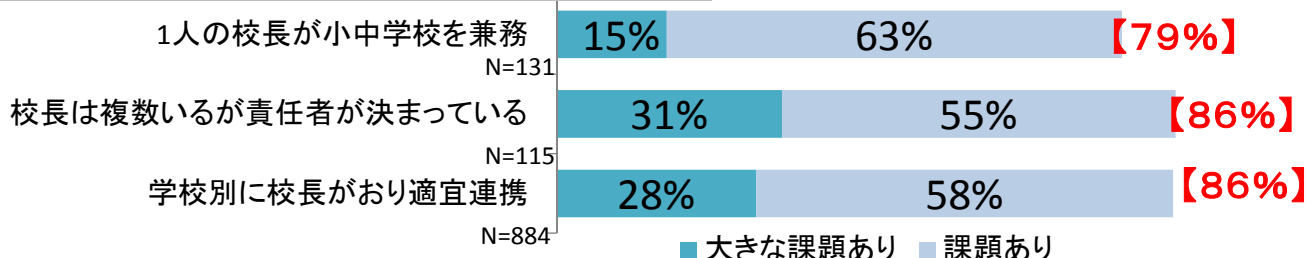
⑬成果や課題の分析・評価手法の確立



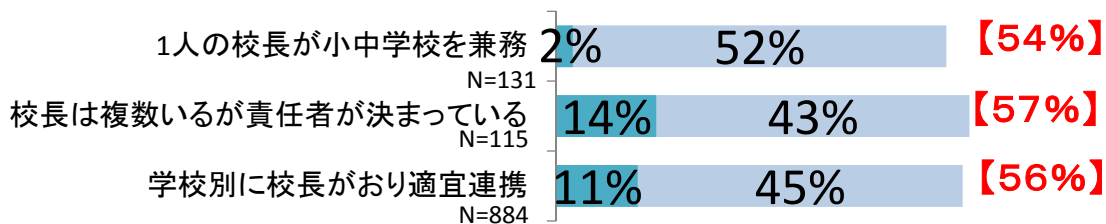
⑭成果・課題の可視化と関係者間での共有



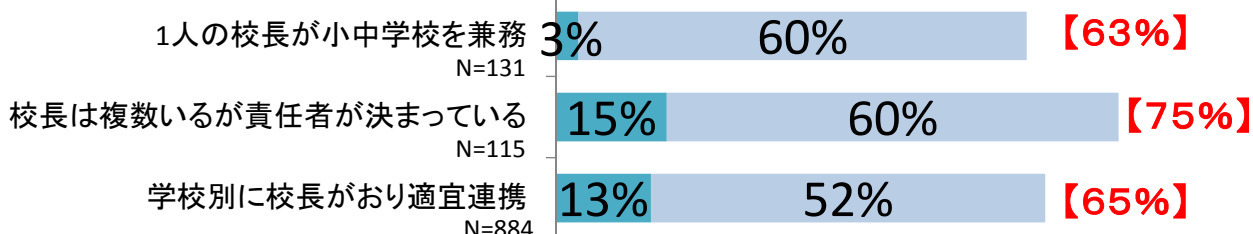
⑮教職員の負担感・多忙感の解消



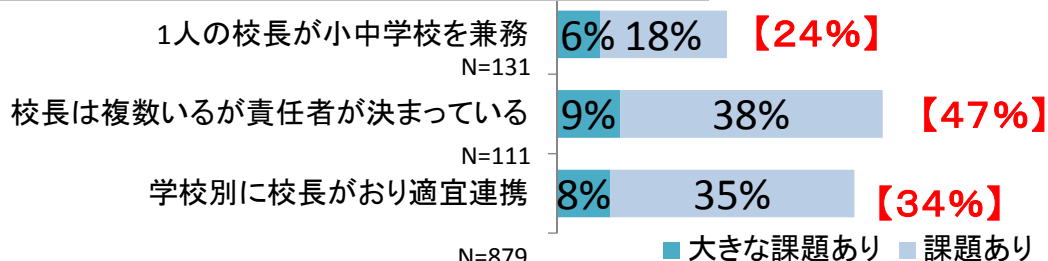
⑯小・中学校間での負担の不均衡



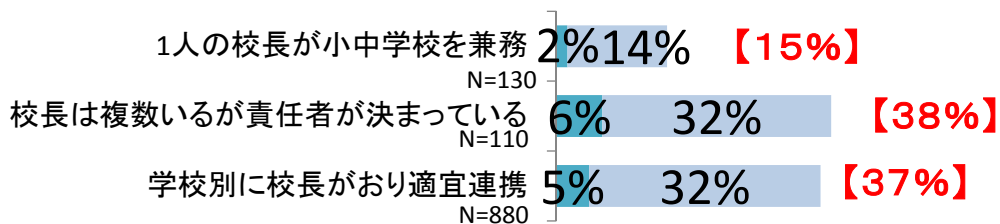
⑰教職員間での負担の不均衡



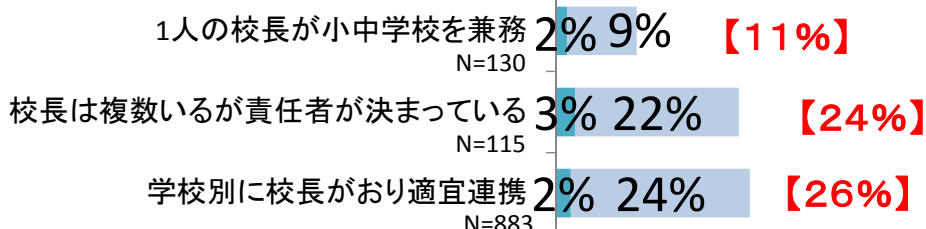
⑱所有免許の関係で兼務発令を拡大できないこと



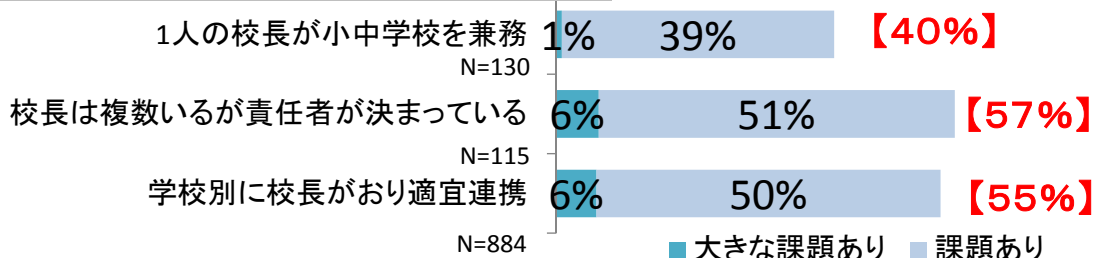
⑱ 兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



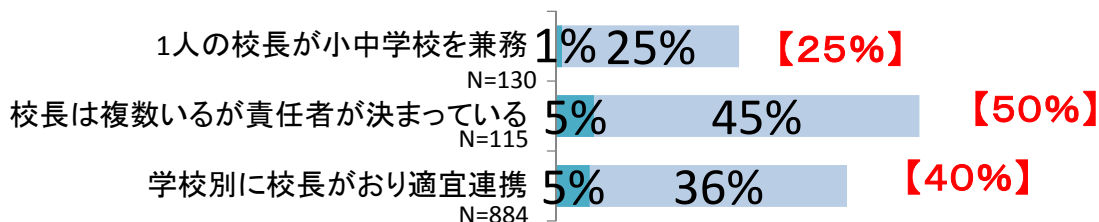
⑳ 小中の管理職間の共通認識の醸成



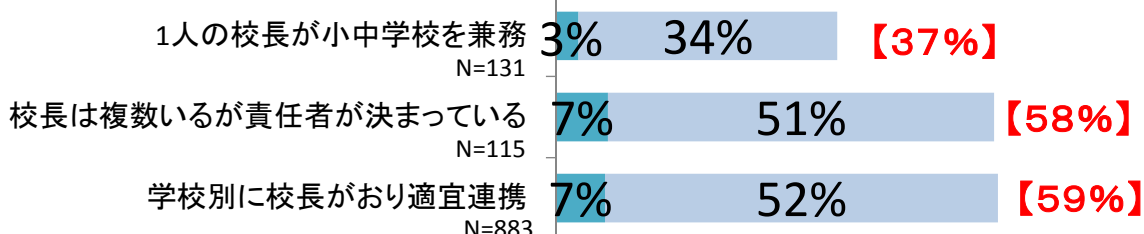
㉑ 小中の教職員間の共通認識の醸成



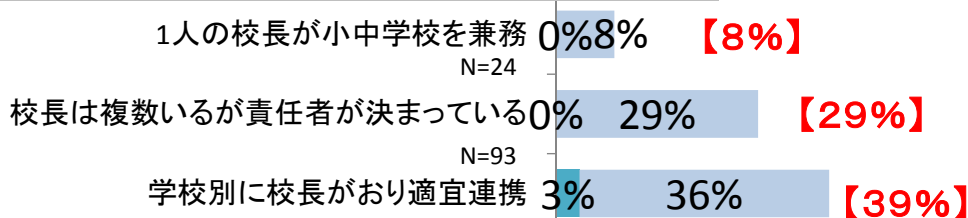
㉒ 小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上



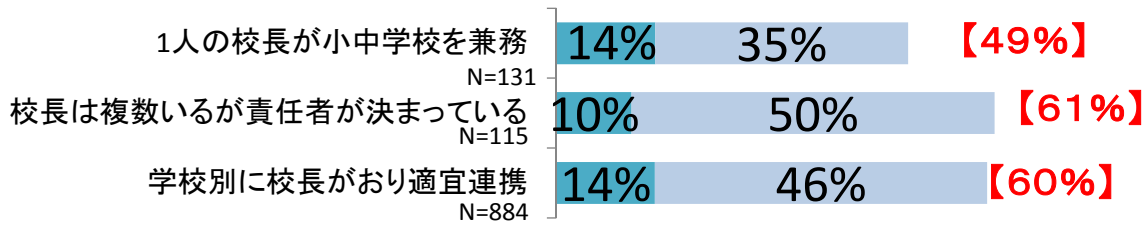
㉓ 小・中学校間のコーディネート機能の充実



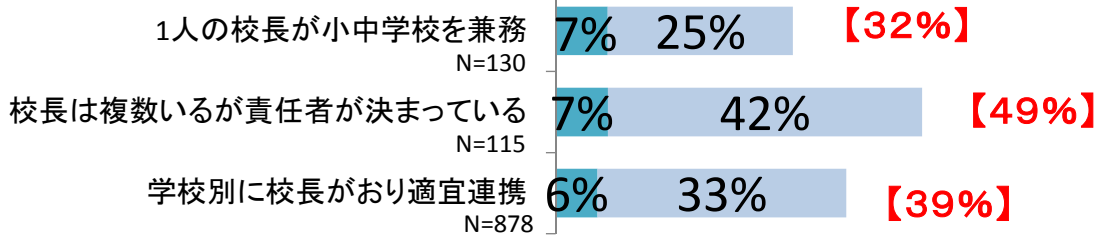
㉔ 同一中学校区内の小中学校間の取組の差の解消



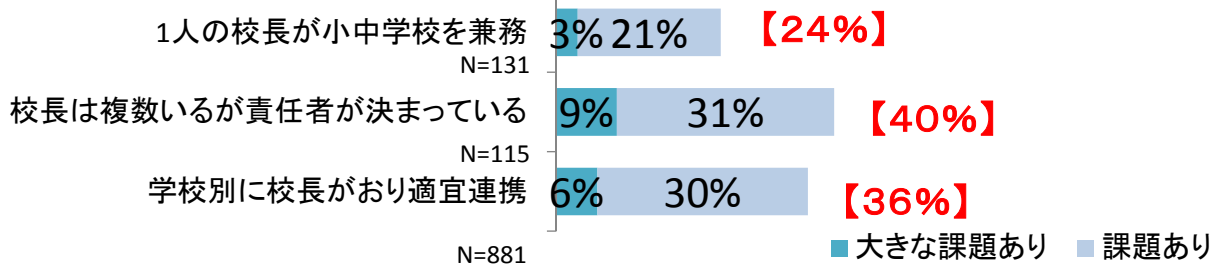
⑫必要な予算の確保



⑬都道府県教委の理解・協力・支援の充実



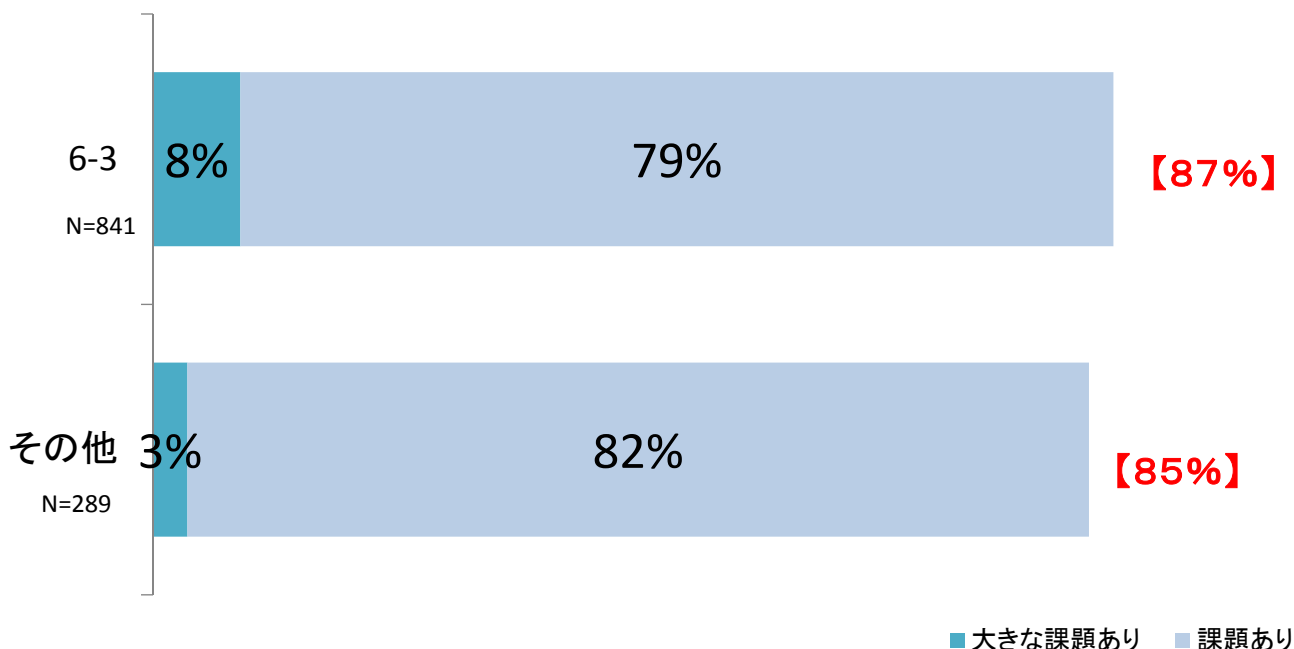
⑭市区町村教委の理解・協力・支援の充実



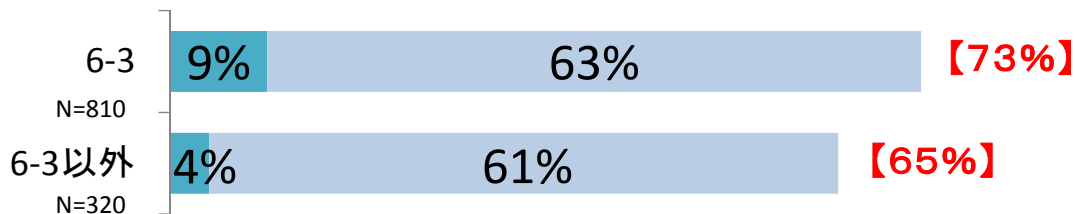
V 学年段階の区切り × 小中一貫教育の課題

(~P157)

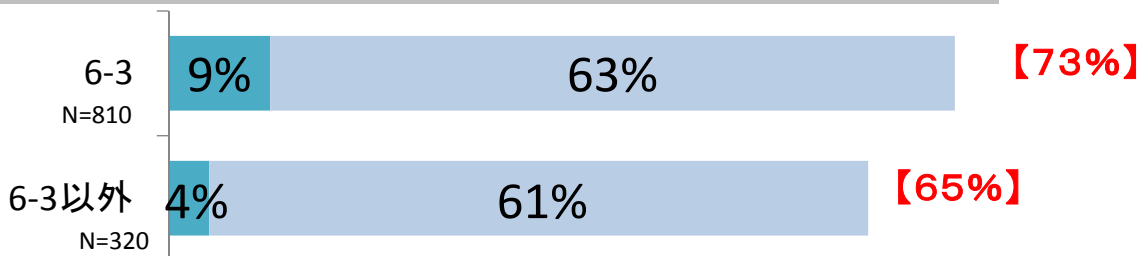
総合評価



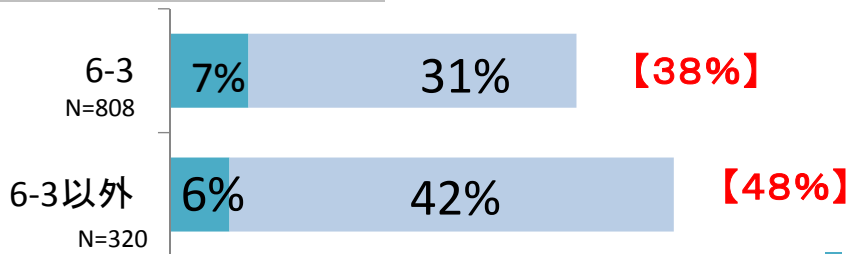
① 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



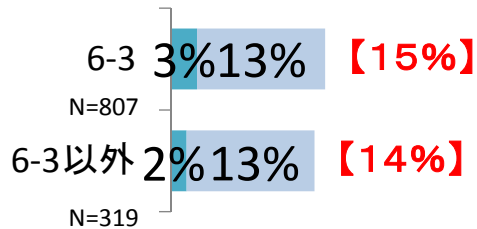
② 施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整



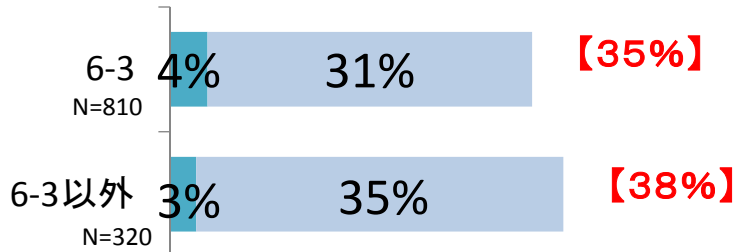
③ 時間割や日課表の工夫



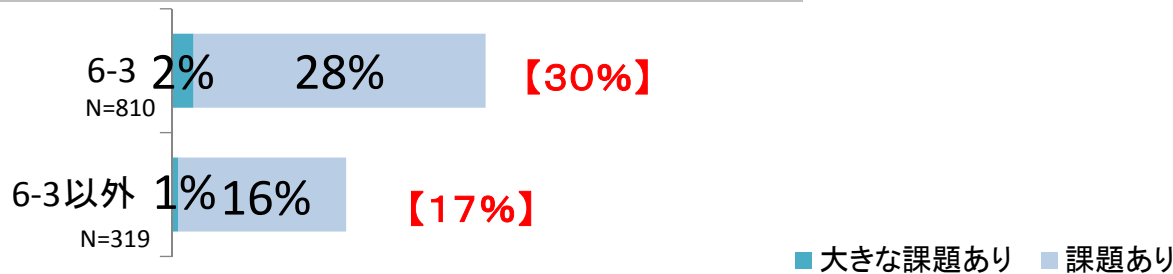
④ チャイムの鳴らし方



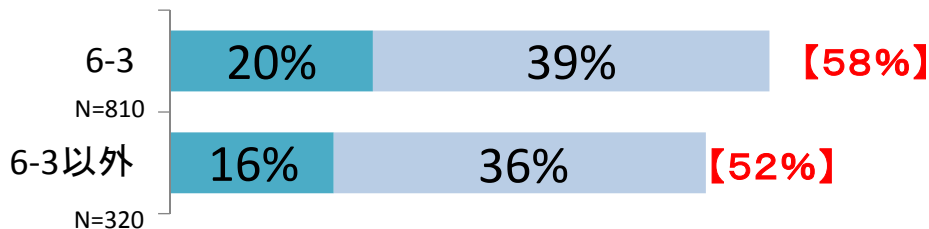
⑤ 児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮



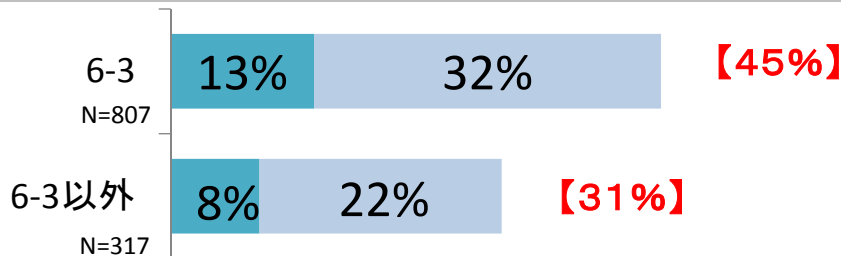
⑥ 中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



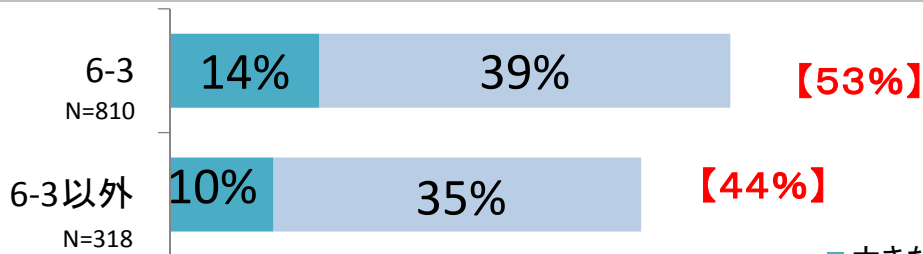
⑦ 児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



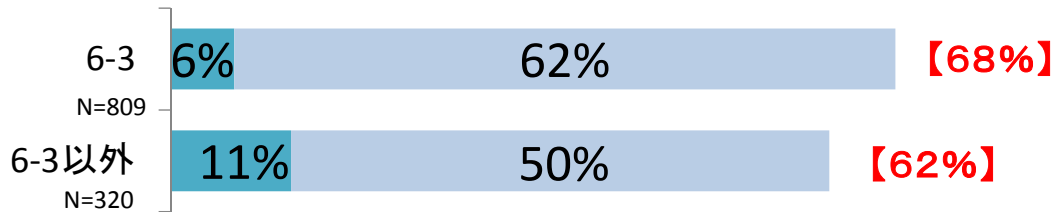
⑧ 校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



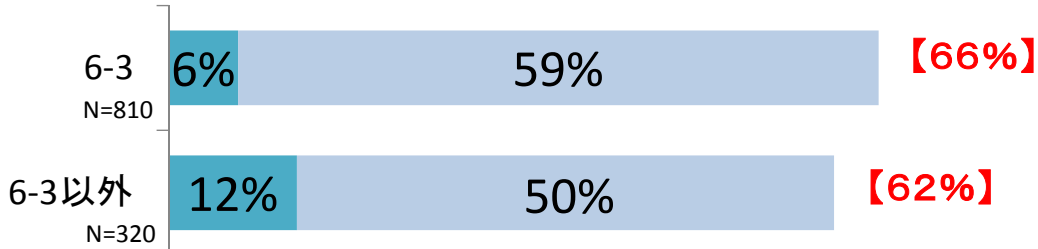
⑨ 学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



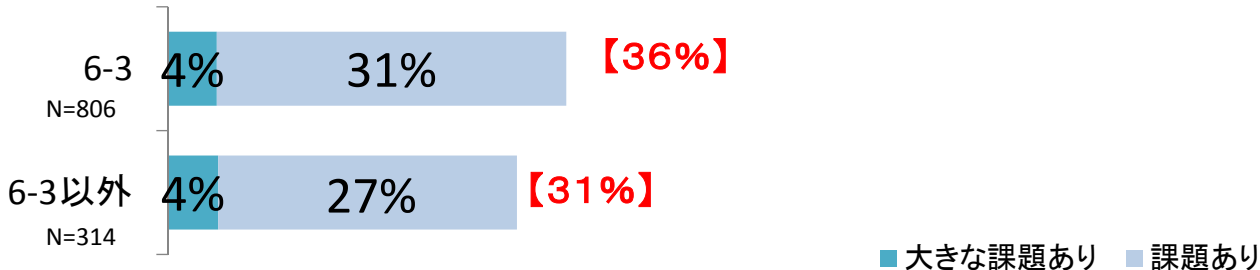
⑩ 成果や課題の分析・評価手法の確立



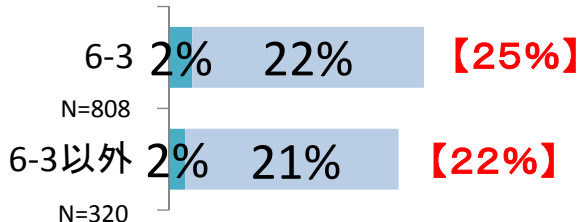
⑪ 成果・課題の可視化と関係者間での共有



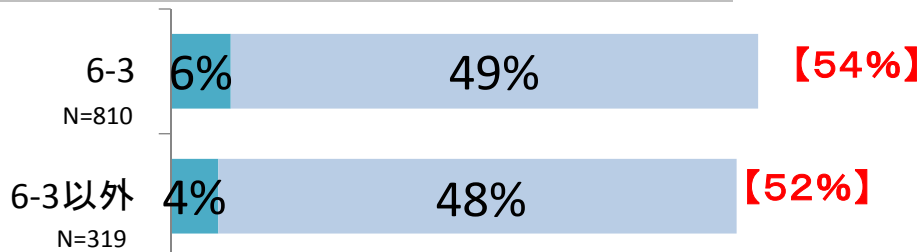
⑫ 兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



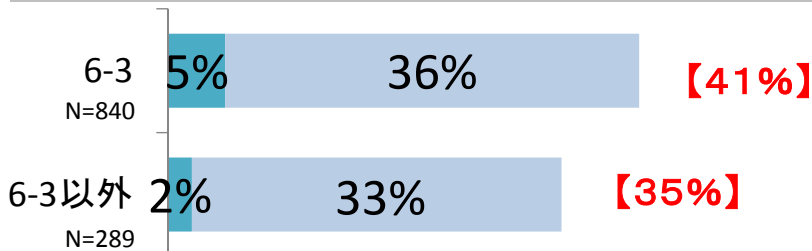
⑬ 小中の管理職間の共通認識の醸成



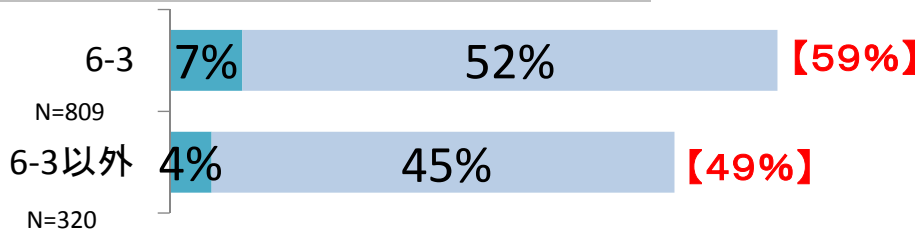
⑭ 小中の教職員間の共通認識の醸成



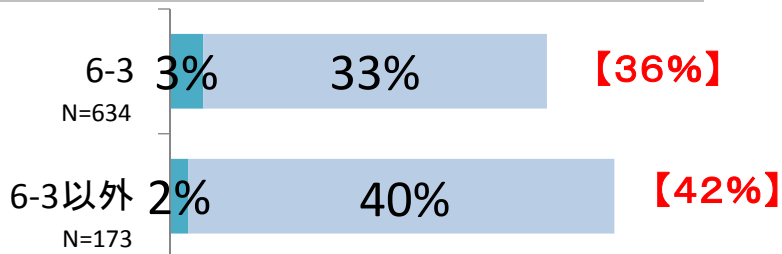
⑮ 小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上



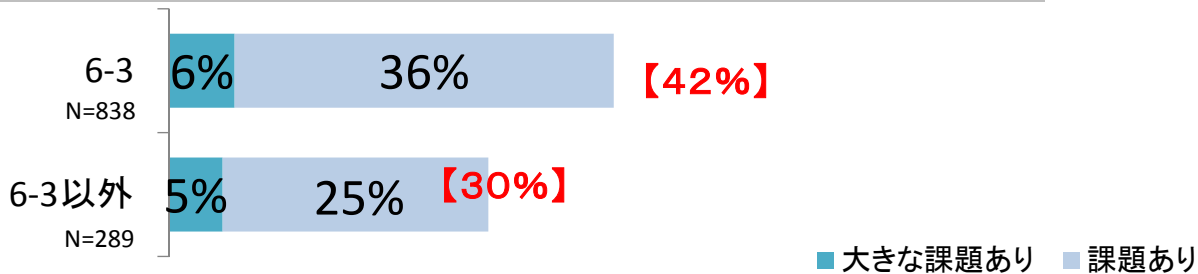
⑩ 小・中学校間のコーディネート機能の充実



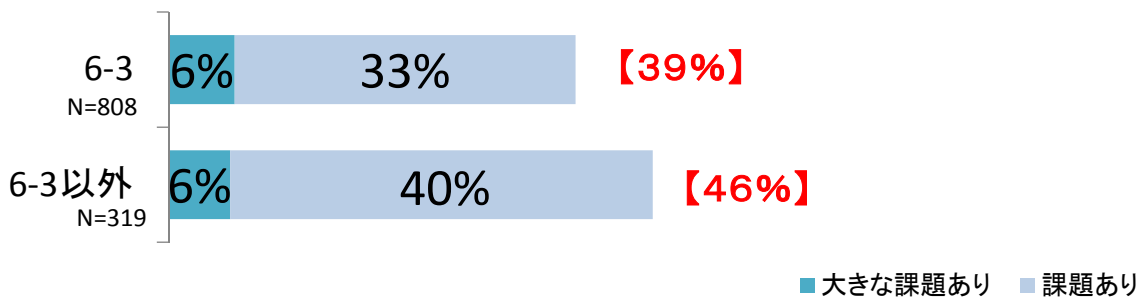
⑪ 同一中学校区内の小学校間の取組の差の解消



⑫ 都道府県教委の理解・協力・支援の充実



⑬ 市区町村教委の理解・協力・支援の充実

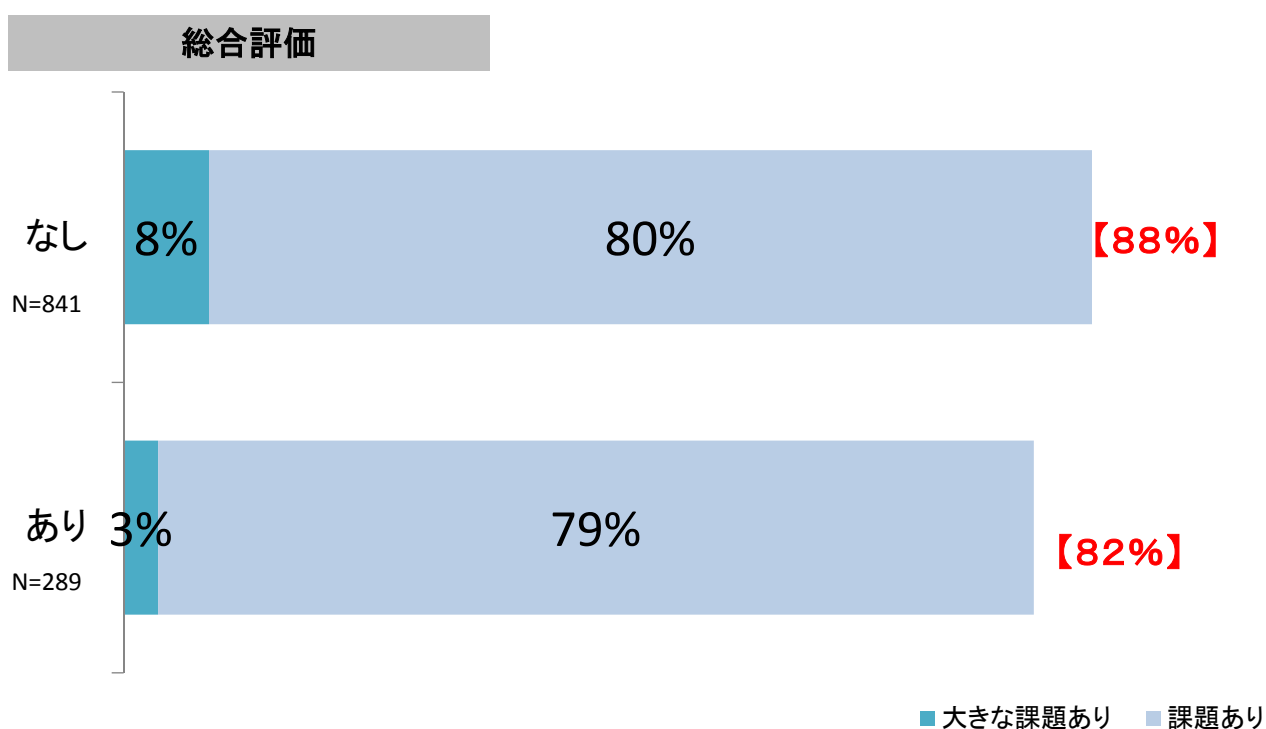


VI 9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム

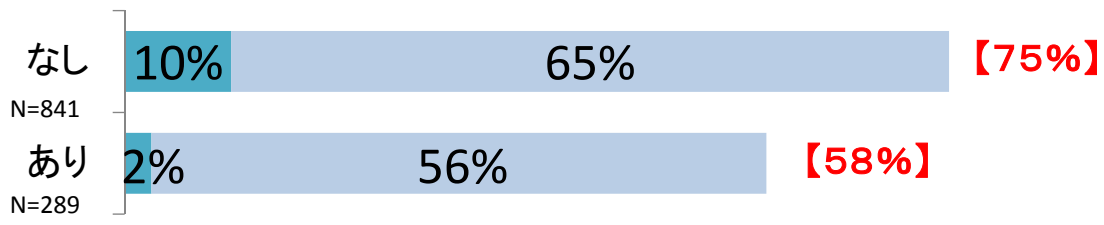
× 小中一貫教育の課題

(～P162)

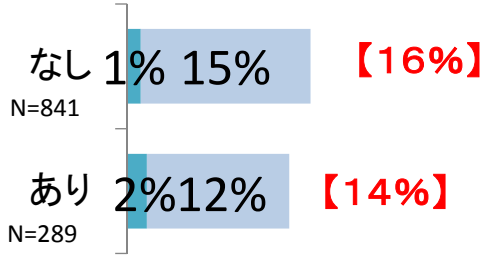
9年間の一貫した学校教育目標・カリキュラム ×小中一貫教育の課題



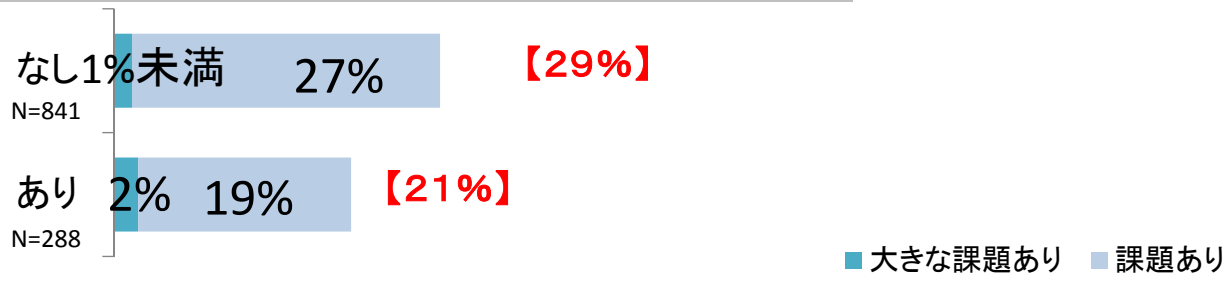
① 9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



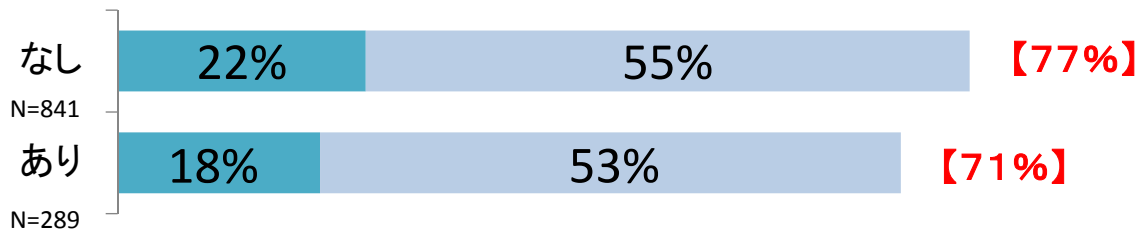
② 転出入者への学習指導上・生徒指導上の対応



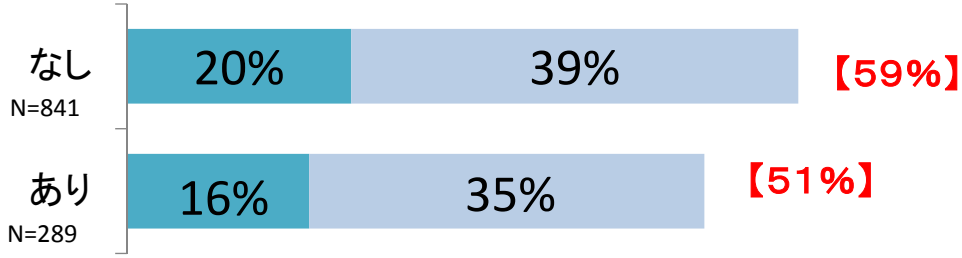
③ 中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



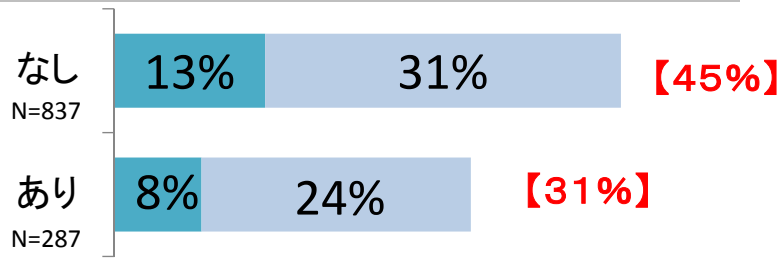
④ 小中合同の研修時間の確保



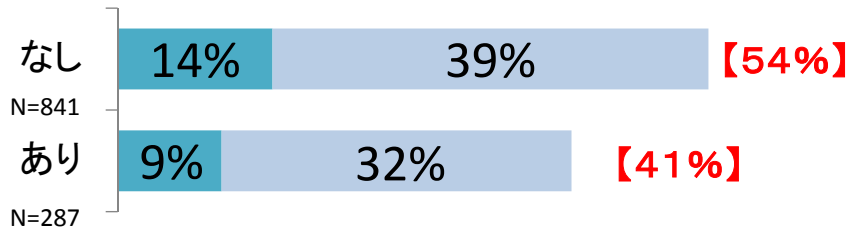
⑤ 児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



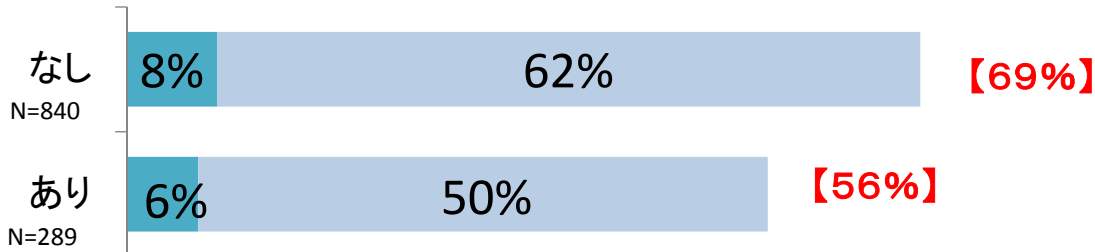
⑥ 校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



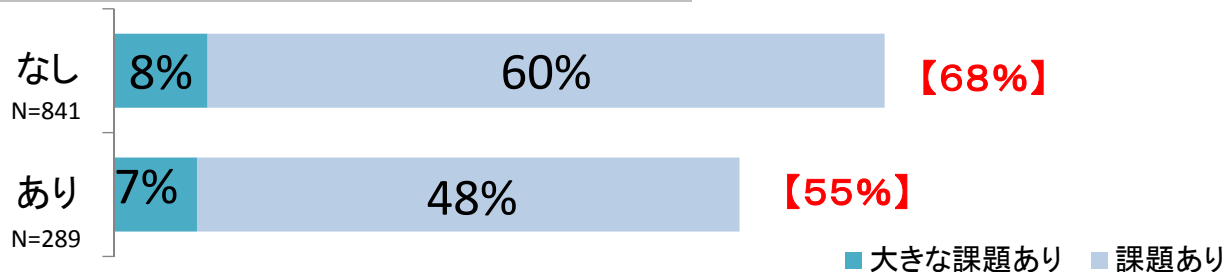
⑦ 学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



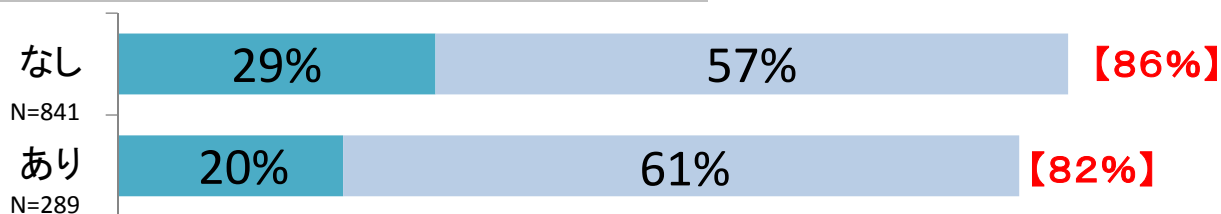
⑧ 成果や課題の分析・評価手法の確立



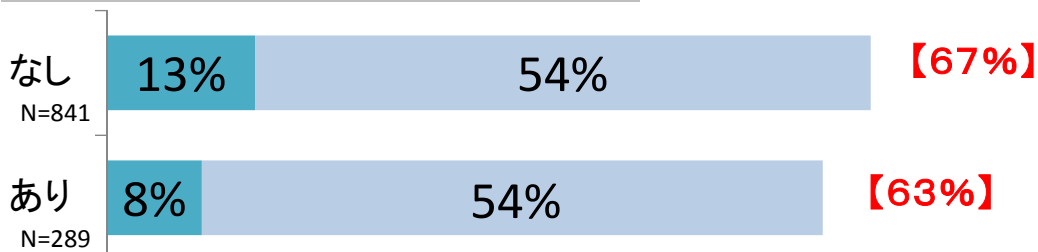
⑨ 成果・課題の可視化と関係者間での共有



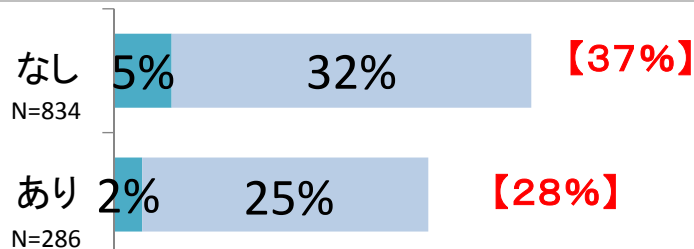
⑩ 教職員の負担感・多忙感の解消



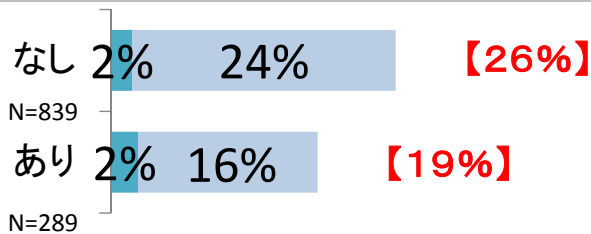
⑪ 教職員間での負担の不均衡



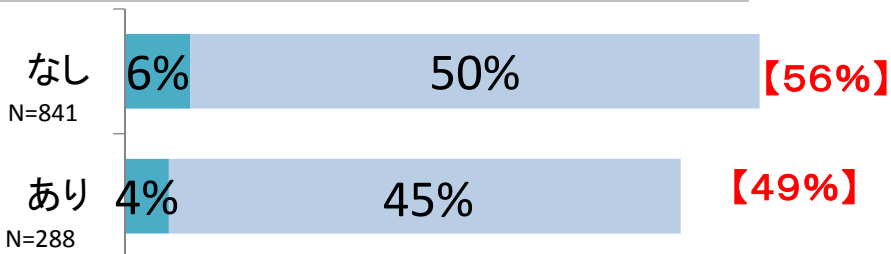
⑫ 兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



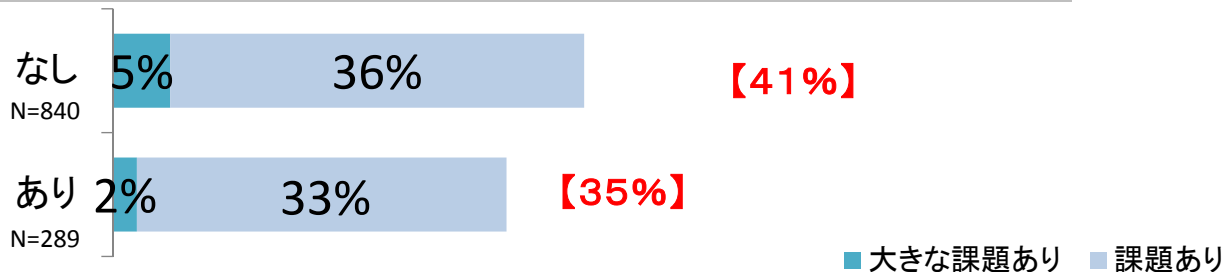
⑬ 小中の管理職間の共通認識の醸成



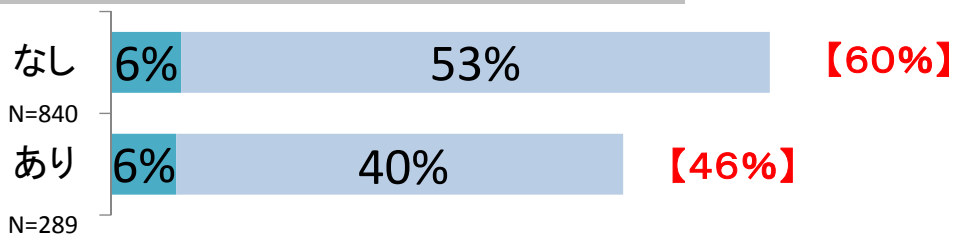
⑭ 小中の教職員間の共通認識の醸成



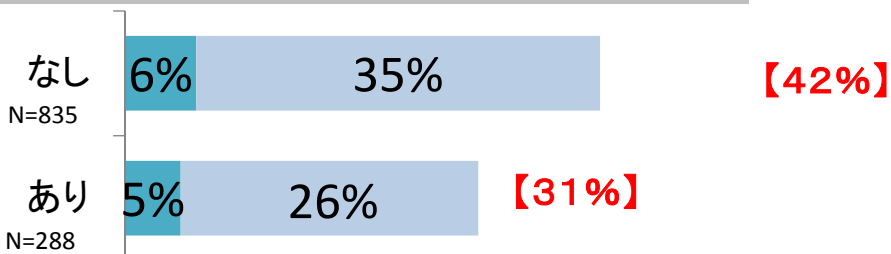
⑮ 小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上



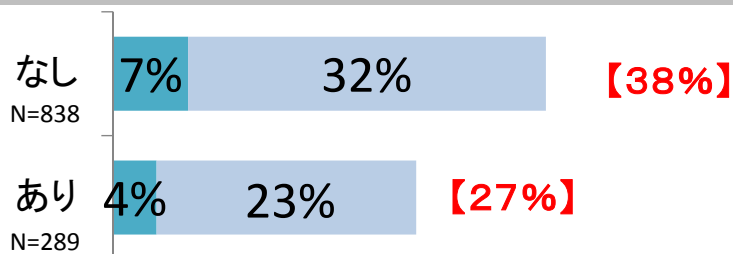
⑯ 小・中学校間のコーディネート機能の充実



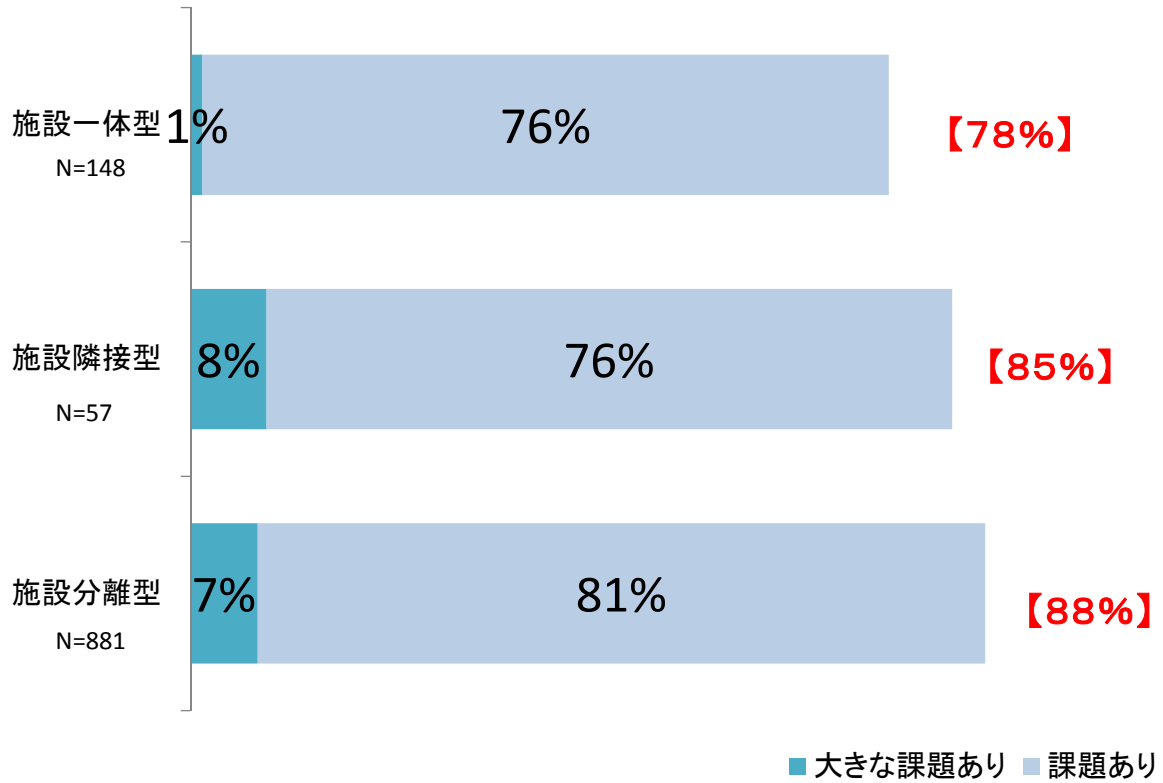
⑰ 都道府県教委の理解・協力・支援の充実



⑱ 市区町村教委の理解・協力・支援の充実



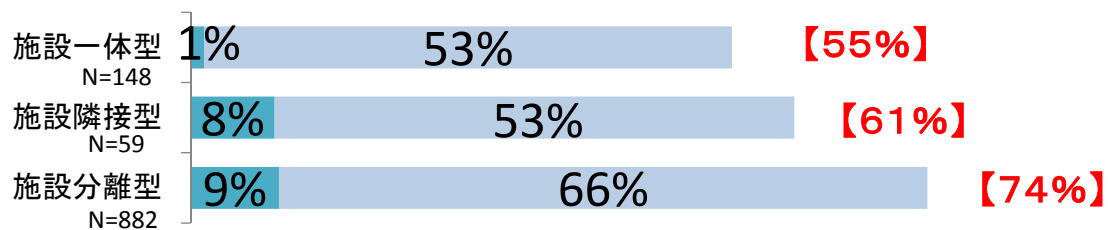
総合評価



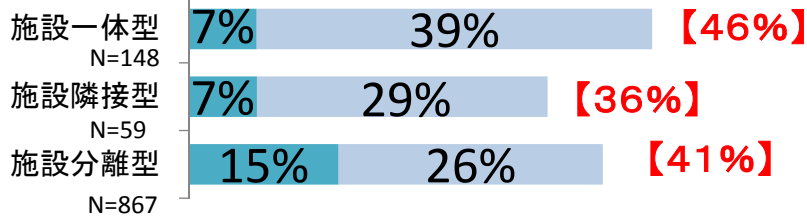
VII 施設形態 × 小中一貫教育の課題

(~P167)

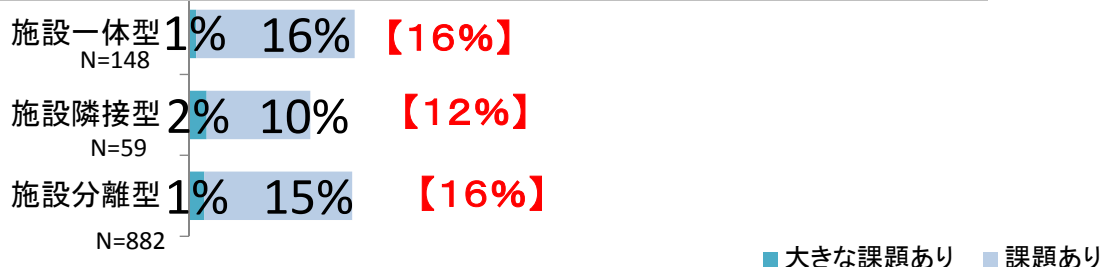
①9年間の系統性に配慮した指導計画の作成・教材の開発



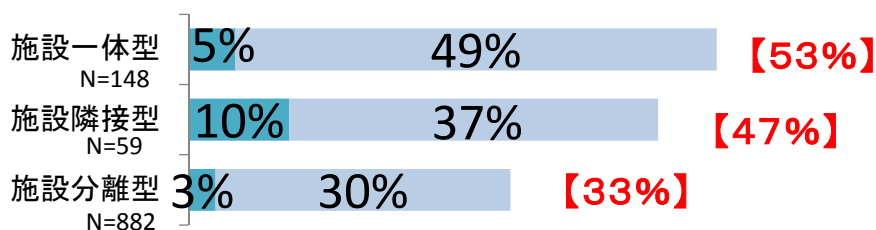
②施設・スペース(教室、グラウンド等)の確保及び使用時間調整



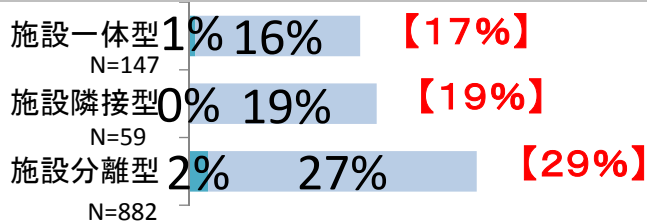
③転出入者への学習指導上・生徒指導上の対応



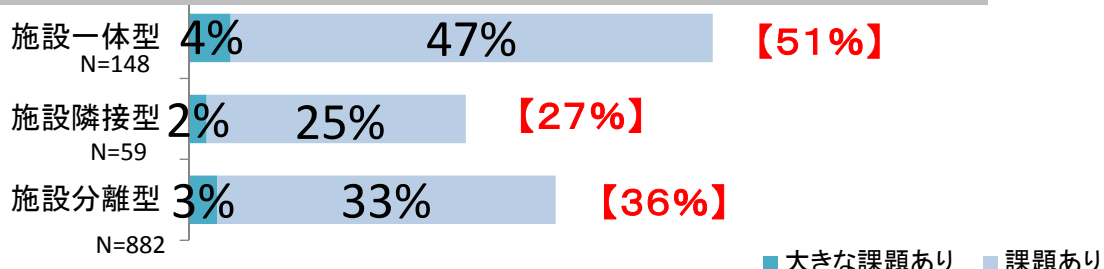
④児童生徒の人間関係が固定化しないような配慮



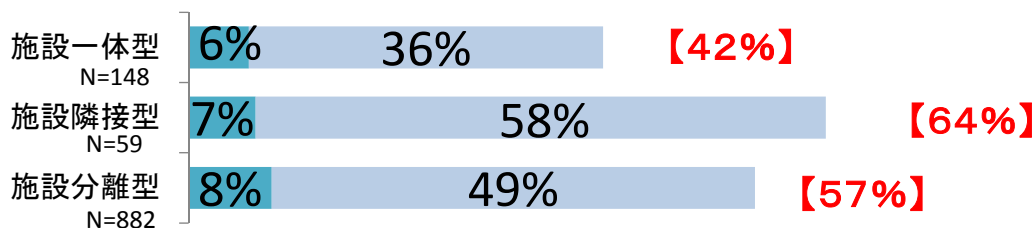
⑤中学校における生徒指導上の問題の小学生への影響



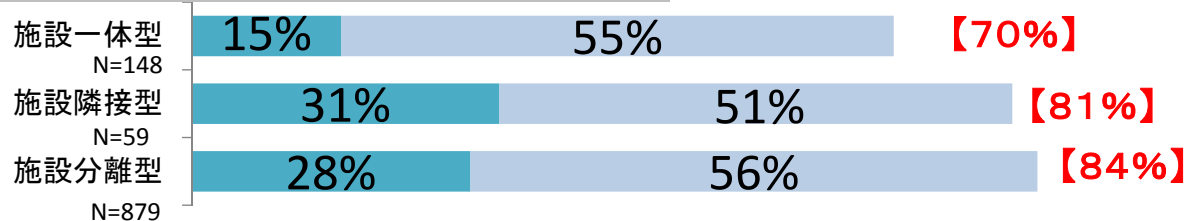
⑥小学生高学年のリーダー性・主体性の育成



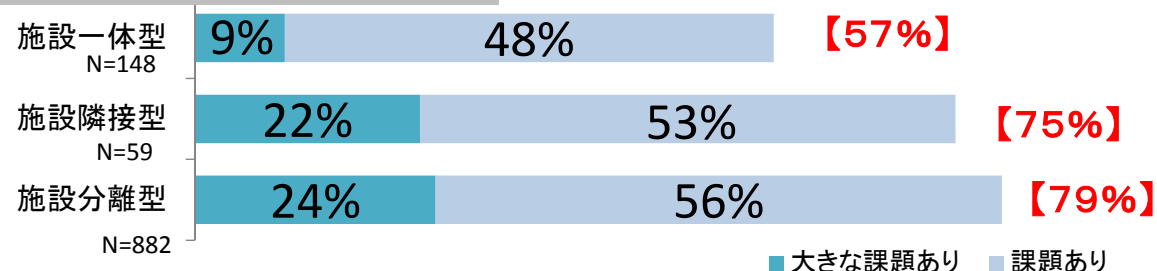
⑦年間行事予定の調整・共通化



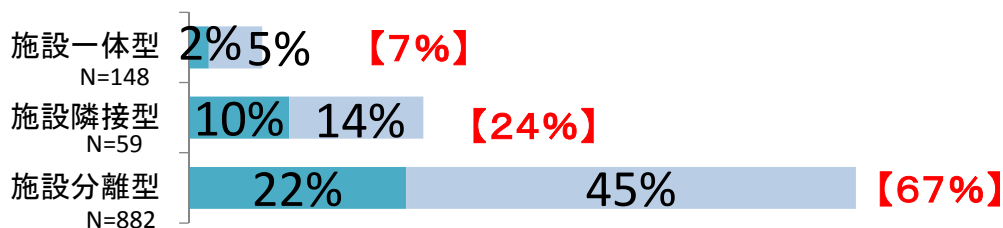
⑧小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保



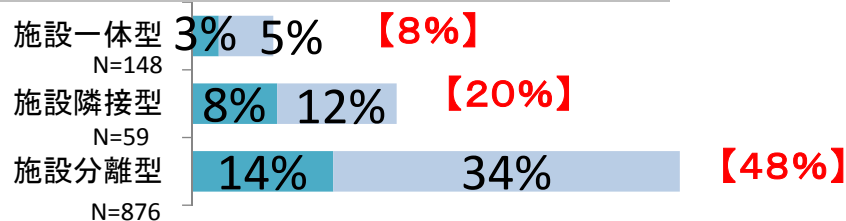
⑨小中合同の研修時間の確保



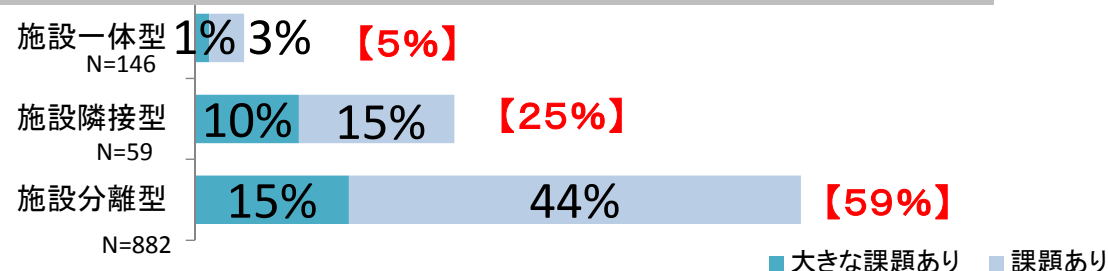
⑩児童生徒間の交流を図る際の移動手段・移動時間の確保



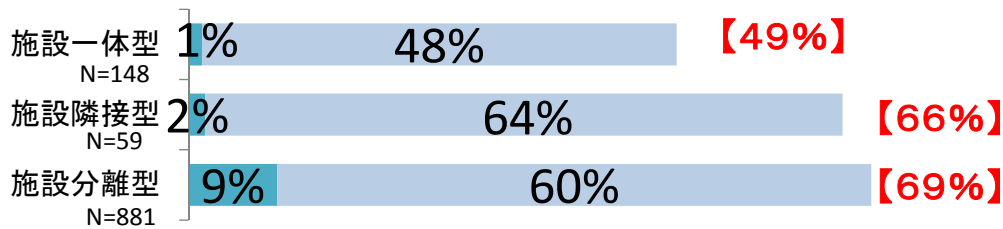
⑪校舎間等の移動に伴う児童生徒の安全の確保



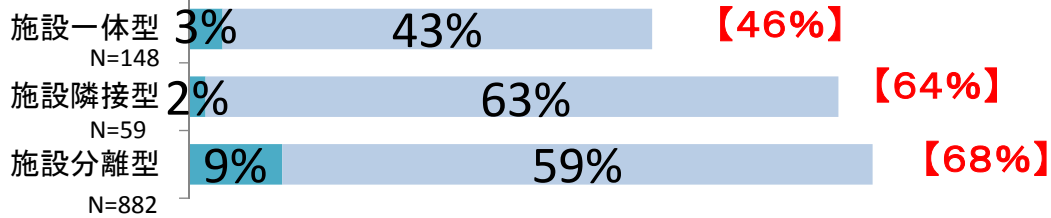
⑫学校間の交流を図る際の教職員の移動手段・移動時間の確保



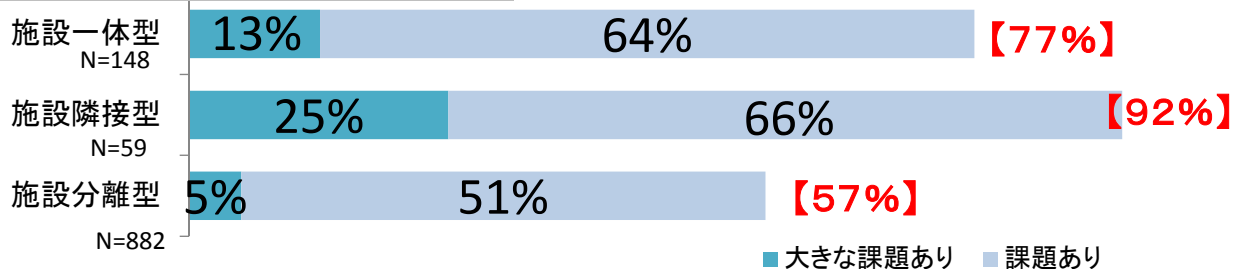
⑬成果や課題の分析・評価手法の確立



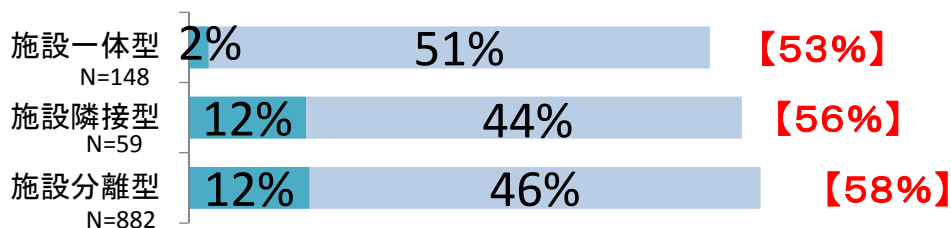
⑭成果・課題の可視化と関係者間での共有



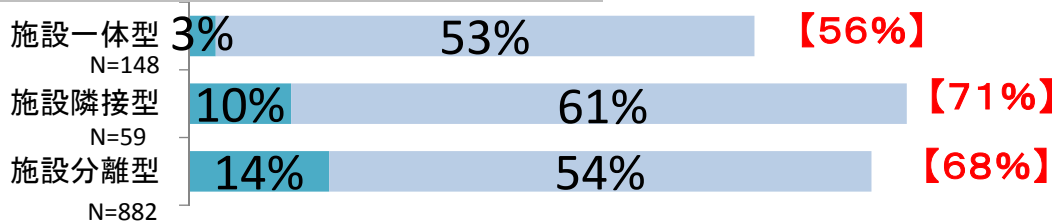
⑮教職員の負担感・多忙感の解消



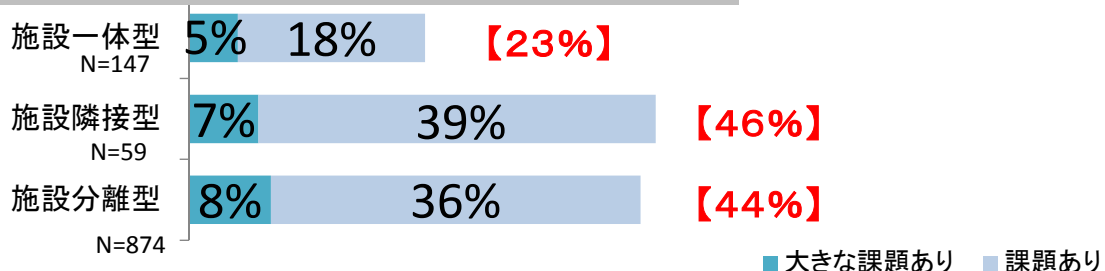
⑯小・中学校間での負担の不均衡



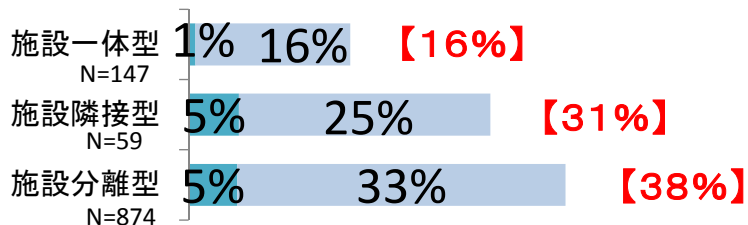
⑰教職員間での負担の不均衡



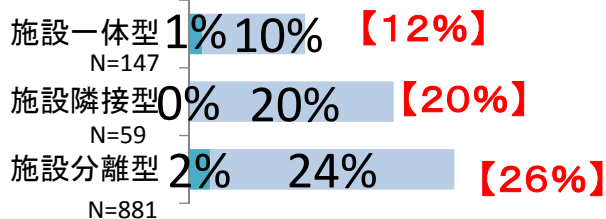
⑱所有免許の関係で兼務発令を拡大できないこと



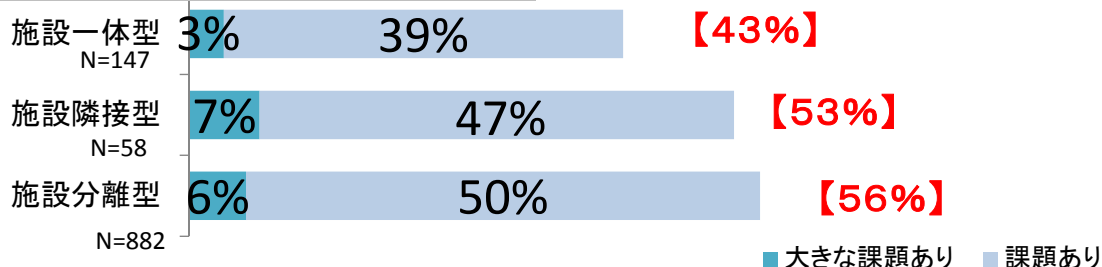
⑩兼務発令の趣旨・内容に関する教職員の理解



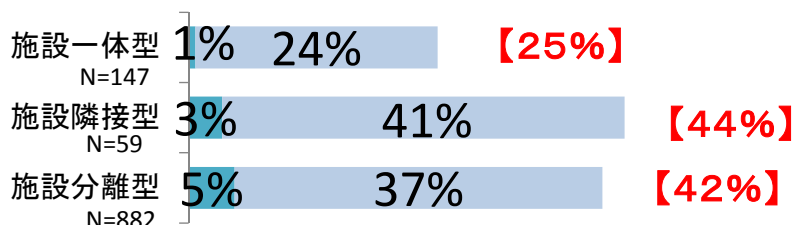
⑪小中の管理職間の共通認識の醸成



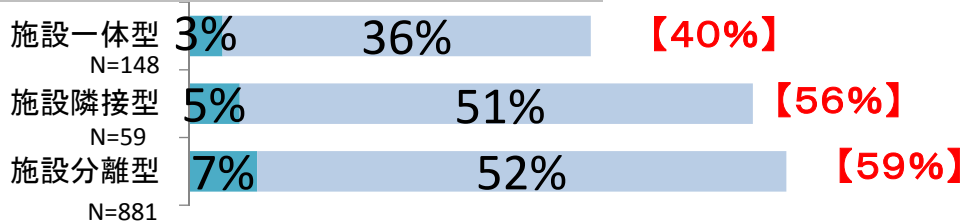
⑫小中の教職員間の共通認識の醸成



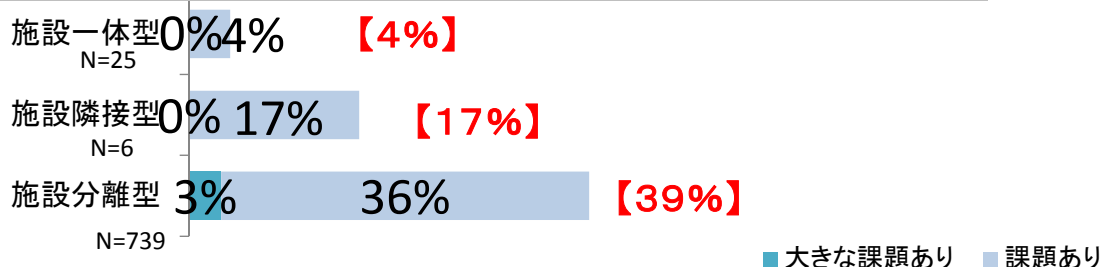
⑬小中が接続する学年又は区切り以外を担当する教職員の意識向上



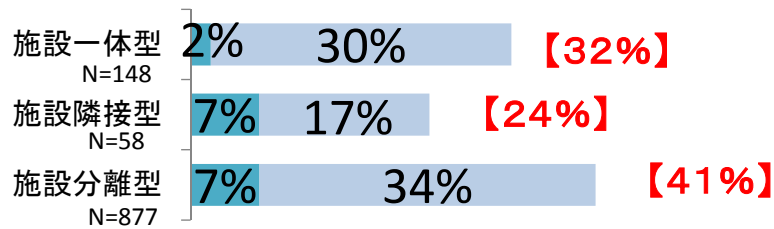
⑭小・中学校間のコーディネート機能の充実



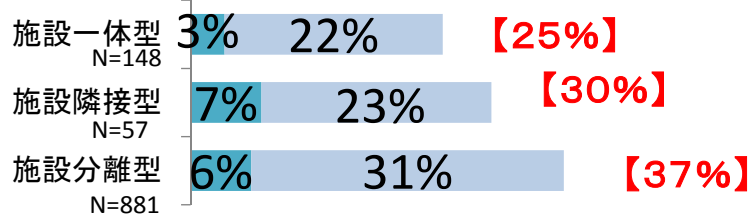
⑮同一中学校区内の小中学校間の取組の差の解消



②⑤ 小学校費、中学校費の一体的な運用(費目の一体化等)



②⑥ 市区町村教委の理解・協力・支援の充実



■ 大きな課題あり ■ 課題あり